第3期四條畷市子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査報告書

令和6年3月

四條畷市

目次

Ⅰ　調査の概要 ……1
(1)調査の目的 ……2
(2)調査対象 ……2
(3)調査期間 ……2
(4)調査方法 ……2
(5)回収状況 ……2
(6)調査結果の表示方法 ……2

Ⅱ　調査結果
1　就学前児童と就学児童との比較 ……3
(1)ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて ……4
(2)育児休業など、仕事と子育ての両立について ……34
(3)市役所などへの要望 ……37
(4)お子さんの生活習慣について ……38
(5)子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について ……40
(6)子育てに対する意識について ……42
(7)お子さんが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方 ……48

2　就学前児童の状況 ……50
(1)ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて ……51
(2)平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて ……53
(3)病気になったときの対応について（平日定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ） ……61
(4)平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて ……67
(5)幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について ……71
(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について ……76
(7)小学校就学後の放課後の過ごし方について（お子さんが5歳以上である方） ……88
(8)幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について ……94
(9)地域の子育て支援サービスの利用状況について ……100
(10)市役所などへの要望 ……108
(11)子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について ……109

3　就学児童の状況 ……110
(1)お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について ……111
(2)お子さんが病気になったときの対応や、不定期な一時預かりについて ……120
(3)仕事と子育ての両立について ……128
(4)お子さんの普段の過ごし方 ……130
(5)お子さんの地域での自然体験などへの参加など ……132

Ⅲ　調査結果のまとめ ……134
(1)子育て家庭状況と定期的な教育・保育事業の利用 ……135
(2)育児休業など、仕事と子育ての両立について ……136
(3)子どもが病気になった時の対応について ……137
(4)地域の子育て支援サービスの利用状況について ……138
(5)市役所などへの要望について ……139
(6)子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全確保について ……140
(7)子育てに対する意識について ……141

Ⅳ　資料編 ……142

Ⅰ　調査の概要

Ⅰ　調査の概要

（1）調査の目的
「第3期四條畷市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたって、市民が必要とする子ども・子育て支援施策について意向を把握するための基礎資料とします。

（2）調査対象
市内在住の就学前児童の保護者1,400人、就学児童の保護者600人

（3）調査期間
令和5年12月1日から令和5年12月22日

（4）調査方法
郵送による配付・回収　及び　Webによる回収

（5）回収状況

	配布数	有効回収数			有効回収率
		Web回収	郵送回収	計	
就学前児童	1,400通	275通	267通	542通	38.7%
就学児童	600通	125通	106通	231通	38.5%

（6）調査結果の表示方法
回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
複数回答が可能な設問の場合、項目ごとの回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、合計が100.0%を超える場合があります。

Ⅱ　調査結果

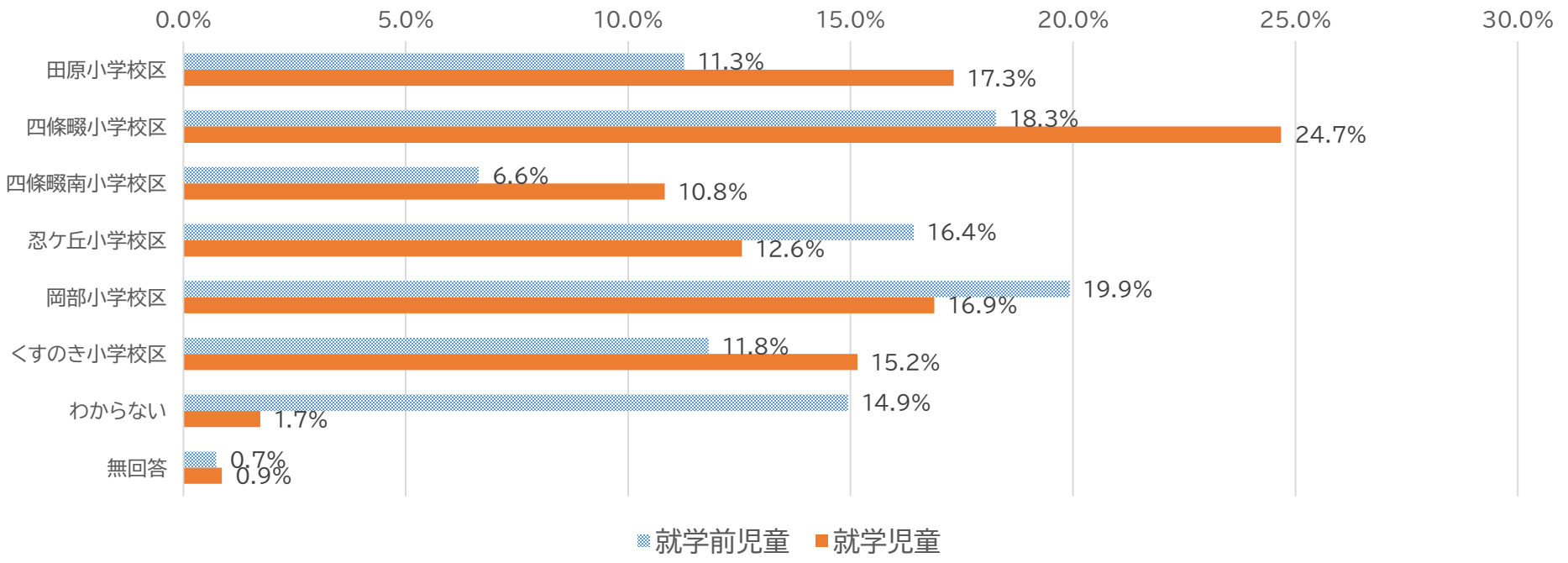
１　就学前児童と就学児童との比較

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問1　お住まいの地域の小学校区名を記入してください。

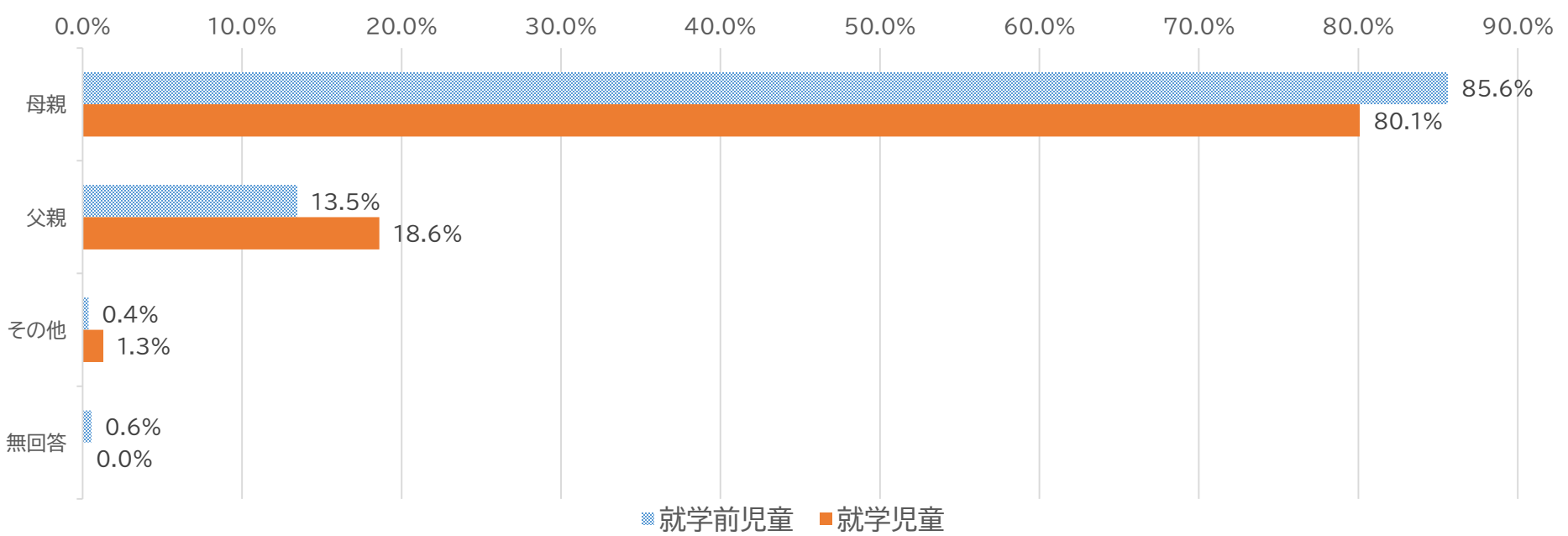
N=542（就学前児童）、231（就学児童）



就学前児童においては、「岡部小学校区」が19.9%と最も高く、次いで四條畷小学校区18.3%、忍ケ丘小学校区16.4%となっている。一方で、就学児童では、「四條畷小学校区」と回答した割合が、24.7%と最も高く、次いで「田原小学校区」と回答した割合が17.3%、「岡部小学校区」が16.9%となっている。

問2　この調査票に回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=542（就学前児童）、231（就学児童）



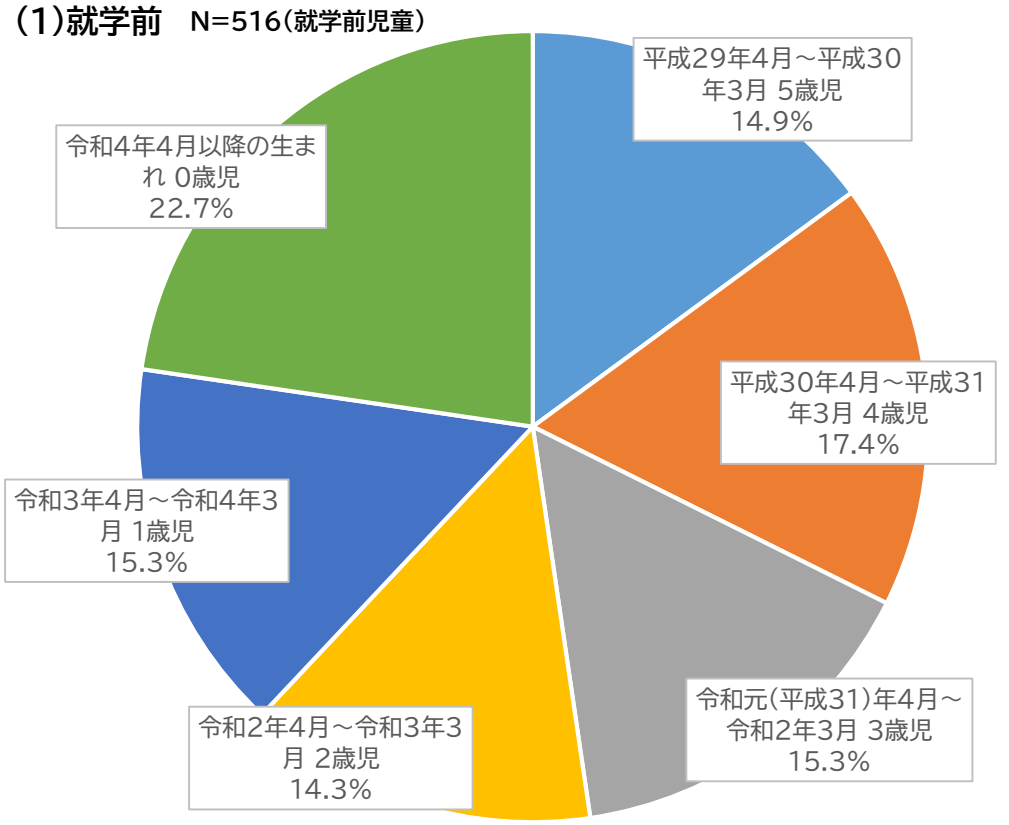
就学前児童においては、「母親」が85.6%と最も高く、次いで「父親」が13.5%となっている。
一方で、就学児童においては、「母親」が80.1%と最も高く、次いで「父親」が18.6%となっている。
両者ともに「母親」の回答の割合が高いものの、就学児童の方が「父親」の回答比率が高くなっている。

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問3　封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「令和」か「西暦」に○をつけ、（　）内に数字を入れてください。

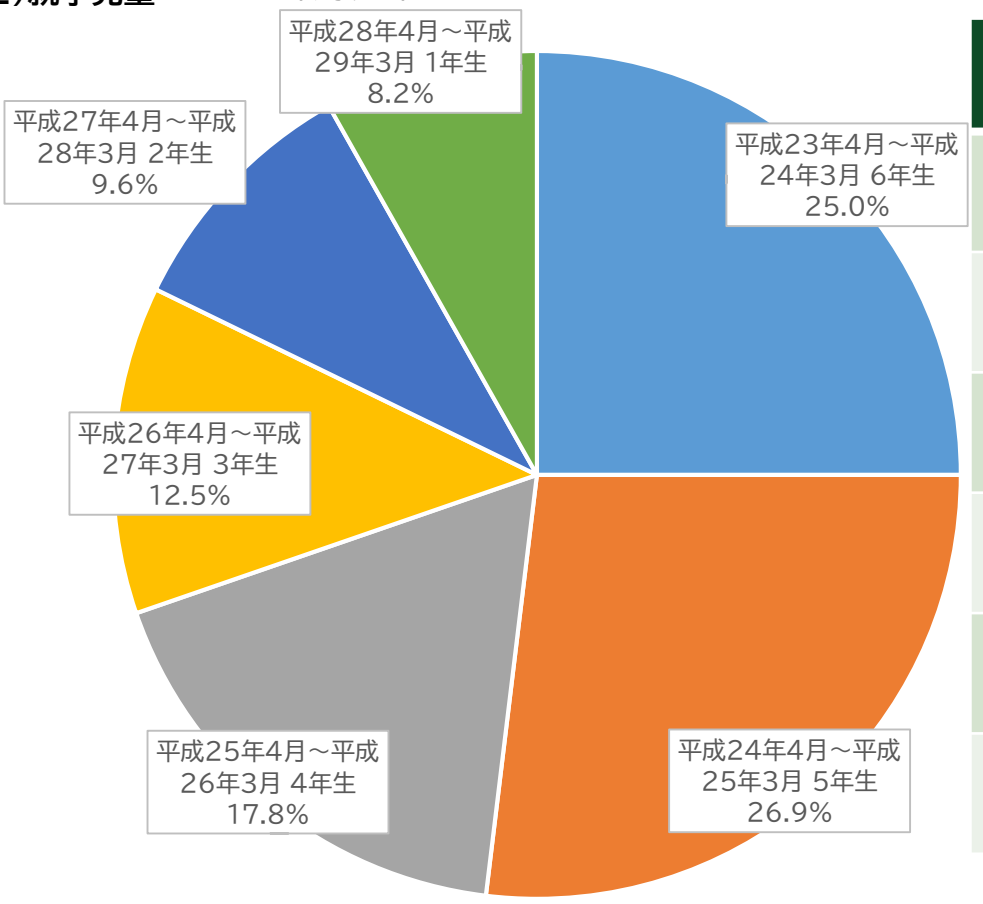
(1)就学前　N=516(就学前児童)



和暦	年齢	割合
平成29年4月～平成30年3月	5歳児	14.9%
平成30年4月～平成31年3月	4歳児	17.4%
令和元(平成31)年4月～令和2年3月	3歳児	15.3%
令和2年4月～令和3年3月	2歳児	14.3%
令和3年4月～令和4年3月	1歳児	15.3%
令和4年4月以降	0歳児	22.7%

「令和4年4月以降(0歳児)」が22.7%と最も高く、次いで「平成30年4月～平成31年3月(4歳児)」が17.4%、「令和元(平成31)年4月～令和2年3月(3歳児)」が15. 3%、「令和3年4月～令和4年3月(1歳児)」が15.3%となっている。

(2)就学児童　N=208(就学児童)



和暦	年齢	割合
平成23年4月～平成24年3月	6年生	25.0%
平成24年4月～平成25年3月	5年生	26.9%
平成25年4月～平成26年3月	4年生	17.8%
平成26年4月～平成27年3月	3年生	12.5%
平成27年4月～平成28年3月	2年生	9.6%
平成28年4月～平成29年3月	1年生	8.2%

「平成24年4月～平成25年3月生まれ(5年生)」が26.9%と最も高く、次いで「平成23年4月～平成24年3月生まれ(6年生)」が25.0%、「平成25年4月～平成26年3月(4年生)」が17.8%となっている。
小学校高学年から中学年の層からの回答が多くなっている。

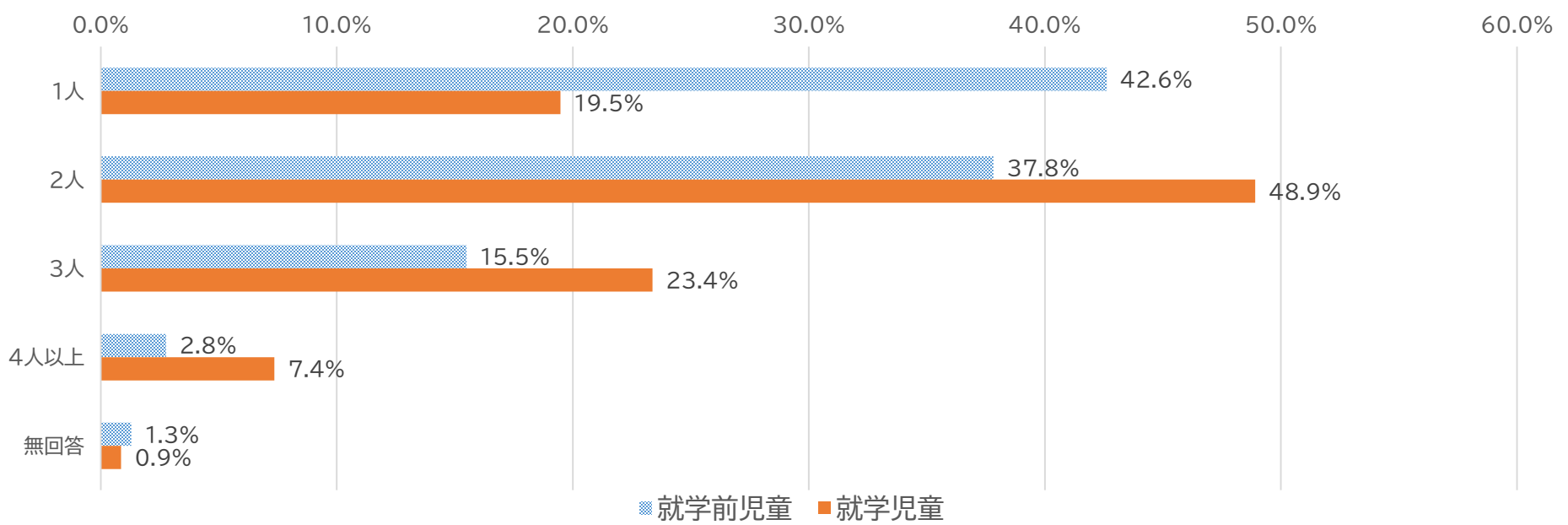
Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問4　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、一番下のお子さんの年齢（令和5年4月1日現在の年齢）を記入してください。

（1）きょうだい数

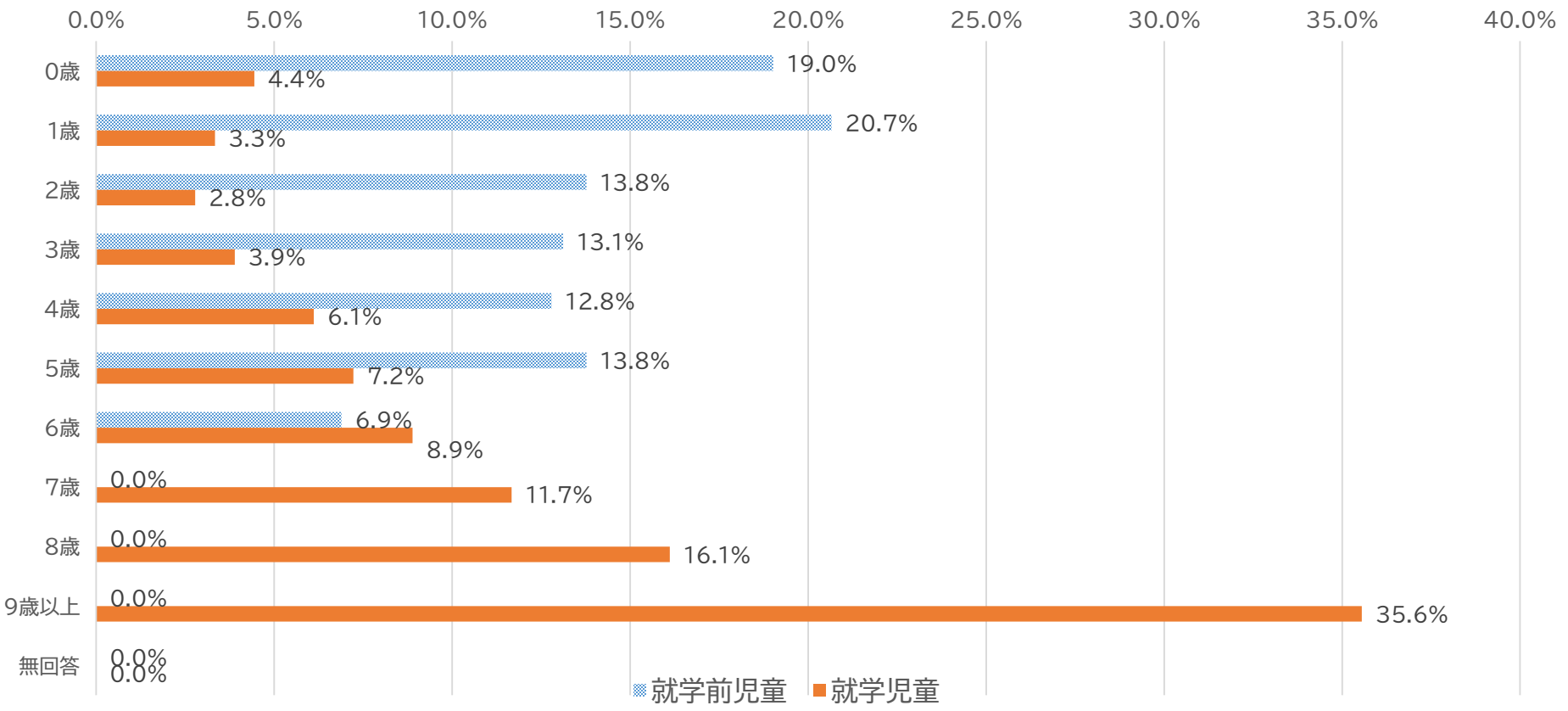
N=542（就学前児童）、231（就学児童）



就学前児童においては、「1人」の割合が42.6%と最も高く、次いで「2人」が37.8%、「3人」が15.5%となっている。一方で、就学児童においては、「2人」の割合が48.9%と最も高く、次いで「3人」が23.4%、「1人」が19.5%となっている。

（2）一番下のお子さんの年齢

N=305（就学前児童）、180（就学児童）



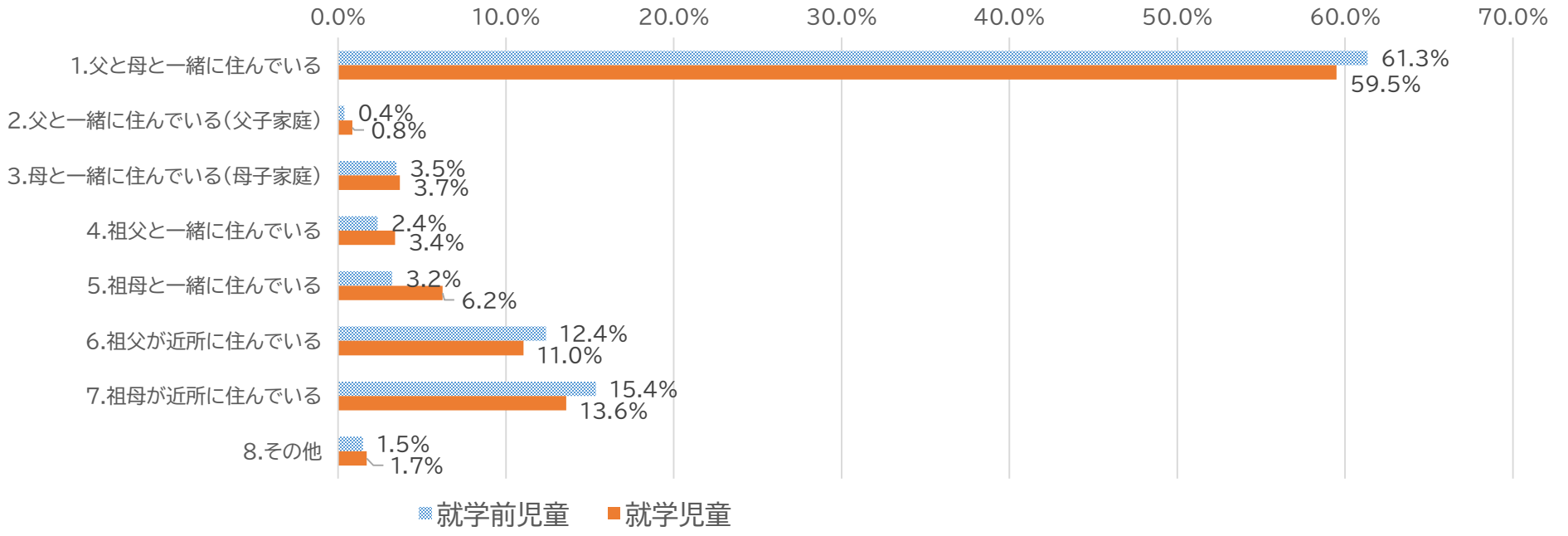
就学前児童においては、「1歳」の割合が20.7%と最も高く、次いで「0歳」が19.0%、「2歳」が13. 8%、「5歳」が13.8%となっている。一方で、就学児童においては、「9歳以上」の割合が35.6%と最も高く、次いで「8歳」が16.1%、「7歳」が11.7%となっている。一番下のお子さんの年齢から、就学前児童は、乳幼児を抱える世帯層、就学児童においては、学齢期を抱える世帯層からの回答が多くなっている。

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問7（就学児童問5）　封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

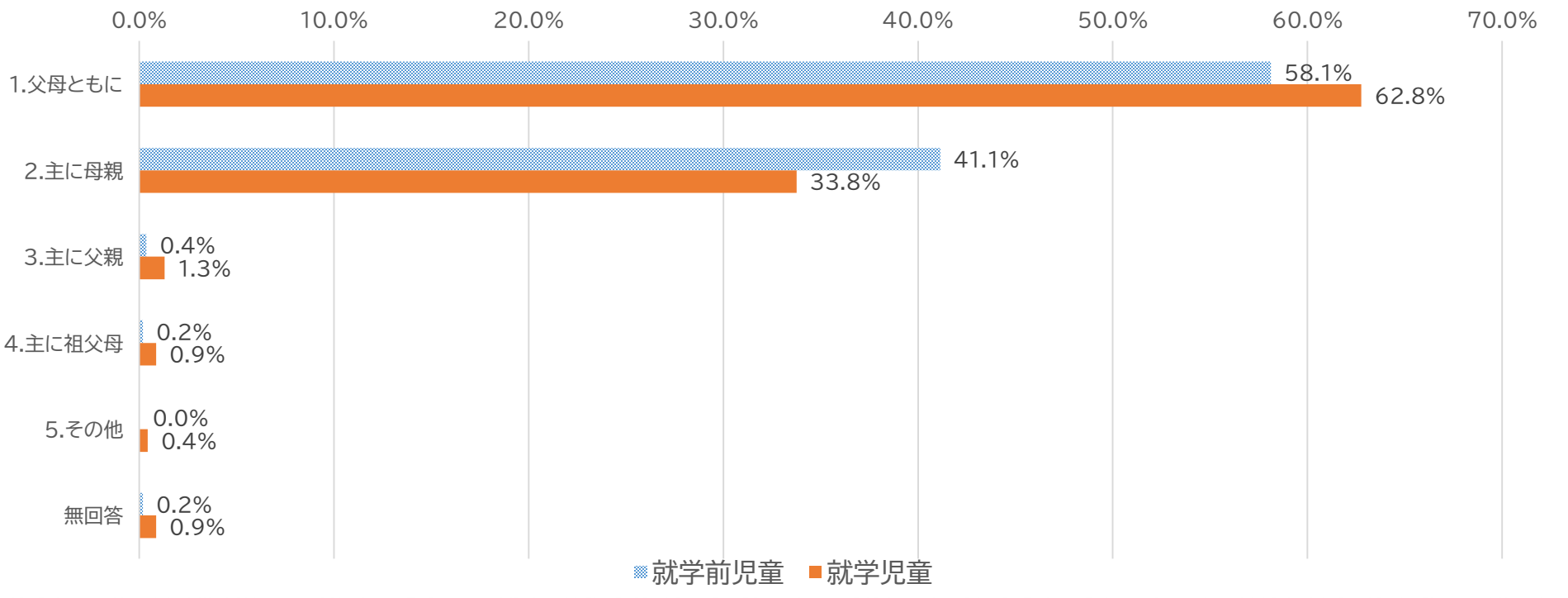
N=807（就学前児童）、353（就学児童）　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



就学前児童においては、「父と母と一緒に住んでいる」の割合が61.3%と最も高く、次いで「祖母が近所に住んでいる」が15.4% 、「祖父が近所に住んでいる」が12.4%となっている。一方、就学児童においては、「父と母と一緒に住んでいる」の割合が59.5%が最も高く、次いで「祖母が近所に住んでいる」が13.6% 、「祖父が近所に住んでいる」が11.0%となっている。

問8（就学児童問6）　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまるものを一つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

N=542（就学前児童）、231（就学児童）



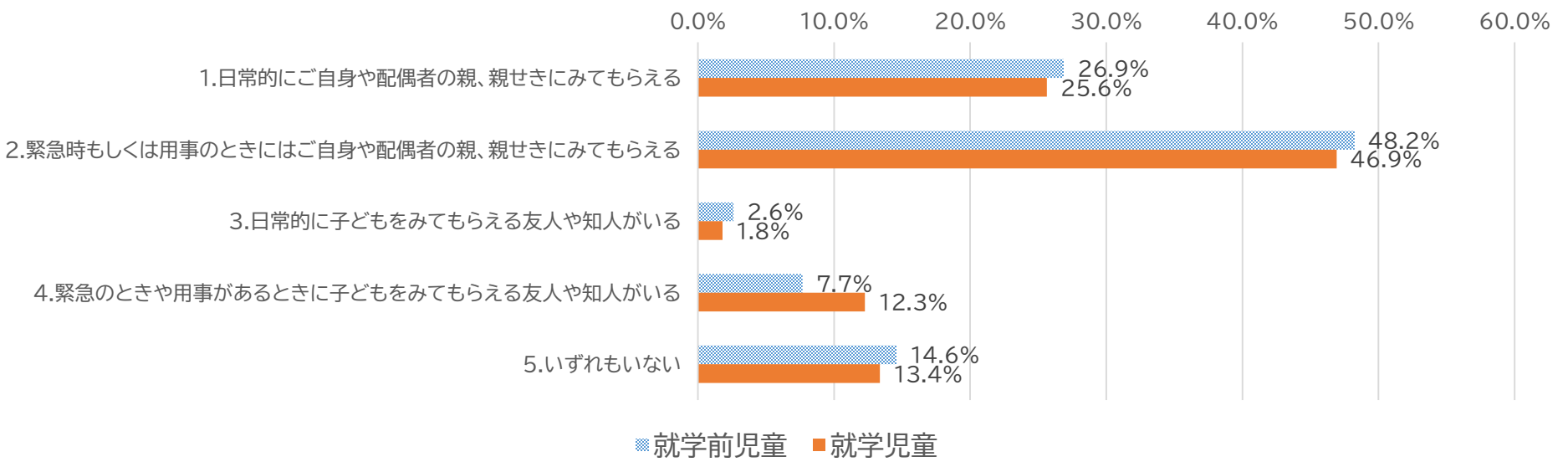
就学前児童においては、「父母ともに」と回答した割合が58.1%と最も高く、次いで「主に母親」が41.1%となっている。一方、就学児童においては、「父母ともに」と回答した割合が62.8%と最も高く、次いで「主に母親」が33.8%となっている。両者を比較すると、就学児童期の家庭環境の方が、父母ともに子育てにあたっている割合が高くなっていることや「主に母親」の回答割合が減少していることなど子育て・教育環境の変化がある。

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問9（就学児童問7）　日頃、封筒のあて名のお子さんを見てもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

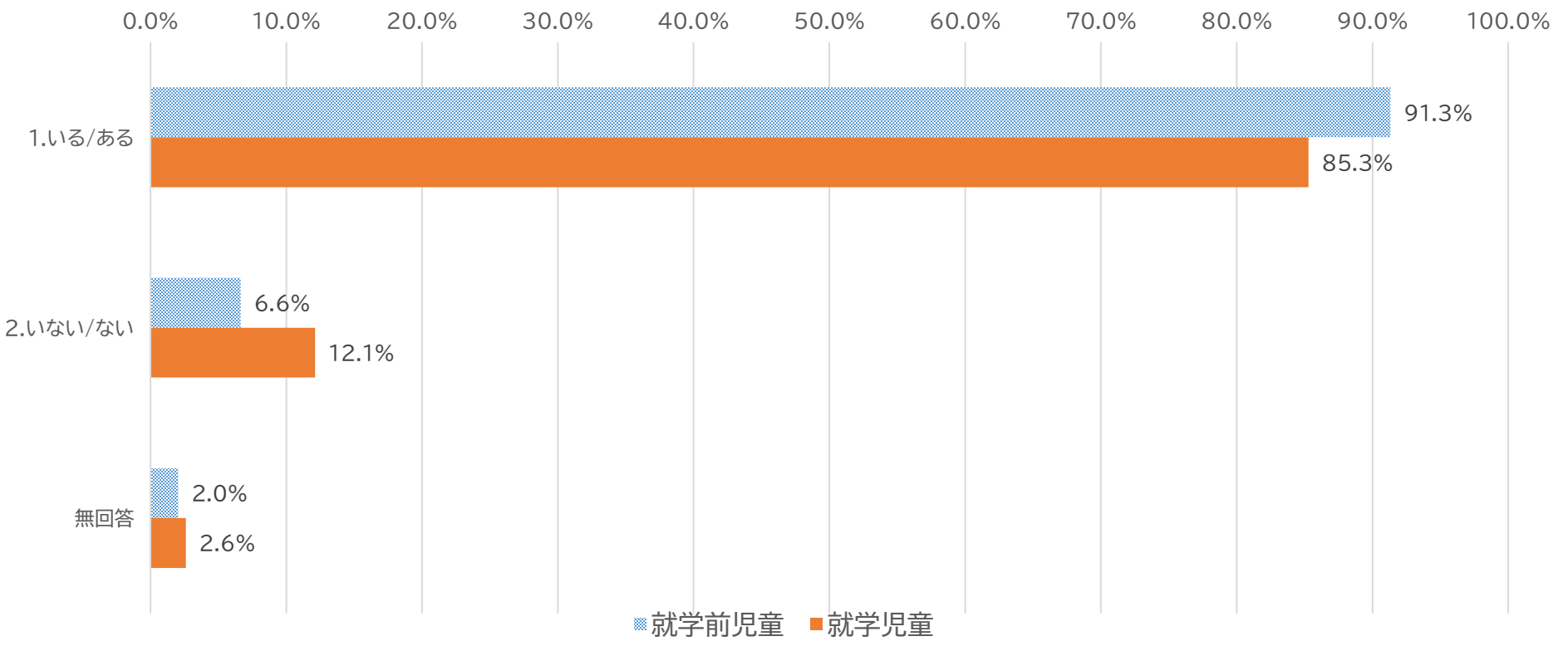
N=651（就学前児童）、277（就学児童）※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



就学前児童は、「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」と回答した割合が、48.2%と最も高く、次いで「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が26.9%となっている。一方、就学児童は、「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」と回答した割合が、46.9%と最も高く、次いで「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が25.6%となっている。両者を比較すると、子どもを見てもらえる人の傾向に共通の特徴があるものの、「緊急のときや用事があるときに子どもを見てもらえる友人や知人がいる」と回答した割合に差があり、就学児童の保護者の子育て環境等に違いがある。

問10（就学児童問8）　あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=542（就学前児童）、231（就学児童）



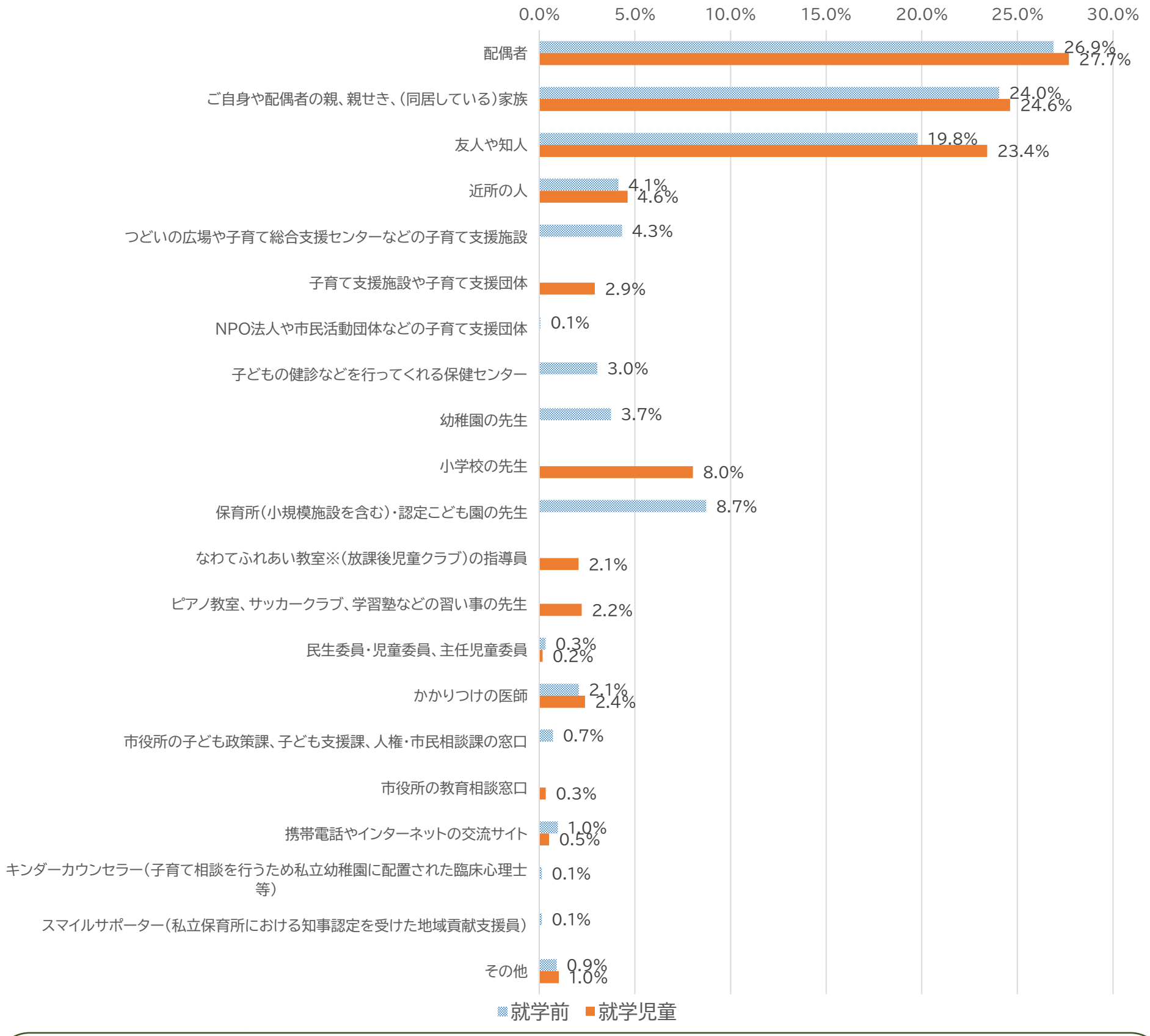
就学前児童では、「いる/ある」と回答した割合が91.3%、「いない/ない」が6.6%となっている。
一方、就学児童では、「いる/ある」と回答した割合が、85.3%、「いない/ない」が12.1%となっている。
両者を比較すると、就学前児童の方が、子育てや教育について気軽に相談できる人の割合が高くなっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問10-1（就学児童問8-1）　問10（就学児童問8）で「1. いる/ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N=1,547（就学前児童）、585（就学児童）※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



就学前児童においては、「配偶者」に相談している割合が26.9%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」が24.0%、「友人や知人」が19.8%となっている。一方、就学児童においては、「配偶者」に相談している割合が27.7%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」が24.6%、「友人や知人」が23.4%となっている。
両者を比較すると、気軽に相談できる人や場所については、同じ傾向があり、幼稚園・保育所・学校などの子育て環境・教育機関へも一定数回答されている。また、市役所への相談については、就学前児童・就学児童ともに回答した割合が低くなっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

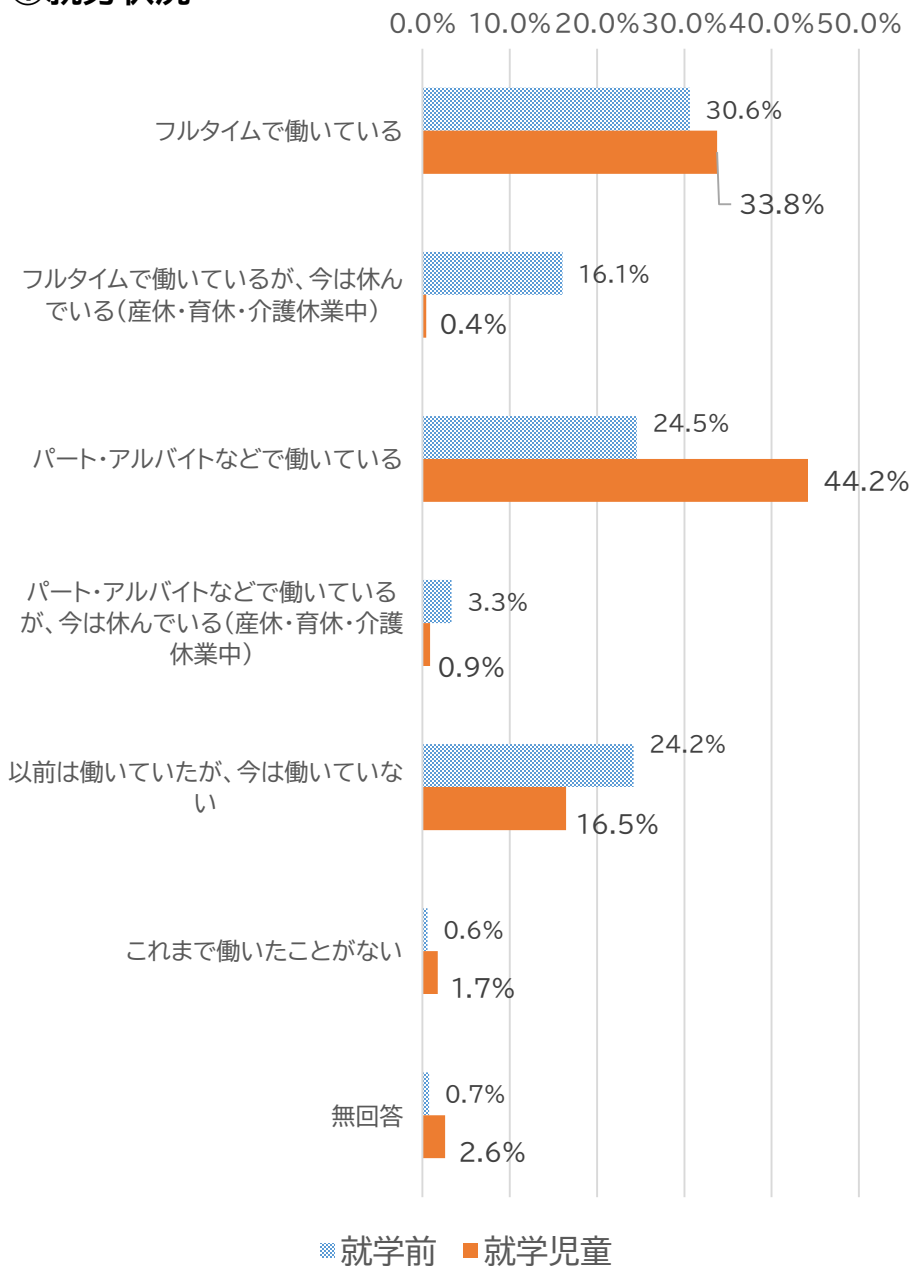
（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

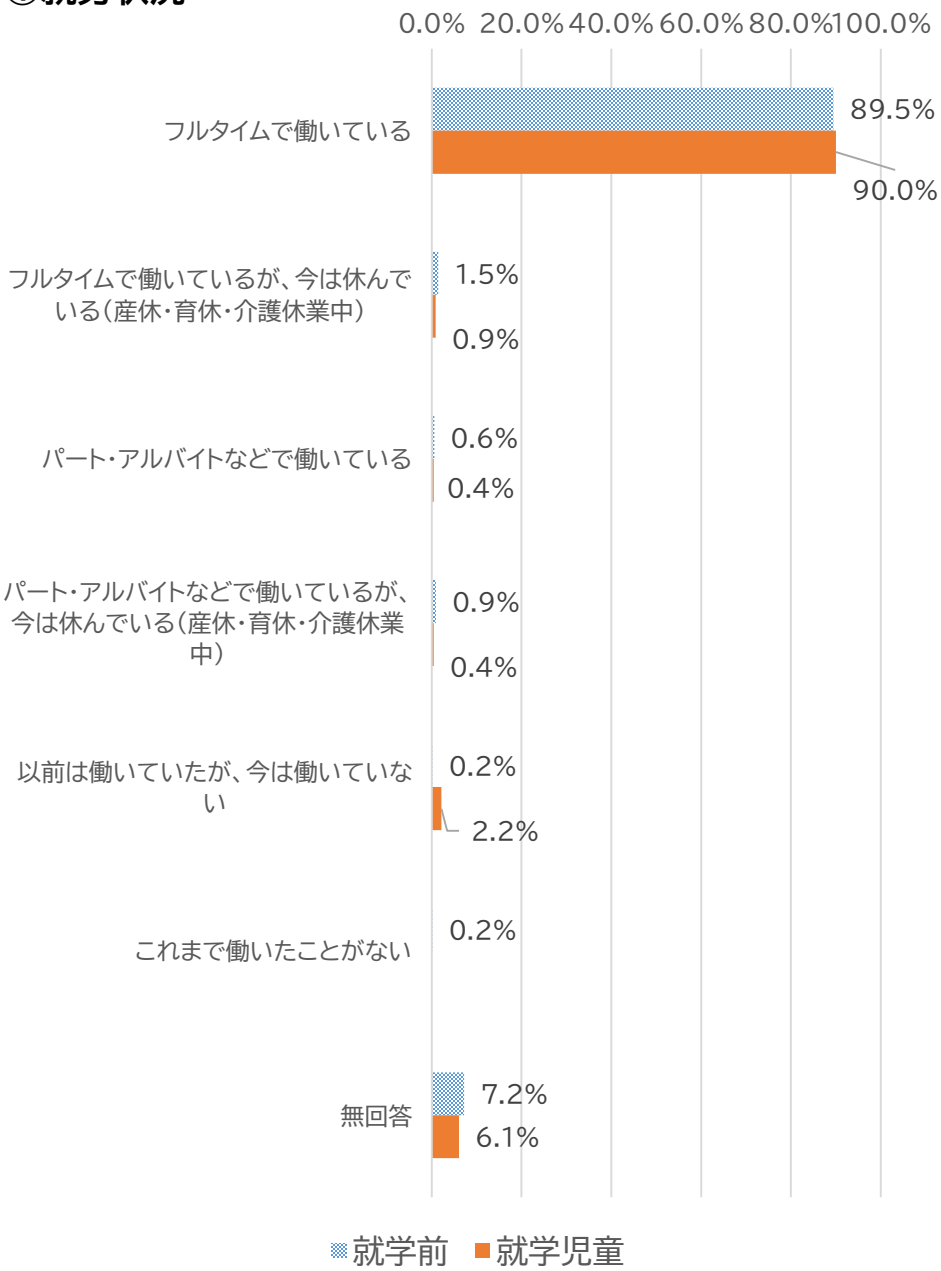
第1　母親

①就労状況



第2　父親

①就労状況



【母親】
就学前児童においては、「フルタイムで働いている」と回答した割合が、30.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」が24.5%、「以前は働いていたが、今は働いていない」が24.2%となっている。一方、就学児童においては、「パート・アルバイトなどで働いている」と回答した割合が44.2%、次いで「フルタイムで働いている」が33.8%、「以前は働いていたが、今は働いていない」が16.5%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「フルタイムで働いている」と回答した割合が、89.5%と最も高くなっている。
一方、就学児童においては、「フルタイムで働いている」と回答した割合が90.0%と最も高くなっている。

【母親・父親の就労状況】
母親は、「フルタイムで働いている」・「パート・アルバイトなどで働いている」の回答割合が高く、父親は、総じて「フルタイムで働いている」の回答割合が高くなっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

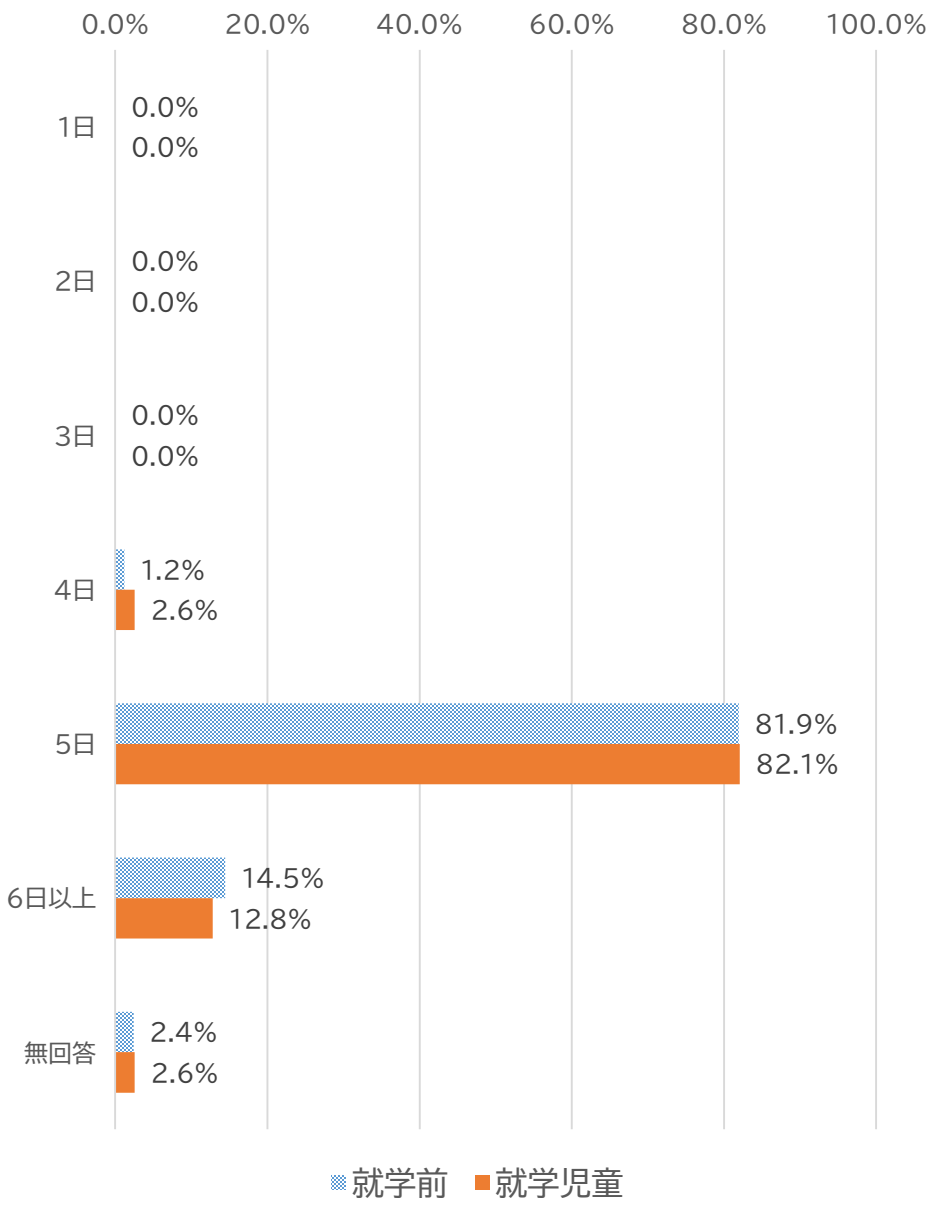
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

②フルタイムで働いている

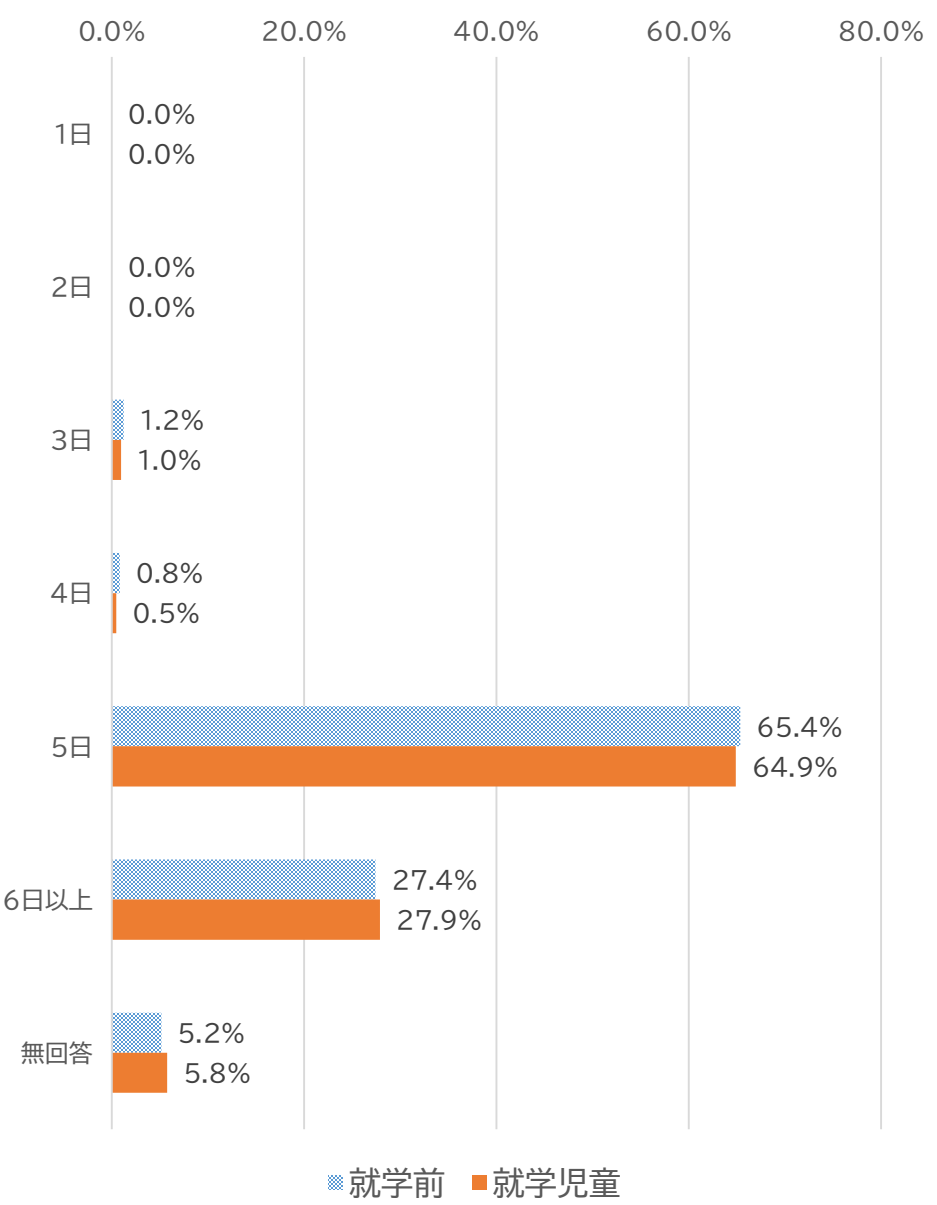
ア）1週当たり就労日数



（2）　父親

②フルタイムで働いている

ア）1週当たり就労日数



【母親】
就学前児童においては、「5日」と回答した割合が81.9%と最も高くなっており、次いで「6日以上」が14.5%となっている。一方、就学児童においては、「5日」と回答した割合が82.1%と最も高くなっており、次いで「6日以上」が12.8%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「5日」と回答した割合が、65.4%と最も高くなっており、次いで「6日以上」が27.4%となっている。一方、就学児童においては、「5日」と回答した割合が64.9%と最も高く、次いで「6日以上」が27.9%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親・父親ともに、「5日」「6日以上」の回答割合が高くなっている状況であるが、父親の方が「6日以上」と回答した割合が高くなっている。

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

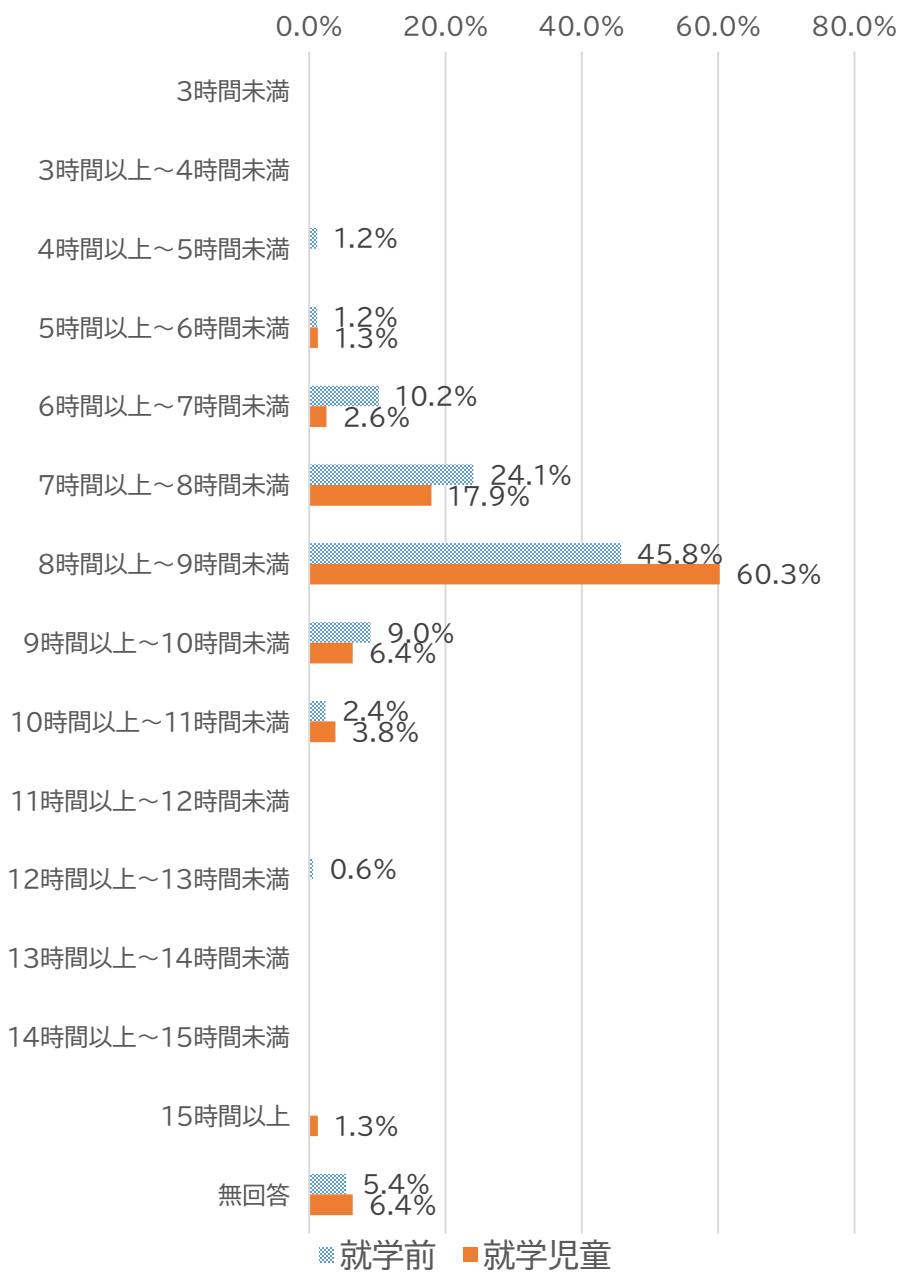
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

②フルタイムで働いている

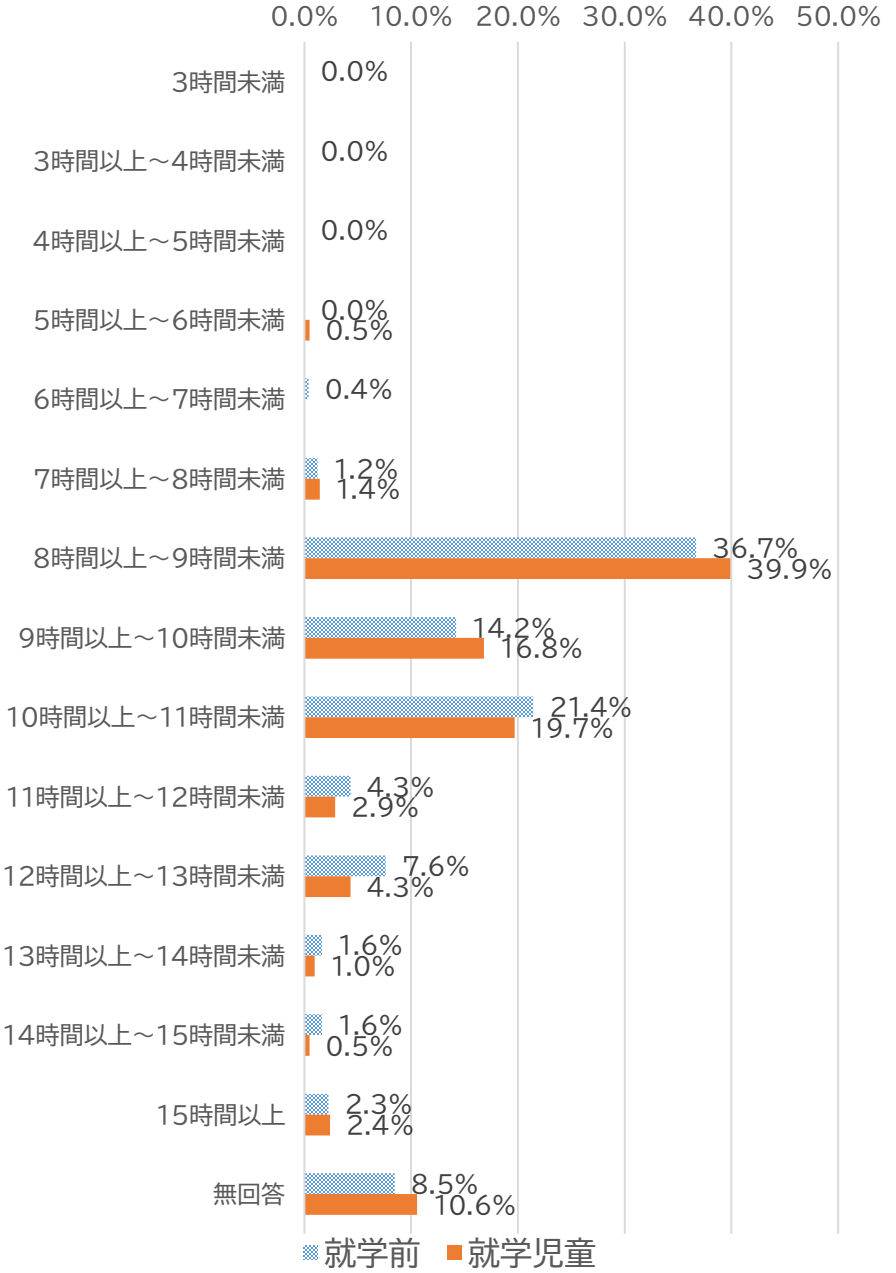
イ）1日当たり就労時間



（2）　父親

②フルタイムで働いている

イ）1日当たり就労時間



【母親】
就学前児童においては、「8時間以上～9時間未満」と回答した割合が45.8%と最も高くなっており、次いで「7時間以上～8時間未満」が24.1%となっている。一方、就学児童においては、「8時間以上～9時間未満」と回答した割合が60.3%と最も高くなっており、次いで「7時間以上～8時間未満」が17.9%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「8時間以上～9時間未満」と回答した割合が36.7%と最も高くなっており、次いで「10時間以上～11時間未満」が21.4%となっている。一方、就学児童においては、「8時間以上～9時間未満」と回答した割合が39.9%と最も高くなっており、次いで「10時間以上～11時間未満」が19.7%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親・父親双方に、「8時間以上～9時間未満」の回答割合が高くなっている状況であるが、全体的に父親の方が1日の就労時間が長くなっている傾向がある。

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

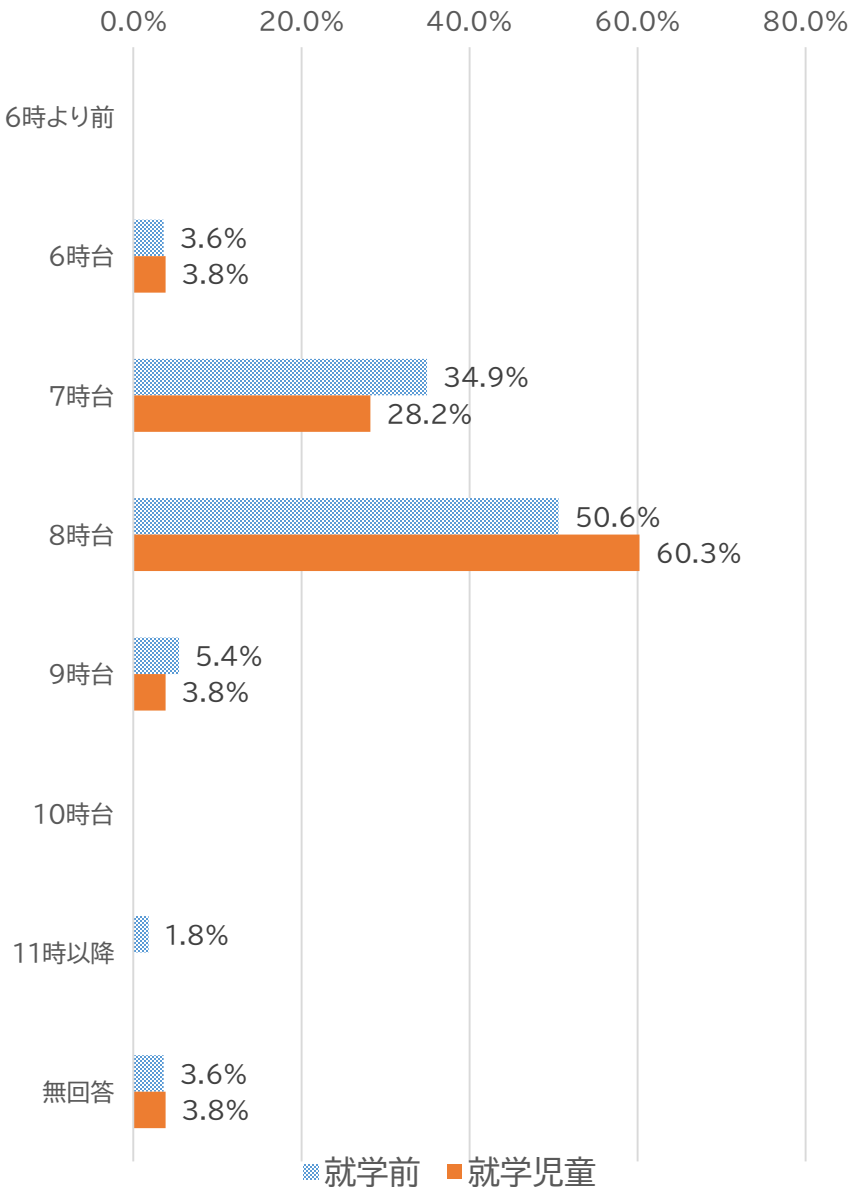
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）母親

②フルタイムで働いている

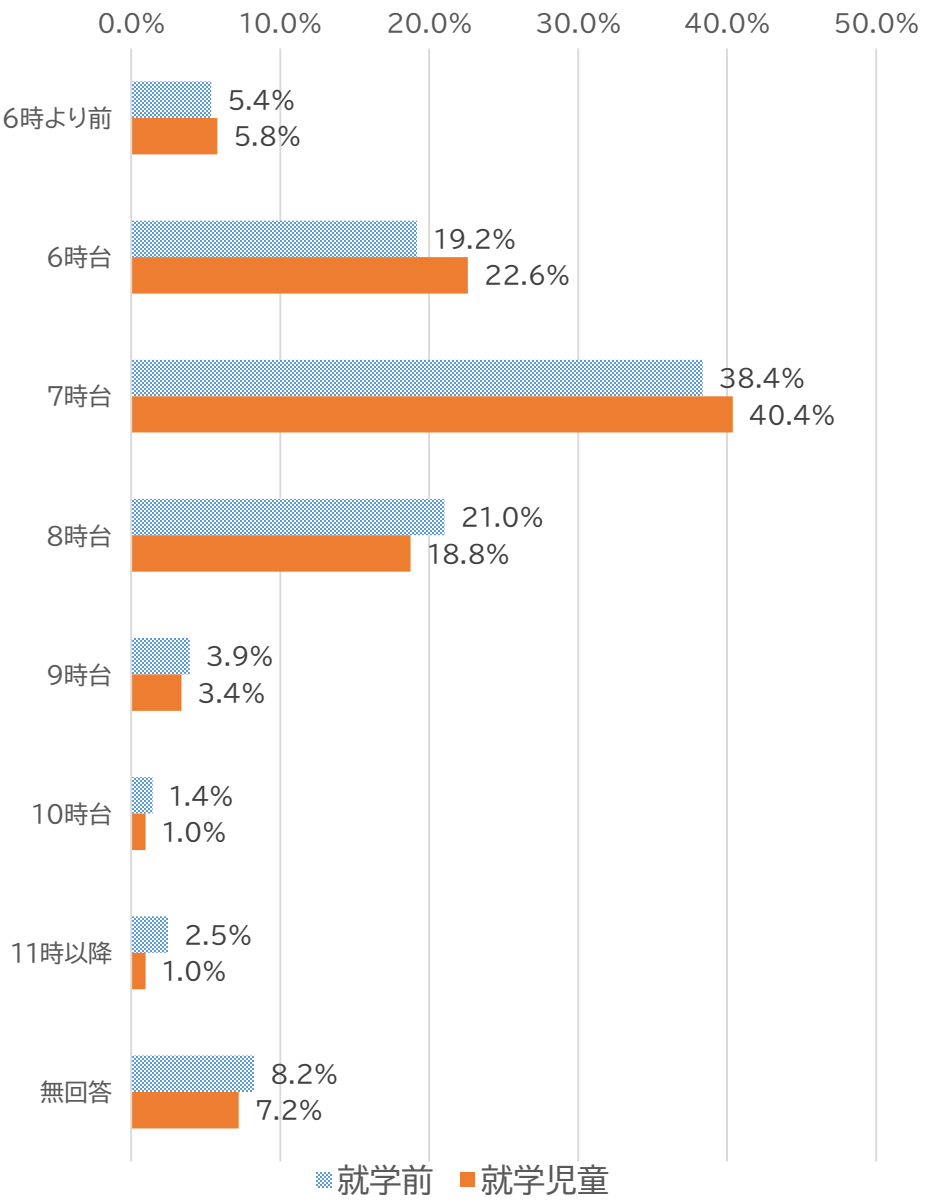
ウ）家を出る時刻



（1）父親

②フルタイムで働いている

ウ）家を出る時刻



【母親】
就学前児童においては、「8時台」と回答した割合が50.6%と最も高くなっており、次いで「7時台」が34.9%となっている。一方、就学児童においては、「8時台」と回答した割合が60.3%と最も高くなっており、次いで「7時台」が28.2%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「7時台」と回答した割合が38.4%と最も高くなっており、次いで「8時台」が21.0%、「6時台」が19.2%となっている。一方、就学児童においては、「7時台」と回答した割合が40.4%と最も高くなっており、次いで「6時台」が22.6%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親・父親双方に、「7時台」、「8時台」の回答割合が高くなっている状況であるが、父親の方が家を出る時刻が早い傾向にある。

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

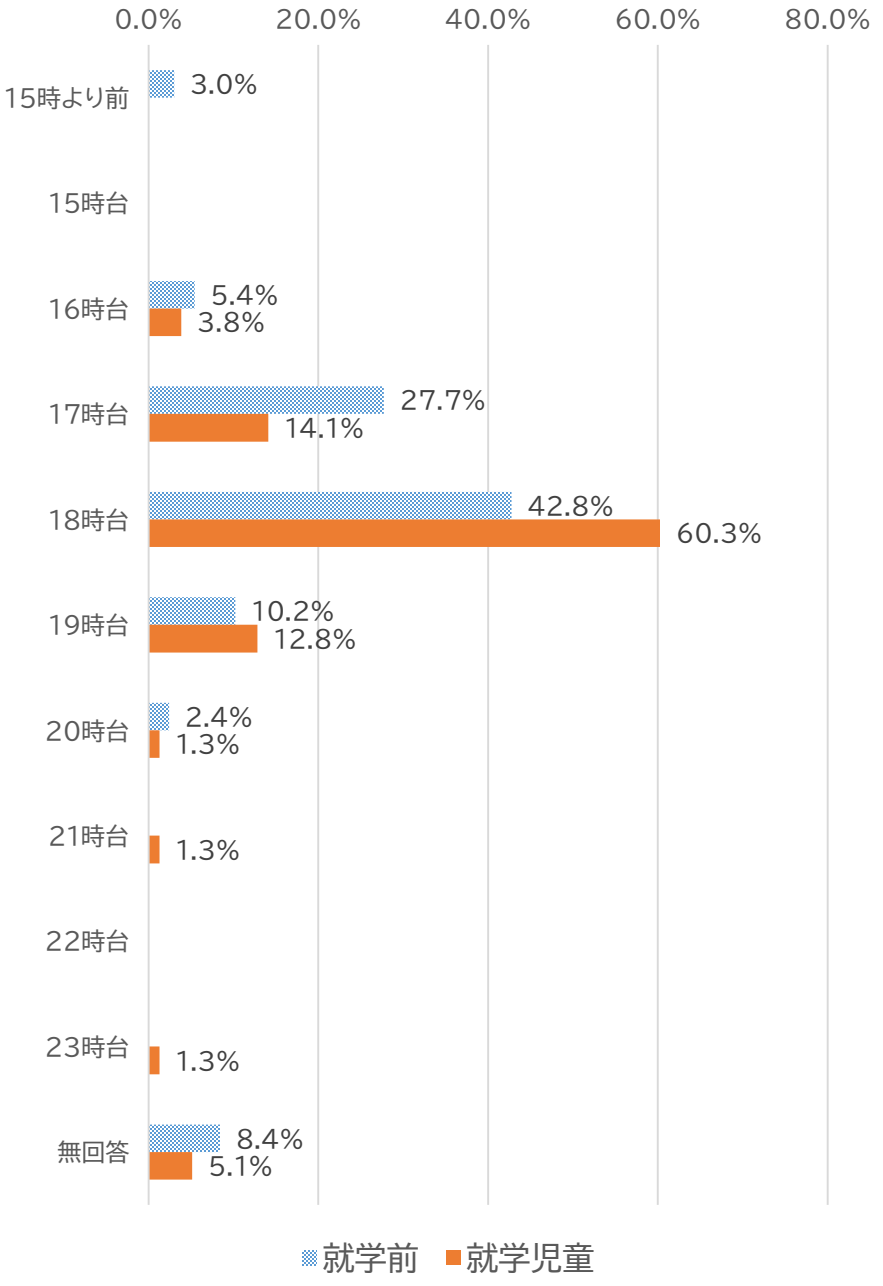
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

②フルタイムで働いている

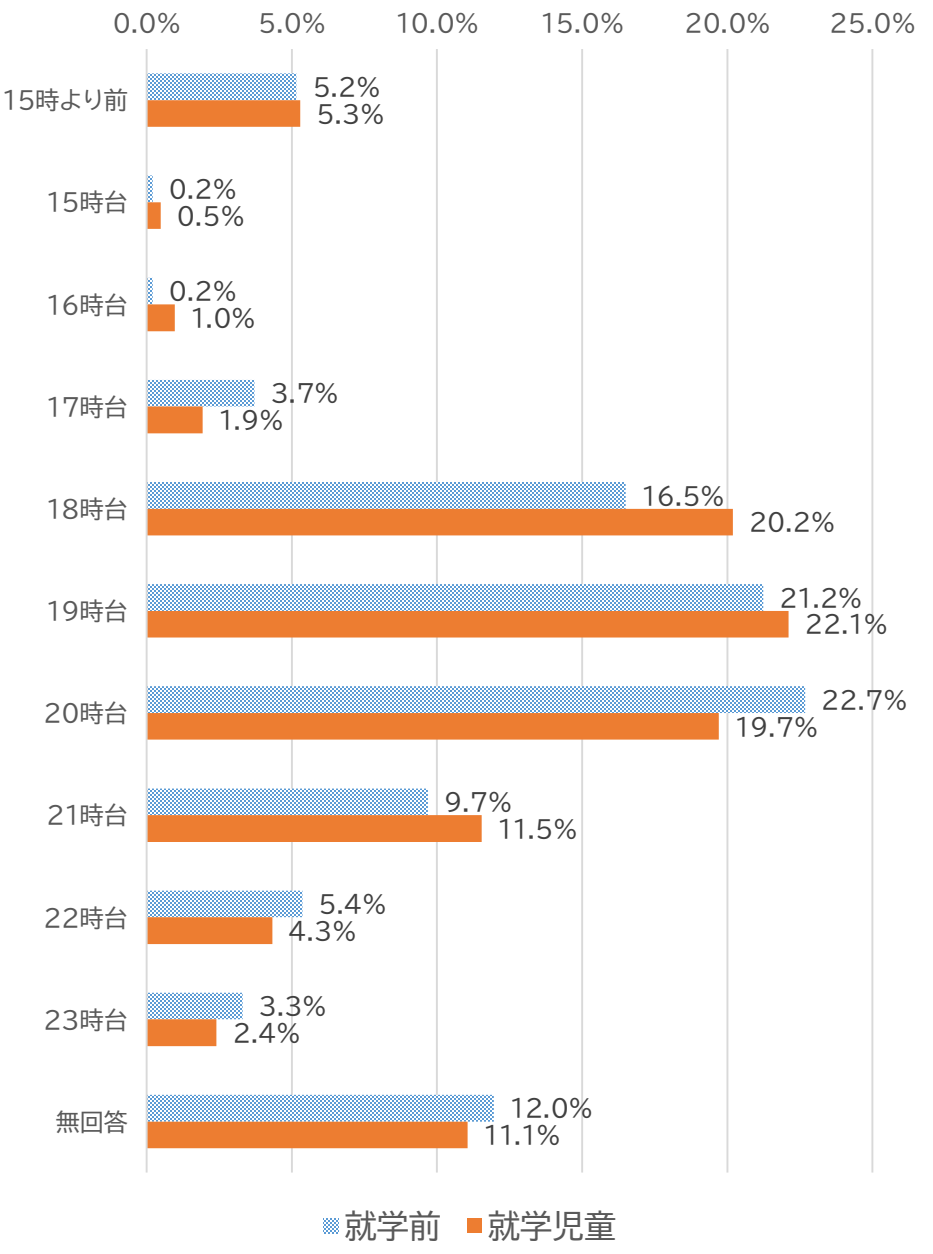
エ）帰宅時刻



（2）　父親

②フルタイムで働いている

エ）帰宅時刻



【母親】
就学前児童においては、「18時台」と回答した割合が42.8%と最も高くなっており、次いで「17時台」が27.7%となっている。一方、就学児童においては、「18時台」と回答した割合が60.3%と最も高くなっており、次いで「17時台」が14.1%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「20時台」と回答した割合が22.7%と最も高くなっており、次いで「19時台」が21.2%、「18時台」が16.5%となっている。一方、就学児童においては、「19時台」と回答した割合が22.1%と最も高くなっており、次いで「18時台」が20.2%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親は、総じて「18時台」、「17時台」と回答した割合が高くなっている。一方、父親は、「20時台」、「19時台」と回答した割合が高くなっており、父親の方が帰宅が遅い傾向にある。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

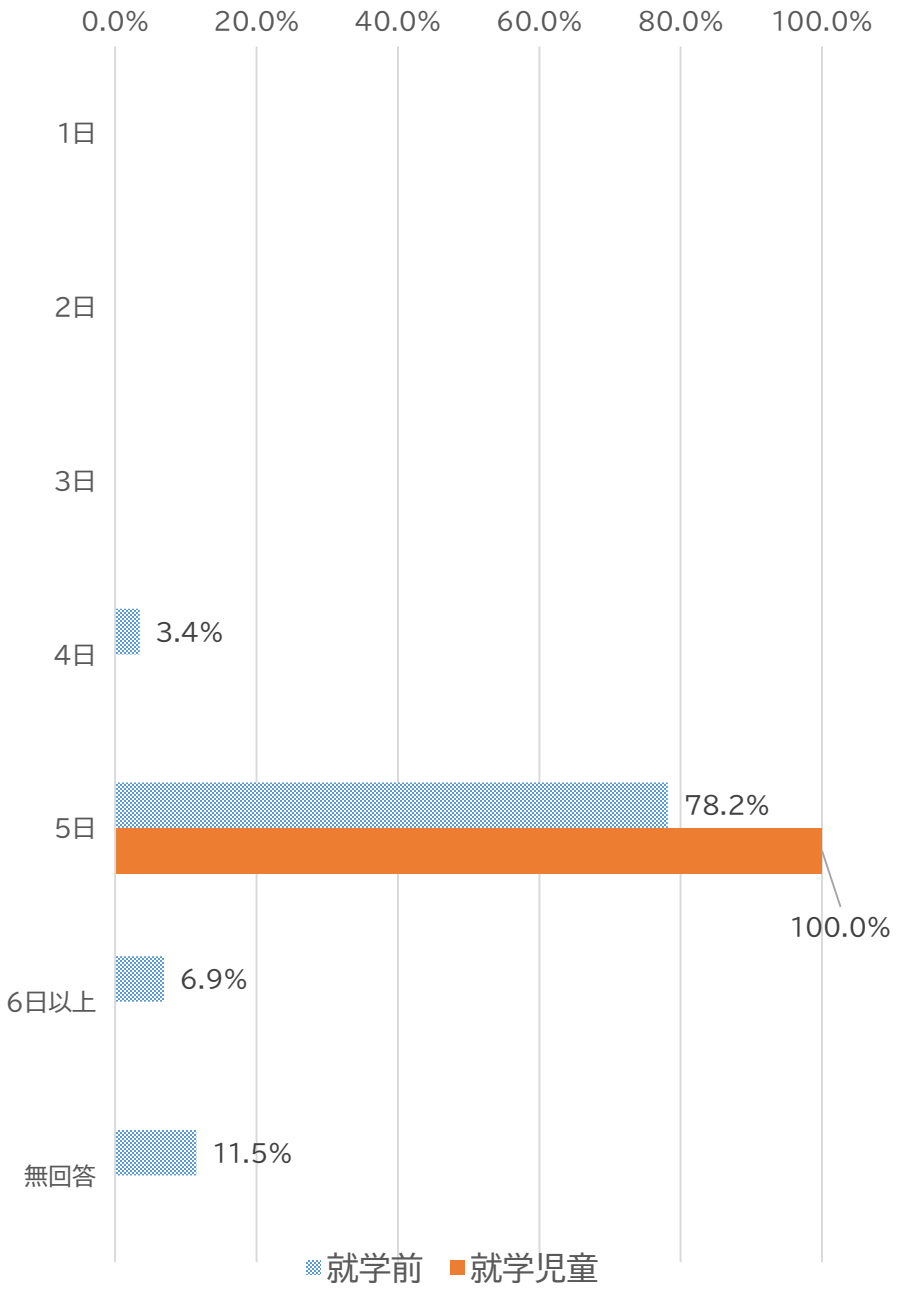
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

③フルタイムで働いているが、今は休んでいる

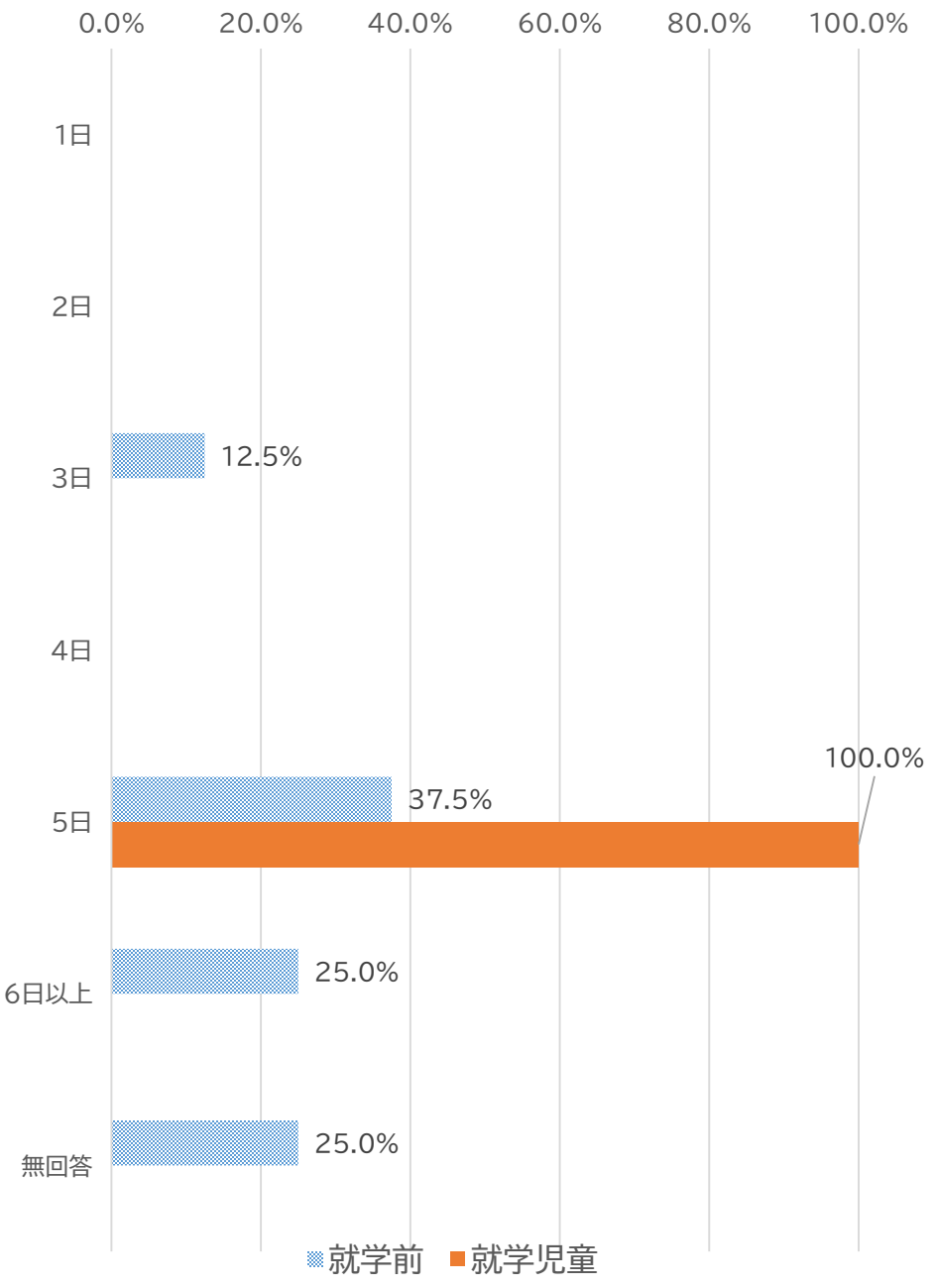
ア）1週当たり就労日数



（2）　父親

③フルタイムで働いているが、今は休んでいる

ア）1週当たり就労日数



【母親】
就学前児童においては、「5日」と回答した割合が78.2%と最も高くなっており、次いで「6日以上」が6.9%となっている。一方、就学児童においては、「5日」と回答した割合が100%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「5日」と回答した割合が37.5%と最も高くなっており、次いで「6日以上」が25.0%となっている。一方、就学児童においては、「5日」と回答した割合が100%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親・父親ともに「5日」と回答した割合が高くなっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

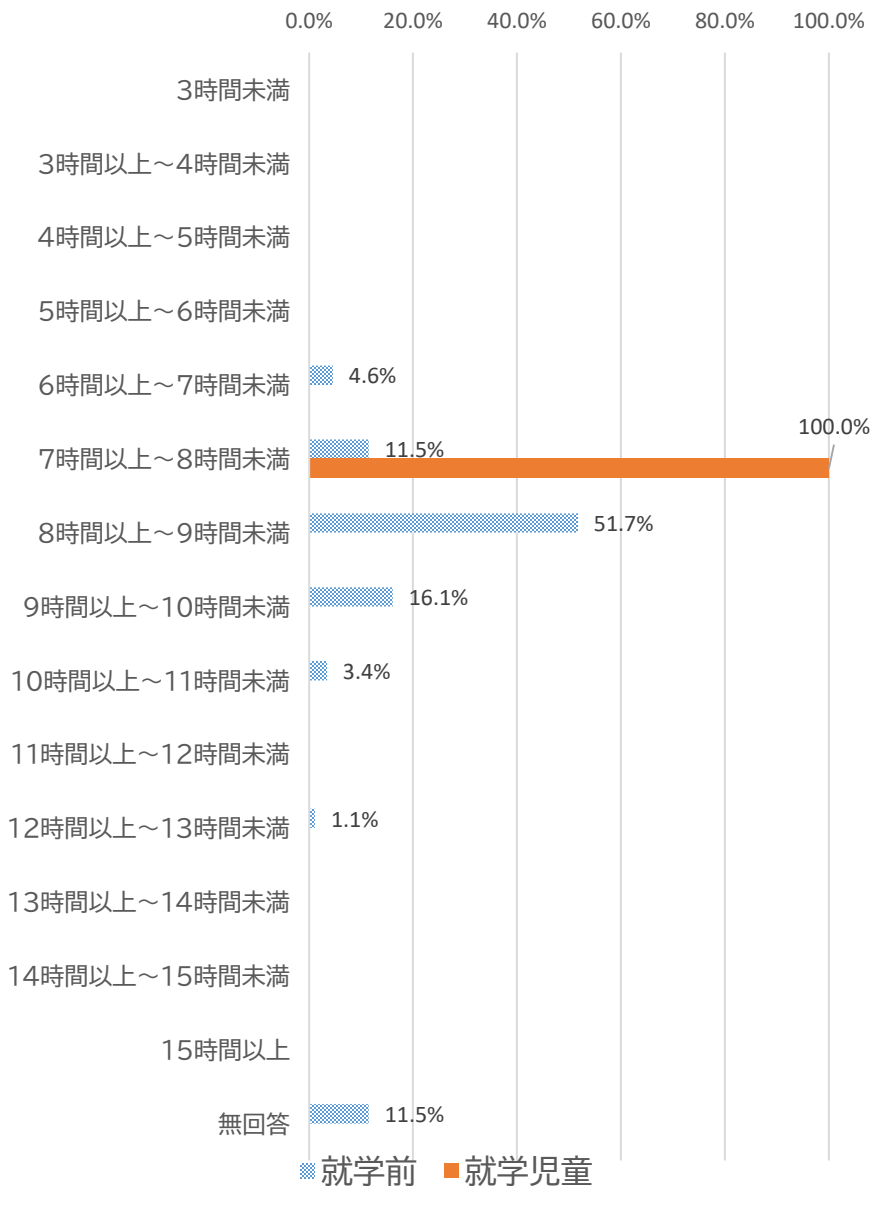
問11（就学児童問9）封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）母親

③フルタイムで働いているが、今は休んでいる

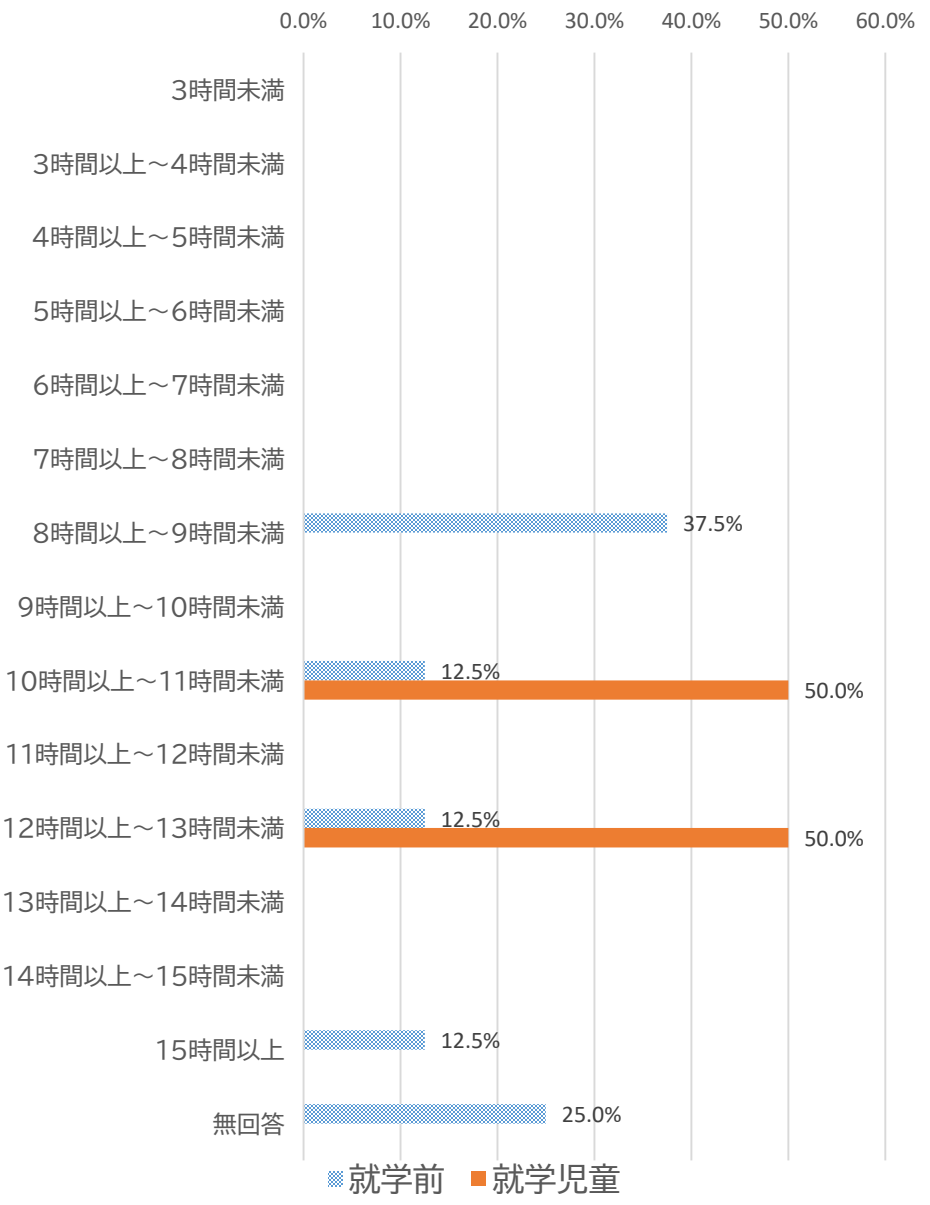
イ）1日当たり就労時間



（2）父親

③フルタイムで働いているが、今は休んでいる

イ）1日当たり就労時間



【母親】
就学前児童においては、「8時間以上～9時間未満」と回答した割合が51.7%と最も高くなっており、次いで「9時間以上～10時間未満」が16.1%となっている。一方、就学児童においては、「7時間以上～8時間未満」と回答した割合が100%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「8時間以上～9時間未満」と回答した割合が37.5%と最も高くなっており、次いで「10時間以上～11時間未満」、「12時間以上～13時間未満」が12.5%となっている。
一方、就学児童においては、「10時間以上～11時間未満」、「12時間以上～13時間未満」と回答した割合が、それぞれ50.0%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親は、「7時間以上～8時間未満」の回答割合が高く、父親は、「10時間以上～11時間未満」・「12時間以上～13時間未満」の回答割合が高い状況である。全体的に父親の方が1日の就労時間が長くなっている傾向がある。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

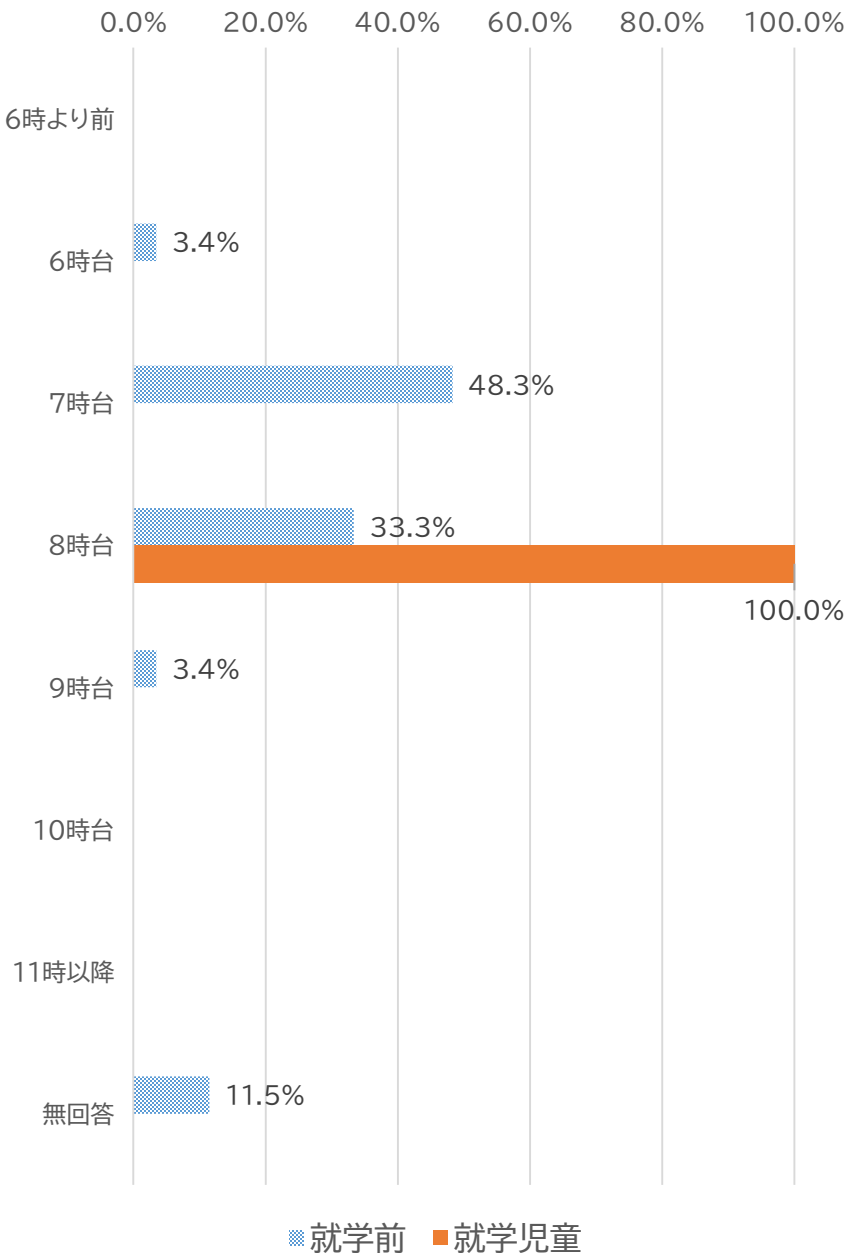
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

③フルタイムで働いているが、今は休んでいる

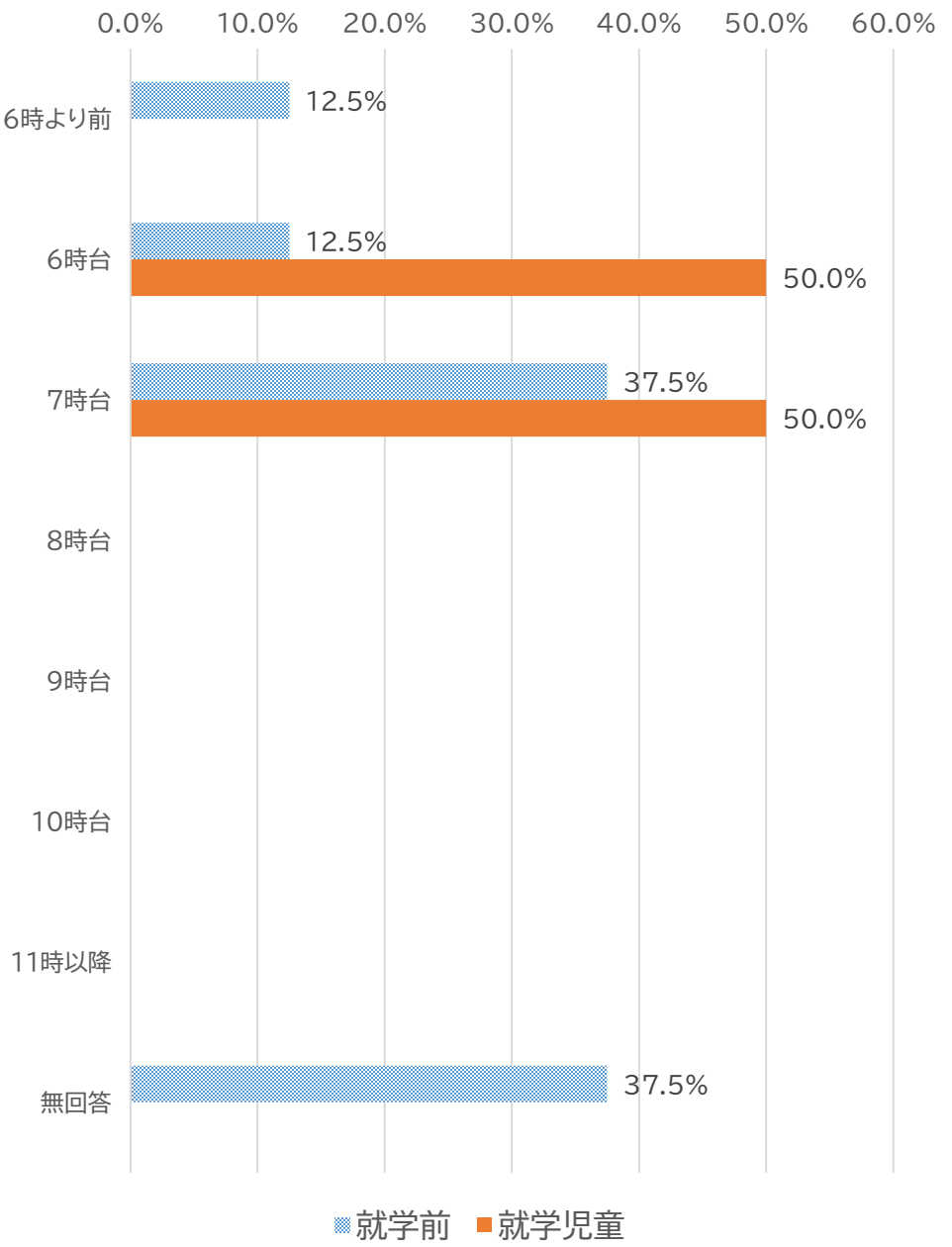
ウ）家を出る時刻



（2）　父親

③フルタイムで働いているが、今は休んでいる

ウ）家を出る時刻



【母親】
就学前児童においては、「7時台」と回答した割合が48.3%と最も高くなっており、次いで「8時台」が33.3%となっている。一方、就学児童においては、「8時台」と回答した割合が100%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「7時台」と回答した割合が37.5%と最も高くなっており、次いで「6時台」、「6時より前」が12.5%となっている。一方、就学児童においては、「6時台」、「7時台」と回答した割合がそれぞれ50%となっている。

【母親・父親】
母親・父親双方に、「7時台」の回答割合が高くなっている状況であるが、父親の方が家を出る時刻が「6時台」、「6時より前」など早い傾向にある。

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

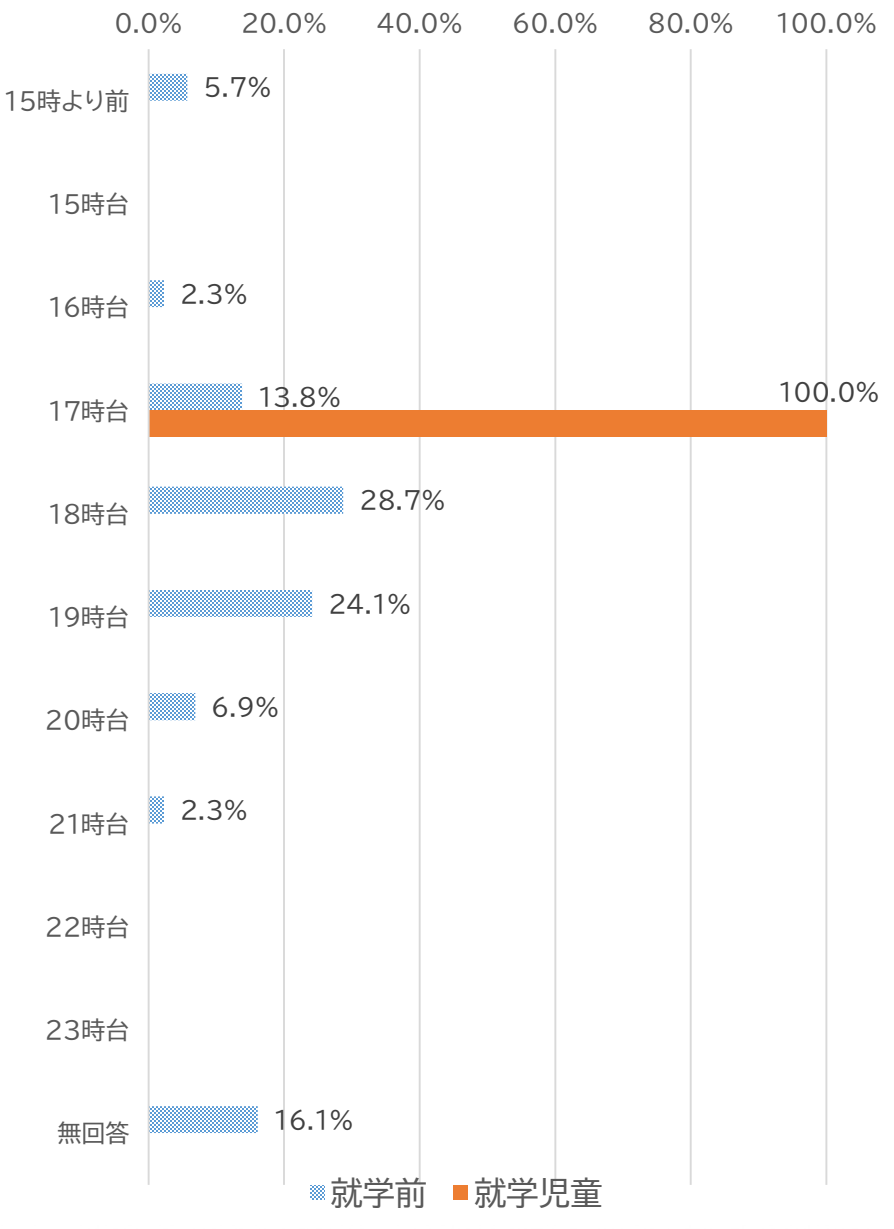
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

③フルタイムで働いているが、今は休んでいる

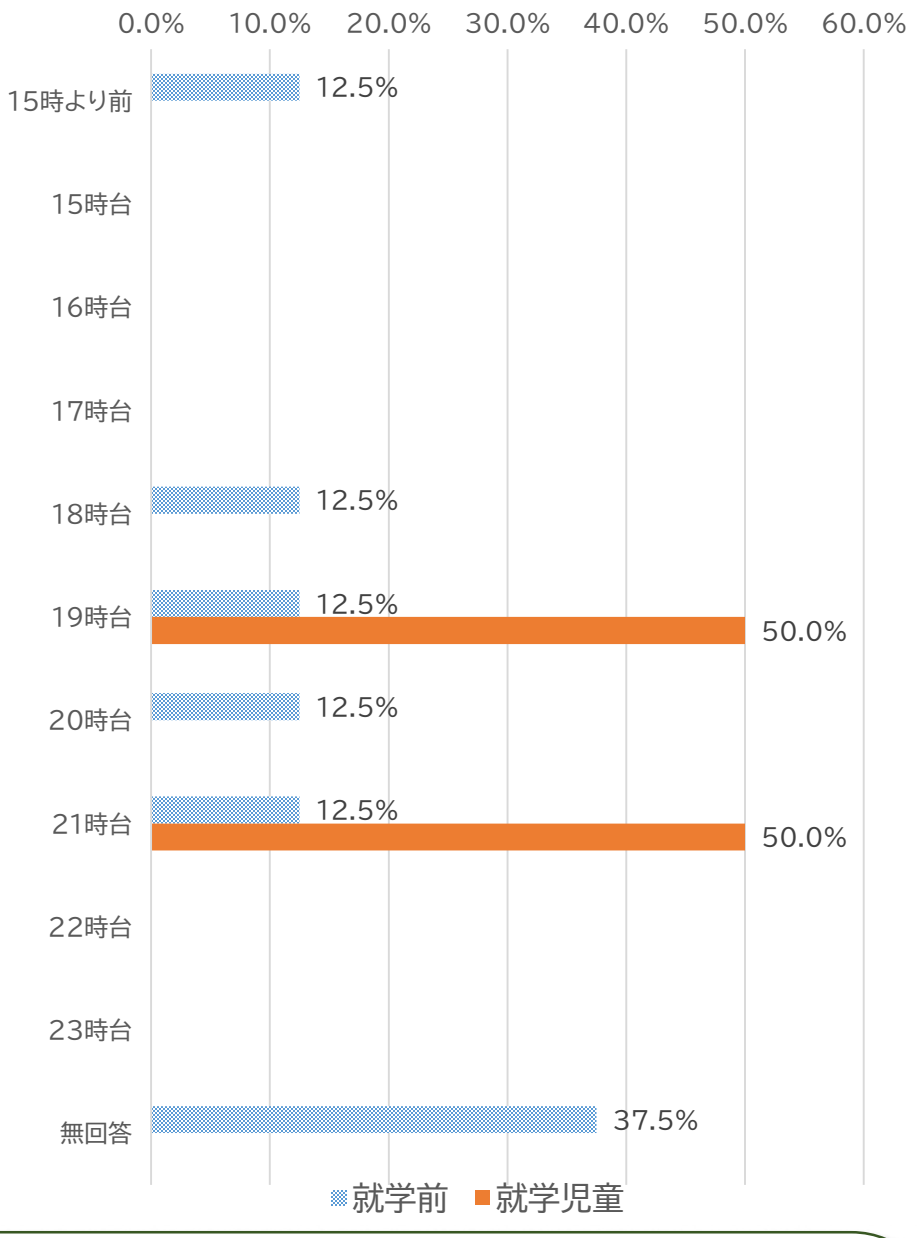
エ）帰宅時刻



（2）　父親

③フルタイムで働いているが、今は休んでいる

エ）帰宅時刻



【母親】
就学前児童においては、「18時台」と回答した割合が28.7%と最も高くなっており、次いで「19時台」が24.1%となっている。一方、就学児童においては、「17時台」と回答した割合が100%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「15時より前」、「18時台」、「19時台」、「20時台」、「21時台」と回答した割合がそれぞれ12.5%となっている。一方、就学児童においては、「19時台」、「21時台」と回答した割合が50.0%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親は、総じて17時台～19時台へ回答した割合が高くなっている。一方、父親は、18時台～21時台と回答した割合が高くなっており、父親の方が帰宅が遅い傾向にある。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

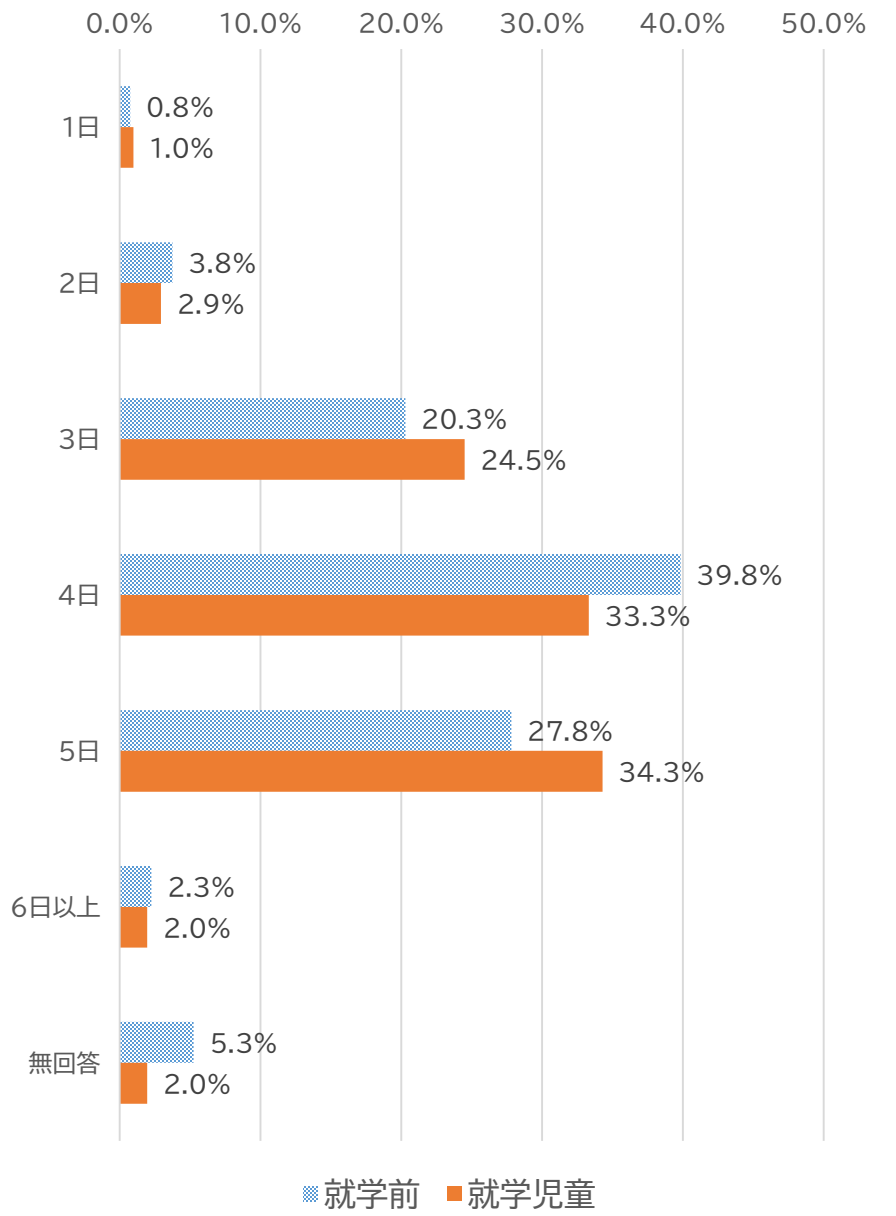
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

④パート・アルバイトなどで働いている。

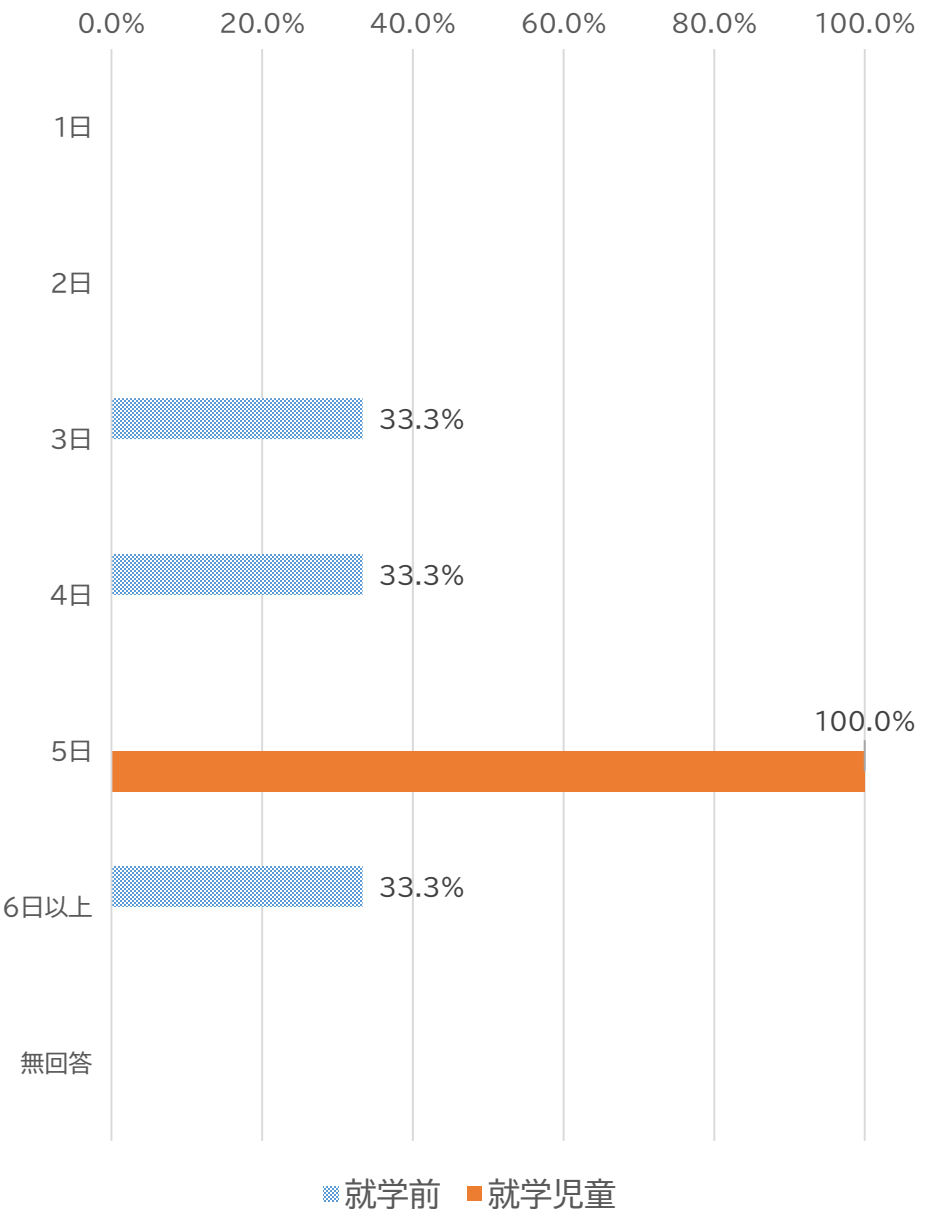
ア）1週当たり就労日数



（2）　父親

④パート・アルバイトなどで働いている。

ア）1週当たり就労日数



【母親】
就学前児童においては、「4日」と回答した割合が39.8%と最も高くなっており、次いで「5日」が27.8%、「3日」が20.3%となっている。一方、就学児童においては、「5日」と回答した割合が34.3%と最も高くなっており、次いで「4日」が33.3%、「3日」が24.5%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「3日」、「4日」、「6日以上」と回答した割合が、それぞれ33.3%となっている。一方、就学児童においては、「5日」と回答した割合が100%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親は、「4日」「5日」の回答割合が高く、父親は、就学前児童では、「3日」、「4日」、「6日以上」、就学児童では「5日」という状況である。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

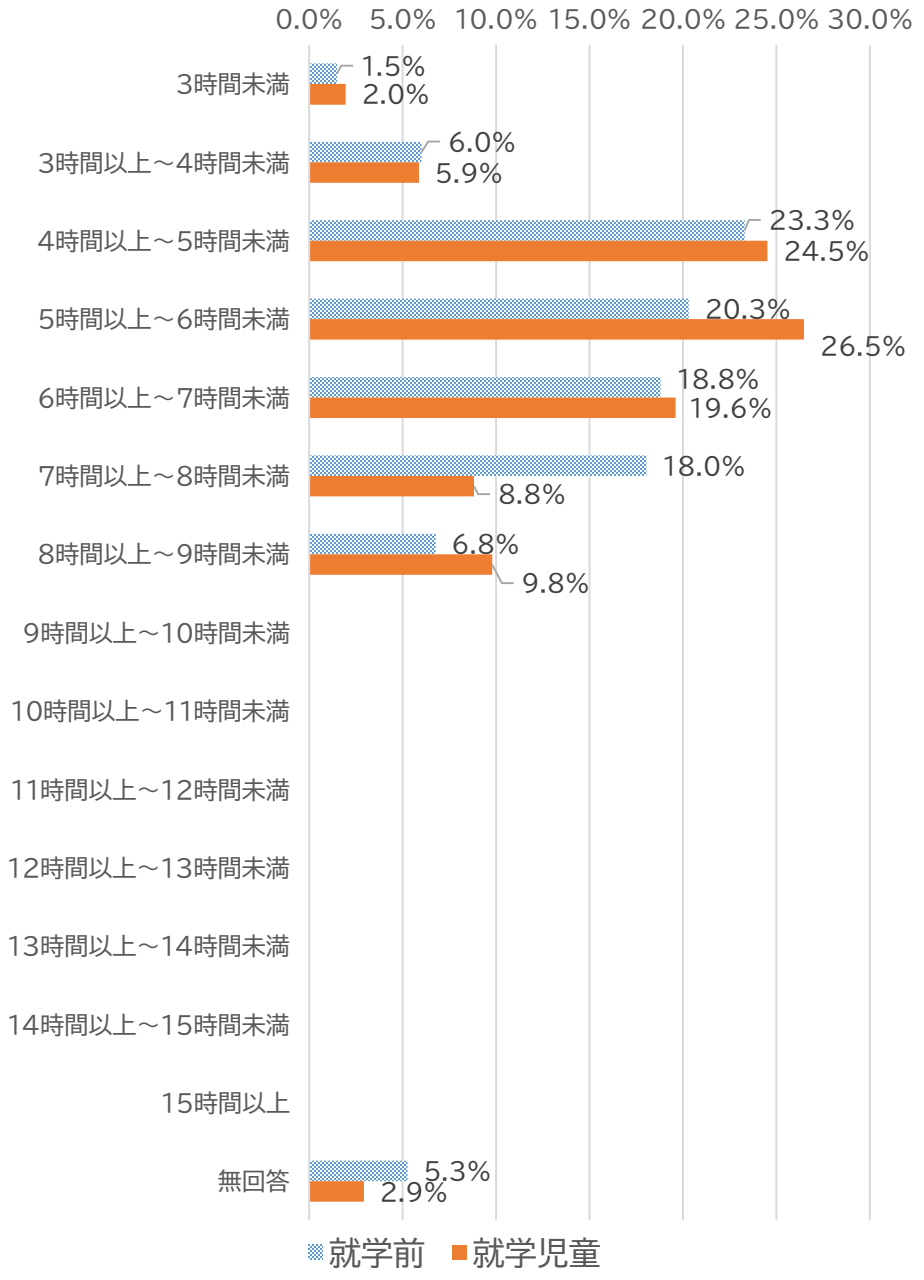
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

④パート・アルバイトなどで働いている。

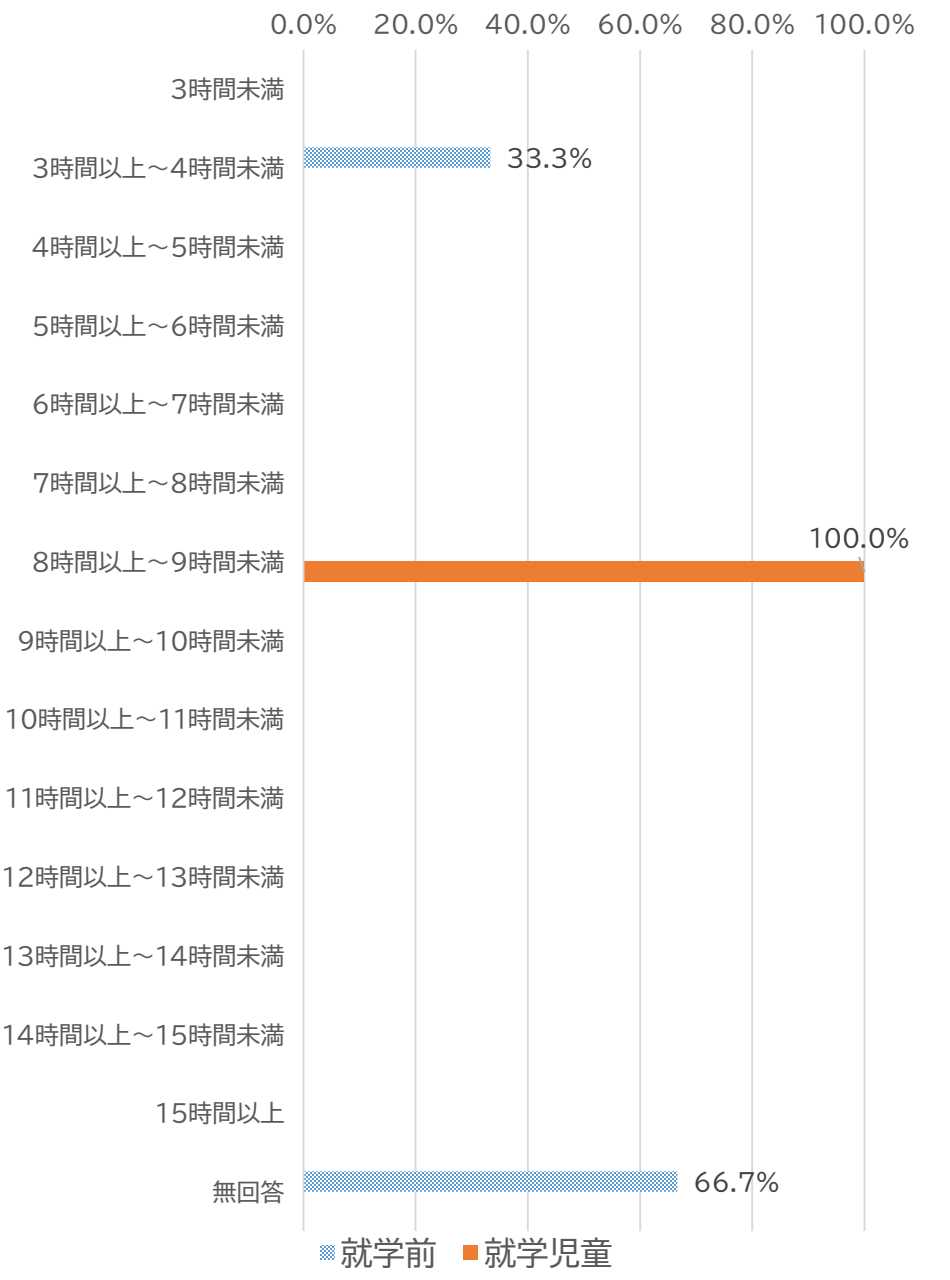
イ）1日当たり就労時間



（2）　父親

④パート・アルバイトなどで働いている。

イ）1日当たり就労時間



【母親】
就学前児童においては、「4時間以上～5時間未満」と回答した割合が23.3%と最も高くなっており、次いで「5時間以上～6時間未満」が20.3%、「6時間以上～7時間未満」が18.8%となっている。一方、就学児童においては、「5時間以上～6時間未満」と回答した割合が26.5%と最も高くなっており、次いで「4時間以上～5時間未満」が24.5%、「6時間以上～7時間未満」が19.6%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「3時間～4時間未満」と回答した割合が33.3%となっている。一方、就学児童においては、「8時間以上～9時間未満」と回答した割合が100%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親は、「4時間以上～5時間未満」、「5時間以上～6時間未満」、「6時間以上～7時間未満」が総じて回答の割合が高く、就学前児童においては、「7時間以上～8時間」の回答も一定ある。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

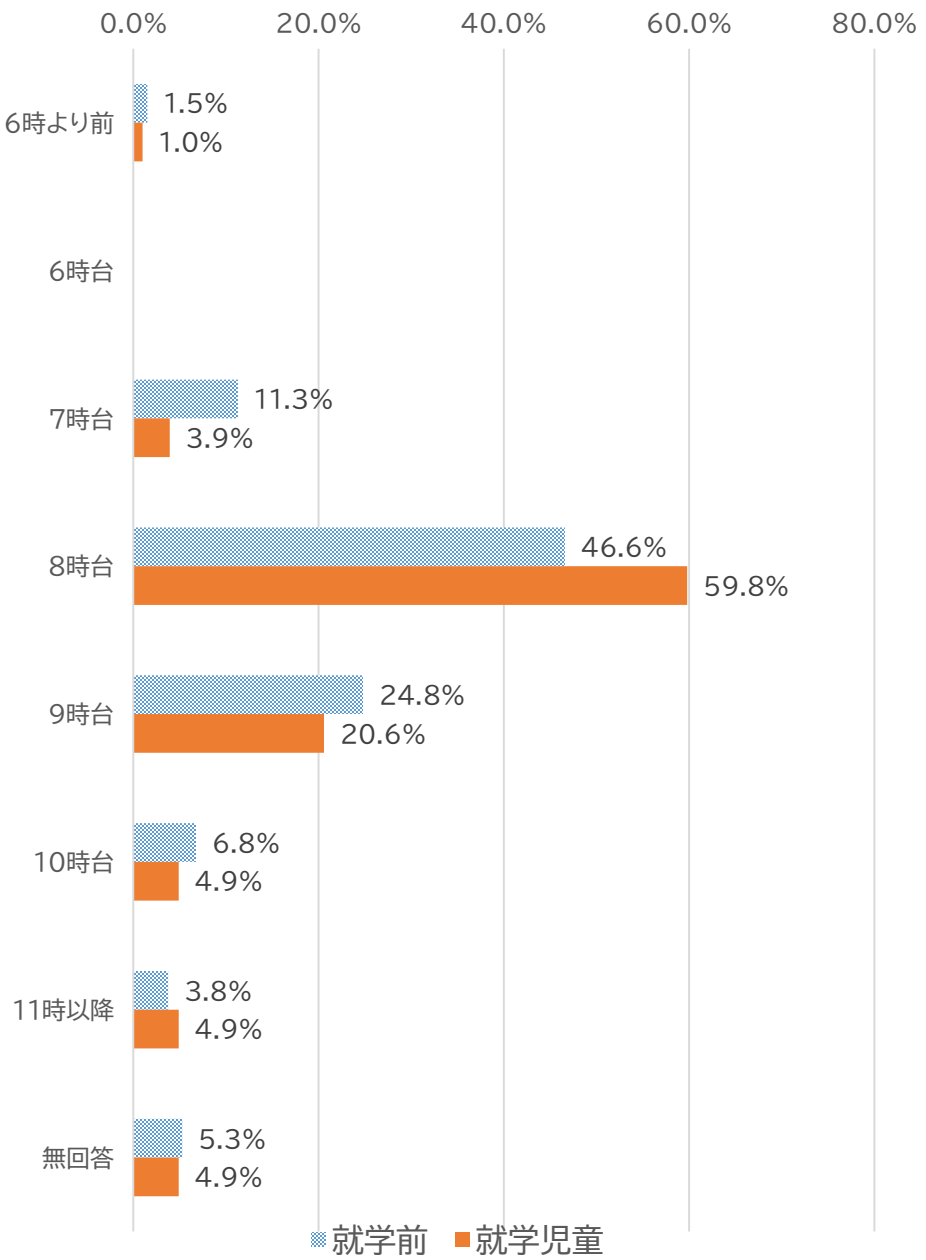
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

④パート・アルバイトなどで働いている。

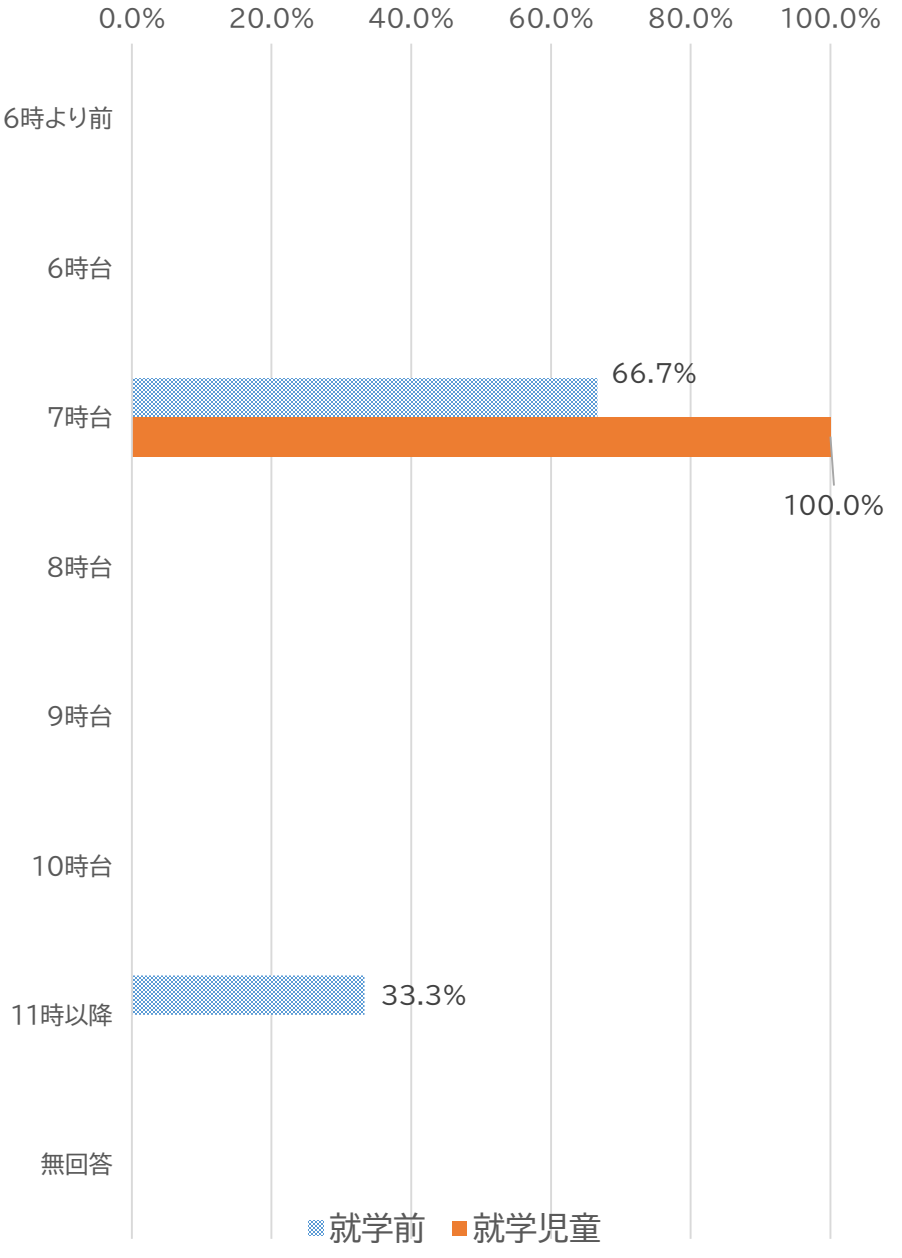
ウ）家を出る時刻



（2）　父親

④パート・アルバイトなどで働いている。

ウ）家を出る時刻



【母親】
就学前児童においては、「8時台」と回答した割合が46.6%と最も高くなっており、次いで「9時台」が24.8%となっている。一方、就学児童においては、「8時台」と回答した割合が59.8%と最も高くなっており、次いで「9時台」が20.6%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「7時台」と回答した割合が66.7%と最も高くなっている。一方、就学児童においては、「7時台」と回答した割合が100%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親は「8時台」、父親は、「7時台」の回答割合が高くなっており、父親の方が家を出る時刻が早い傾向にある。

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

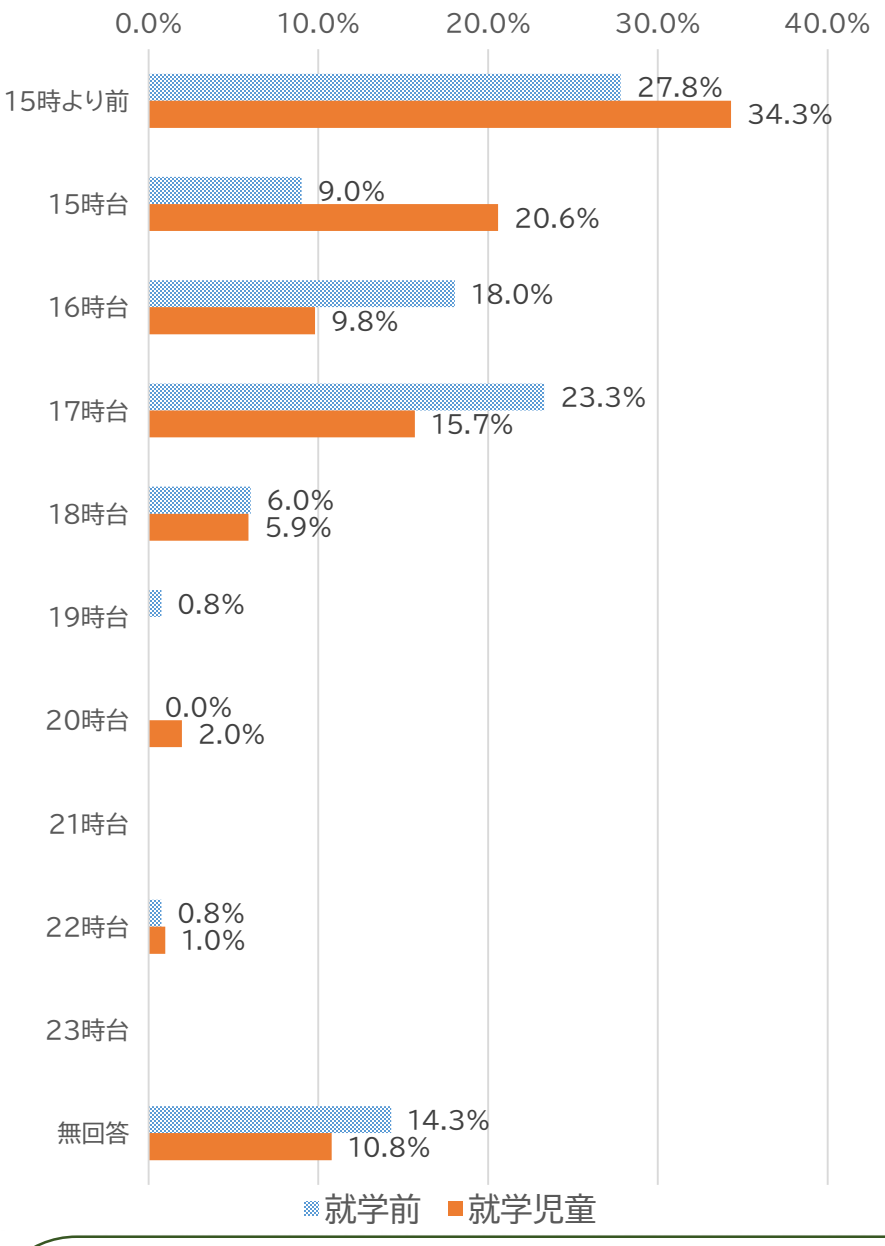
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

④パート・アルバイトなどで働いている。

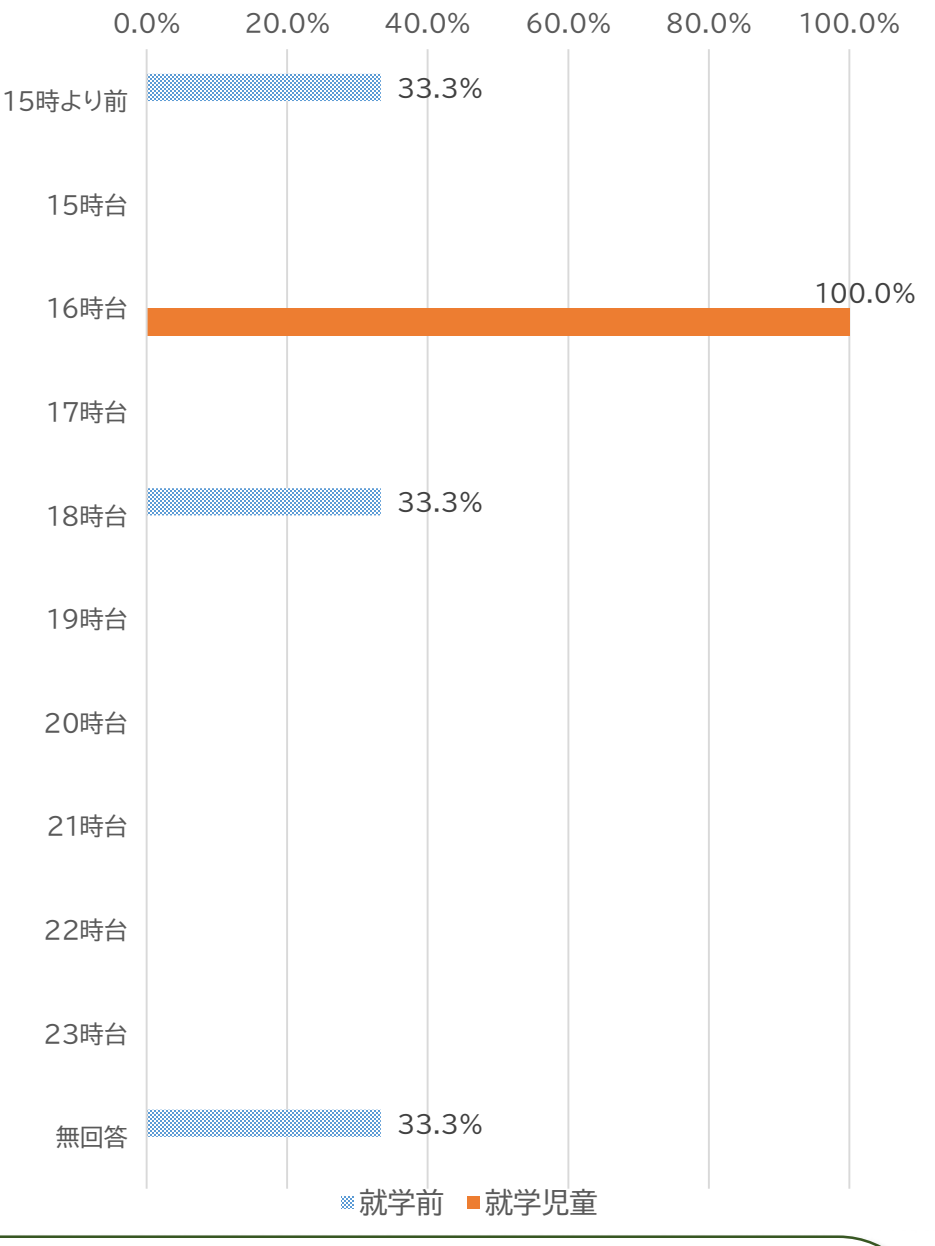
エ）帰宅時刻



（2）　父親

④パート・アルバイトなどで働いている。

エ）帰宅時刻



【母親】
就学前児童においては、「15時より前」と回答した割合が27.8%と最も高くなっており、次いで「17時台」が23.3%、「16時台」が18.0%となっている。一方、就学児童においては、「15時より前」と回答した割合が34.3%と最も高くなっており、次いで「15時台」が20.6%、「17時台」が15.7%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「15時より前」、「18時台」と回答した割合が33.3%となっている。
一方、就学児童においては、「16時台」と回答した割合が100.0%となっている。

【母親・父親の就労状況】
母親は、総じて「15時より前」、「15時台」、「16時台」、「17時台」と回答した割合が高くなっている。
就学前児童と就学児童を比較すると、就学児童の方がより早い帰宅時刻の傾向である。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

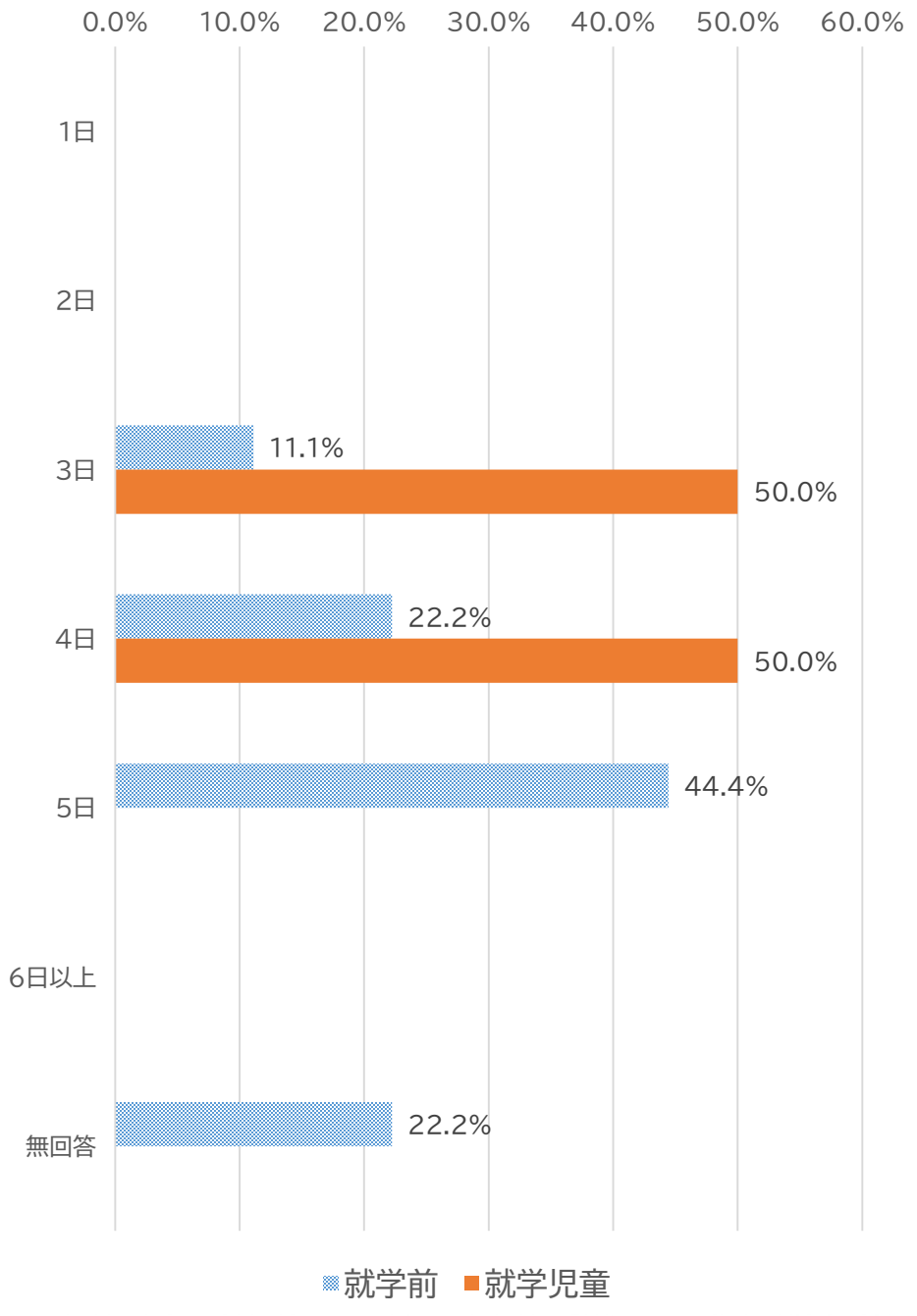
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

⑤パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる。

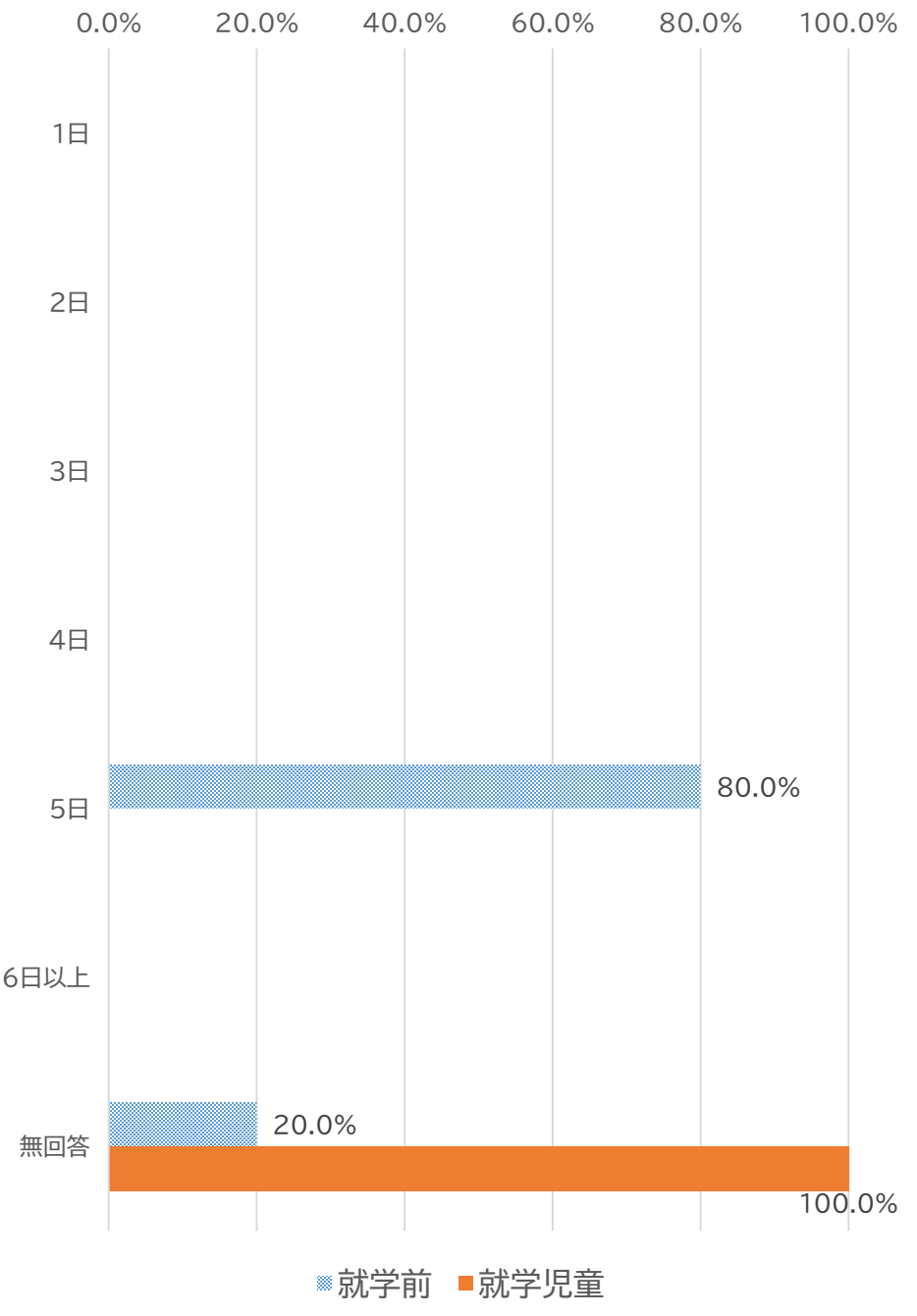
ア）1週当たり就労日数



（2）　父親

⑤パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる。

ア）1週当たり就労日数



【母親】
就学前児童においては、「5日」と回答した割合が44.4%と最も高くなっており、次いで「4日」が22.2%となっている。一方、就学児童においては、「3日」「4日」と回答した割合がそれぞれ50.0%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「5日」と回答した割合が、80.0%となっている。
※就学児童は回答なし

【母親・父親の就労状況】
母親・父親双方に「5日」と回答した割合が高くなっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

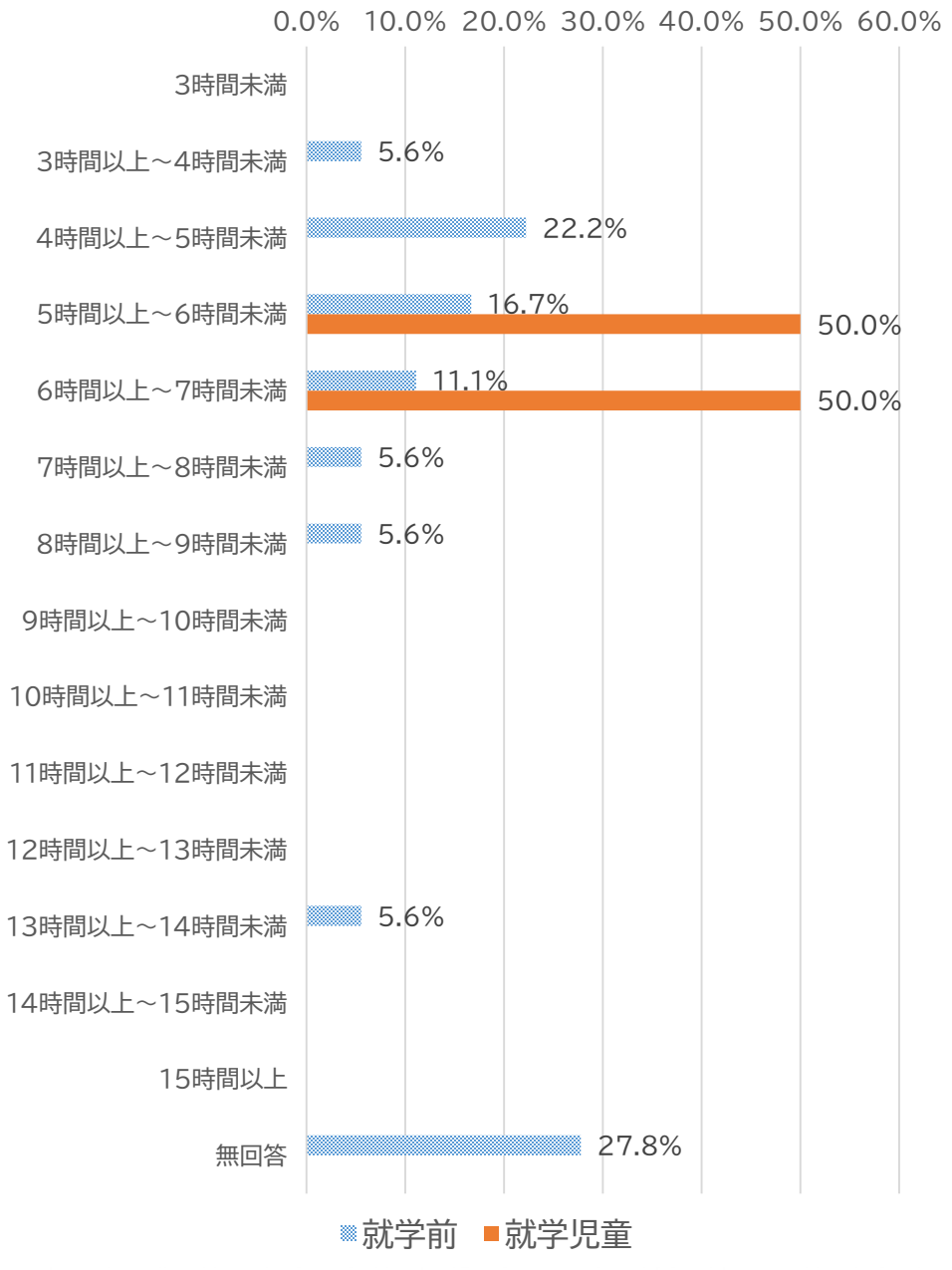
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

⑤パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる。

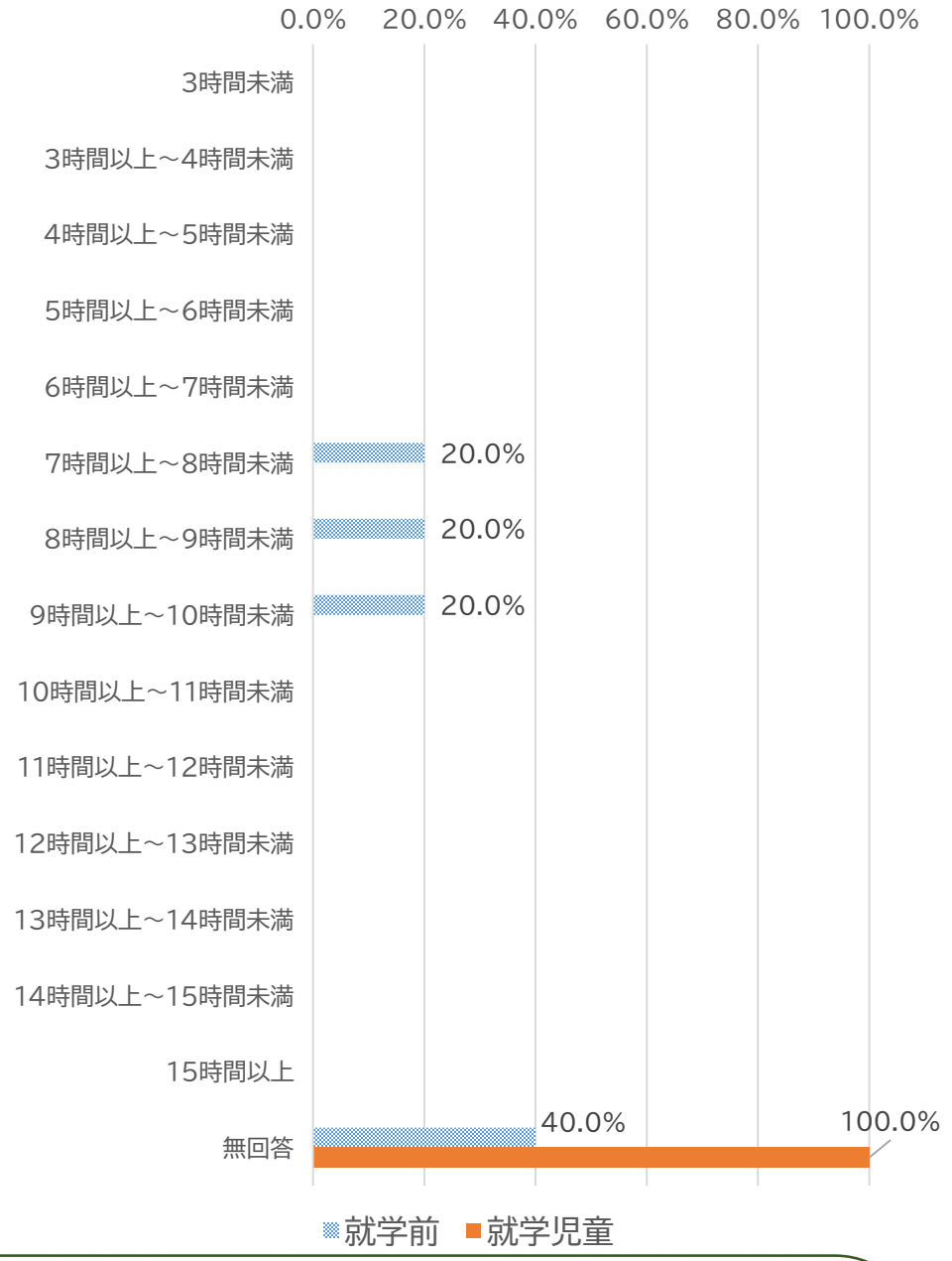
イ）1日当たり就労時間



（2）　父親

⑤パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる。

イ）1日当たり就労時間



【母親】
就学前児童においては、「4時間以上～5時間未満」と回答した割合が22.2%と最も高くなっており、次いで「5時間以上～6時間未満」が16.7%となっている。一方、就学児童においては、「5時間以上～6時間未満」、「6時間以上～7時間未満」と回答した割合がそれぞれ50.0%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「7時間以上～8時間未満」、「8時間以上～9時間未満」、「9時間以上～10時間未満」と回答した割合がそれぞれ20.0%となっている。※就学児童は回答なし

【母親・父親の就労状況】
母親は、4時間以上～7時間未満での回答割合が高く、父親は7時間以上～10時間未満での回答割合が高い。
母親の方が短時間勤務が多く、父親の方が長時間勤務となっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

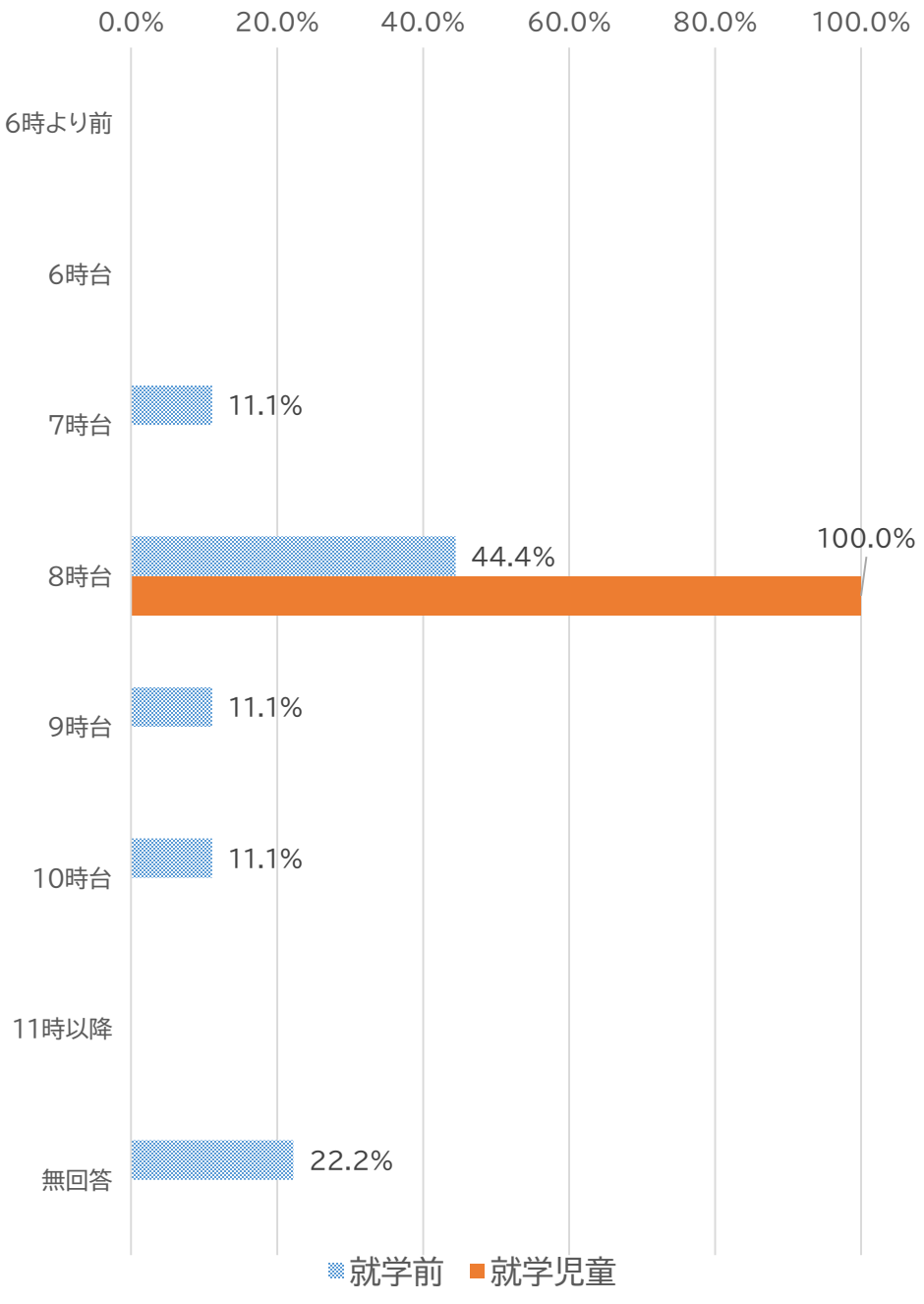
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

⑤パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる。

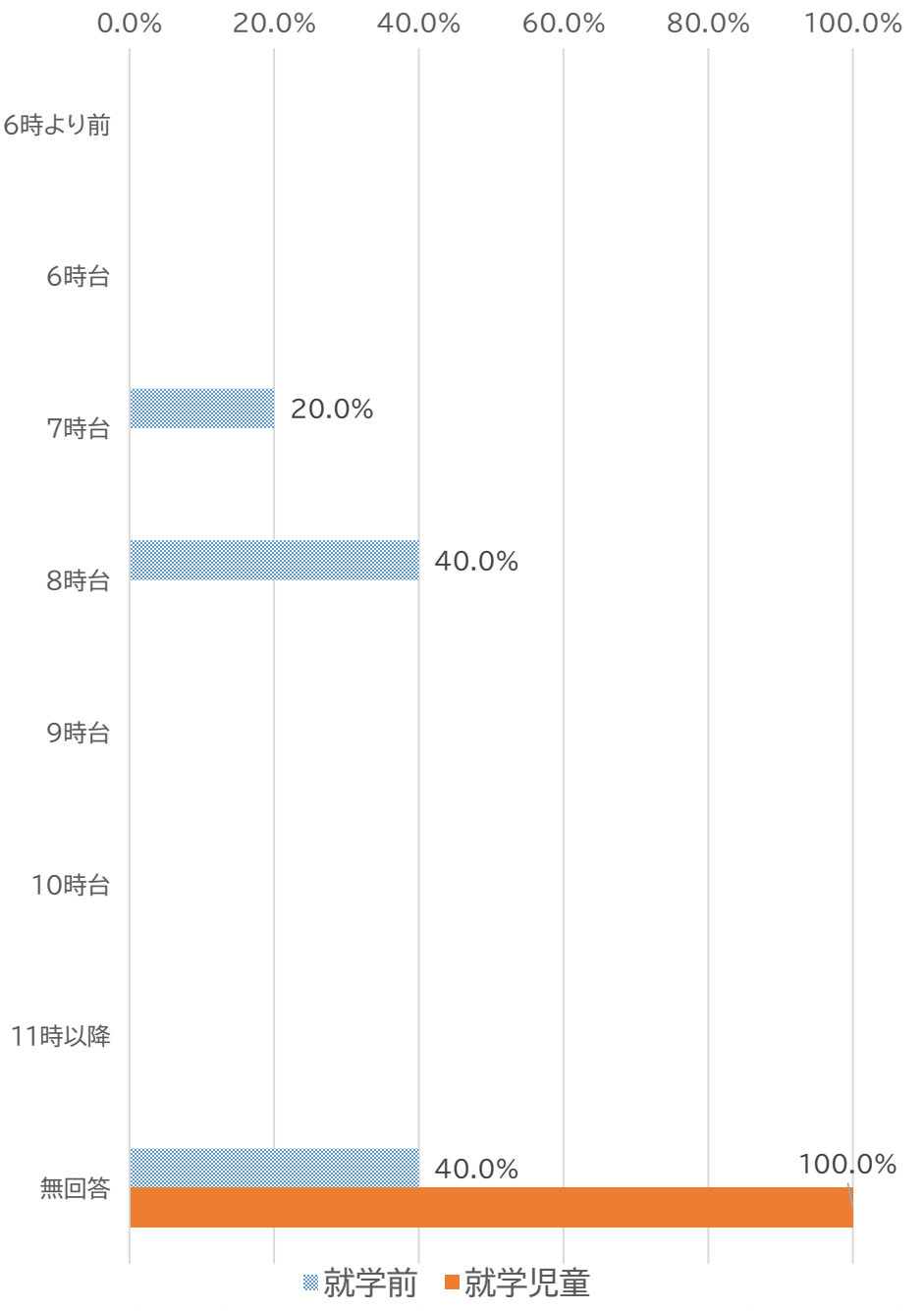
ウ）家を出る時刻



（2）　父親

⑤パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる。

ウ）家を出る時刻



【母親】
就学前児童においては、「8時台」と回答した割合が44.4%と最も高くなっており、次いで「7時台」、「9時台」、「10時台」がそれぞれ11.1%となっている。一方、就学児童においては、「8時台」と回答した割合が100%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「8時台」と回答した割合が40%と最も高くなっており、次いで「7時台」が20%となっている。※就学児童は回答なし

【母親・父親の就労状況】
母親・父親双方に、「7時台」、「8時台」の回答割合が高くなっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

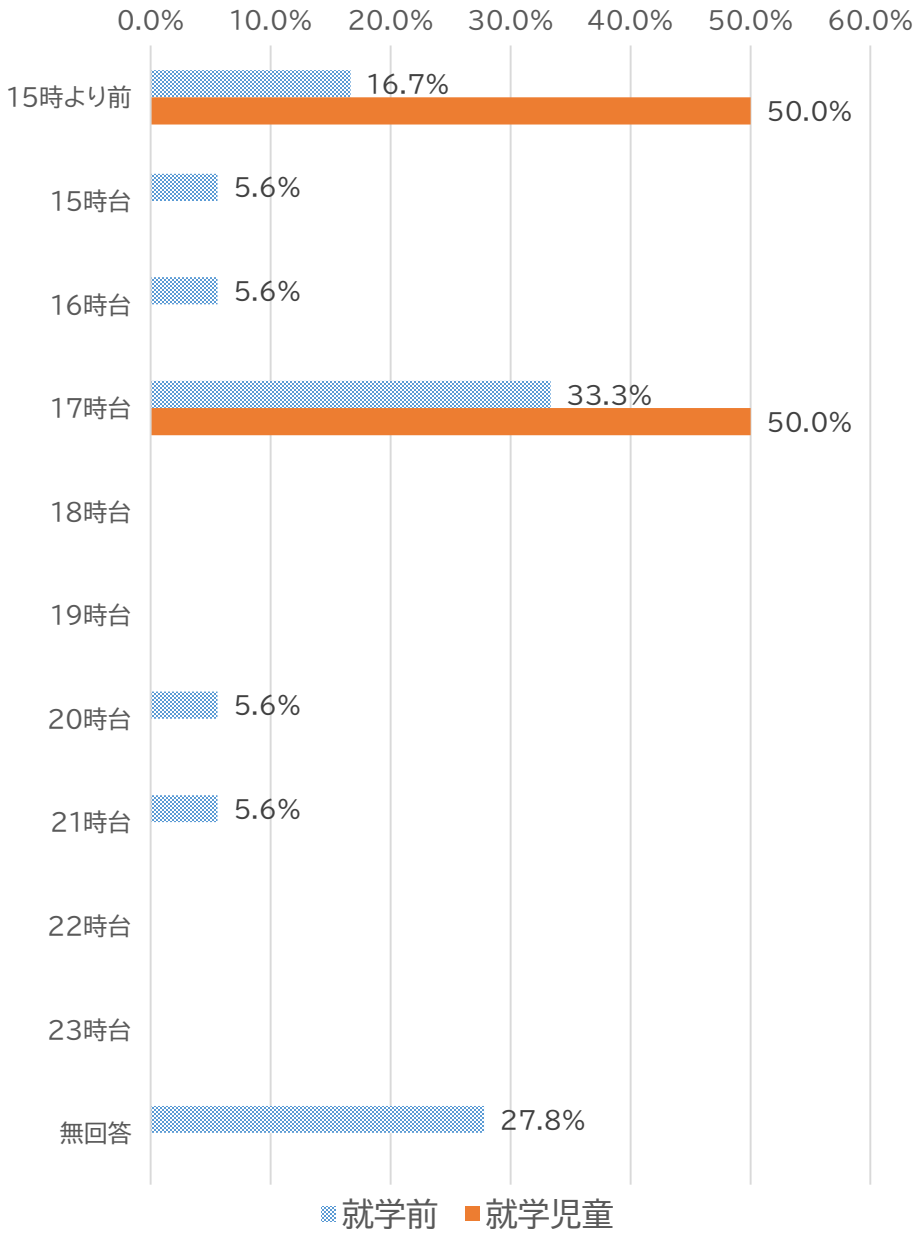
問11（就学児童問9）　封筒のあて名の保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか1つに○）また、働いている人は、1週間にどのくらいの日数、1日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

N=542（就学前）、231（就学児童）

（1）　母親

⑤パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる。

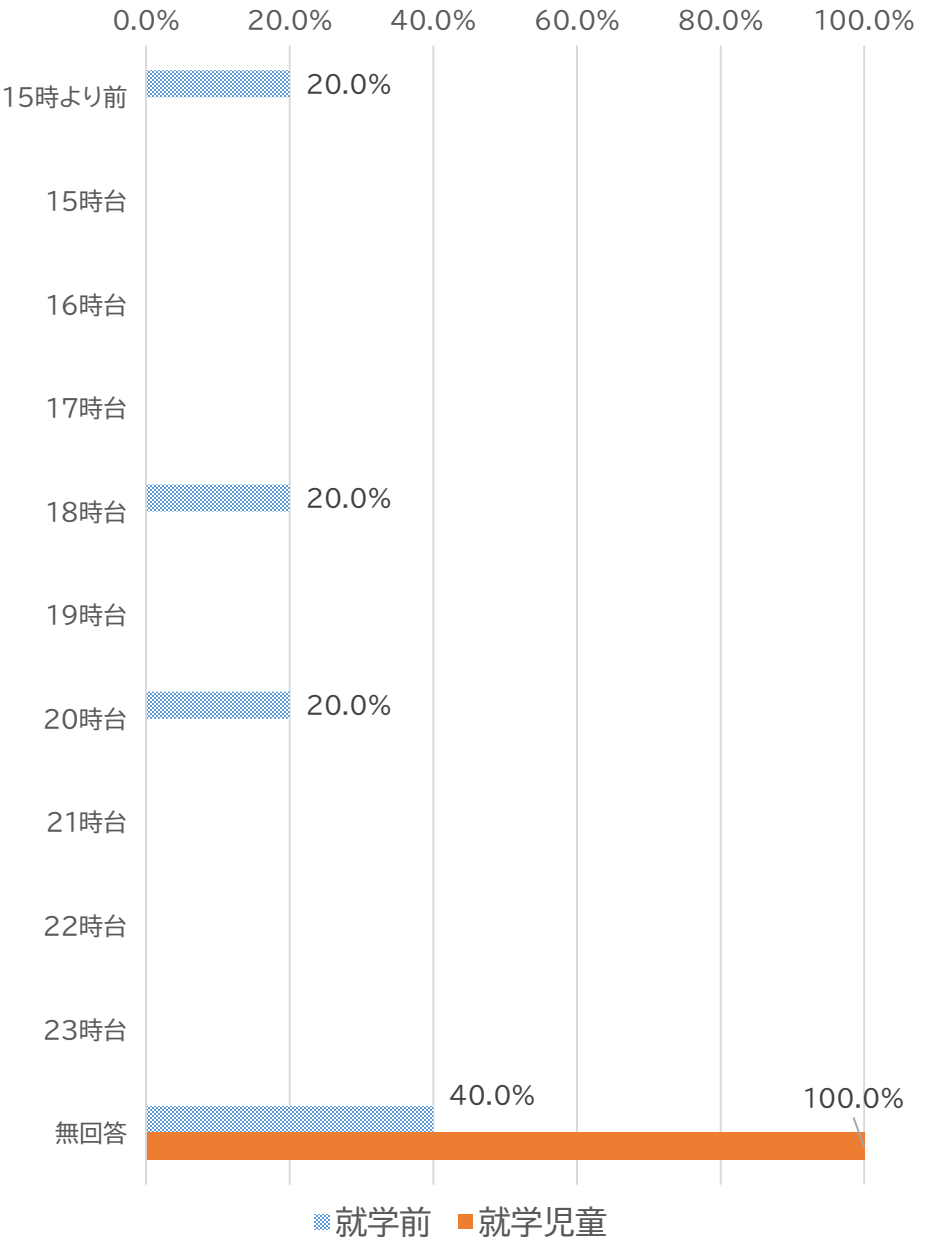
エ）帰宅時刻



（2）　父親

⑤パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる。

エ）帰宅時刻



【母親】
就学前児童においては、「17時台」と回答した割合が33.3%と最も高くなっており、次いで「15時より前」が16.7%となっている。一方、就学児童においては、「15時より前」、「17時台」と回答した割合がそれぞれ50.0%となっている。

【父親】
就学前児童においては、「15時より前」、「18時台」、「20時台」とそれぞれ回答した割合が20.0%となっている。
※就学児童は回答なし

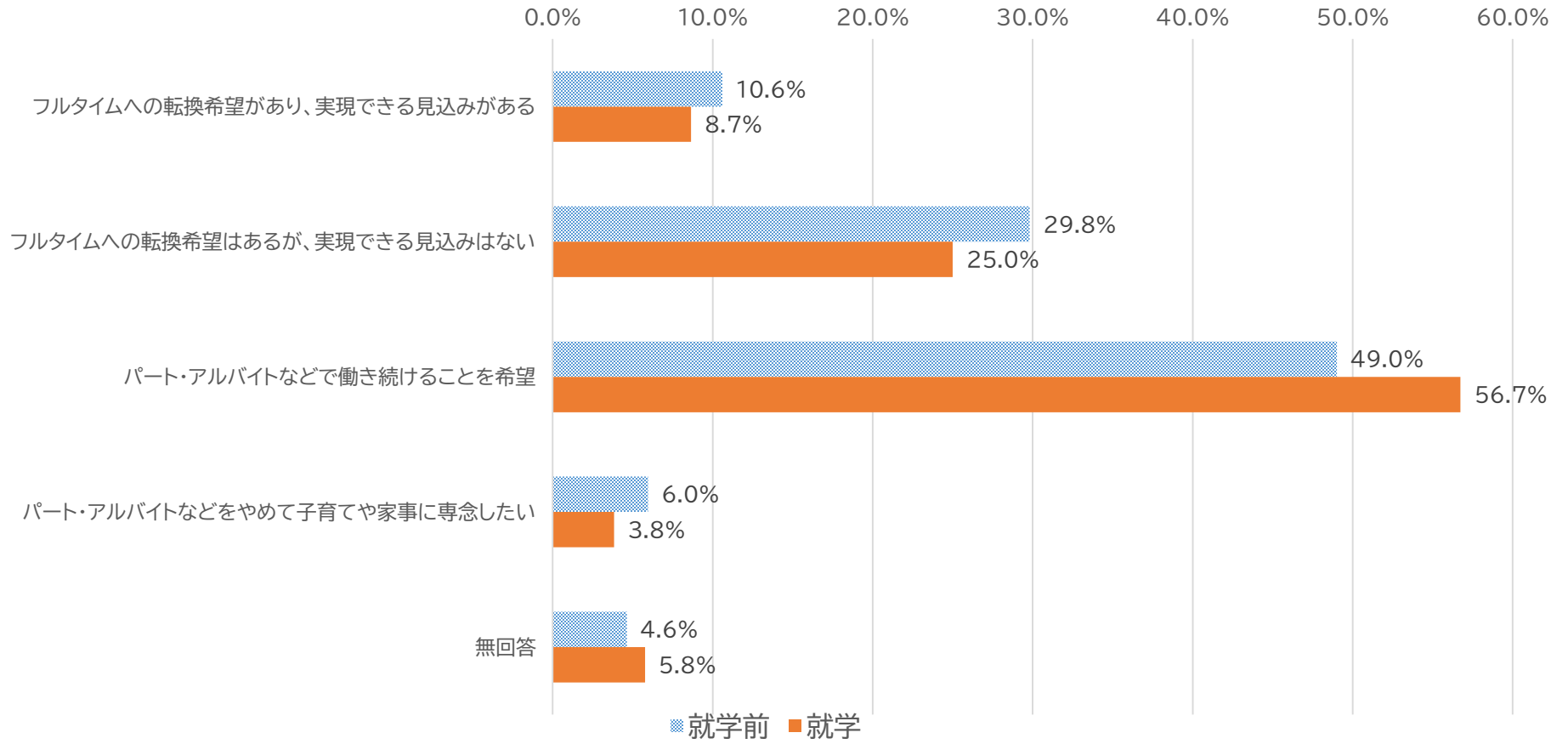
【母親・父親の就労状況】
母親・父親ともに「15時より前」と回答した割合が一定ある。加えて、母親は、「17時台」での回答が多くなっており、父親は、「20時台」と回答した割合も高くなっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

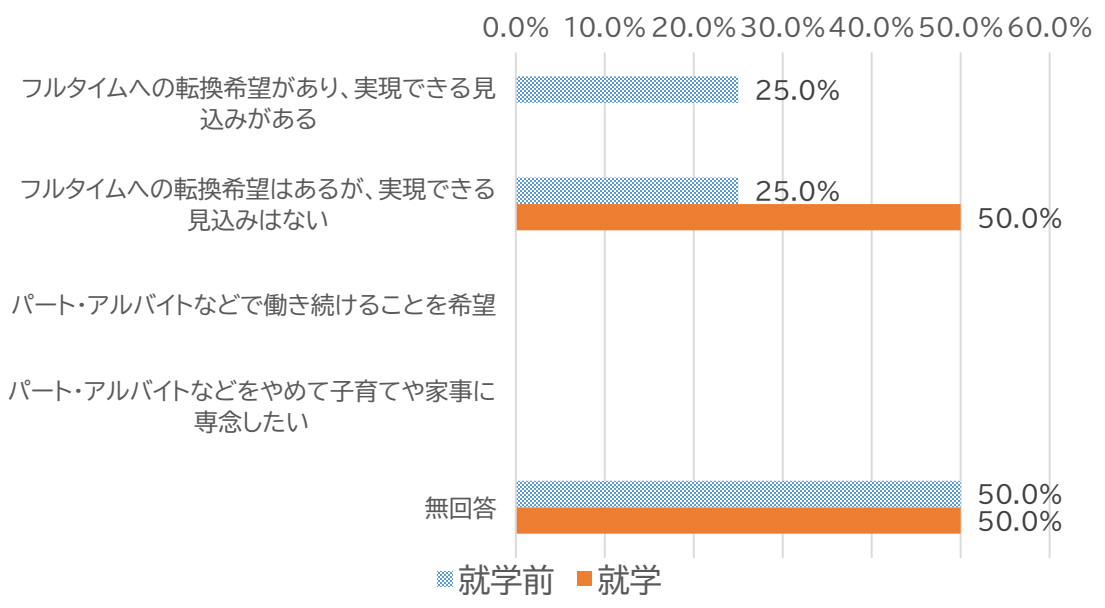
問12（就学児童問10）　問11（就学児童問9）の（1）母親または（2）父親で「3.」または「4.」を選ばれた「パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）」におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに○）

（1）母親　N=151（就学前児童）、104（就学児童）



就学前児童においては、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が49.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.8%となっている。一方、就学児童においては、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が56.7%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.0%となっている。
両者を比較すると、フルタイムへの転換希望への意向については同じ傾向が出ているものの、就学前児童においては、フルタイムへの転換希望をする意向が高く、就学児童においては、パート・アルバイトなどで働き続ける意向が高くなっている。

（2）父親　N=8（就学前児童）、2（就学児童）



就学前児童においては、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答がそれぞれ2件ある。
就学児童においては、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件ある。
両者ともに、フルタイムへの転換希望をする意向が高くなっている。

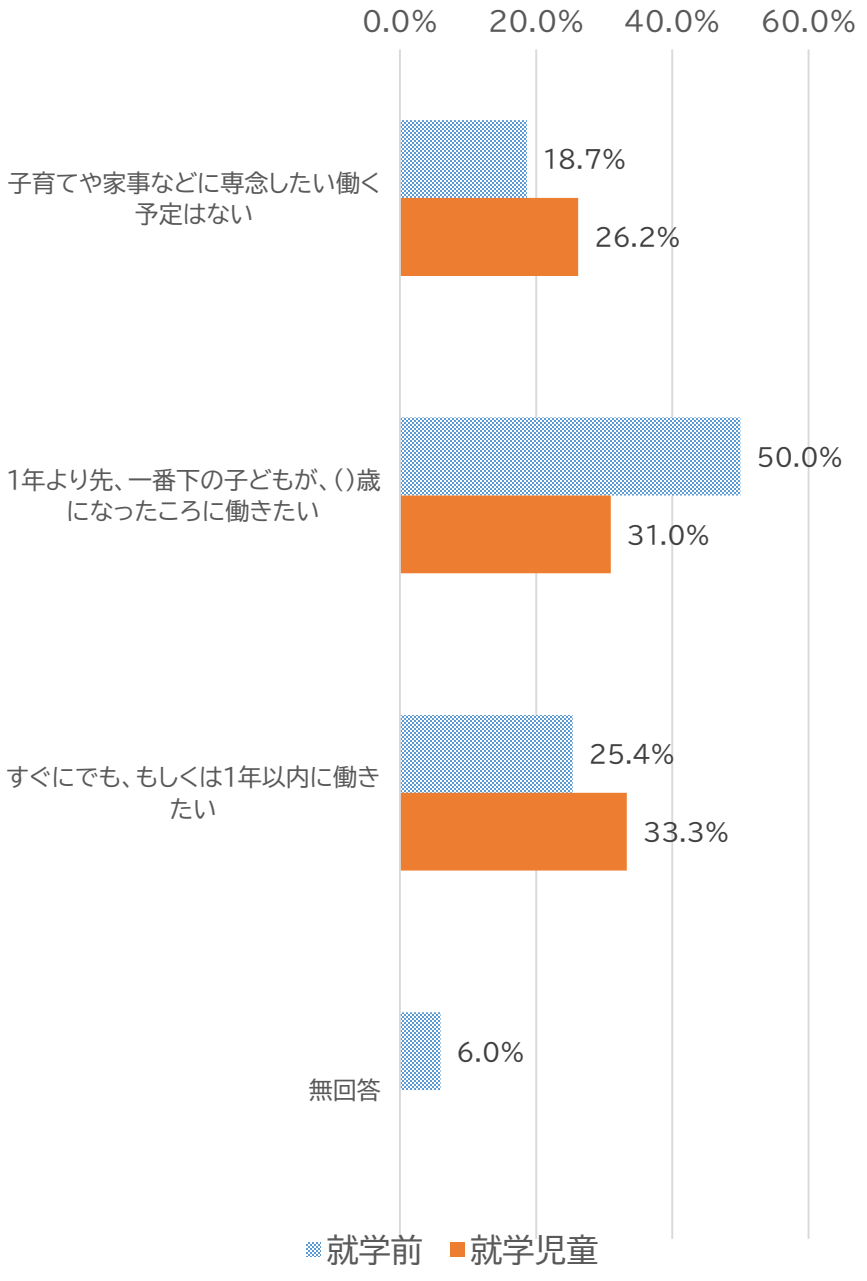
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問13（就学児童問11）　問11（就学児童問9）の（1）母親 または（2）父親で「5.」または「6.」を選ばれた「仕事をお持ちでない方」におうかがいします。
働きたいという希望はありますか。（それぞれ1つに○、（　）内に数字で記入）

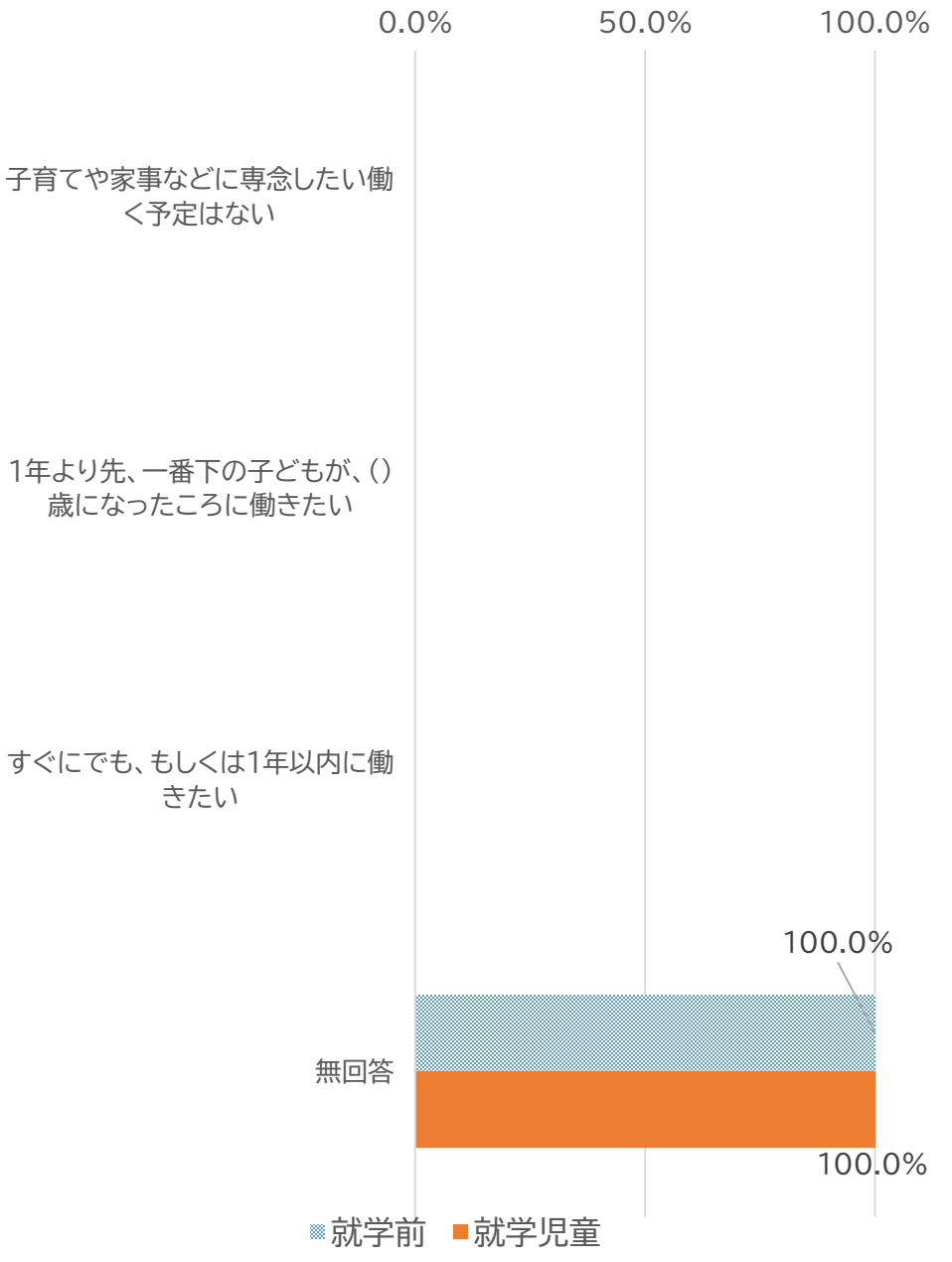
（1）母親　N＝134（就学前児童）、42（就学児童）

働きたいかどうかの希望状況



（2）父親　N＝2（就学前児童）、5（就学児童）

働きたいかどうかの希望状況



【母親】
就学前児童においては、「1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい」と回答した割合が50.0%と最も高くなっており、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が25.4%、「子育てや家事などに専念したい働く予定はない」が18.7%となっている。一方、就学児童においては、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」と回答した割合が33.3%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい」が31.0%、「子育てや家事などに専念したい働く予定はない」が26.2%となっている。

【父親】
就学前児童・就学児童は無回答

【母親の就労状況】
就学前児童においては、時期に違いはあるものの、再度働きたい希望が高くなっている一方で、就学児童においては、すぐに働きたいという希望がある層と、子育て・家事に注力したいという希望がある層がいることも特徴である。

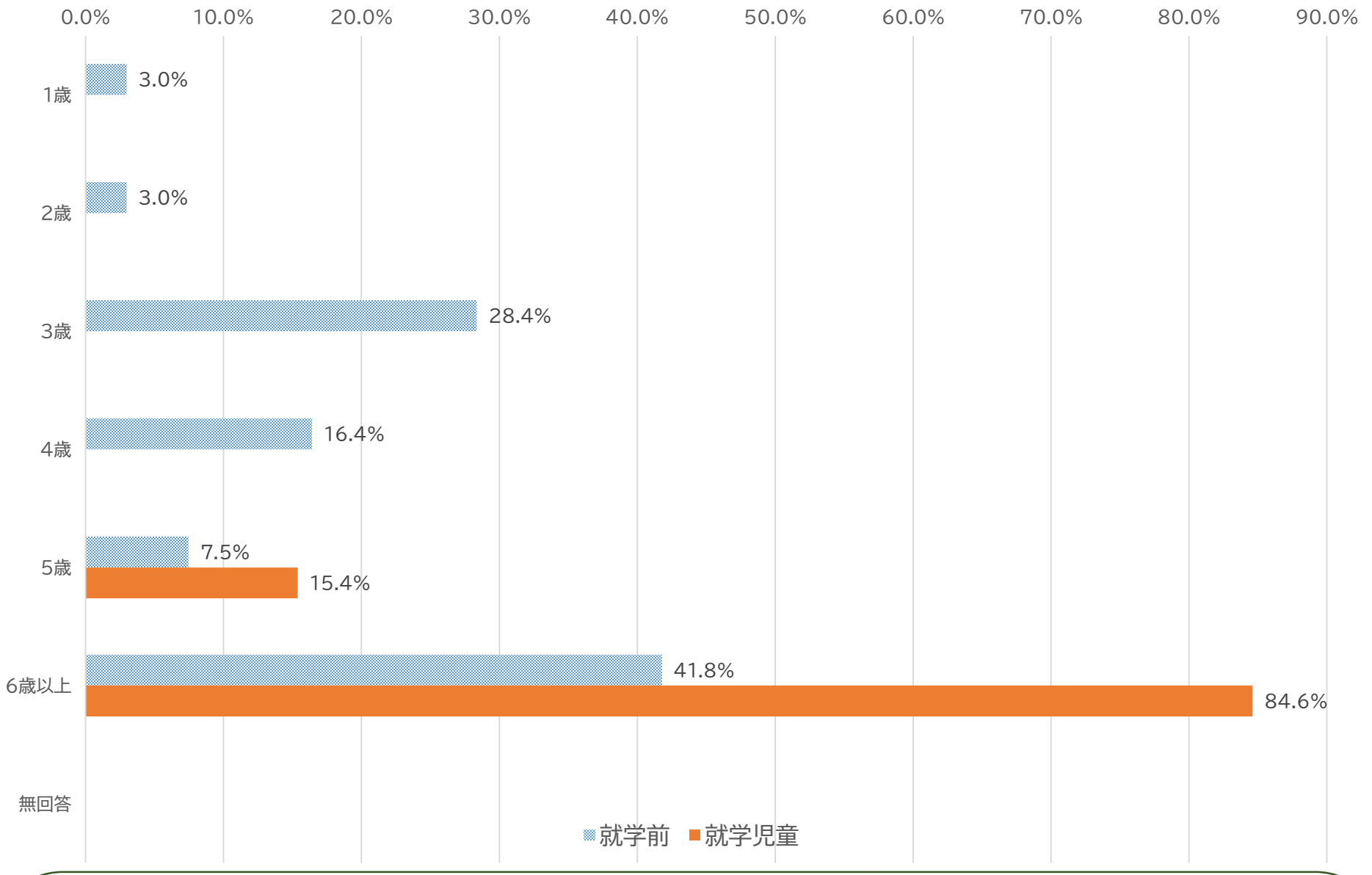
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問13（就学児童問11）　問11（就学児童問9）の（1）母親 または（2）父親で「5.」または「6.」を選ばれた「仕事をお持ちでない方」におうかがいします。
働きたいという希望はありますか。（それぞれ1つに○、（　）内に数字で記入）

（1）母親　N=67（就学前児童）、13（就学児童）

①1年より先、一番下の子どもが、（）歳になったころに働きたい子どもの年齢



（2）父親　N=0

①1年より先、一番下の子どもが、（）歳になったころに働きたい子どもの年齢

※回答なし

【母親】
就学前児童においては、「6歳以上」と回答した割合が41.8%と最も高くなっており、次いで「3歳」が28.4%、「4歳」が16.4%となっている。一方、就学児童においては、「6歳以上」と回答した割合が84.6%と最も高く、次いで「5歳」が15.4%となっている。

【父親】
就学前児童・就学児童は無回答

【母親の就労状況】
就学前児童においては、「3歳」、「6歳以上」の回答割合が高いことから、幼稚園（保育園）の入園（入所）、小学校入学以降などを契機に働きたいという希望を読み取ることができる。一方、就学児童においては、「6歳以上」となっており、小学校入学以降に働きたい希望となっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

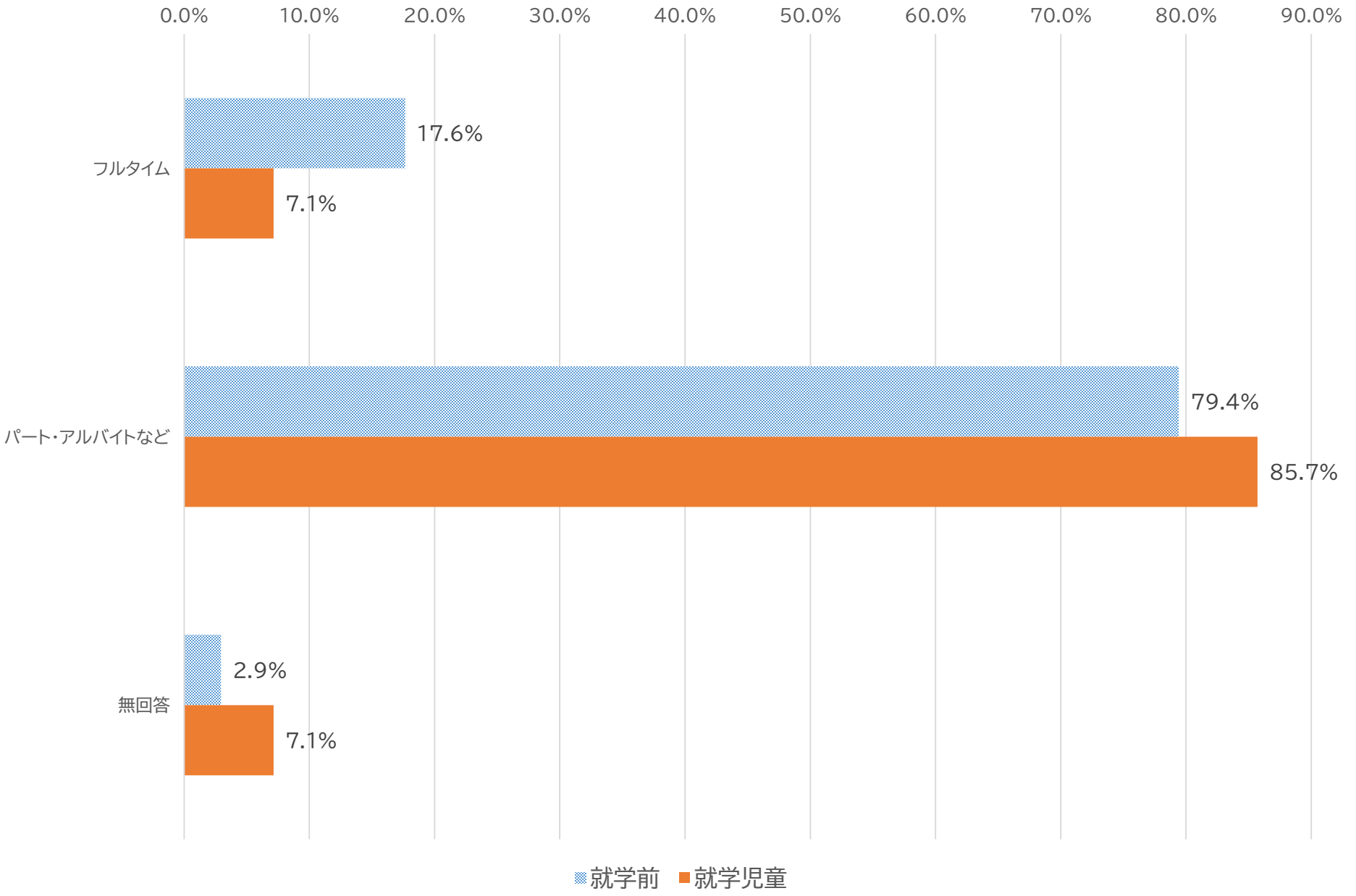
問13　問11の(1)母親 または(2)父親で「5.」または「6.」を選ばれた「仕事をお持ちでない方」におうかがいします。働きたいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、(　)内に数字で記入)

（1）母親　N＝34(就学前児童)、14(就学児童)

②「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の就労希望

（2）父親　N＝0

②「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の就労希望　※該当なし



【母親】
就学前児童においては、「パート・アルバイトなど」と回答した割合が79.4%と最も高くなっており、次いで「フルタイム」が17.6%となっている。一方、就学児童においては、「パート・アルバイトなど」と回答した割合が85.7%と最も高く、次いで「フルタイム」が7.1%となっている。

【父親】
就学前児童・就学児童は該当なし

【母親の就労状況】
就学前児童・就学児童においては、「パート・アルバイトなど」の回答割合が高いことから、比較的短時間勤務で働きたいニーズがあることがわかる。一方、就学前児童と就学児童を比較すると、「フルタイム」で回答した割合に差(開き)がある。これは、就学児童の母親の方が、子育て・家庭環境に影響されていることが推察される。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

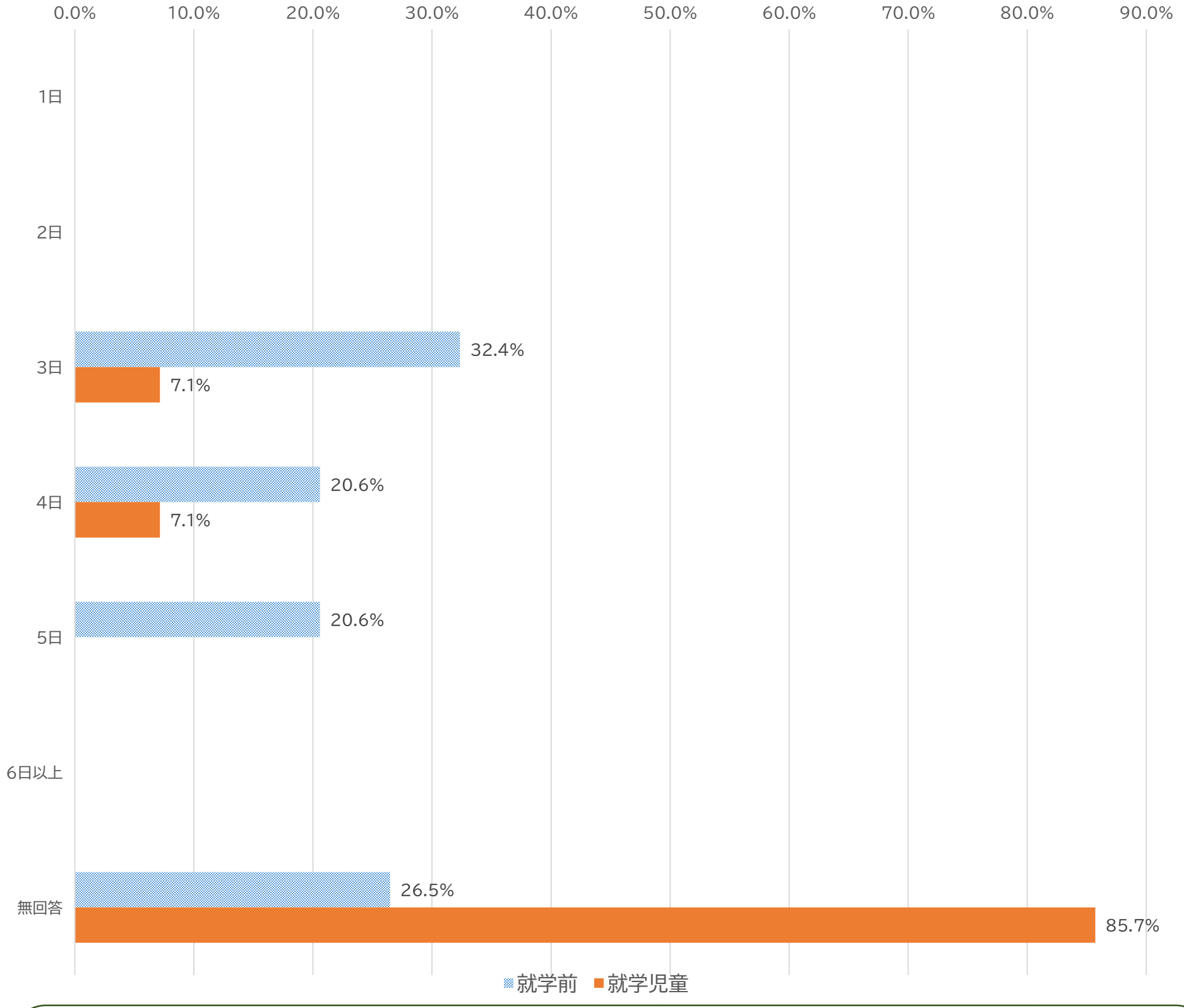
問13　問11の(1)母親 または(2)父親で「5.」または「6.」を選ばれた「仕事をお持ちでない方」におうかがいします。
働きたいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、(　)内に数字で記入)

（1）母親　N＝34(就学前児童)、14(就学児童)

②-1　1年以内に就労したい人の1週当たり就労日数

（2）父親　N＝0

②-1　1年以内に就労したい人の1週当たり就労日数
※該当なし



【母親】
就学前児童においては、「3日」と回答した割合が32.4%と最も高くなっており、次いで「4日」、「5日」がそれぞれ20.6%となっている。一方、就学児童においては、「3日」、「4日」がそれぞれ7.1%となっている。

【父親】
就学前児童・就学児童は該当なし

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

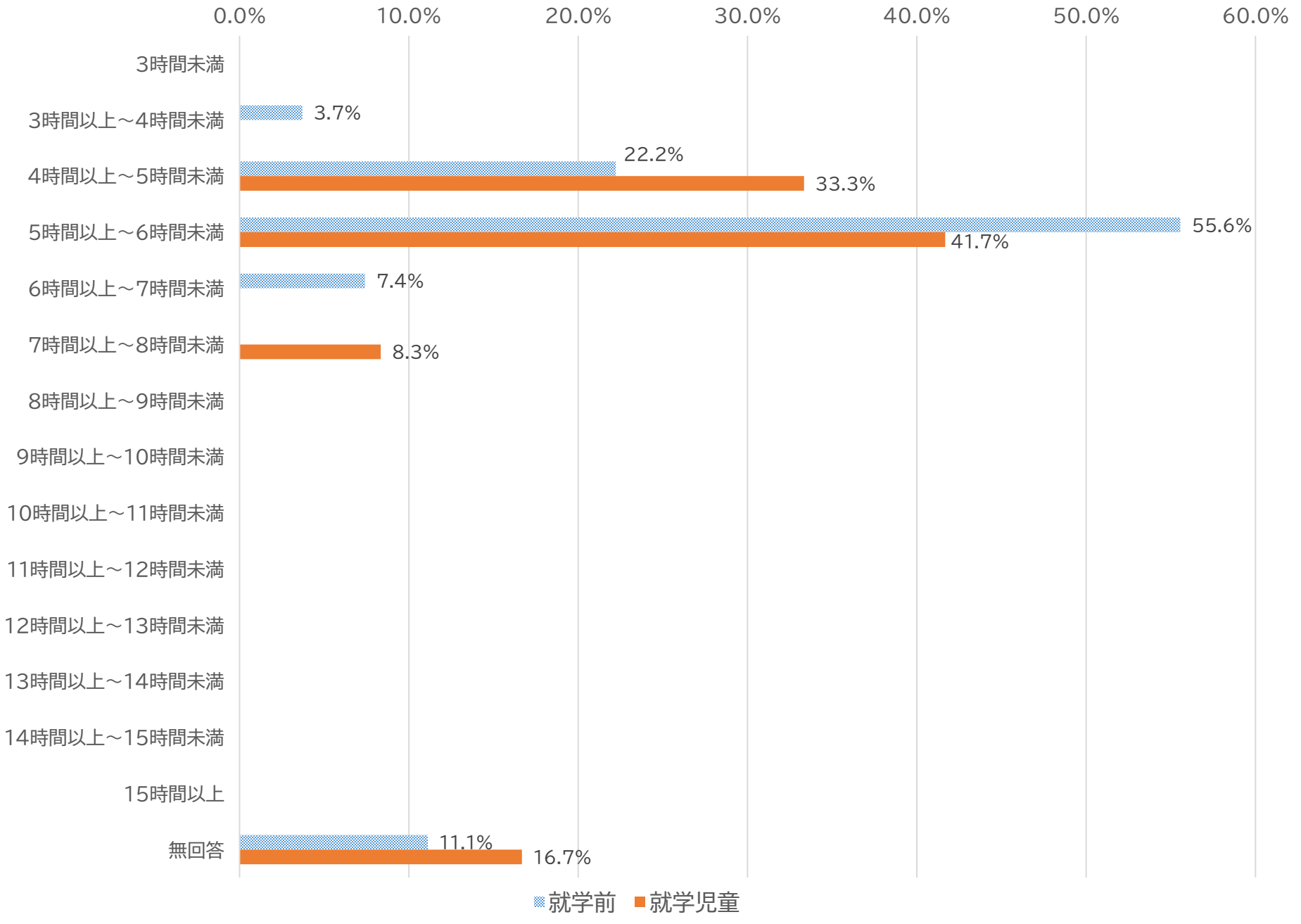
問13（就学児童問11）　問11（就学児童問9）の（1）母親 または（2）父親で「5.」または「6.」を選ばれた「仕事をお持ちでない方」におうかがいします。
働きたいという希望はありますか。（それぞれ1つに○、（　）内に数字で記入）

（1）母親　N＝27（就学前児童）、12（就学児童）

②ー2　1年以内に就労したい人の1日当たり就労時間

（2）父親　N＝0

②ー2　1年以内に就労したい人の1日当たり就労時間
※該当なし



【母親】
就学前児童においては、5時間以上～6時間未満」と回答した割合が55.6%と最も高くなっており、次いで「4時間以上～5時間未満」が22.2%となっている。一方、就学児童においては、「5時間以上～6時間未満」と回答した割合が41.7%と最も高く、次いで「4時間以上～5時間未満」が33.3%となっている。

【父親】
就学前児童・就学児童は該当なし

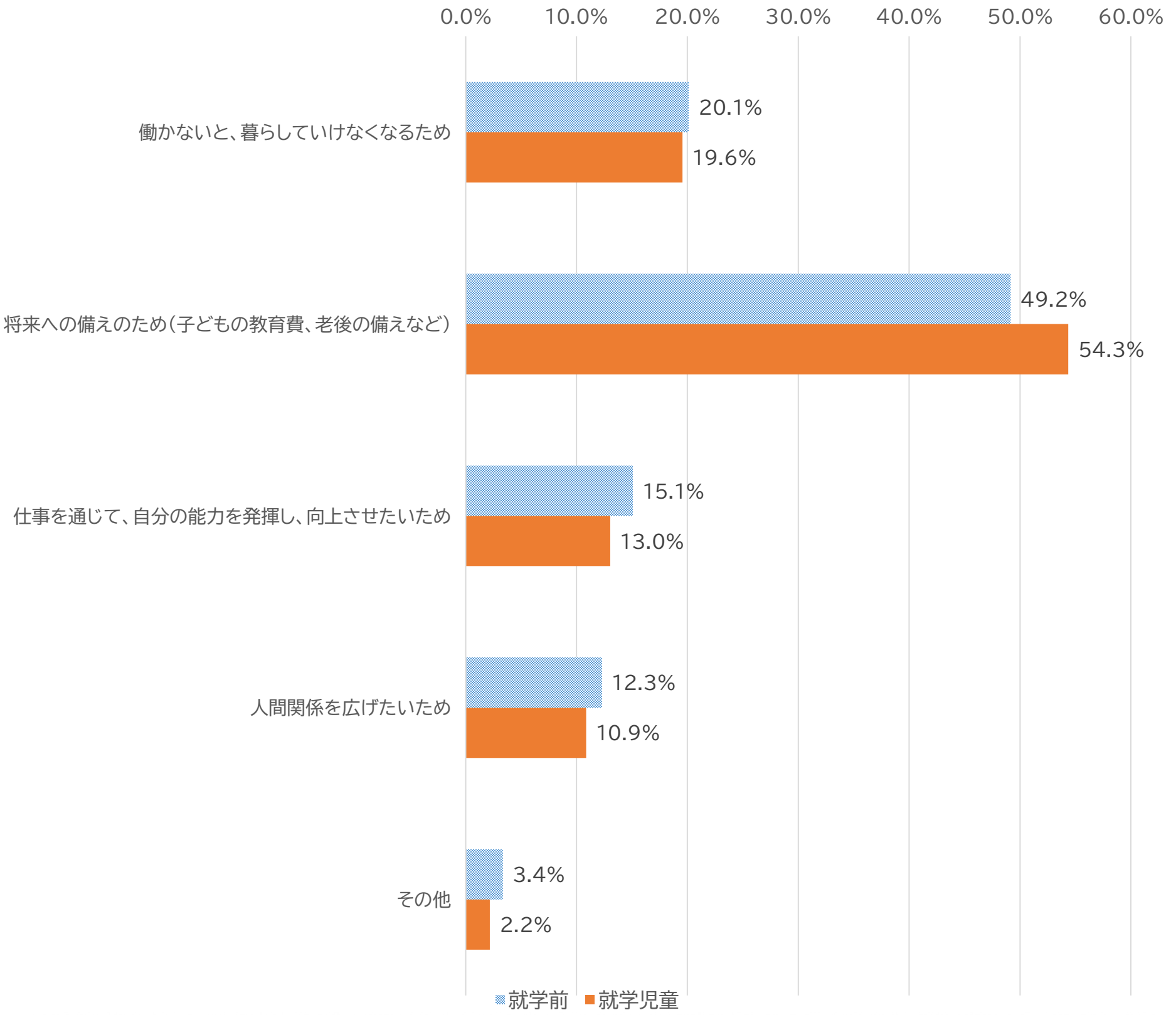
【母親の就労状況】
就学前児童・就学児童双方において、4時間以上～6時間未満での就労時間を希望する回答の割合が高くなっている。両者を比較すると、就学前児童の母親の方が「5時間以上～6時間未満」、「4時間以上～5時間未満」の回答割合に差（開き）があることから、前者（就学前児童）は比較的長時間の労働時間を希望していることが推察できる。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問13－1（就学児童問11－1）　問13（就学児童問11）の（1）母親 または（2）父親で「2.」または「3.」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N=179（就学前児童）、46（就学児童）　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



就学前児童においては、「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」の回答割合が49.2%と最も高く、次いで「働かないと、暮らしていけなくなるため」が20.1%となっている。一方、就学児童においては、「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」の回答割合が54.3%と最も高く、次いで「働かないと、暮らしていけなくなるため」が19.6%となっている。両者ともに、回答割合傾向が類似しているが、就学児童の母親又は父親の方が、将来への備えのためと回答した割合が高く、経済的な意識の高さを推察することができる。一方、就学前児童の母親又は父親は、将来への備えのためといった経済面での目的に加えて、「仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため」や「人間関係を広げたいため」といった回答が比較的高いことから、就労スキル向上やコミュニティ充実への意欲があることも推察される。

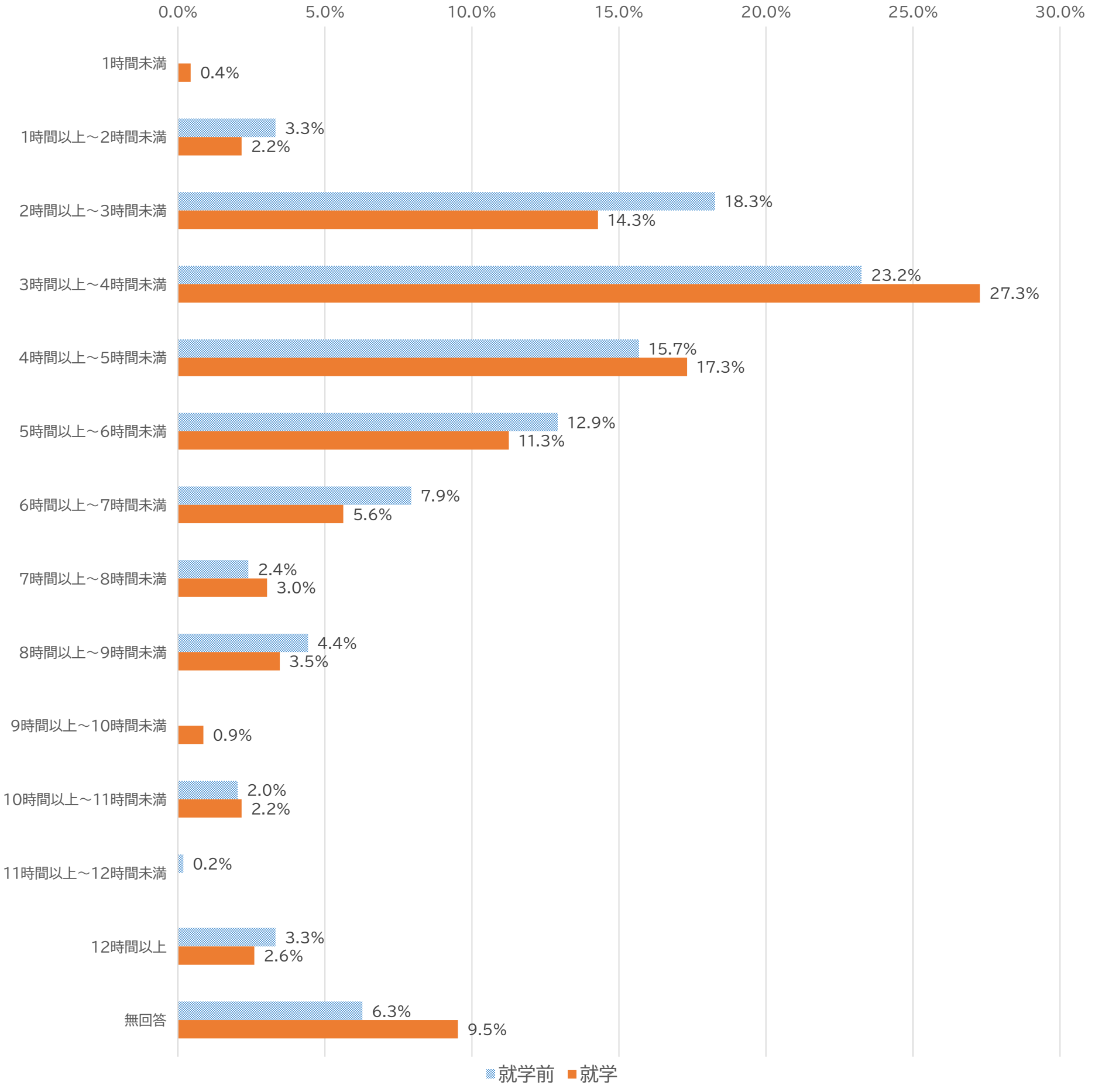
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（2）育児休業など、仕事と子育ての両立について（就学児童「仕事と子育ての両立について」）

問22（就学児童問19）1日当たり、家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

N＝542（就学前児童）、231（就学児童）

（1）母親



就学前児童・就学児童ともに、「3時間以上～4時間未満」と回答した割合が最も高くなっている、（就学前児童23.2%、就学児童27.3%）、次いで「2時間以上～3時間未満」、「4時間以上～5時間未満」と回答している割合が高くなっており、「2時間～5時間」の占める割合が高くなっている。

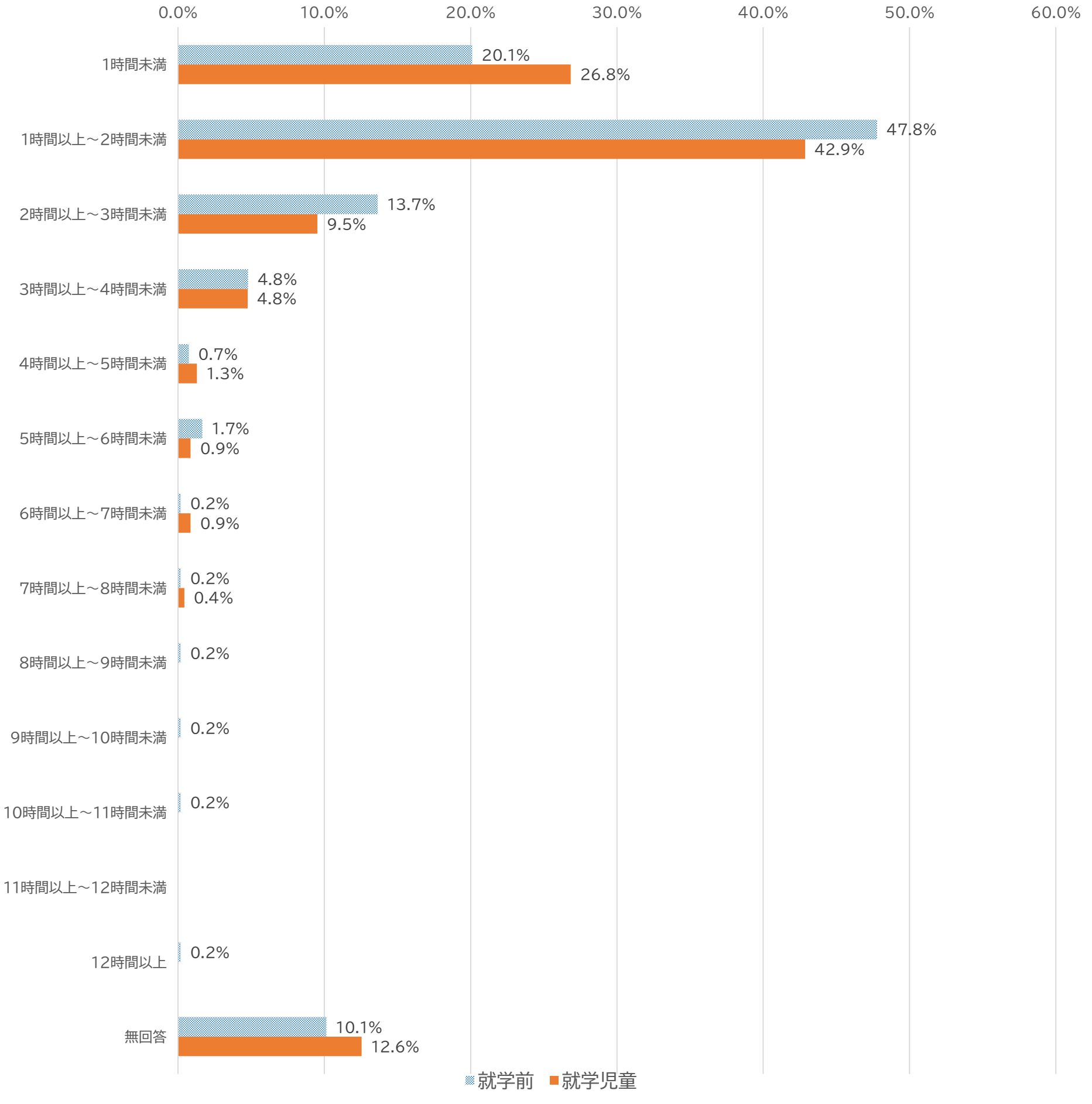
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（2）育児休業など、仕事と子育ての両立について（就学児童「仕事と子育ての両立について」）

問22（就学児童問19）　1日当たり、家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

N＝542（就学前児童）、231（就学児童）

（2）父親



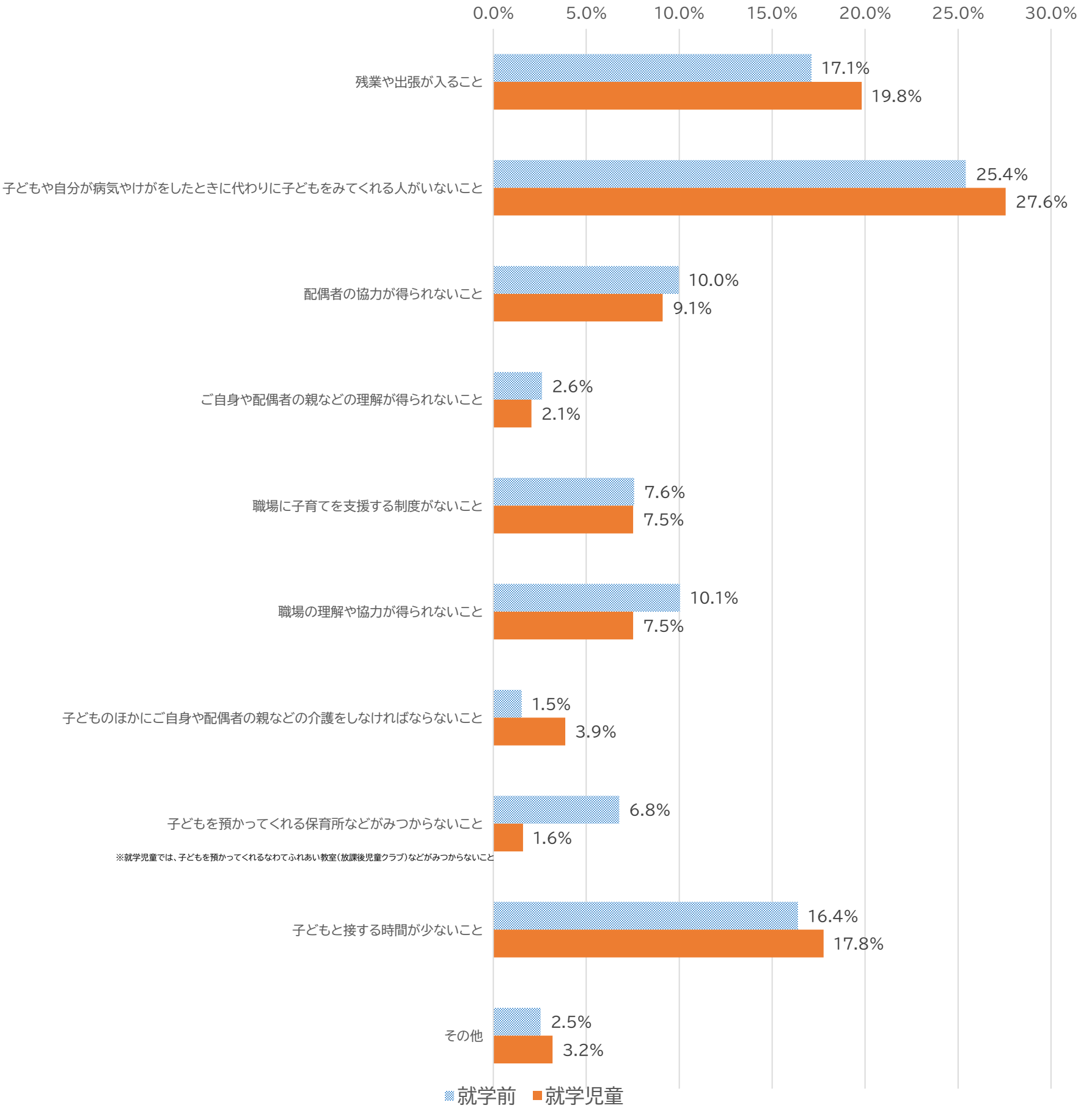
就学前児童・就学児童ともに、「1時間以上～2時間未満」と回答した割合が最も高くなっている、（就学前児童47.8%、就学児童42.9%）、次いで「1時間未満」、「2時間以上～3時間未満」と回答している割合が高くなっている。（1）の結果と合わせると、母親の方が家事に従事している時間が長い傾向となっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

(2)育児休業など、仕事と子育ての両立について(就学児童「仕事と子育ての両立について」)

問23(就学児童問20)　仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N＝1,373(就学前児童)、439(就学児童)　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



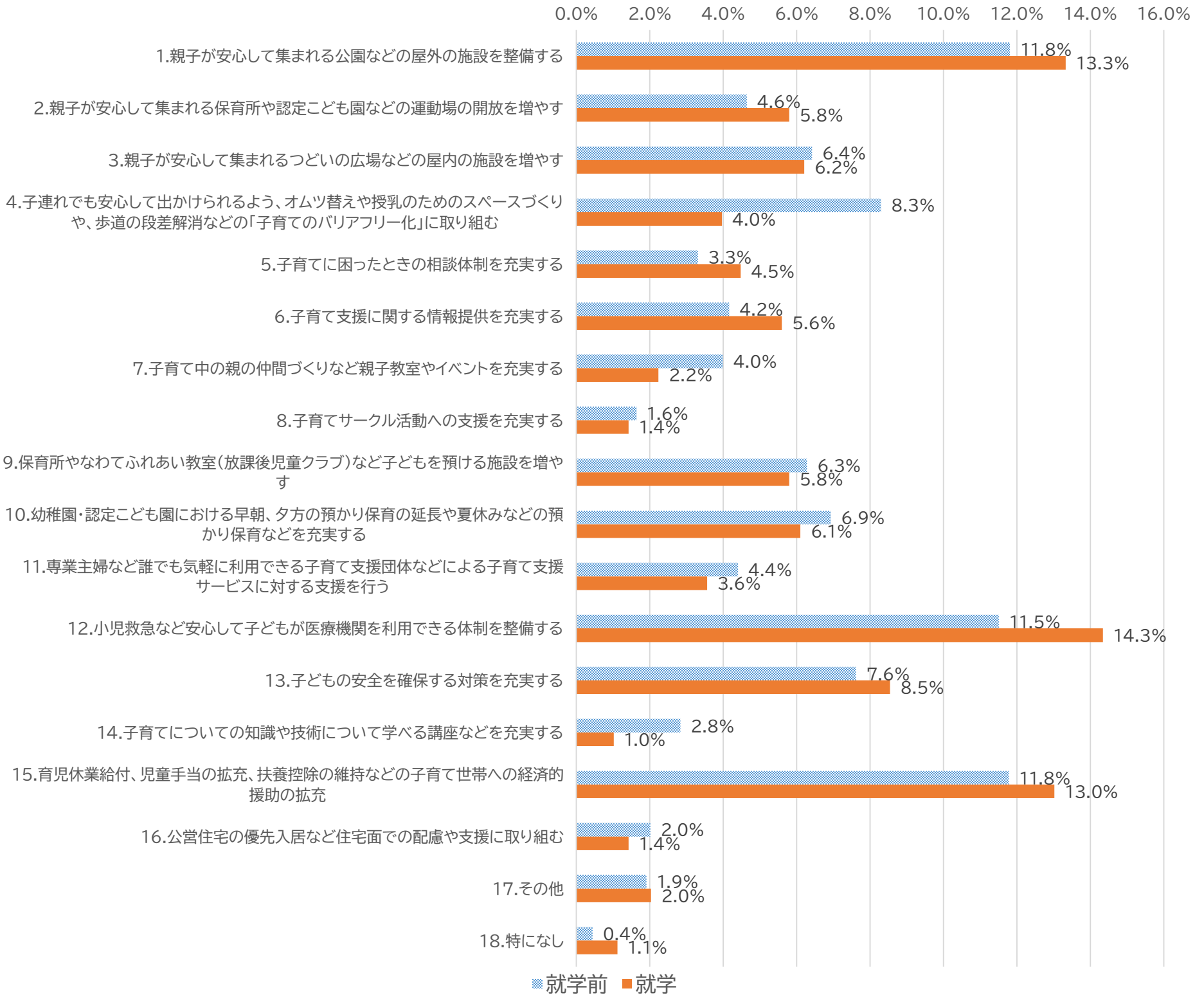
就学前児童・就学児童ともに、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」と回答した割合が最も高くなっている、(就学前児童25.4%、就学児童27.6%)、次いで「残業や出張が入ること」、「子どもと接する時間が少ないこと」と回答している割合が高くなっている。職場での働き方の改善、子ども等が病気になったときの子育て支援の充実が必要な状況である。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（3）市役所などへの要望

問35（就学児童問21）　市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N=2,929（就学前児童）、983（就学児童）　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



就学前児童・就学児童ともに「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」、「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」と回答した割合が10%を超えている。
このことから、子育て施策のニーズとして、①公園などの遊び場や歩道整備などのハード面の整備②医療提供体制の充実③経済的支援の充実の3分野へのニーズが高いことがわかる。
就学前児童と就学児童を比較すると、就学前児童においては、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの子育てのバリアフリー化に取り組む」といった子育て環境整備を求める声が高い。一方、就学児童では、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が高いことから、医療提供体制の充実を望む声が高い。

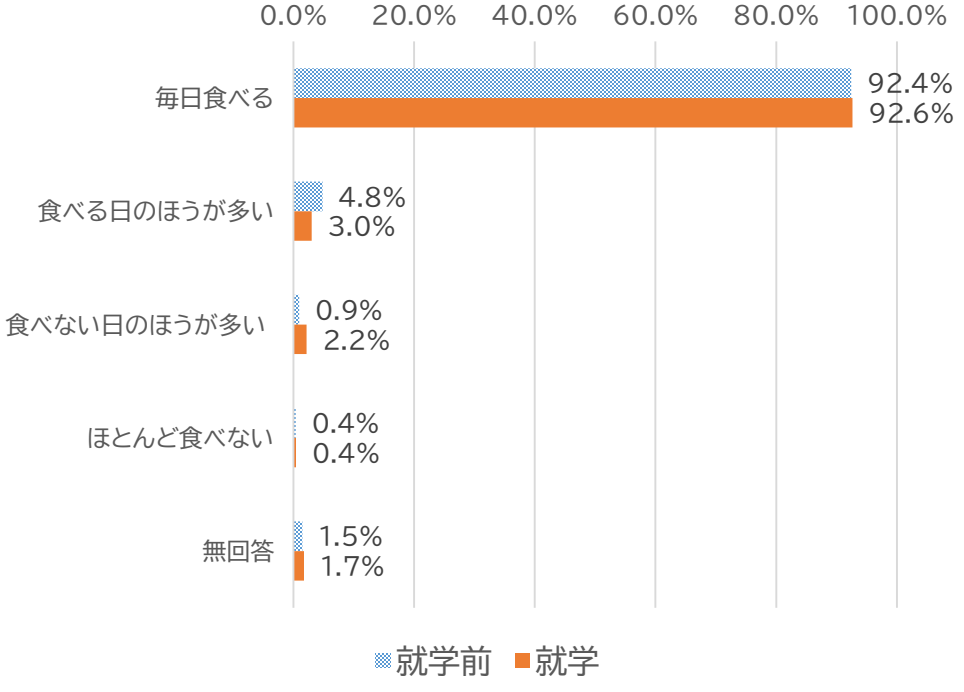
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（4）お子さんの生活習慣について

問36（就学児童問22）お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

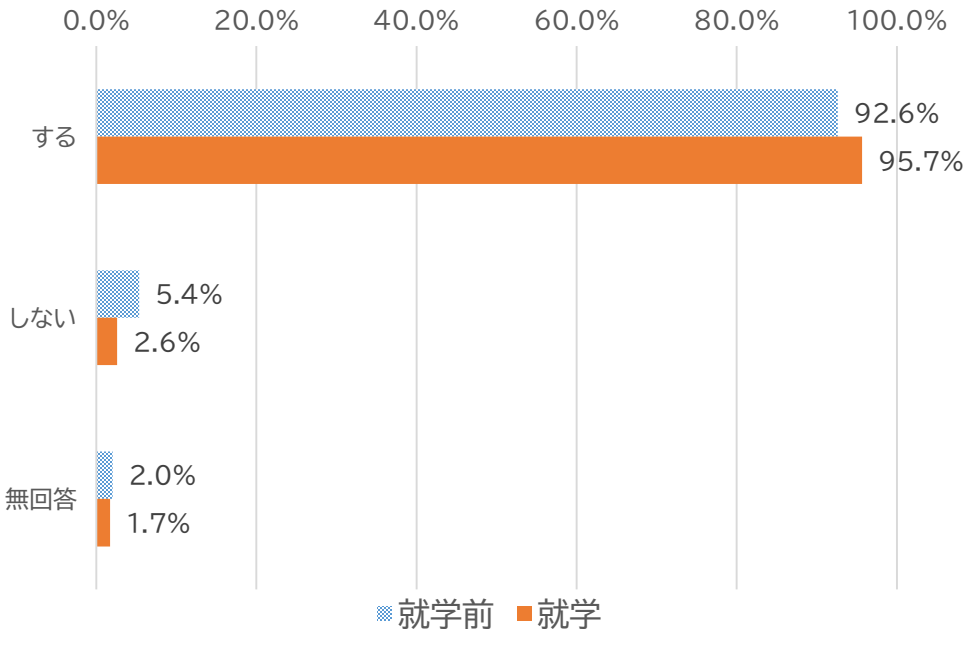
N=542（就学前児童）、231（就学児童）

（1）朝ごはんを食べますか



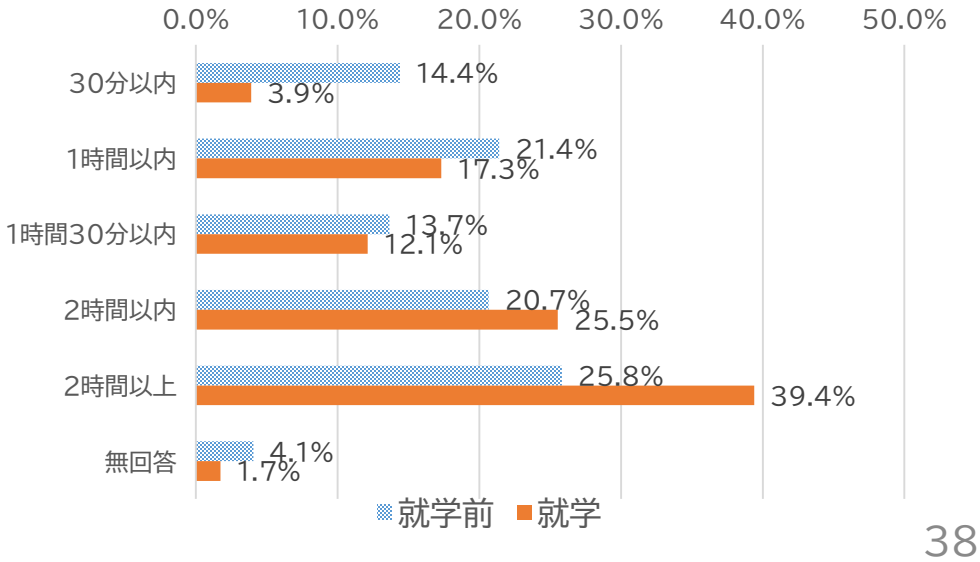
就学前児童・就学児童ともに、「毎日食べる」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童92.4%、就学児童92.6%）

（2）1日1回は家族と一緒に食事をしますか。



就学前児童・就学児童ともに、「する」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童92.6%、就学児童95.7%）

（3）平日のテレビ・ゲーム（スマホ使用やDVD等も含む）の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。



就学前児童・就学児童ともに、「2時間以上」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童25.8%、就学児童39.4%）

就学前児童と就学児童を比較すると、就学前児童は、「1時間以内」、「30分以内」がそれぞれ21.4%、14.4%となっている。
一方、就学児童は、「2時間以内」、「1時間以内」との回答がそれぞれ25.5%、17.3%となっており、就学前児童と比較すると長い傾向にある。

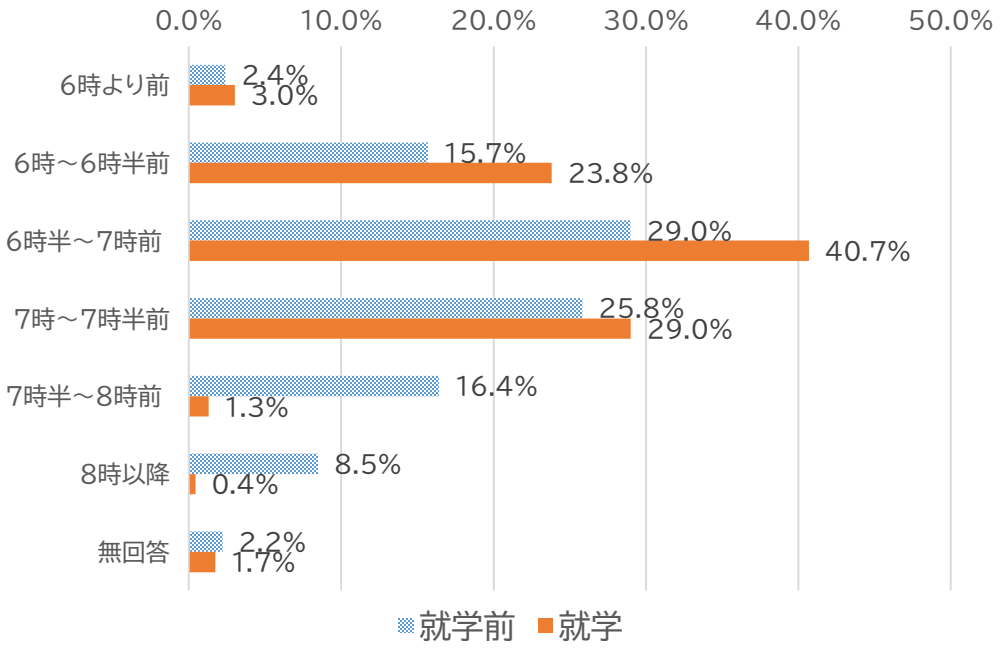
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（4）お子さんの生活習慣について

問36（就学児童問22）お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

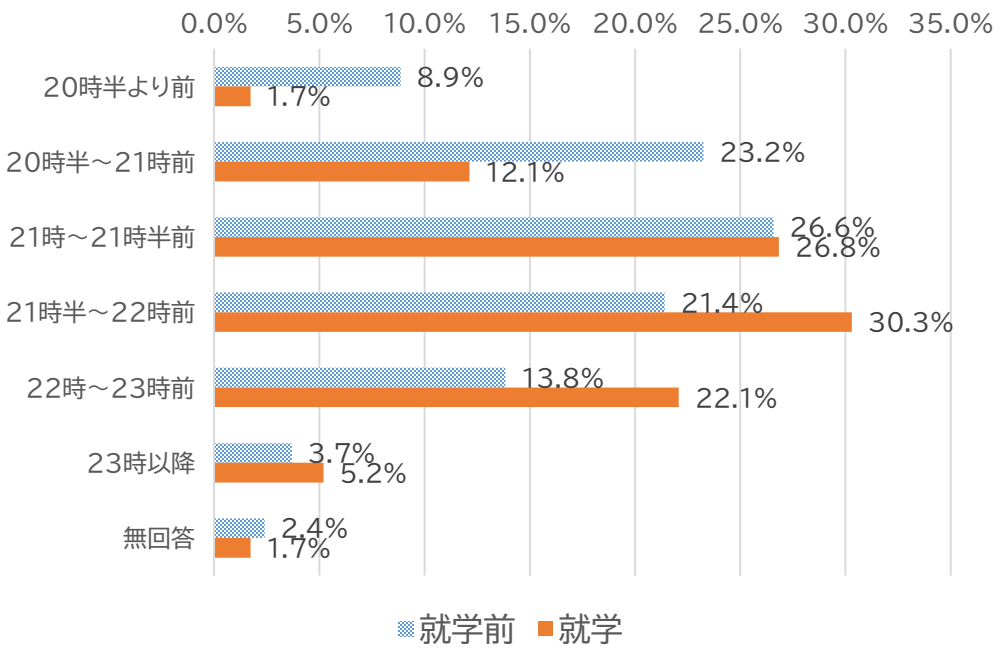
N=542（就学前児童）、231（就学児童）

（4）起床時刻は何時ですか。



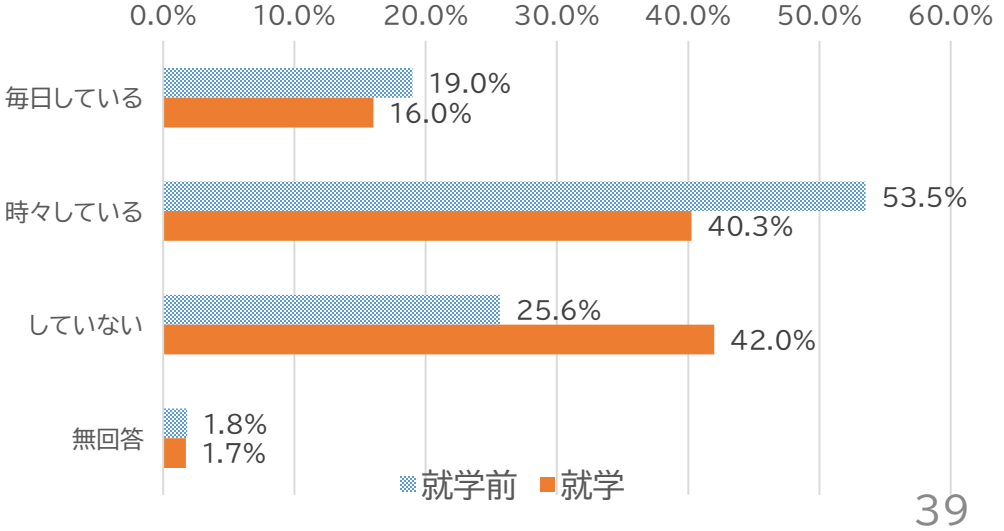
就学前児童・就学児童ともに、「6時半～7時前」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童29.0%、就学児童40.7%）

（5）就寝時刻は何時ですか。



就学前児童は「21時～21時半前」と回答した割合が高くなっている。（26.6%）
一方、就学児童は「21時半～22時前」と回答した割合が高くなっている。（30.3%）

（6）読み聞かせをしていますか。（就学児童は、読書をしているか）



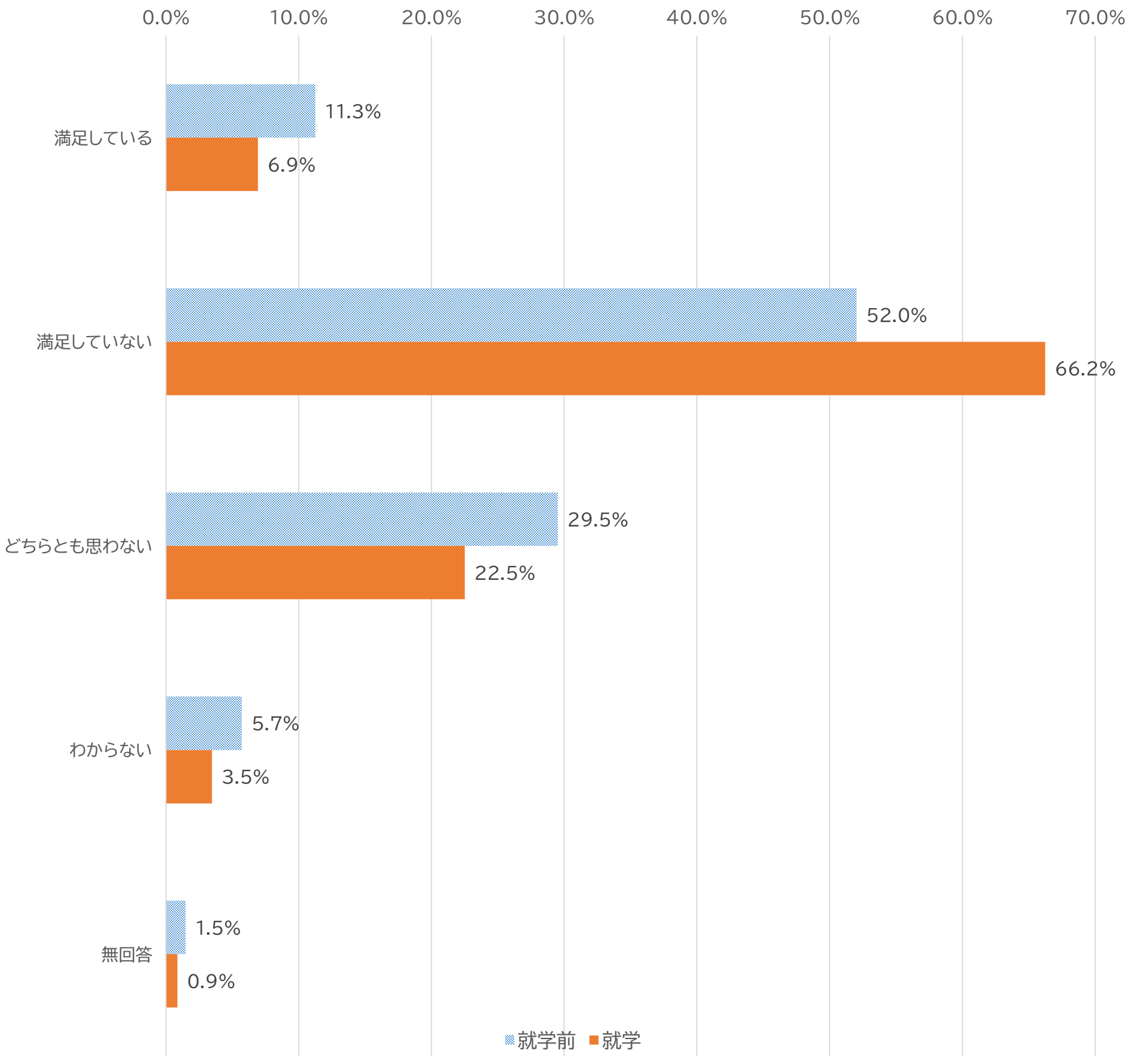
就学前児童・就学児童ともに、「時々している」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童53.5%、就学児童40.3%）
就学前児童と就学児童を比較すると、就学前児童は、「毎日している」が19.0%、「していない」が25.6%となっている。
一方、就学児童は、「していない」との回答が42.0%、「毎日している」との回答が16.0%となっており、就学前児童と比較すると、読書習慣の傾向は低くなっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（5）子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

問38（就学児童問27）お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=542（就学前児童）、231（就学児童）



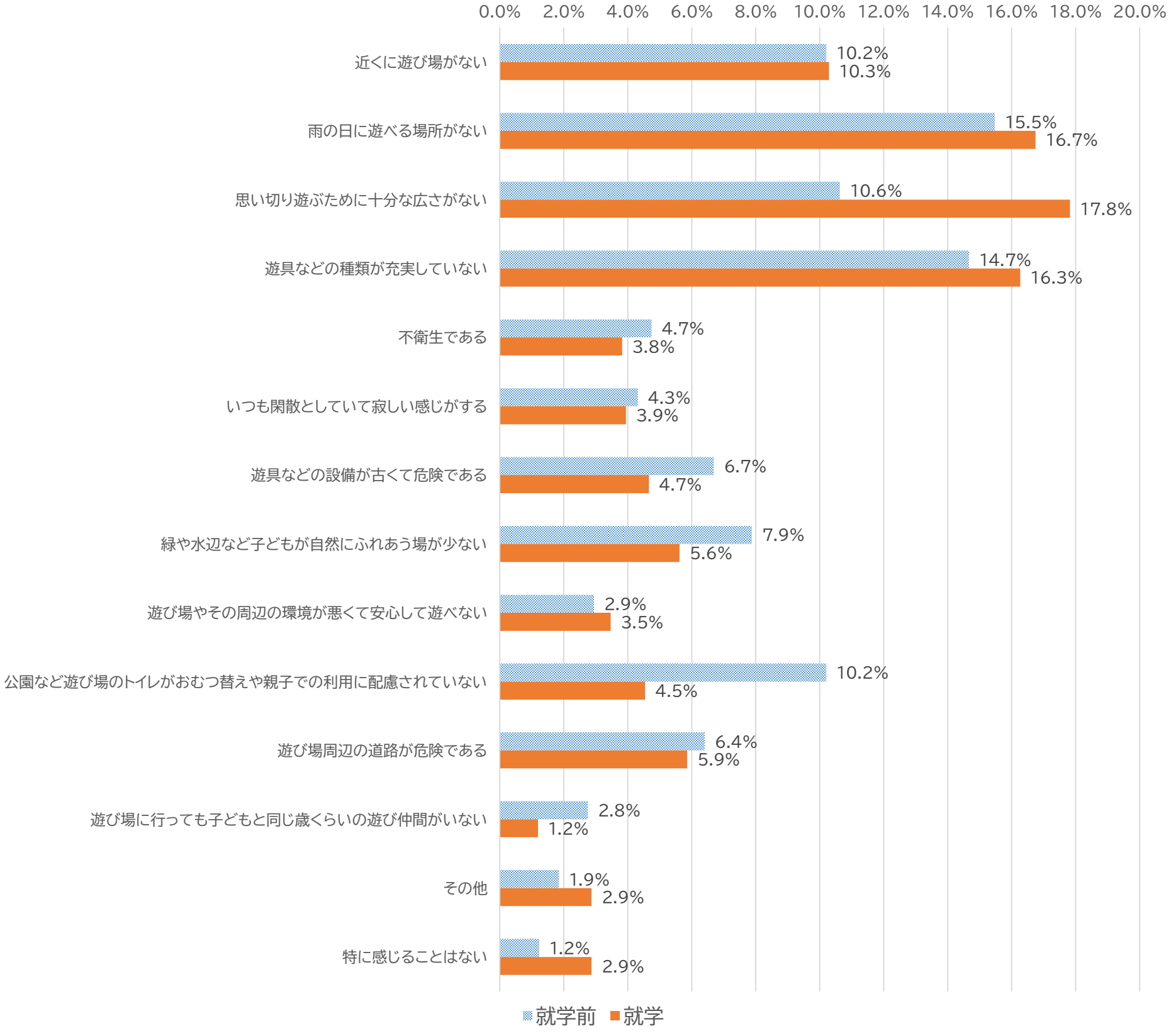
就学前児童・就学児童ともに、「満足していない」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童52.0%、就学児童66.2%）　特に、就学児童層の回答が7割近い結果となっていることから、子どもの遊び場への要望が高い。
就学前児童と就学児童を比較すると、「どちらとも思わない」と回答した割合、「満足している」と回答した割合が、就学前児童の方が高い。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（5）子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

問39（就学児童問28）　お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N=2,107（就学前児童）、836（就学児童）　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



就学前児童・就学児童ともに、「雨の日に遊べる場所がない」、「道具などの種類が充実していない」と回答した割合が高くなっている。（雨の日に遊べる場所がない：就学前児童15.5%、就学児童16.7%）（道具などの種類が充実していない：就学前児童14.7%、就学児童16.3%）　これらを踏まえ、遊べる場所を求める声が高い。

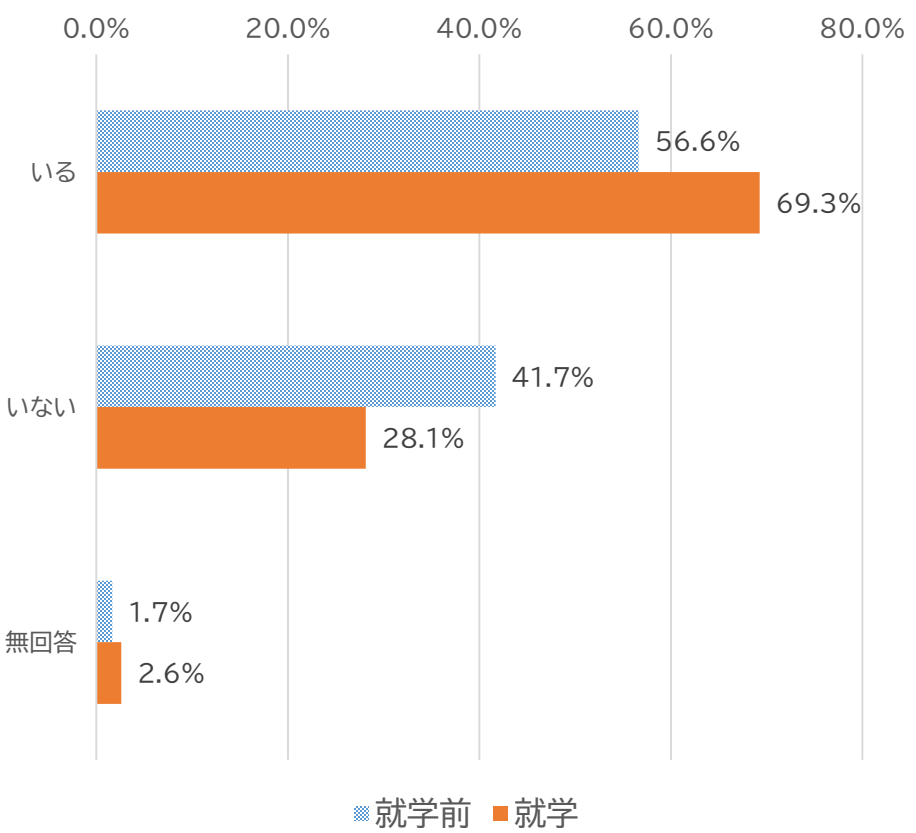
就学前児童と就学児童を比較すると、就学前児童においては、「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」と回答した割合が高く（10.2%）、遊び場利用の環境面の充実を求める声が特徴となっている。一方、就学児童では、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」と回答した割合が高く（17.8%）、遊び場のキャパシティ（ファシリティ）を求める声が特徴的である。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（6）子育てに対する意識について

問40（就学児童問29）　近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

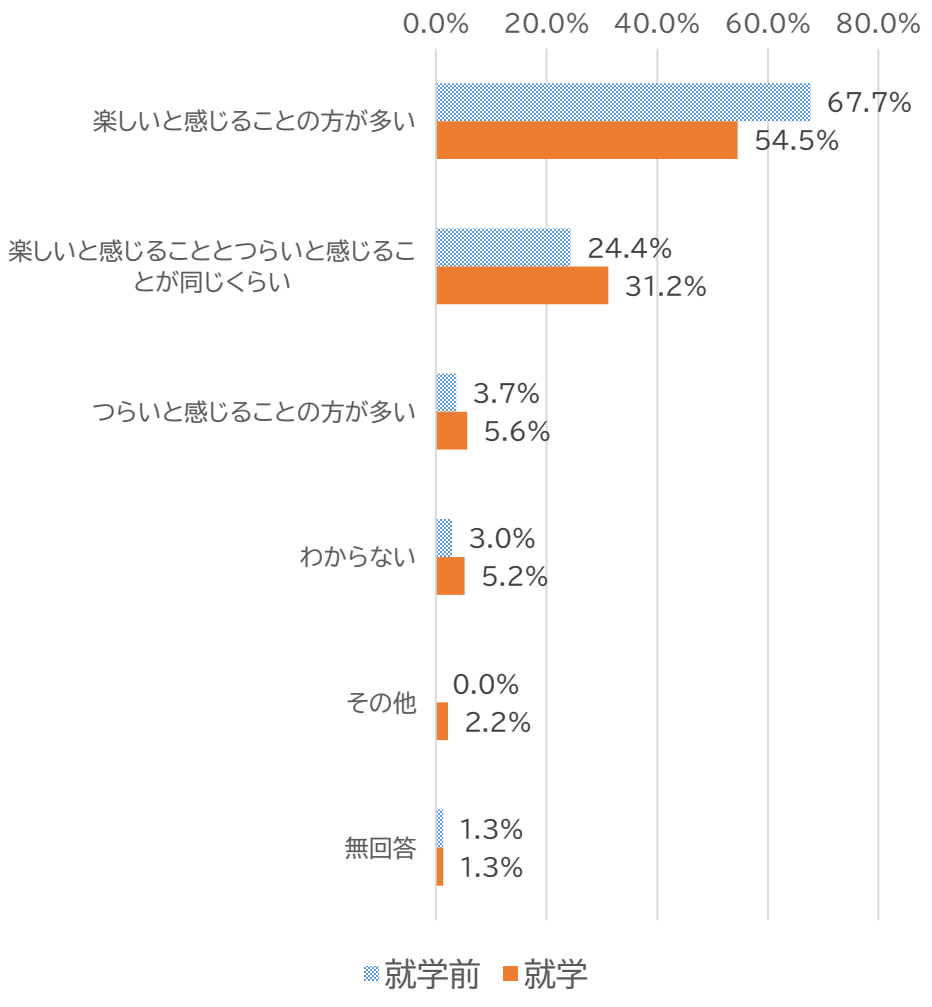
N=542（就学前児童）、231（就学児童）



就学前児童・就学児童ともに、「いる」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童56.6%、就学児童69.3%）
就学前児童と就学児童を比較すると、就学児童の方が「いる」と回答した割合が高く、問9（問7）の結果と同様、子育てに関するコミュニティの充実との相関関係がある。

問41（就学児童問30）　ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=542（就学前児童）、231（就学児童）



就学前児童・就学児童ともに、「楽しいと感じることの方が多い」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童67.7%、就学児童54.5%）
就学前児童と就学児童を比較すると、就学児童の方が「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」と回答した割合が高く（31.2%）、問41-2で示すとおり、「仕事と家庭生活の両立」や「子どもの教育環境」などを求める声が高い

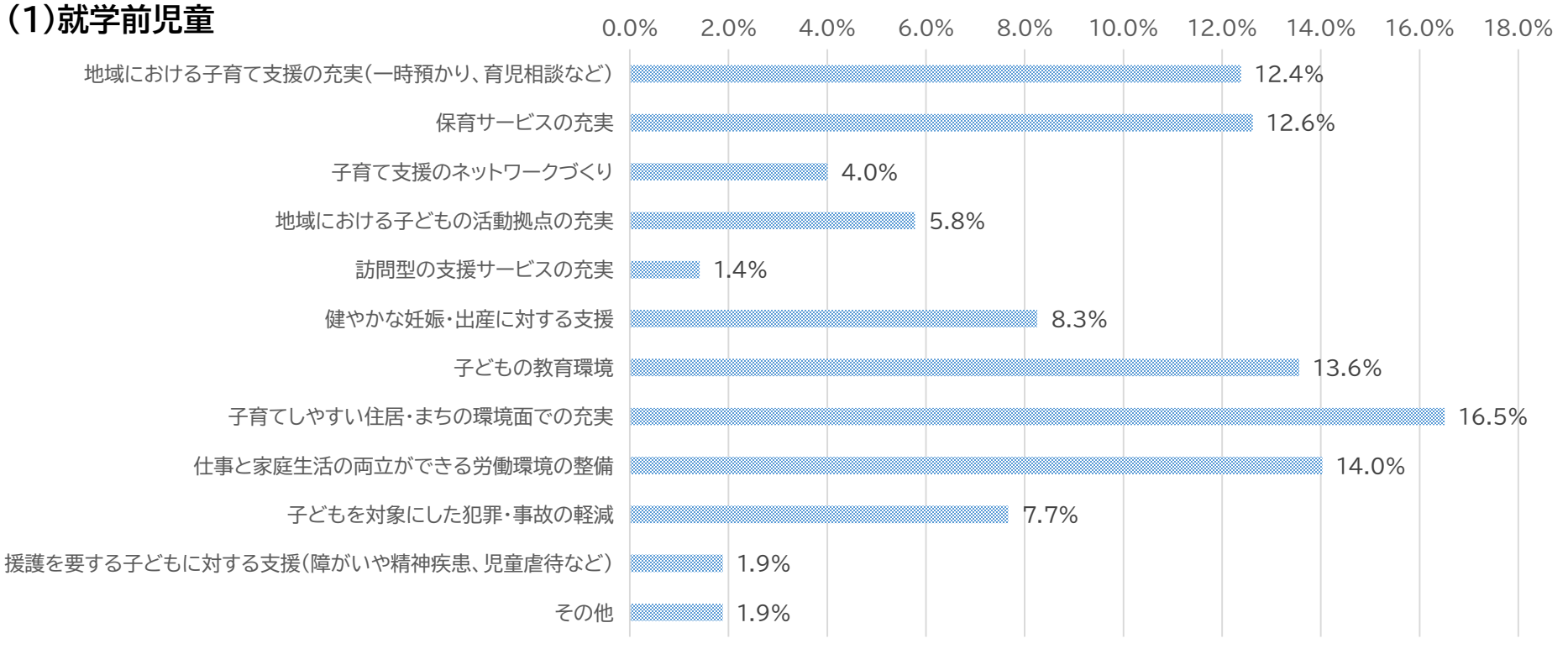
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（6）子育てに対する意識について

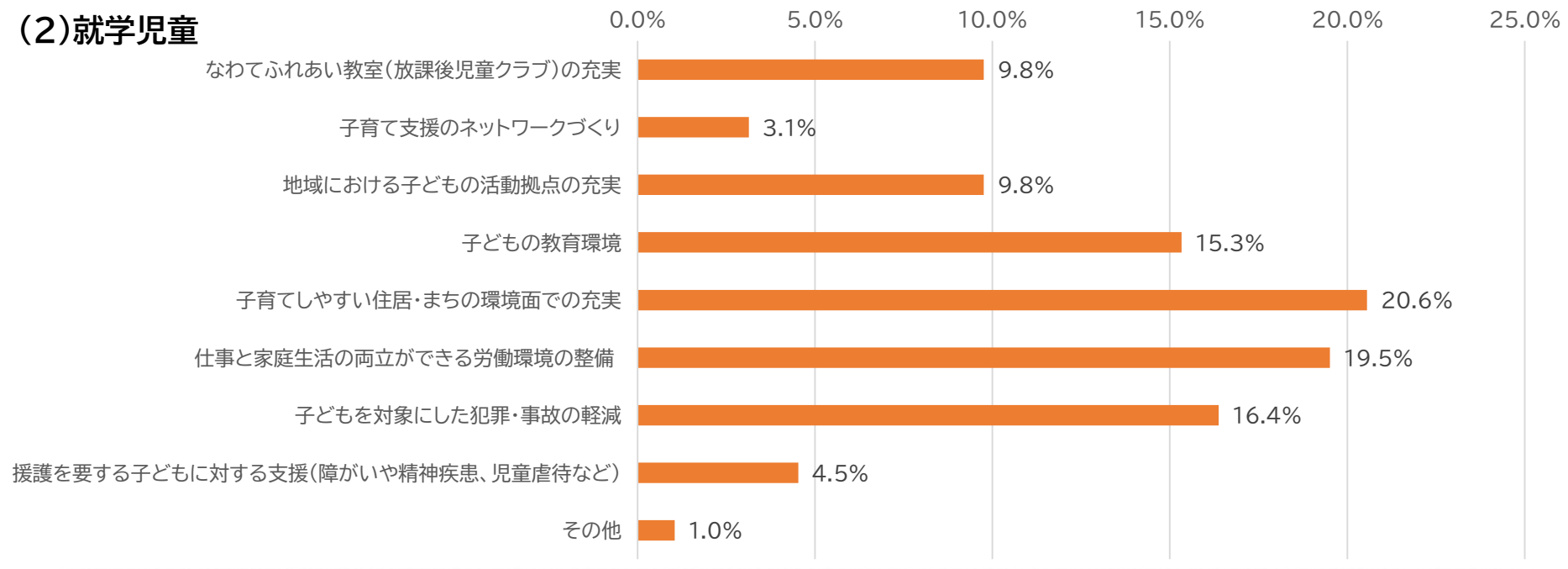
問41－1（就学児童問30－1）　問41（就学児童問30）で「1.」を選ばれた、子育てを楽しいと感じる方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

N=848（就学前児童）、287（就学児童）　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

（1）就学前児童



（2）就学児童



○共通の傾向
就学前児童・就学児童ともに、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」、「子どもの教育環境」と回答した割合が高くなっている。（子育てしやすい住居・まちの環境面での充実：就学前児童16.5%、就学児童20.6%）、（仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備：就学前児童14.0%、就学児童19.5%）、（子どもの教育環境：就学前児童13.6%、就学児童15.3%）

○就学前児童と就学児童との比較
就学前児童においては、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）（12.4%）」、「保育サービスの充実（12.6%）」を回答した割合が高い。一方で、就学児童については、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」を回答した割合が16.4%と高くなっている。就学前児童については、子育て支援の充実等を望む回答が高くなる一方で、就学児童については、子育て支援の充実に加えて、安心できる子育て環境を望む回答が高くなっていることが特徴となっている。

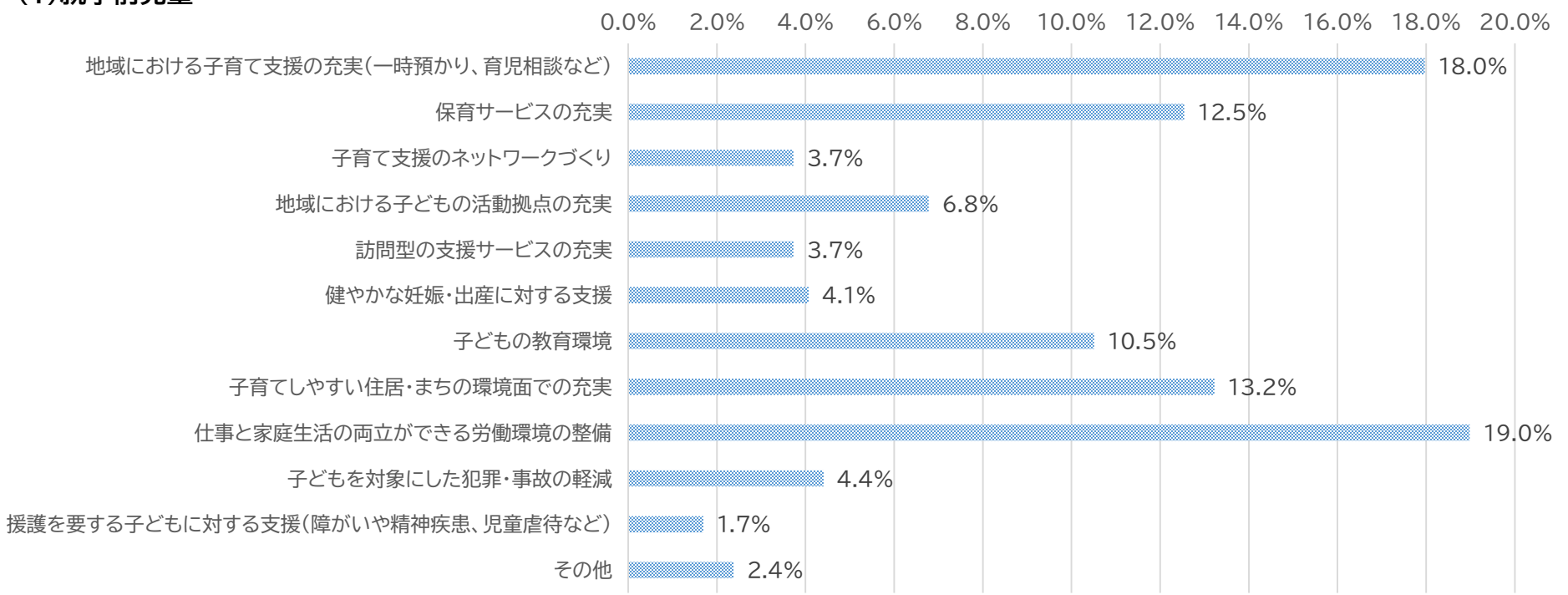
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（6）子育てに対する意識について

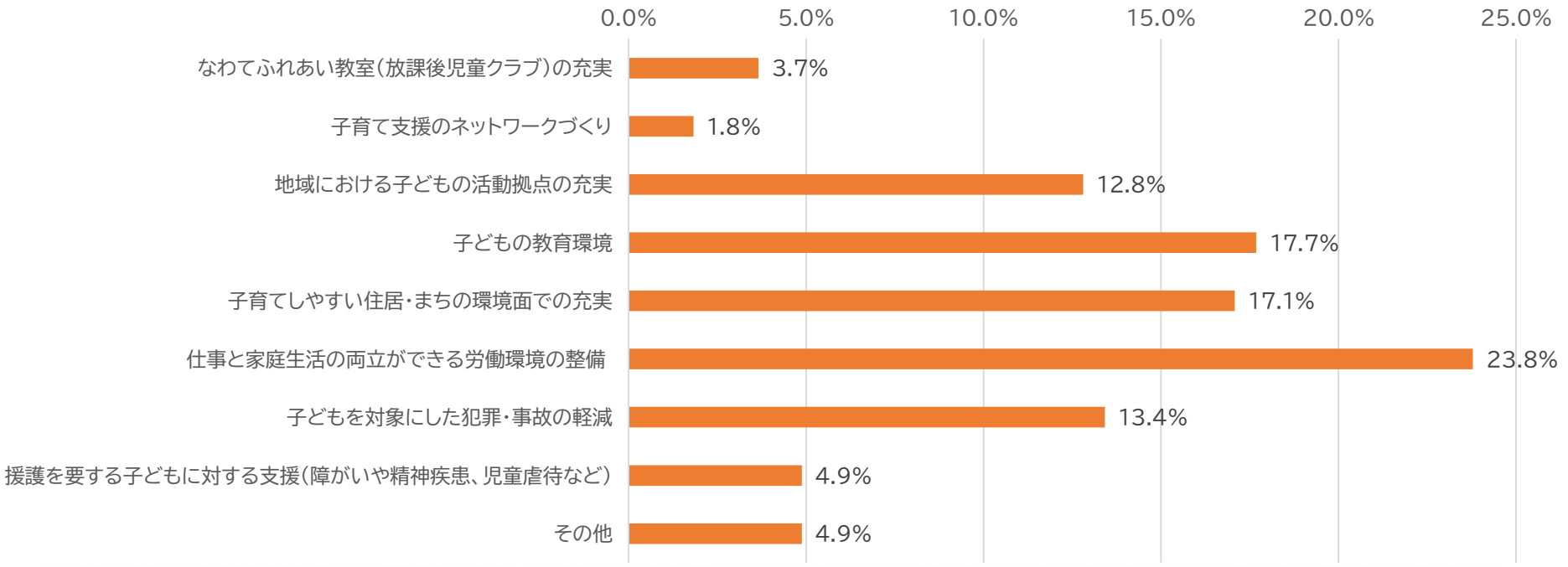
問41－2（就学児童問30－2）　問41（就学児童問30）で「2.」「3.」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

N=295（就学前児童）、164（就学児童）　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

（1）就学前児童



（2）就学児童



○共通の傾向
就学前児童・就学児童ともに、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」、「子どもの教育環境」と回答した割合が高くなっている。（仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備：就学前児童19.0%、就学児童23.8%）、（子育てしやすい住居・まちの環境面での充実：就学前児童13.2%、就学児童17.1%）、（子どもの教育環境：就学前児童10.5%、就学児童17.7%）

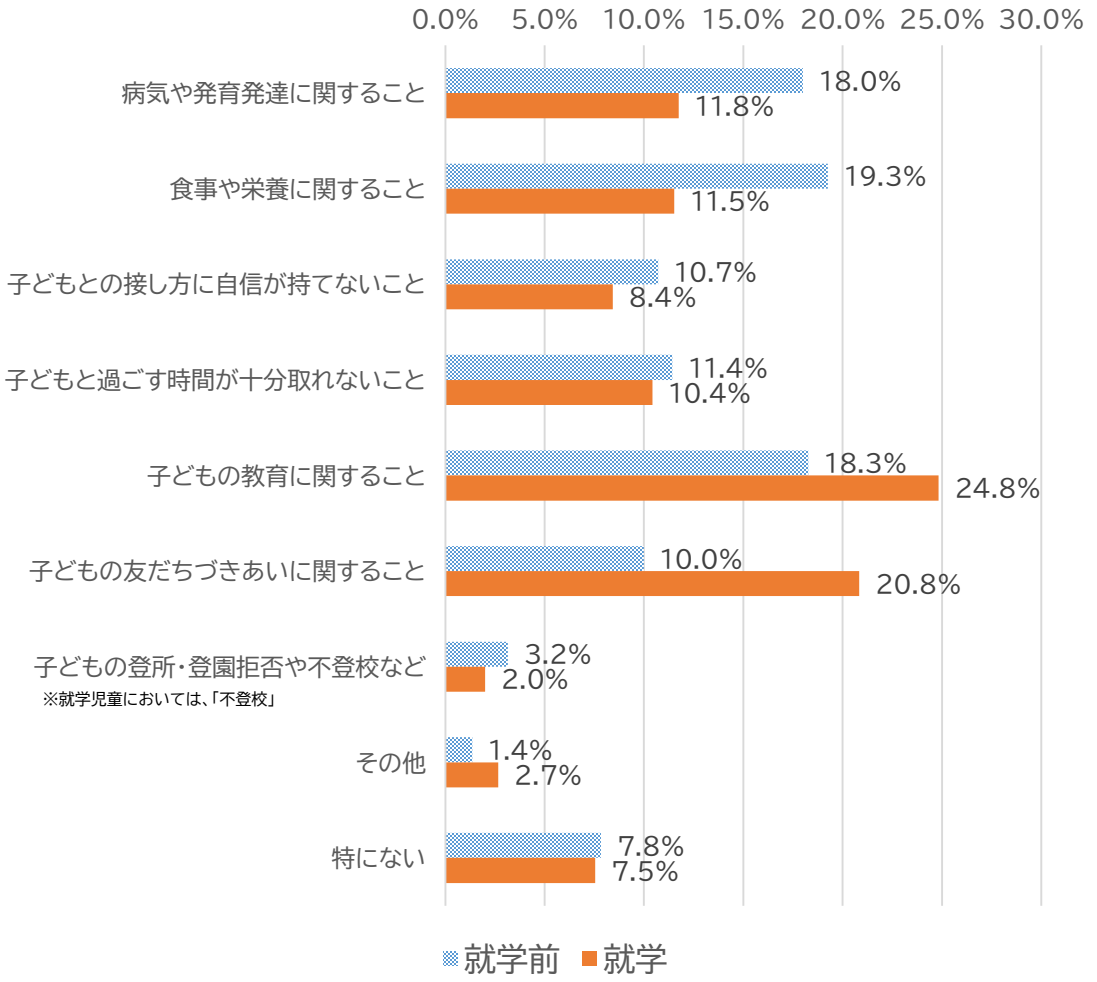
○就学前児童と就学児童との比較
就学前児童においては、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）（18.0%）」、「保育サービスの充実（12.5%）」を回答した割合が高い。一方で、就学児童については、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」を回答した割合が13.4%と高くなっている。就学前児童については、子育て支援の充実等を望む回答が高くなる一方で、就学児童については、子育て支援の充実に加えて、安心できる子育て環境を望む回答が高くなっていることが特徴となっている。

Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（6）子育てに対する意識について

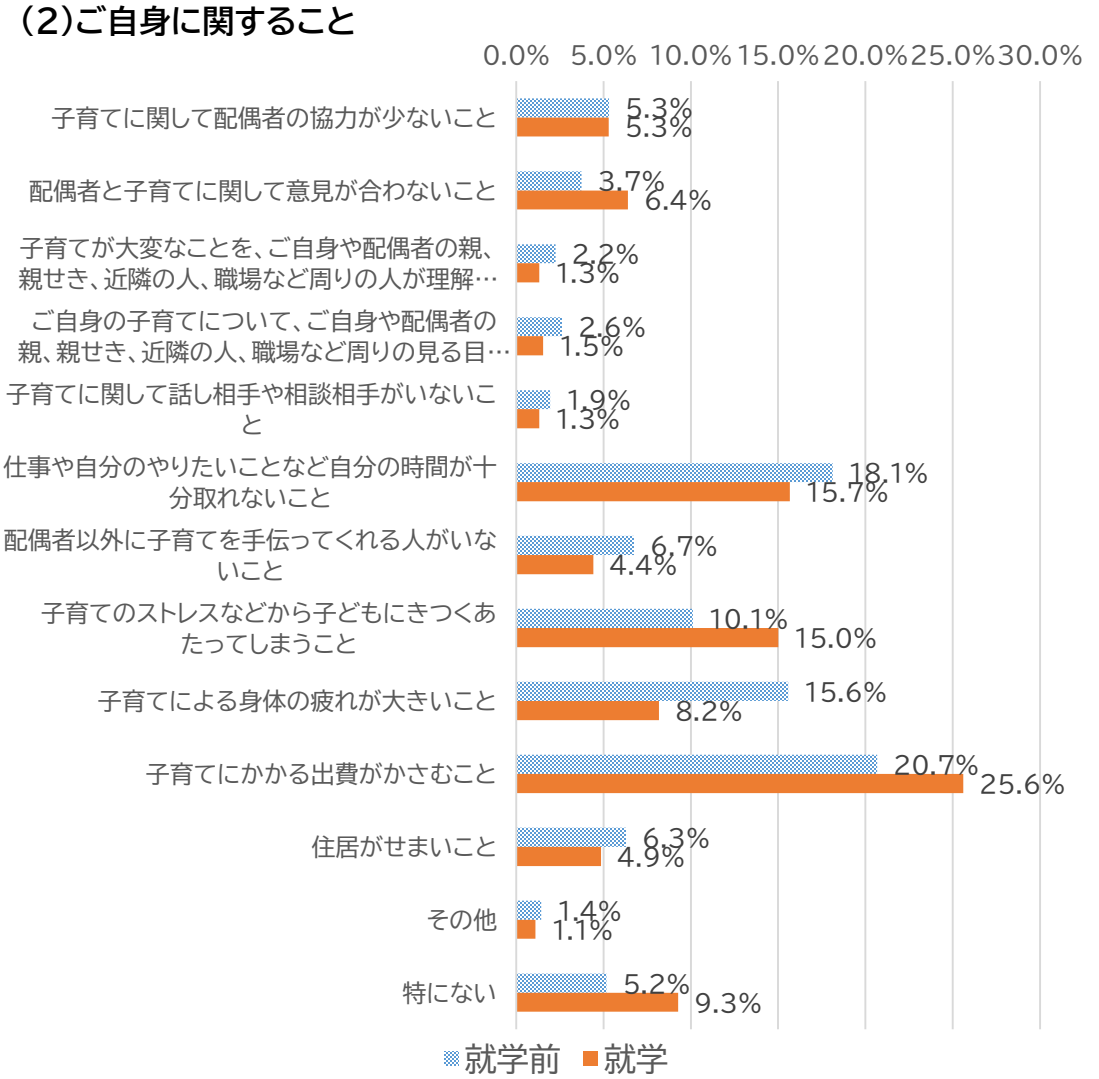
問42（就学児童問31）子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1)子どもに関すること



○共通の傾向
就学前児童・就学児童ともに、「子どもの教育に関すること」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童：18.3%、就学児童24.8%）
○就学前児童と就学児童との比較
就学前児童においては、「病気や発育発達に関すること（18.0%）」、「食事や栄養に関すること（19.3%）」と回答した割合が高くなっている。一方、就学児童は、「子どもの友だちづきあいに関すること（20.8%）」と回答した割合が高くなっている。
このことから、就学前児童においては、子どもの健康面に関する日常の悩みや気になることが特徴となっていることに対して、就学児童においては、子どもの人間関係に関する、日常の悩みや気になることが特徴となっている。

(2)ご自身に関すること



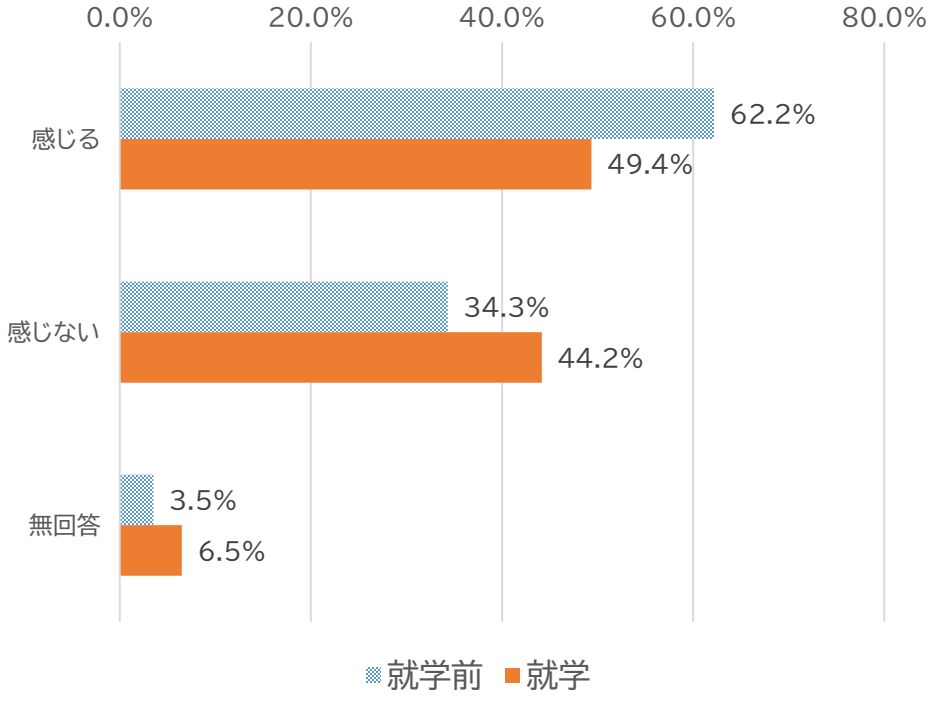
○共通の傾向
就学前児童・就学児童ともに、「子育てにかかる出費がかさむこと」と回答した割合が高く、（就学前児童：20.7%、就学児童25.6%）次いで、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が高くなっている。（就学前児童：18.1%、就学児童15.7%）
○就学前児童と就学児童との比較
就学前児童においては、「子育てによる身体の疲れが大きいこと（15.6%）」と回答した割合が高くなっている。一方、就学児童においては、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと（15.0%）」、「配偶者と子育てに関して意見が合わないこと（6.4%）」が高くなっている。
このことから、就学前児童においては、体力面に関する日常の悩みや気になることが特徴となっていることに対して、就学児童においては、自身の精神面や夫婦間のコミュニケーション面に関する、日常の悩みや気になることが特徴となっている。

Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（6）子育てに対する意識について

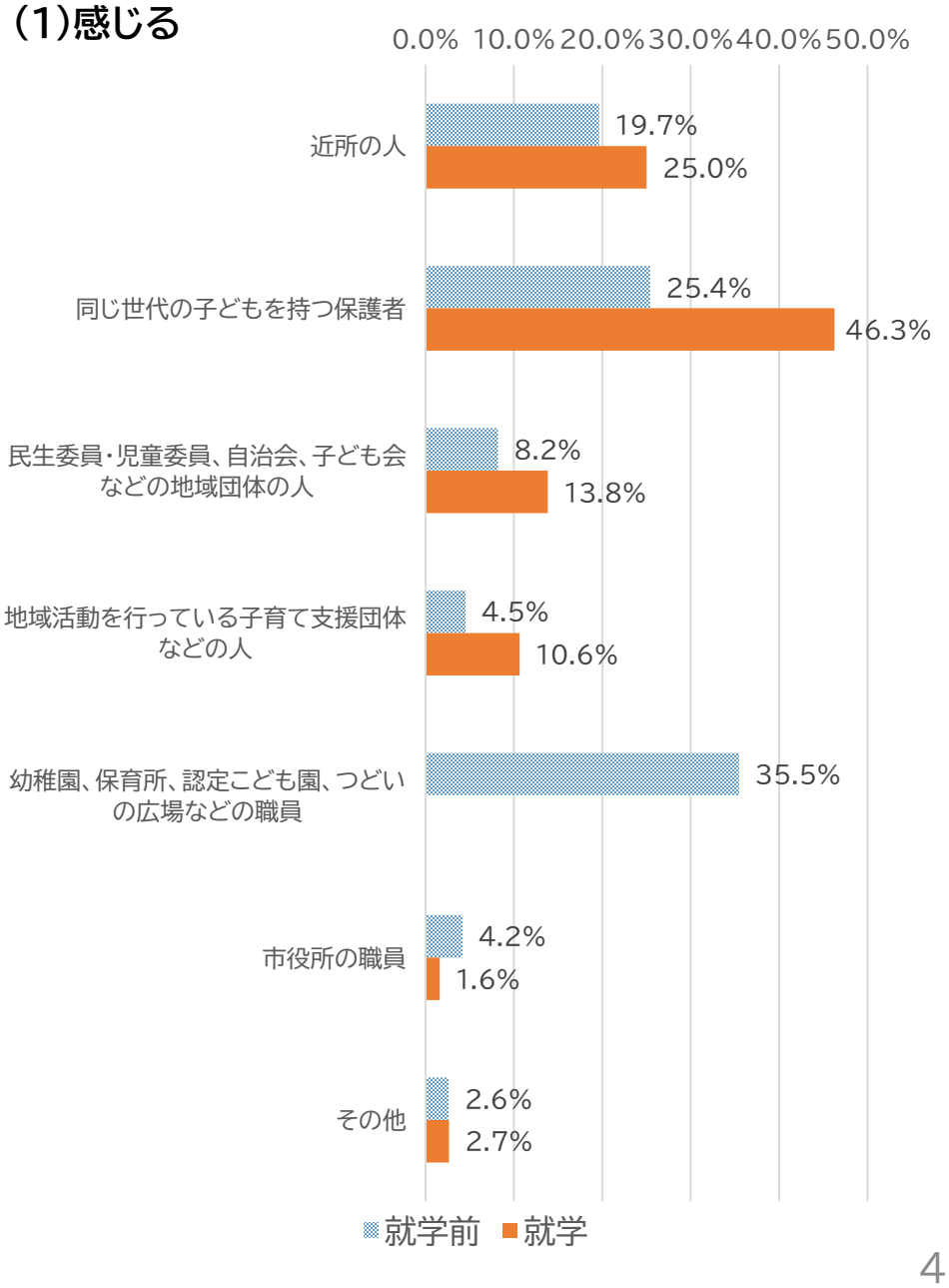
問43（就学児童問32）　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。（　）内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

「感じる」・「感じない」の内訳　N＝542（就学前児童）、231（就学児童）



就学前児童・就学児童ともに、「感じる」と回答した割合が高くなっている。（就学前児童：62.2%、就学児童49.4%）

（1）感じる



○共通の傾向
就学前児童・就学児童ともに「同じ世代の子どもを持つ保護者」と回答した割合が高く（就学前25.4%、就学46.3%）、次いで「近所の人」（就学前19.7%、就学25.0% ）となっている。
○就学前児童と就学児童との比較
就学前児童においては、「幼稚園、保育所、認定こども園、つどいの広場などの職員」を回答している割合が高く（35.5%）なっている。
一方、就学児童においては、「同じ世代の子どもを持つ保護者（46.3%）」、「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人（13.8%）」、「地域活動を行っている子育て支援団体などの人（10.6%）」を回答する割合が高くなっていることが特徴である。
就学前児童では、幼稚園等からのサポートを、就学児童においては、同じ世代の子どもを持つ保護者等からサポートを受けていることがわかる。

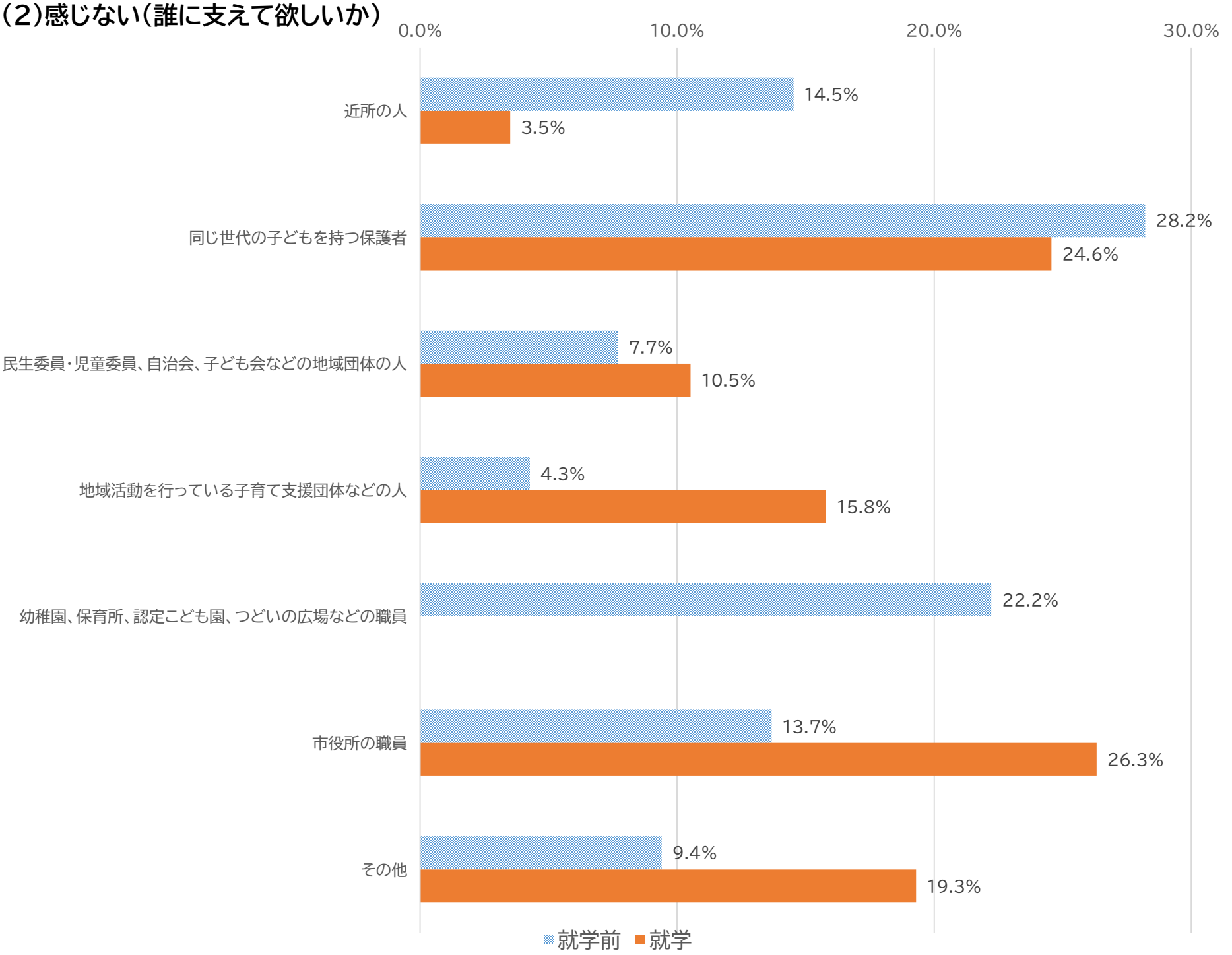
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（6）子育てに対する意識について

問43（就学児童問32）　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。（　）内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

「感じる」・「感じない」の内訳　N＝542（就学前児童）、231（就学児童）

（2）感じない（誰に支えて欲しいか）



○共通の傾向
就学前児童・就学児童ともに「同じ世代の子どもを持つ保護者」と回答した割合が高く（就学前28.2%、就学24.6%）、次いで「市役所の職員」（就学前13.7%、就学26.3% ）となっている。
○就学前児童と就学児童との比較
就学前児童においては、「幼稚園、保育所、認定こども園、つどいの広場などの職員」を回答している割合が高く（22.2%）、次いで、「近所の人」が14.5%となっている。
一方、就学児童においては、「市役所の職員（26.3%）」、「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人（10.5%）」、「地域活動を行っている子育て支援団体などの人（15.8%）」を回答する割合が高くなっていることが特徴である。同じ世代の子どもを持つ保護者との繋がりや市役所職員への期待が高いことがわかる。

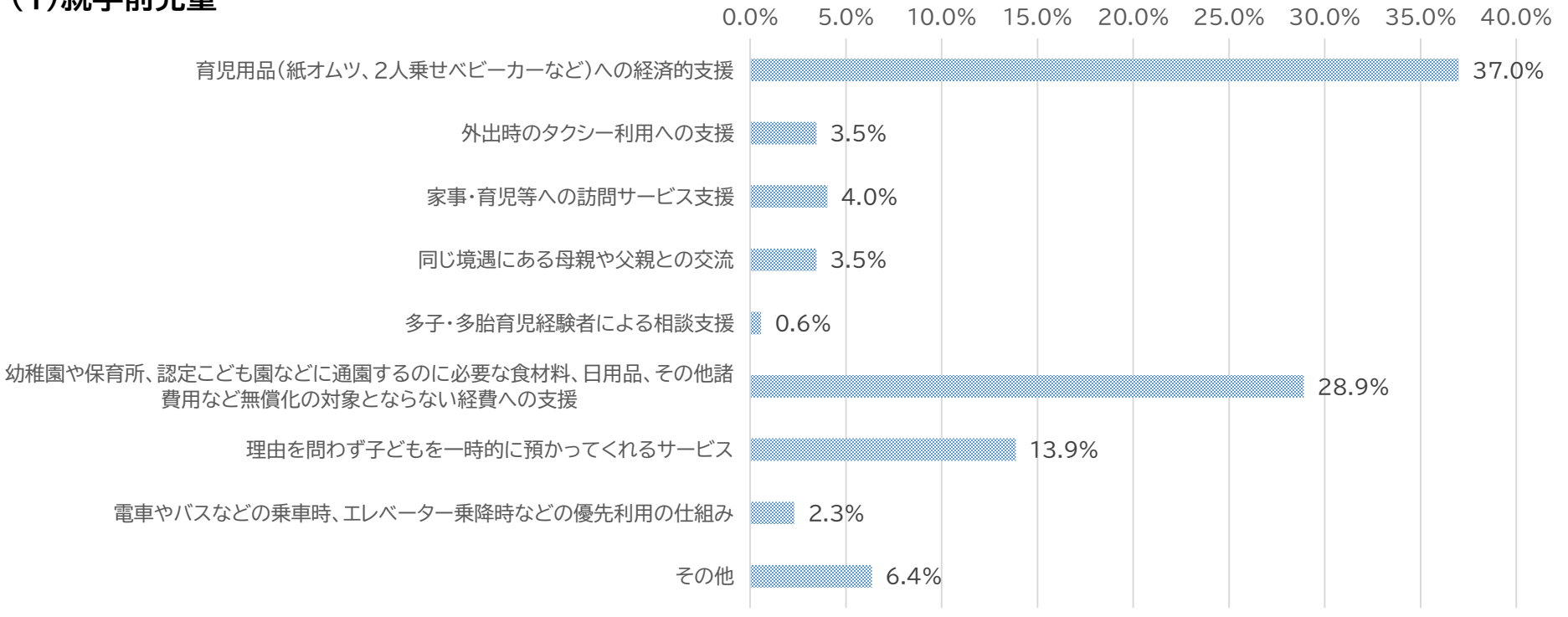
Ⅱ　調査結果　1　就学前児童と就学児童との比較

（7）お子さんが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方

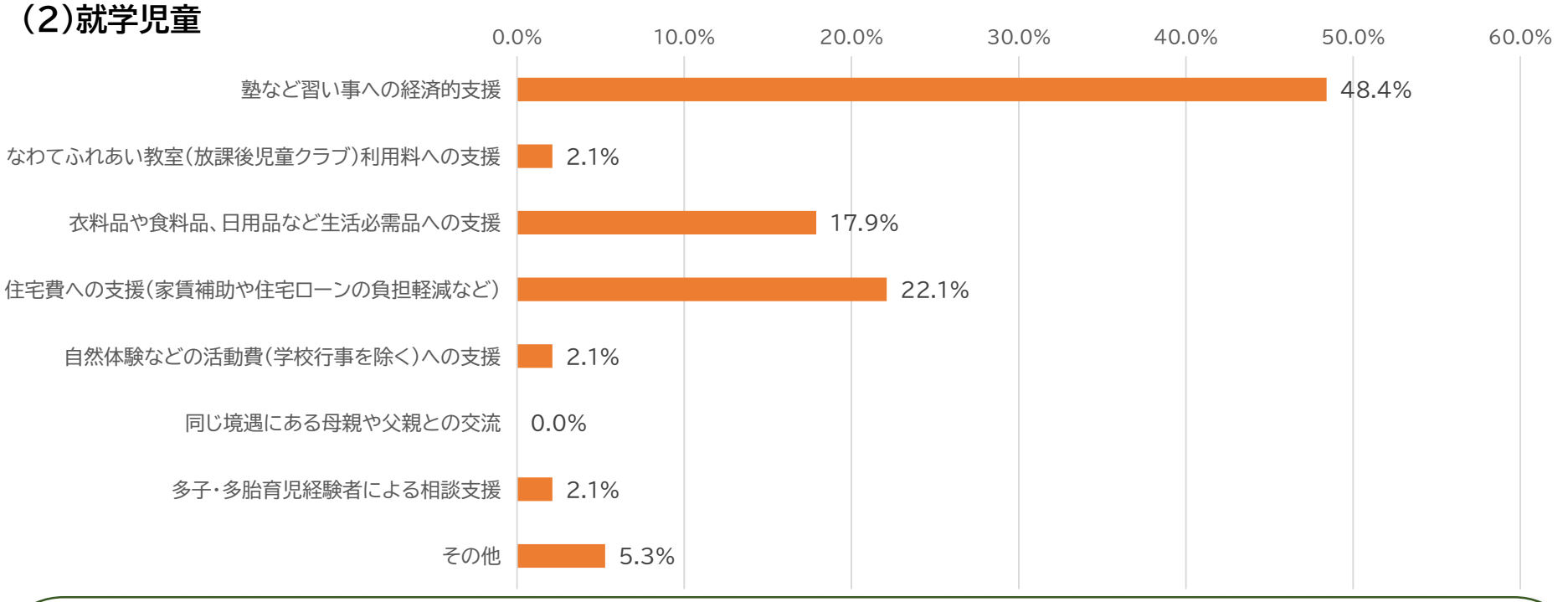
問44（就学児童問33）　どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われますか。もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。

N=173（就学前児童）、95（就学児童）

（1）就学前児童



（2）就学児童



○共通の傾向
「育児用品（紙オムツ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援（就学前児童37.0% ）」、「塾など習い事への経済的支援（就学児童48.4%）」と回答した割合が高い。これらは、経済的支援の充実という点で一致する。また、就学前児童においては、「幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援」、就学児童においては、「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」を回答する割合が高く、衣料品、食料品、日用品など「モノ」への支援を充実させてほしいニーズがある。
○就学前児童と就学児童との比較
就学前児童においては、「理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス」が13.9%となっているのに対して、就学児童では、「なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）利用料への支援」への回答が2.1%となっていることから、「子どもを預ってくれるサービス」については、就学前児童の方にニーズがある。

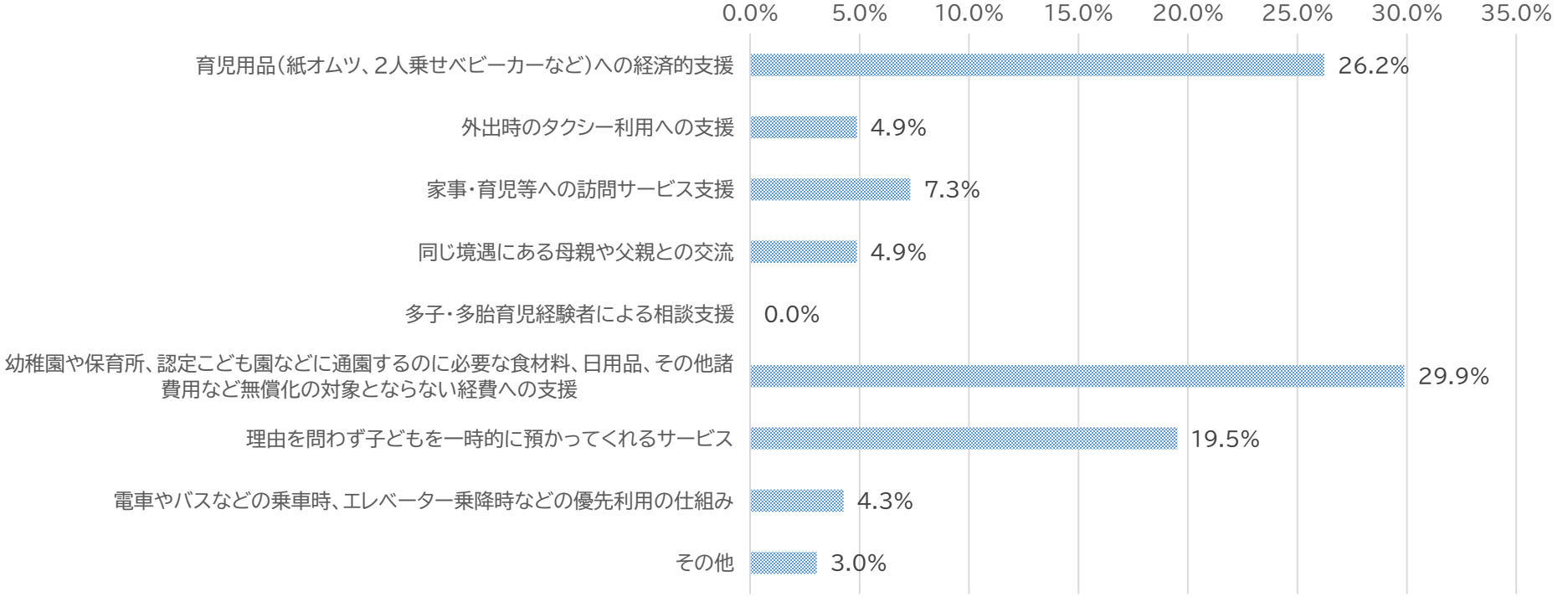
Ⅱ　調査結果　１　就学前児童と就学児童との比較

（7）お子さんが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方

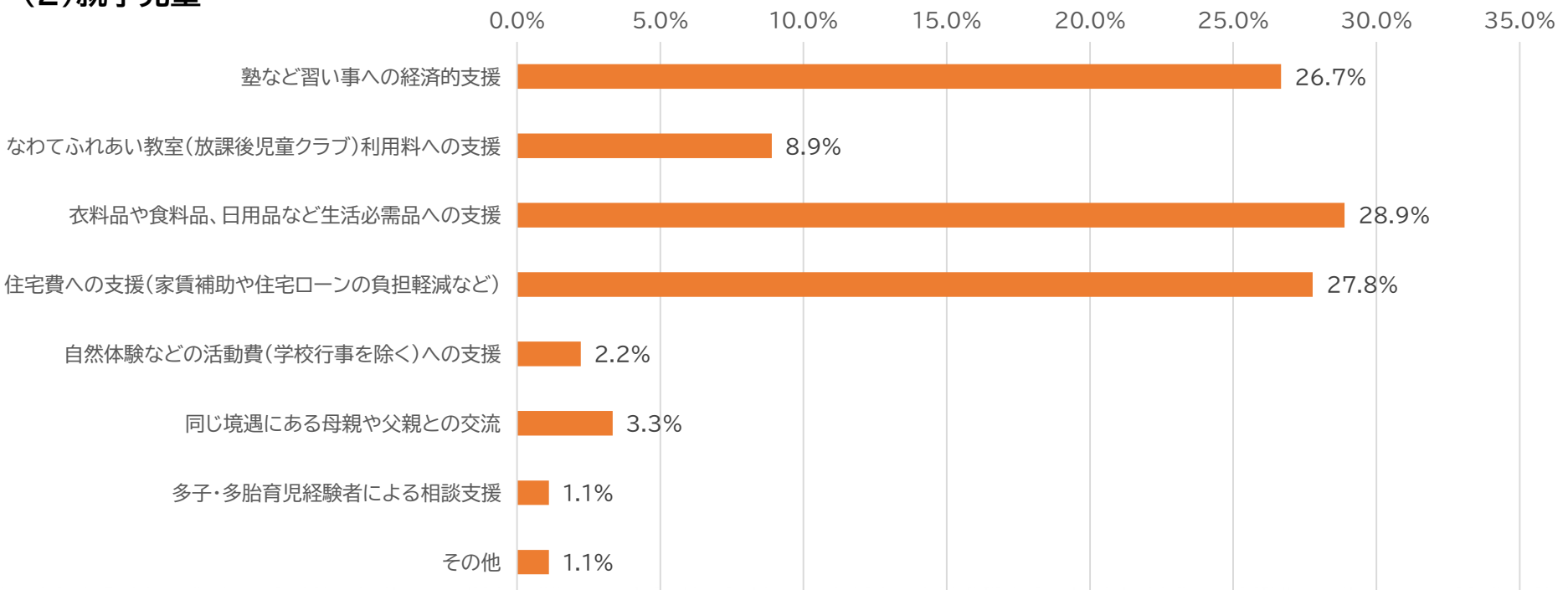
問44－1（就学児童問33－1）　2番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。

N=164（就学前児童）、90（就学児童）

（1）就学前児童



（2）就学児童



○共通の傾向
「幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援（就学前児童29.9% ）」、「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援（就学児童28.9%）」と回答した割合が高い。これらは、生活物資への支援という点で一致している。また、就学前児童においては、「育児用品（紙オムツ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援」、就学児童においては、「住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）」を回答する割合が高く、経済的支援を充実させてほしいニーズがある。
○就学前児童と就学児童との比較
就学前児童においては、「理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス」が19.5%となっているのに対して、就学児童では、「なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）利用料への支援」への回答が8.9%となっていることから、「子どもを預ってくれるサービス」については、就学前児童の方にニーズがある。

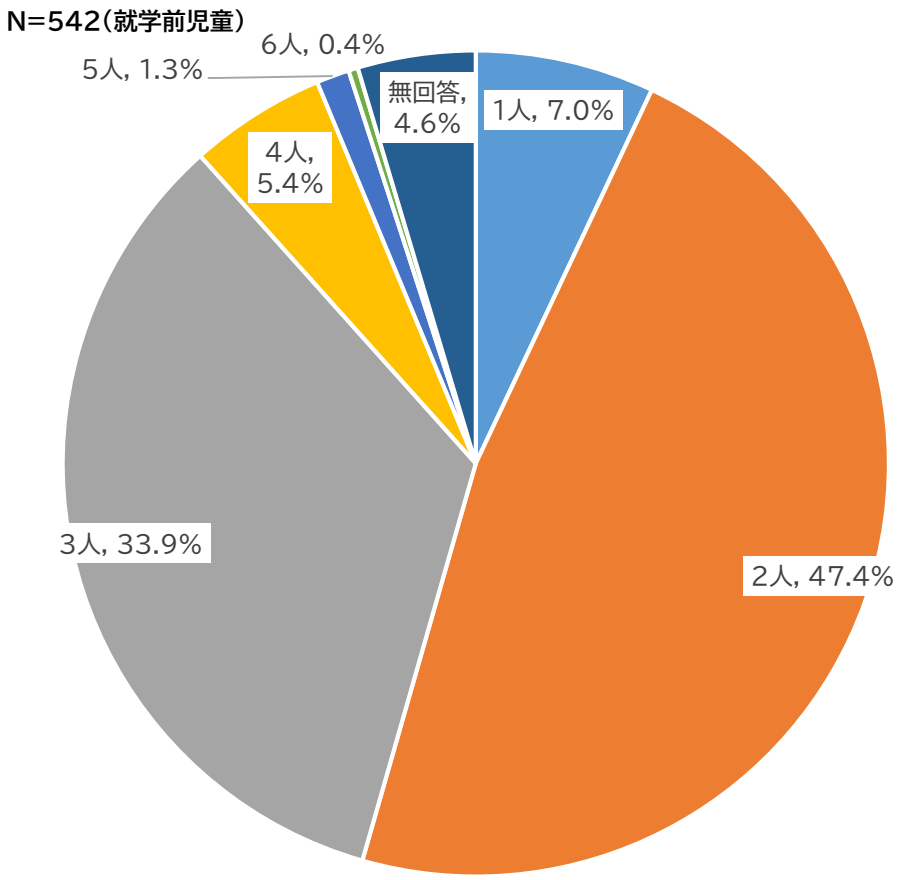
Ⅱ　調査結果

２　就学前児童の状況

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問5　希望として、子どもが何人ほしいですか。

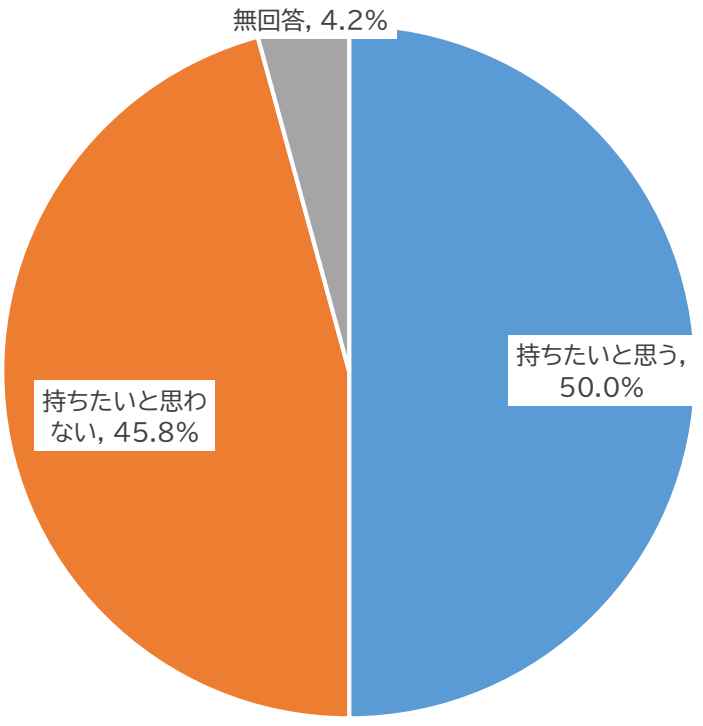


子どもの欲しい人数（人）	回答（件）	割合（%）
1	38	7.0
2	257	47.4
3	184	33.9
4	29	5.4
5	7	1.3
6	2	0.4
無回答	25	4.6

「2人」と回答した割合が47.4%と最も高く、次いで「3人」が33.9%、「1人」が7.0%となっている。

問6　もう1人以上の子どもを持ちたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=542（就学前児童）



回答	回答（件）	割合（%）
持ちたいと思う	271	50.0
持ちたいと思わない	248	45.8
無回答	23	4.2

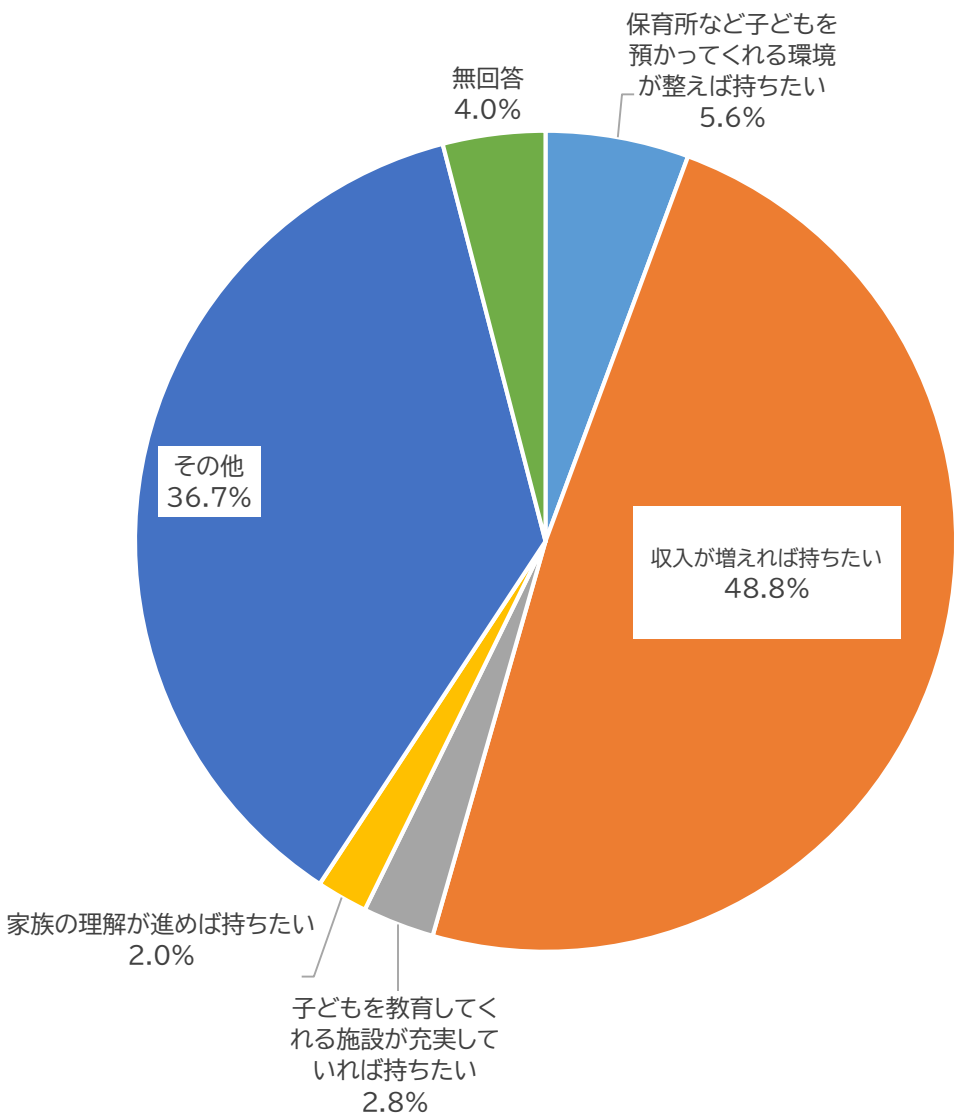
「持ちたいと思う」と回答した割合が50.0%と最も高く、次いで「持ちたいと思わない」が45.8%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問6－1　問6で「2. 持ちたいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。
どのような環境が整えばもう1人以上の子どもを持ちたいと思いますか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=248「持ちたいと思わない回答数」



主な理由	回答（件）	割合（%）
保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば持ちたい	14	5.6
収入が増えれば持ちたい	121	48.8
子どもを教育してくれる施設が充実していれば持ちたい	7	2.8
家族の理解が進めば持ちたい	5	2.0
その他	91	36.7
無回答	10	4.0

※「働くところが見つかれば持ちたい」の回答なし

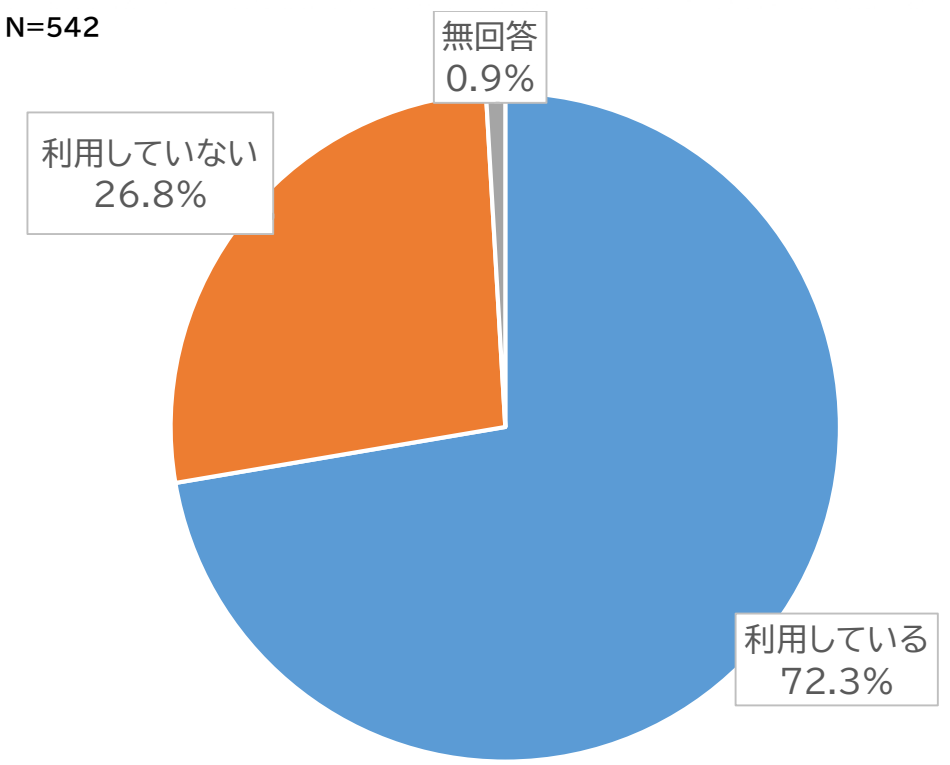
「収入が増えれば待ちたい」と回答した割合が、48.8%と最も高くなっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

（2）平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

問14　平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=542

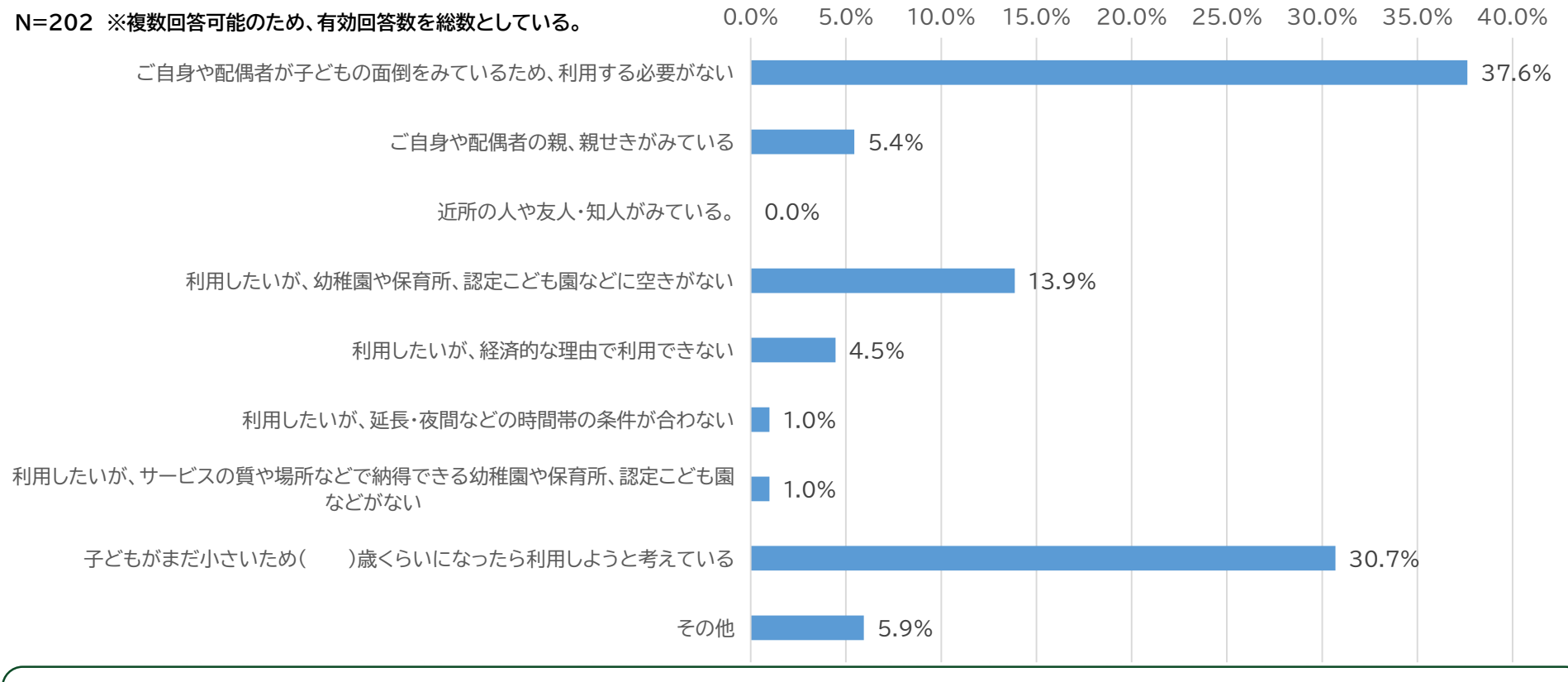


利用状況	回答（件）	割合（%）
利用している	392	72.3
利用していない	145	26.8
無回答	5	0.9

「利用している」と回答した割合が72.3%と最も高く、次いで「利用していない」が26.8%となっている。

問14－1　問14で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N=202　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



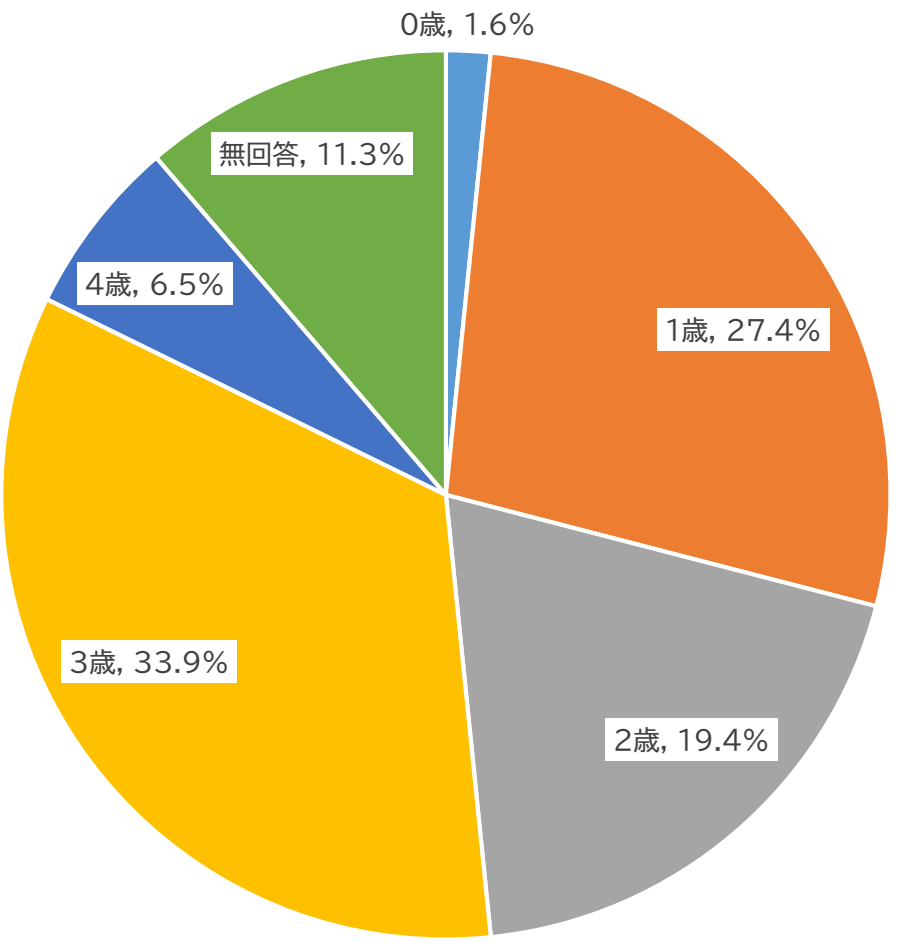
「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」と回答した割合が37.6%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため()歳ぐらいになったら利用しようと考えている」が30.7%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（2）平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

「子どもがまだ小さいため（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている人」の子どもの年齢

N=62



年齢	件数（件）	割合（%）
0歳	1	1.6
1歳	17	27.4
2歳	12	19.4
3歳	21	33.9
4歳	4	6.5
無回答	7	11.3

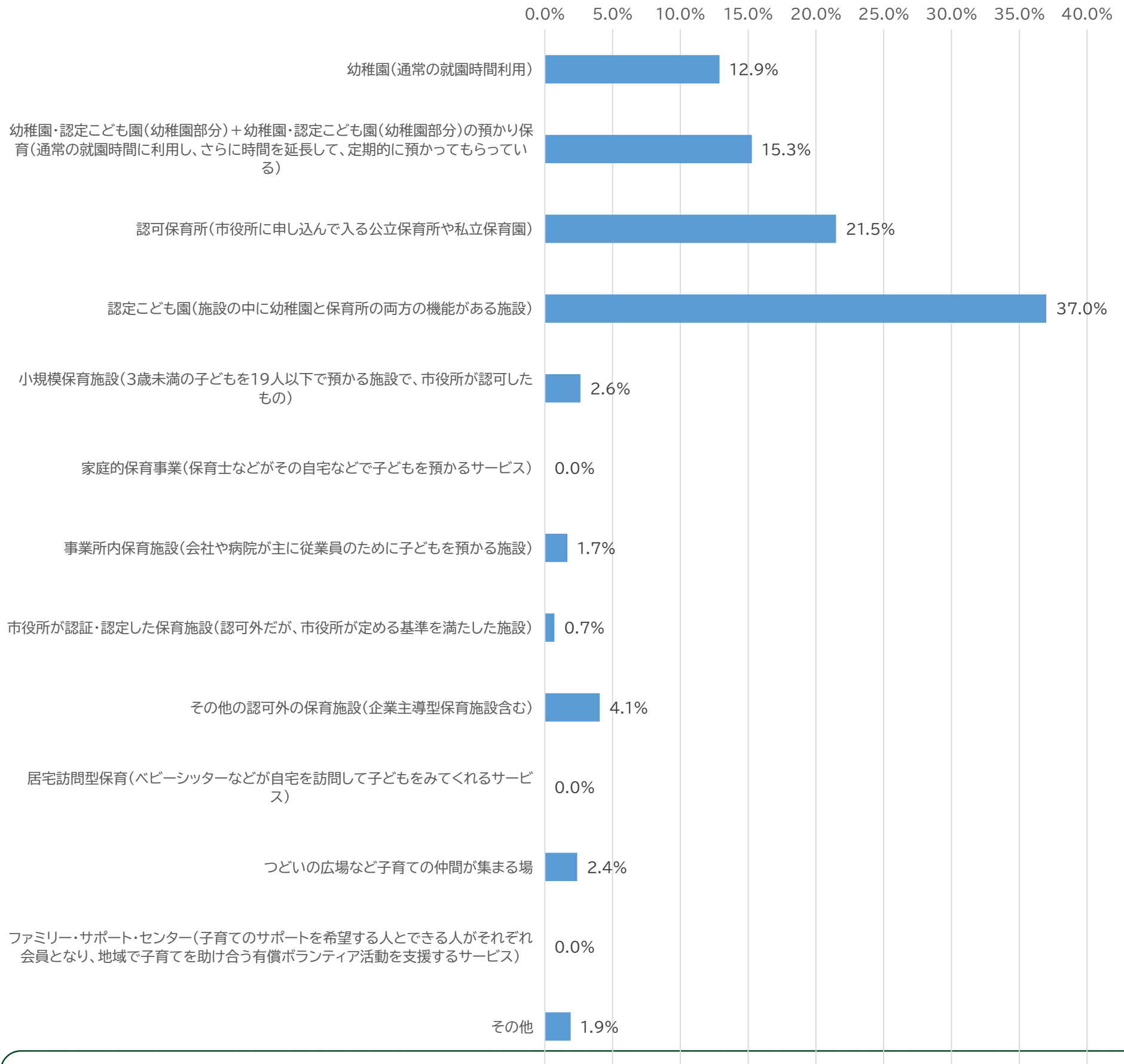
「3歳」と回答した割合が33.9%と最も高く、次いで「1歳」が27.4%、「2歳」が19.4%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（2）平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

問14－２　問14で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。
封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N=419　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所の両方の機能がある施設）」と回答した割合が37.0%と最も高く、次いで、「認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園）」が21.5%、幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）＋幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）が15.3%となっている。

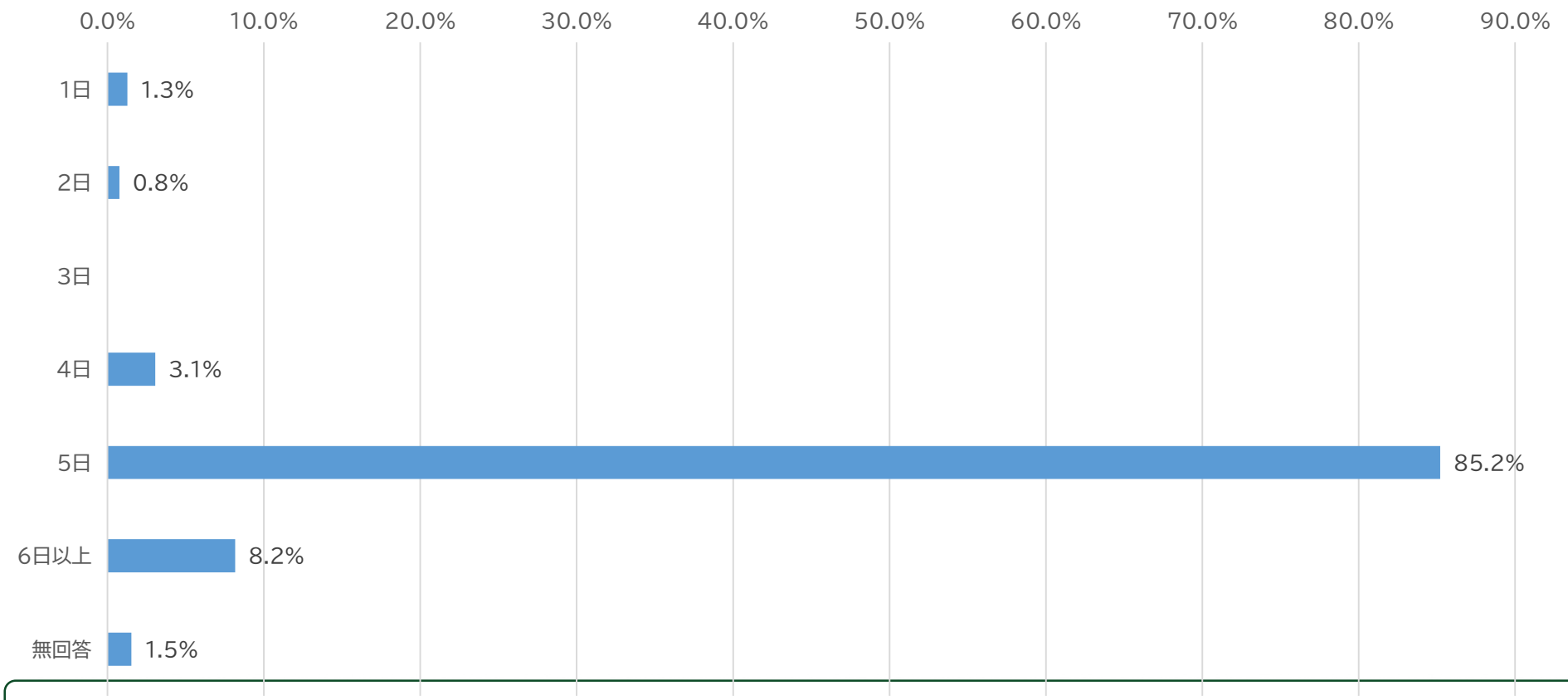
Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（2）平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

問14－3　問14で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。
現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。（　）内に具体的な数字を入れてください。

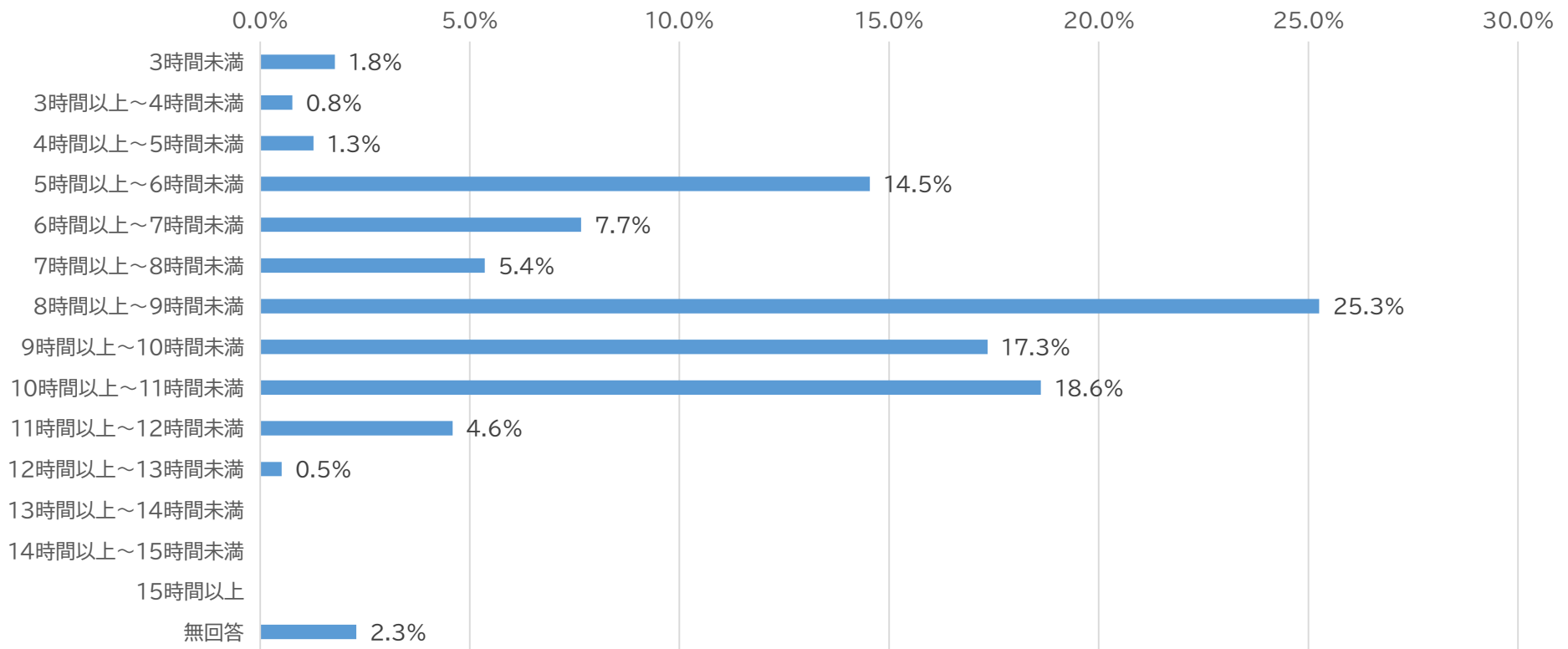
（1）現在の利用状況

① 1週当たり利用日数　N=392



「5日」と回答した割合が85.2%と最も高く、次いで「6日以上」の割合が8.2%となっている。

② 1日当たり利用時間　N=392



「8時間以上～9時間未満」と回答した割合が25.3%と最も高く、次いで「10時間以上～11時間未満」の割合が18.6%
「9時間以上～10時間未満」と回答した割合が17.3%となっている。

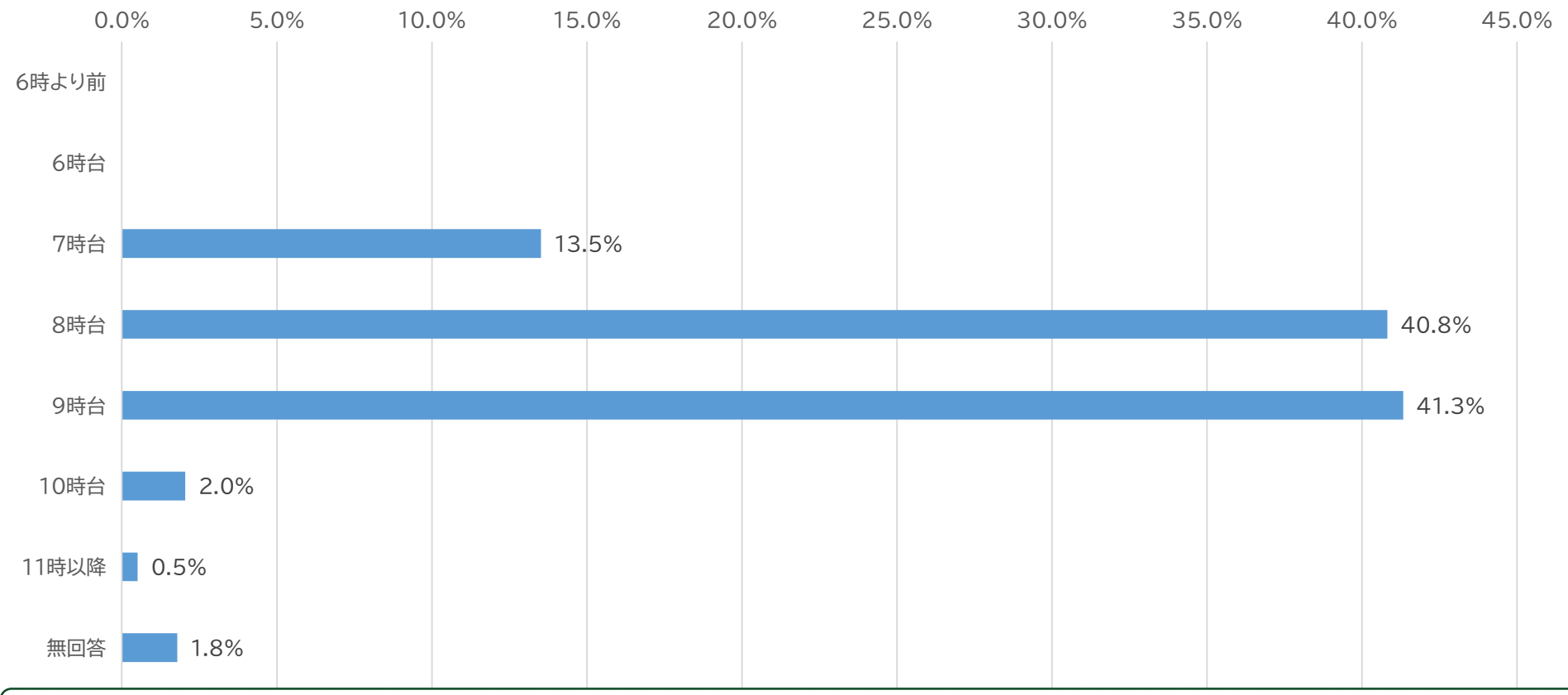
Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（2） 平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

問14－3　問14で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。
現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスについて、最も多いパターンとして、1週間に何日利用し、また1日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。（　）内に具体的な数字を入れてください。
時間は必ず24時間制で記入してください。

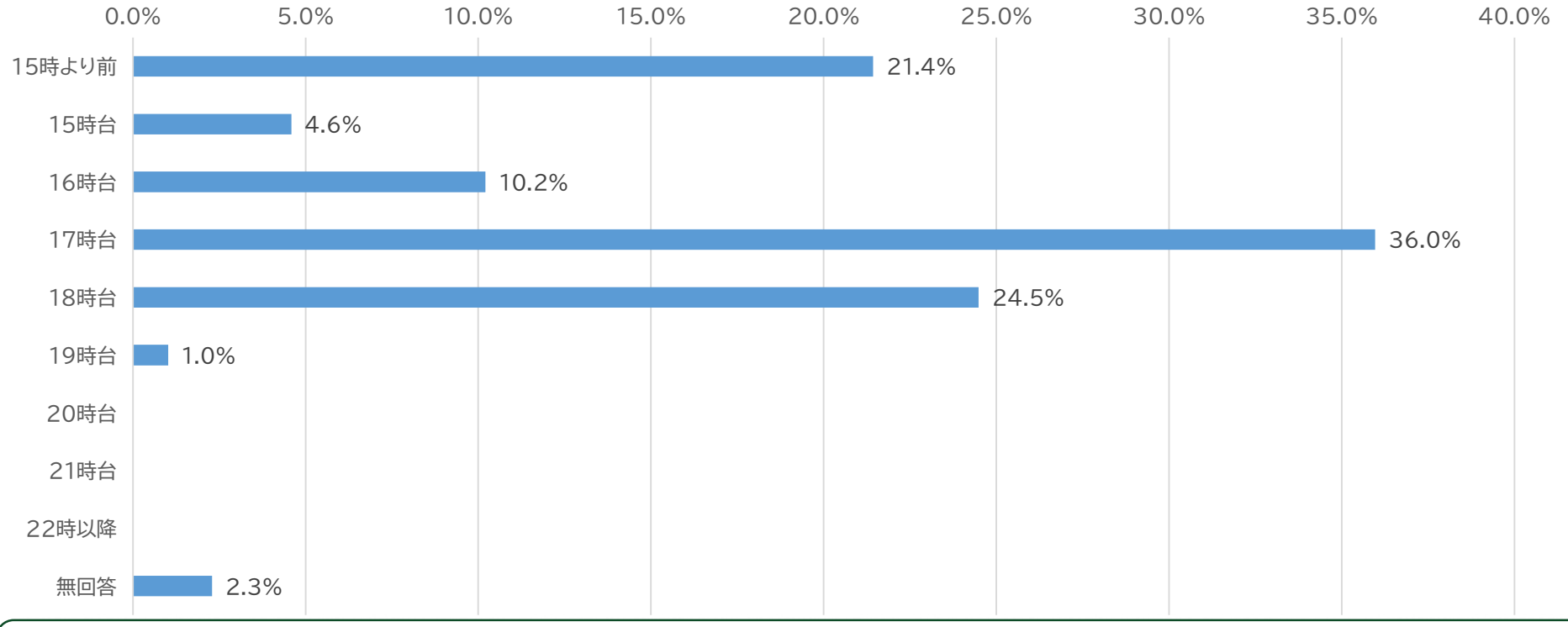
（1） 現在の利用状況　N＝392

③ 開始時刻



「9時台」と回答した割合が41.3%と最も高く、次いで「8時台」が40.8%、「7時台」が13.5%となっている。

④ 終了時刻



「17時台」と回答した割合が36.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が24.5%、「15時より前」と回答した割合が21.4%となっている。

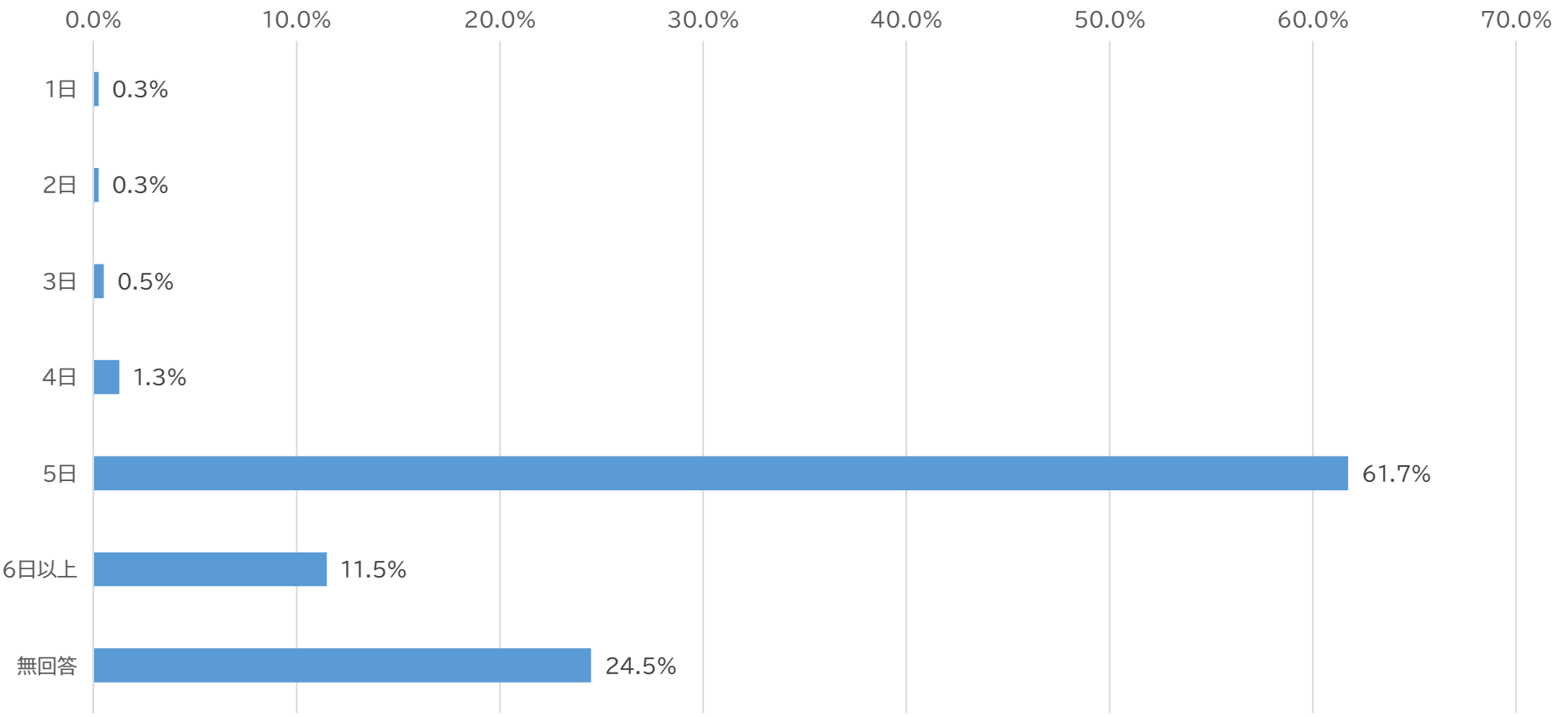
Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（2）平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

問14－3　問14で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。
希望としてはどのくらい利用したいですか。（　）内に具体的な数字を入れてください。

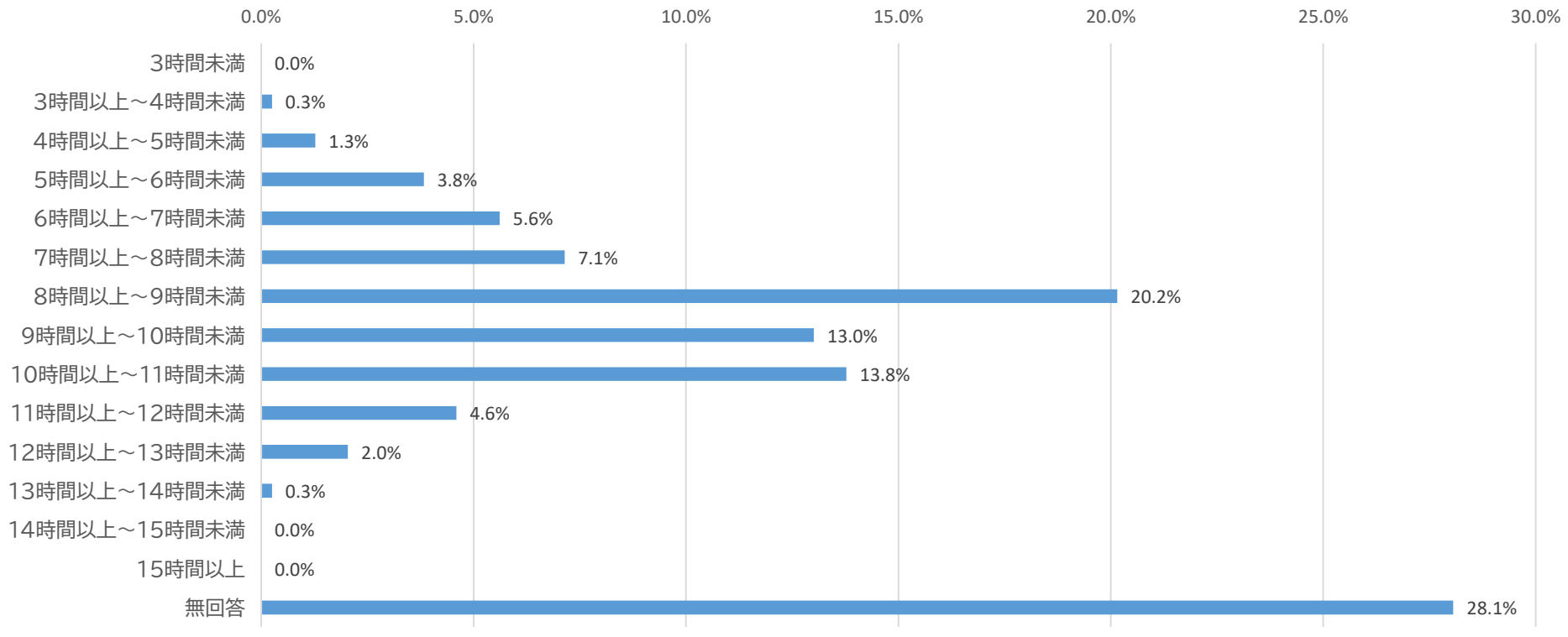
（2）利用希望　N=392

①　1週当たり利用日数



「5日」と回答した割合が61.7%と最も高く、次いで「6日以上」の割合が11.5%となっている。

②　1日当たり利用時間



「8時間以上～9時間未満」と回答した割合が20.2%と最も高く、次いで「10時間以上～11時間未満」の割合が13.8%
「9時間以上～10時間未満」と回答した割合が13.0%となっている。

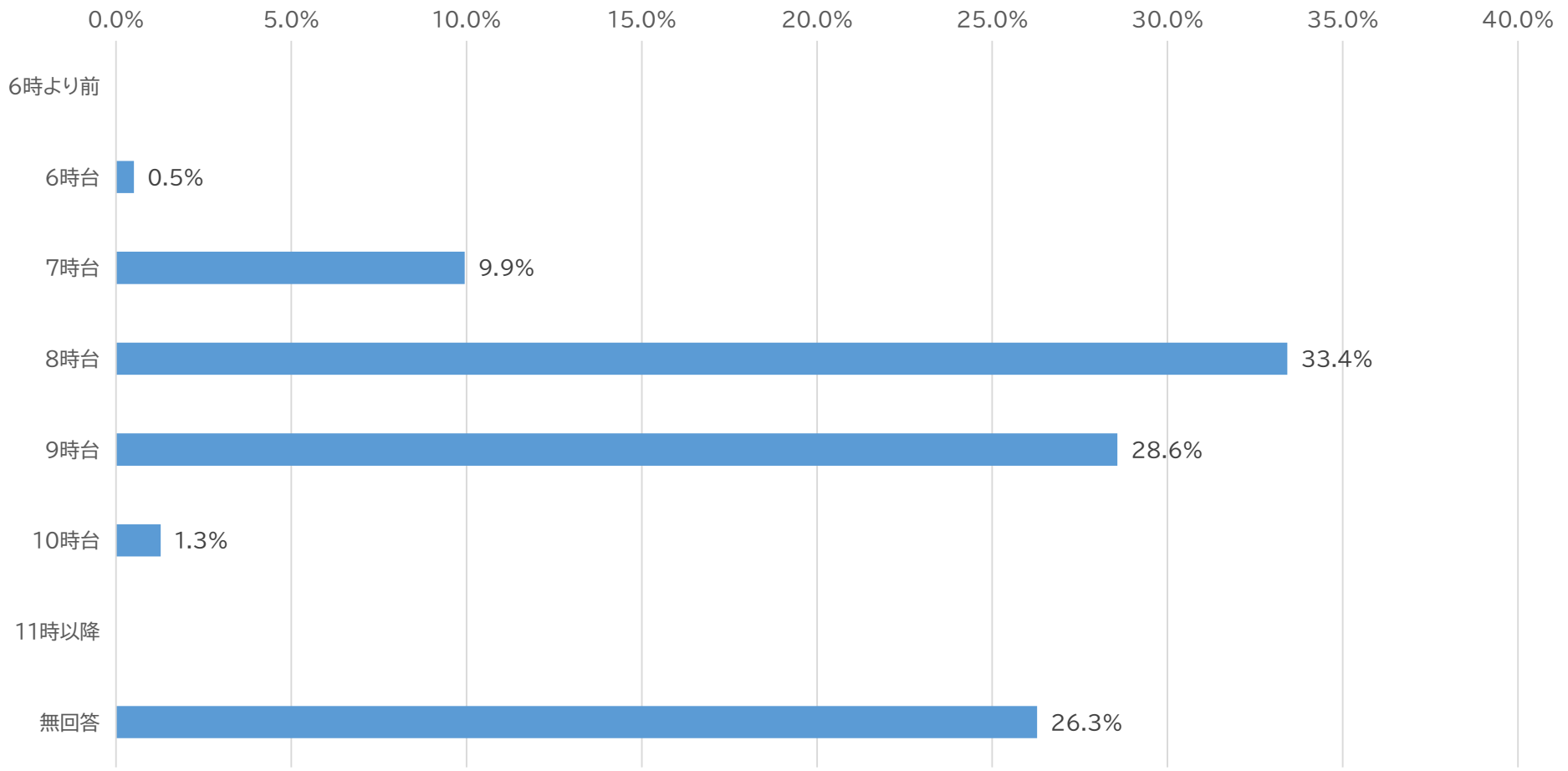
Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（2） 平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

問14－3　問14で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。
希望としてはどのくらい利用したいですか。（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。

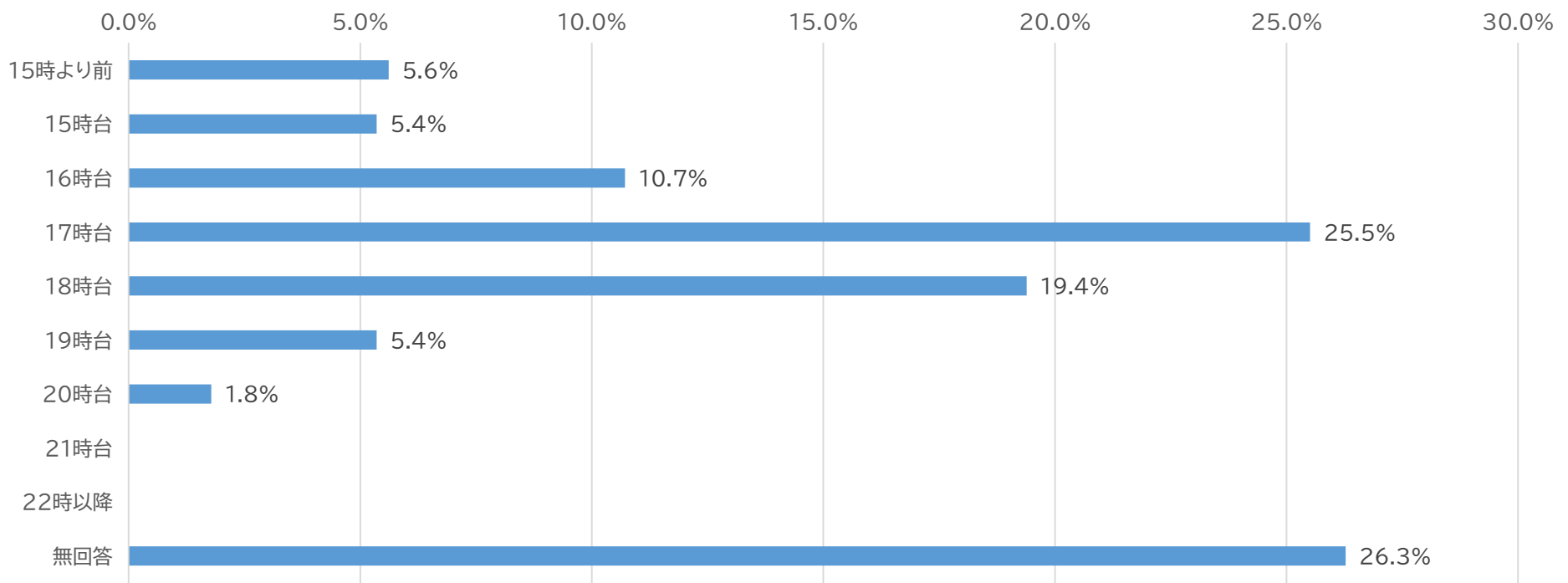
（2） 利用希望

③ 開始時刻



「8時台」と回答した割合が33.4%と最も高く、次いで「9時台」が28.6%、「7時台」が9.9%となっている。

④ 終了時刻

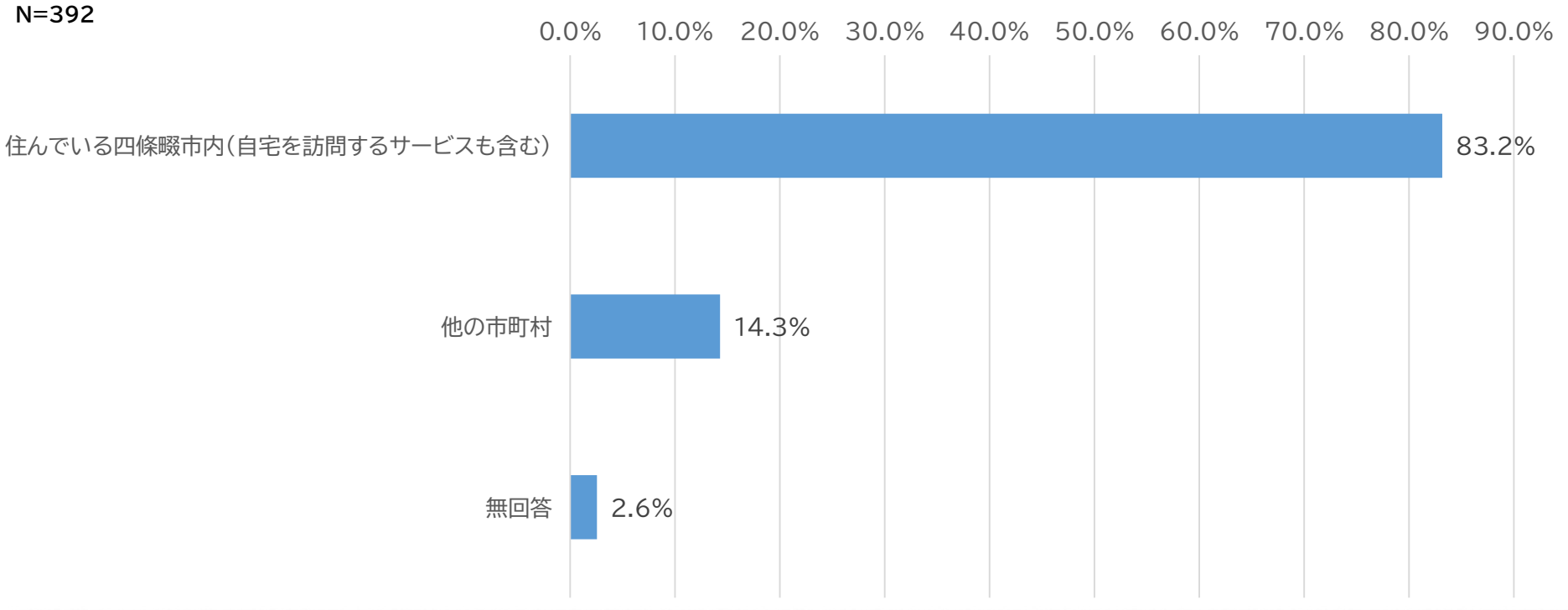


「17時台」と回答した割合が25.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が19.4%、「16時台」と回答した割合が10.7%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

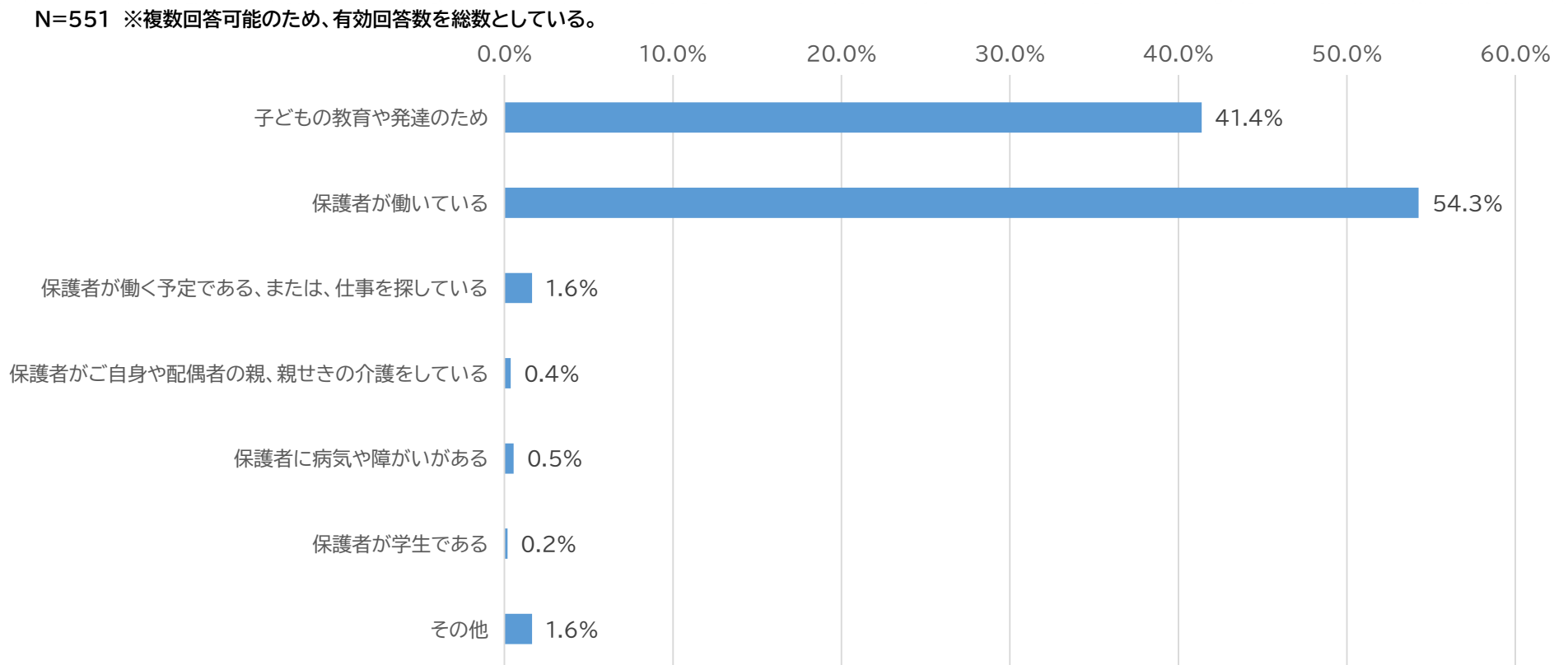
（2）平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

問14－4　問14で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。
現在、利用している施設などはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。「2. 」を選択された方は、その市町村名についても（　）内に記入してください。



「住んでいる四條畷市内（自宅を訪問するサービスを含む）」と回答した割合が83.2%と最も高く、次いで「他の市町村」が14.3%となっている。

問14－5　問14で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。
幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している理由について、もっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。



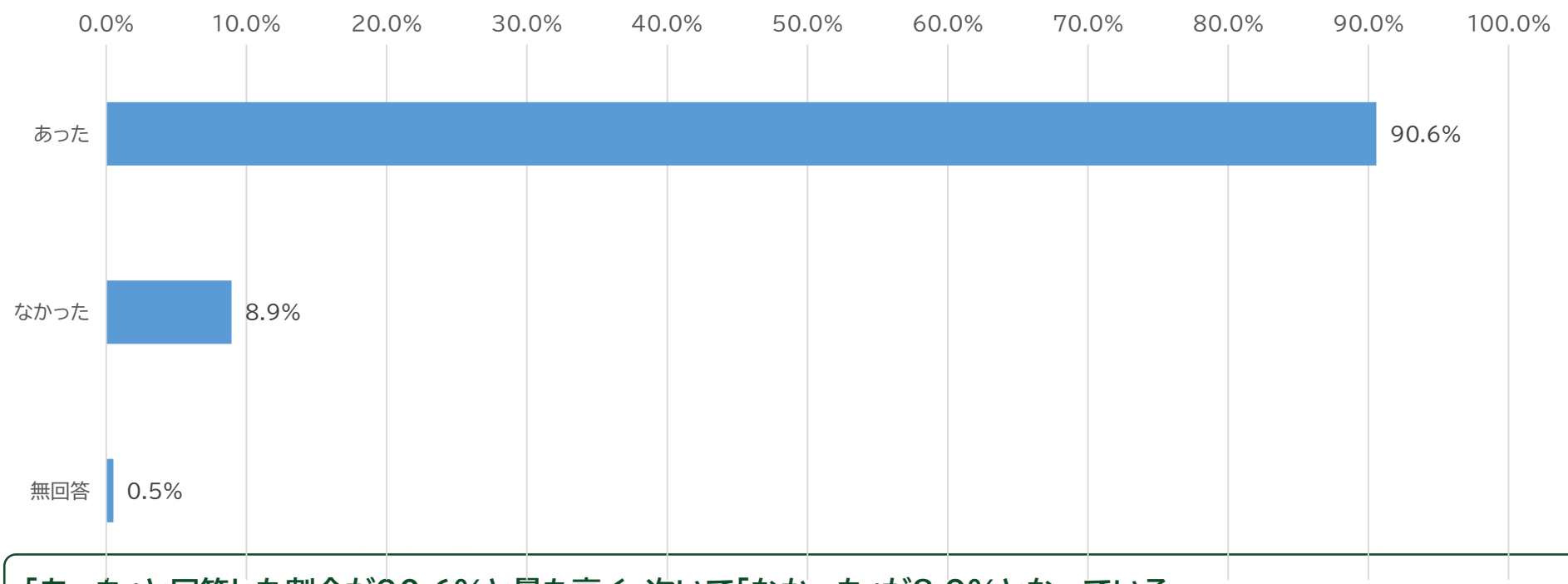
「保護者が働いている」と回答した割合が54.3%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が41.4%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

（3）病気になったときの対応について（平日定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ）

問15　平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していると答えた保護者の方（問14で「1. 利用している」に○をつけた方）に、封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。

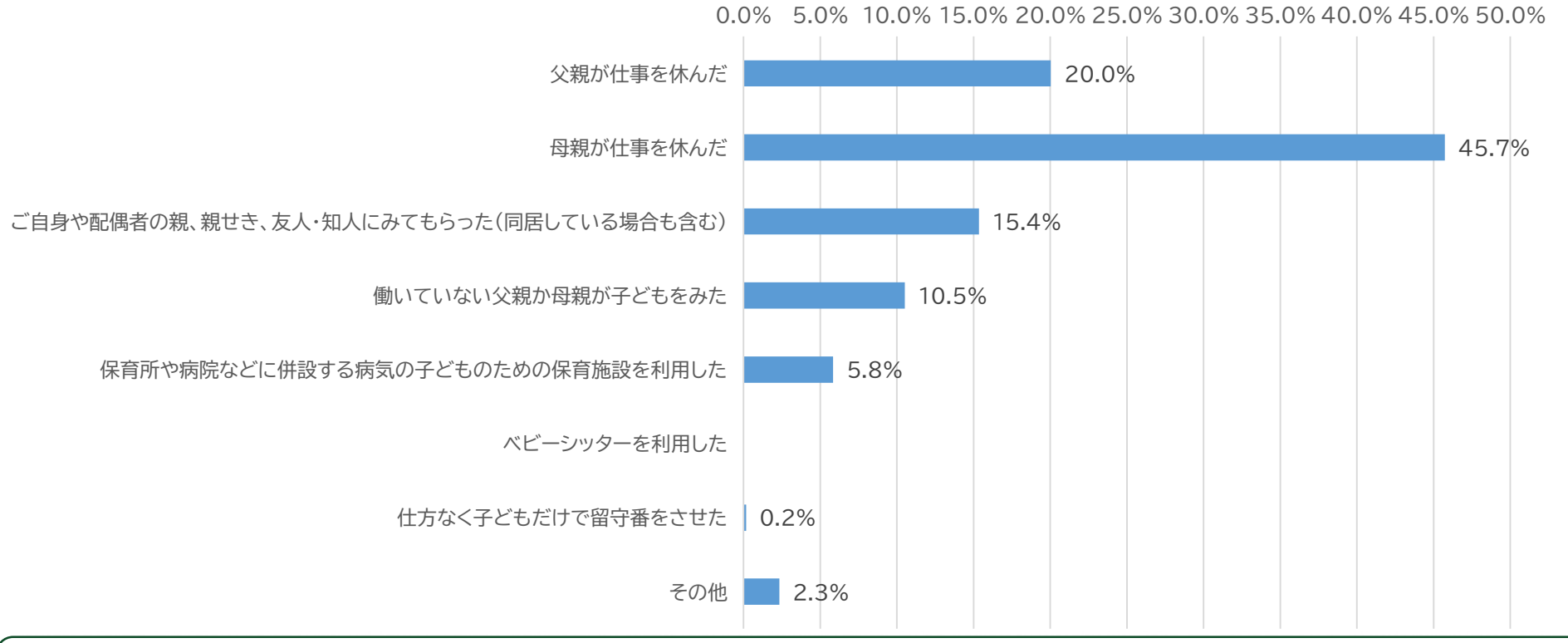
N=392



「あった」と回答した割合が90.6%と最も高く、次いで「なかった」が8.9%となっている。

問15－1　問15で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。
この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

N=599　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が45.7%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」が20.0%、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が15.4%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

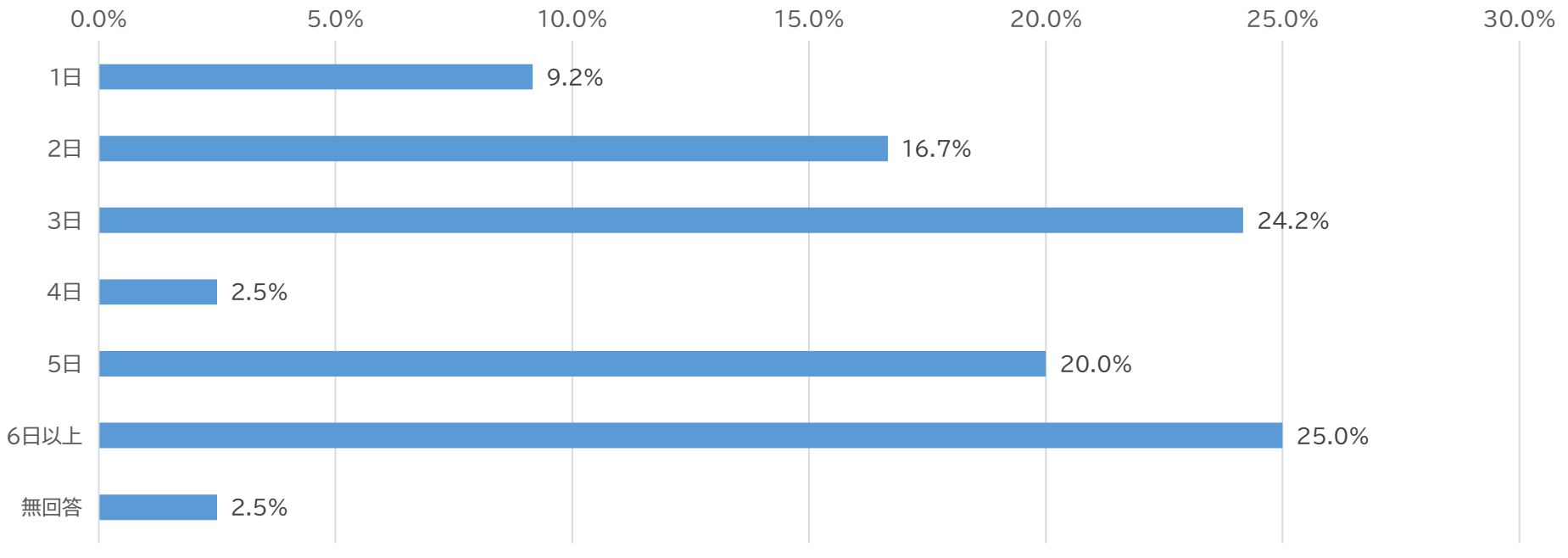
（3） 病気になったときの対応について（平日定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ）

問15－1　問15で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。
この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

N＝120

（1） 1年間の対処方法日数

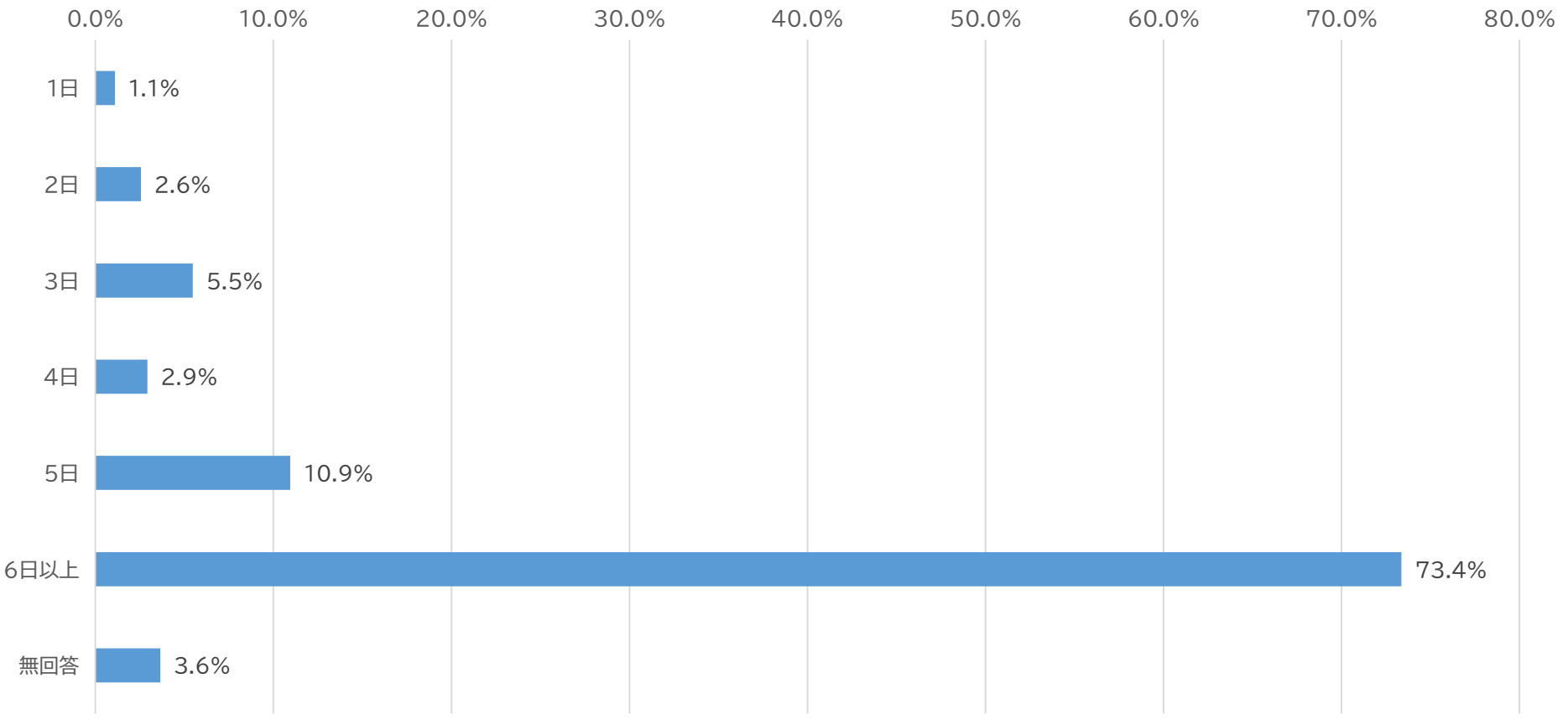
① 父親が仕事を休んだ ※1年間の対処日数の累計で回答した分も含まれている。



「6日以上」と回答した割合が25.0%と最も高く、次いで「3日」が24.2%、「5日」が20.0%となっている。

N＝274

② 母親が仕事を休んだ ※1年間の対処日数の累計で回答した分も含まれている。



「6日以上」と回答した割合が73.4%と最も高く、次いで「5日」が10.9%、「3日」が5.5%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

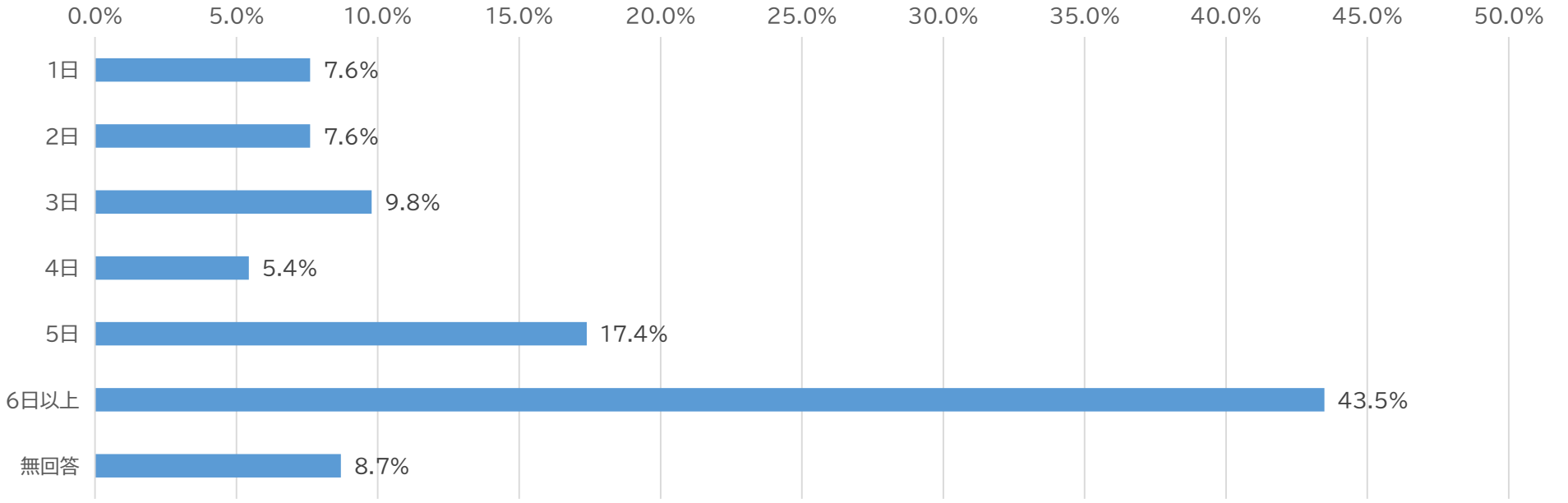
（3） 病気になったときの対応について（平日定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ）

問15－1　問15で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。
この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

N＝92

（2） 1年間の対処方法日数

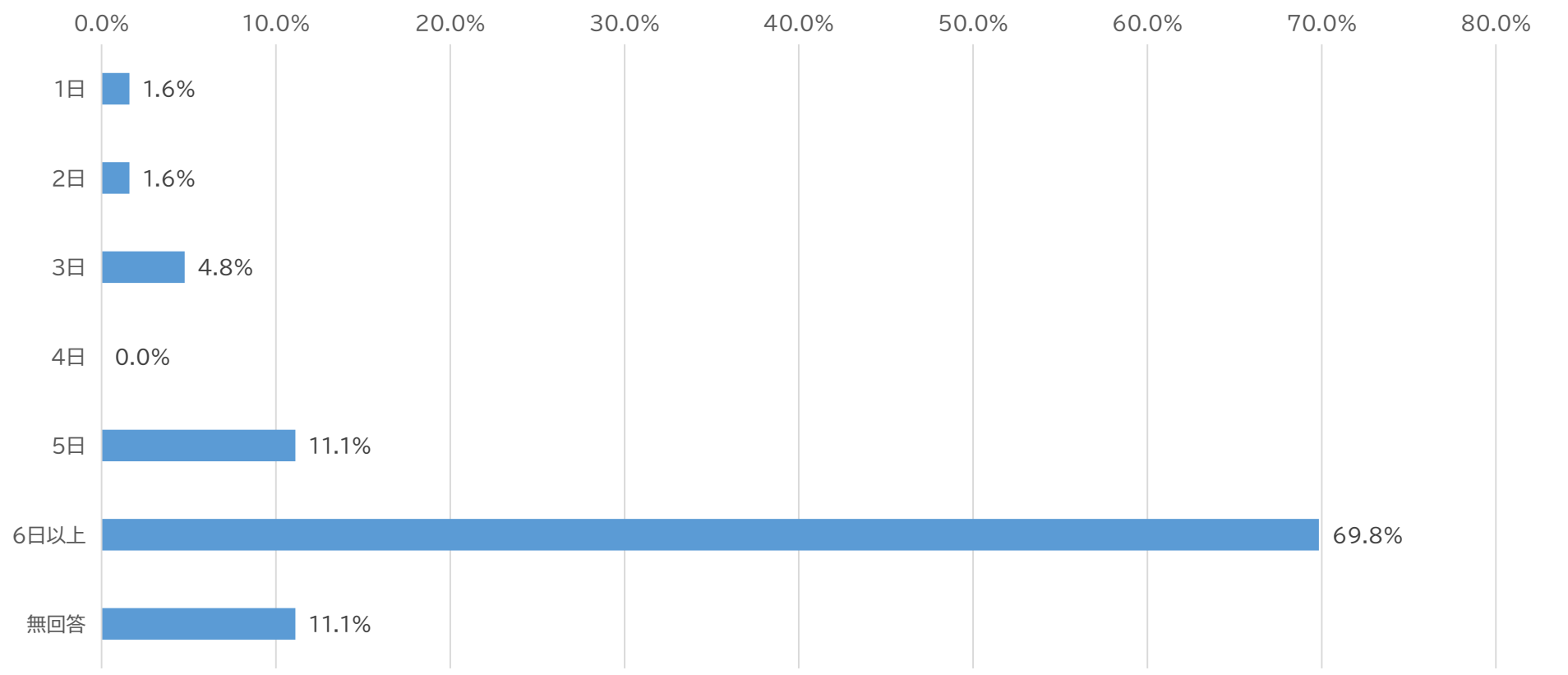
③ ご自身や配偶者の親、親せき、友人、知人にみてもらった（同居している場合も含む）



「6日以上」と回答した割合が43.5%と最も高く、次いで「5日」が17.4%、「3日」が9.8%となっている。

N＝63

④ 働いていない父親か母親が子どもをみた



「6日以上」と回答した割合が69.8%と最も高く、次いで「5日」が11.1%、「3日」が4. 8%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

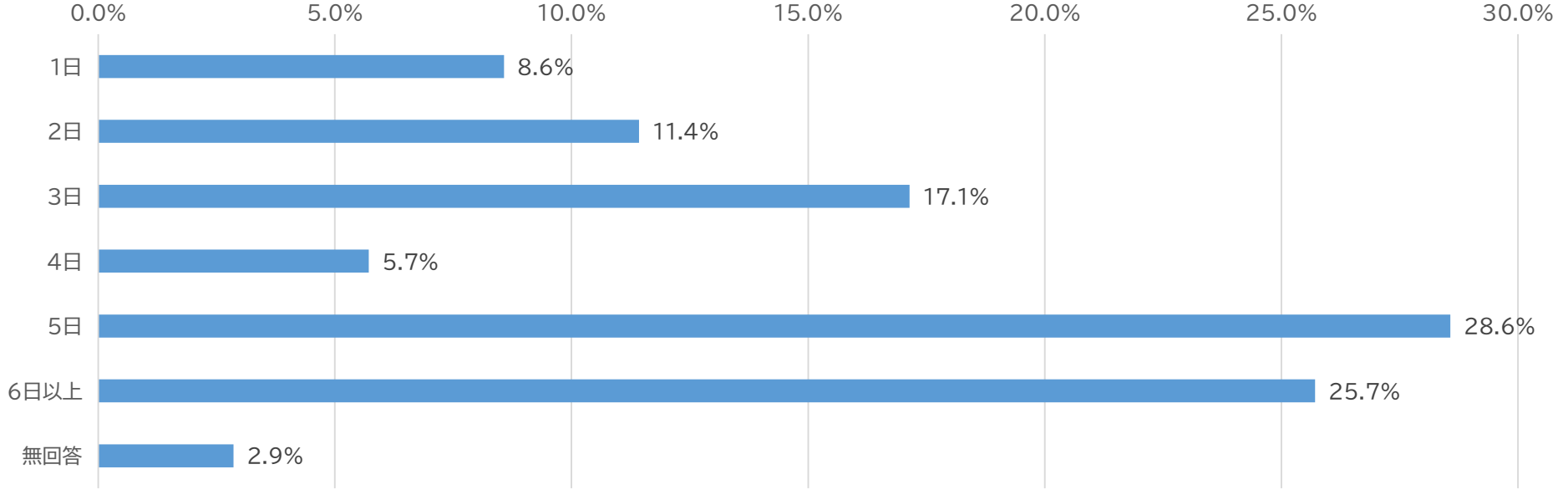
（3） 病気になったときの対応について（平日定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ）

問15－1　問15で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。
この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

N＝92

（2） 1年間の対処方法日数

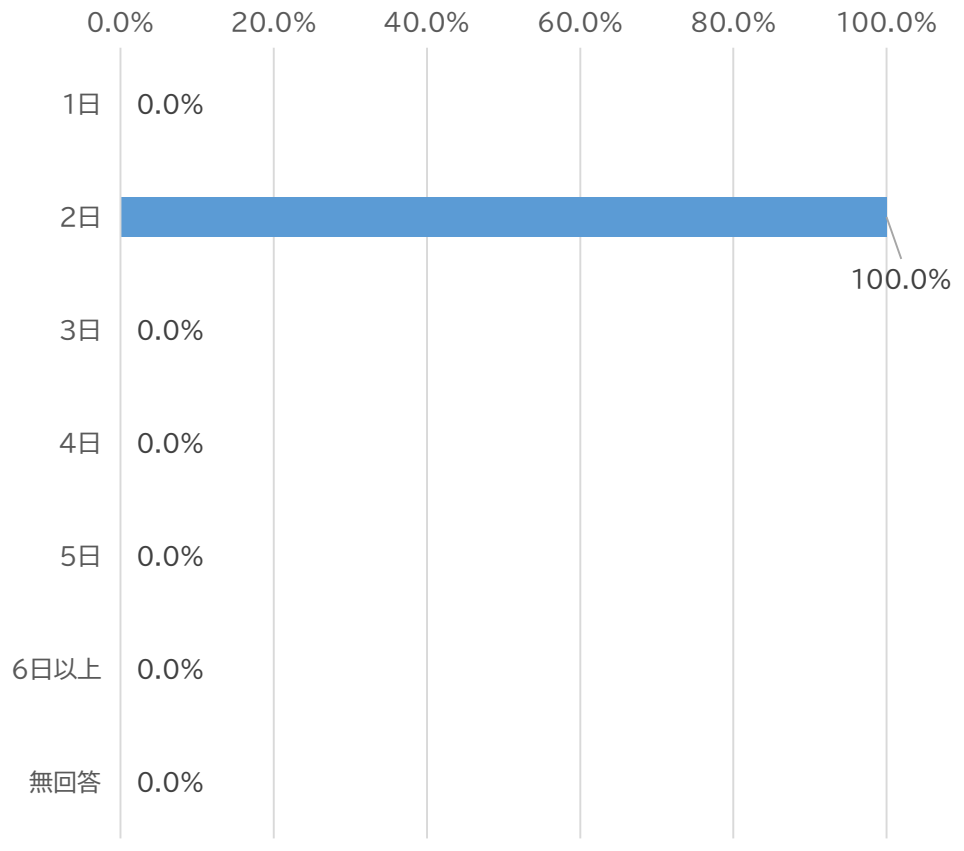
⑤ 保育者や病院などに併設する病気の子どものための保育施設を利用した



「5日」と回答した割合が28.6%と最も高く、次いで「6日以上」が25.7%、「3日」が17.1%となっている。

N＝1

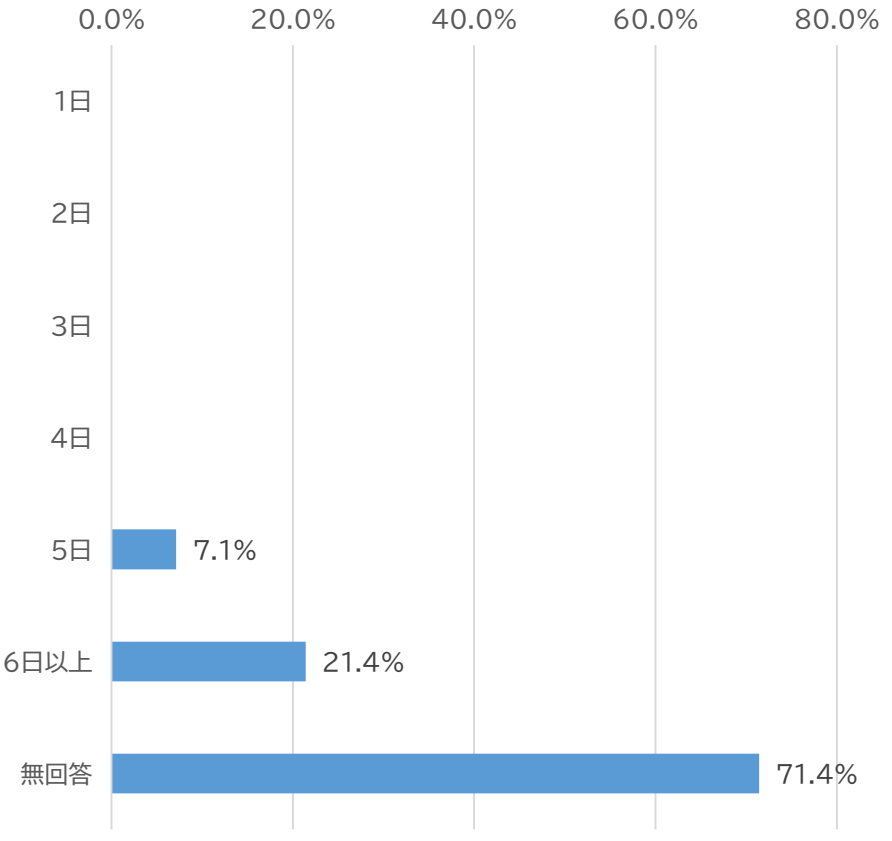
⑦仕方なく子どもだけで留守番をさせた
※「⑥ベビーシッターを利用した回答」実績なし



「2日」と回答した人が1人となっている。

N＝14（就学前児童）

⑧その他



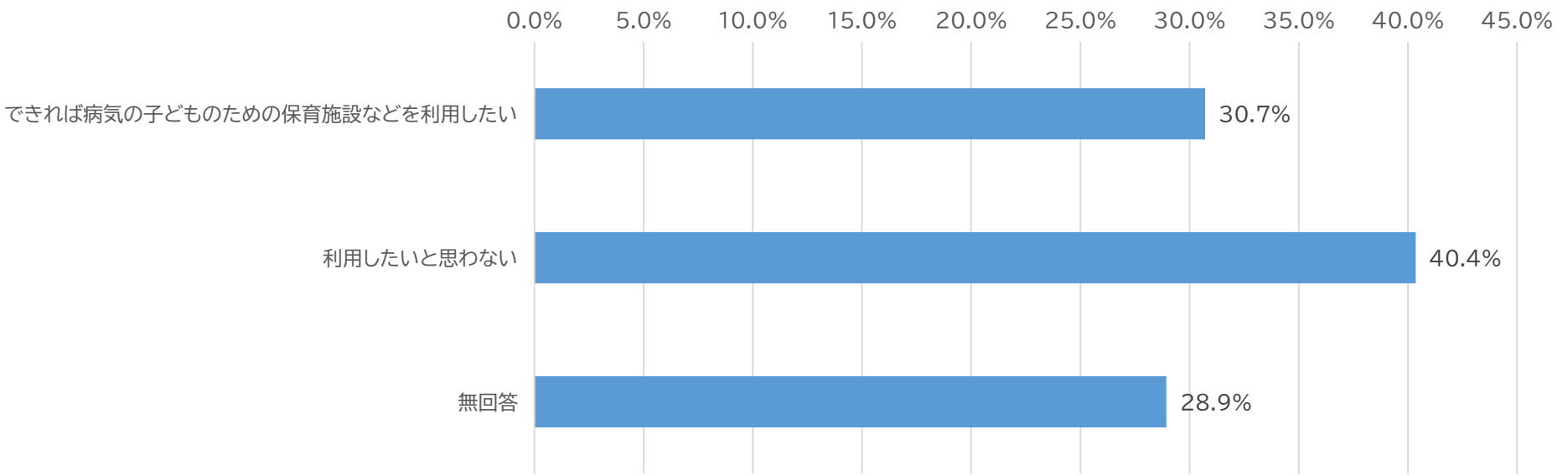
「6日以上」と回答した割合が21.4%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（3）病気になったときの対応について（平日定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ）

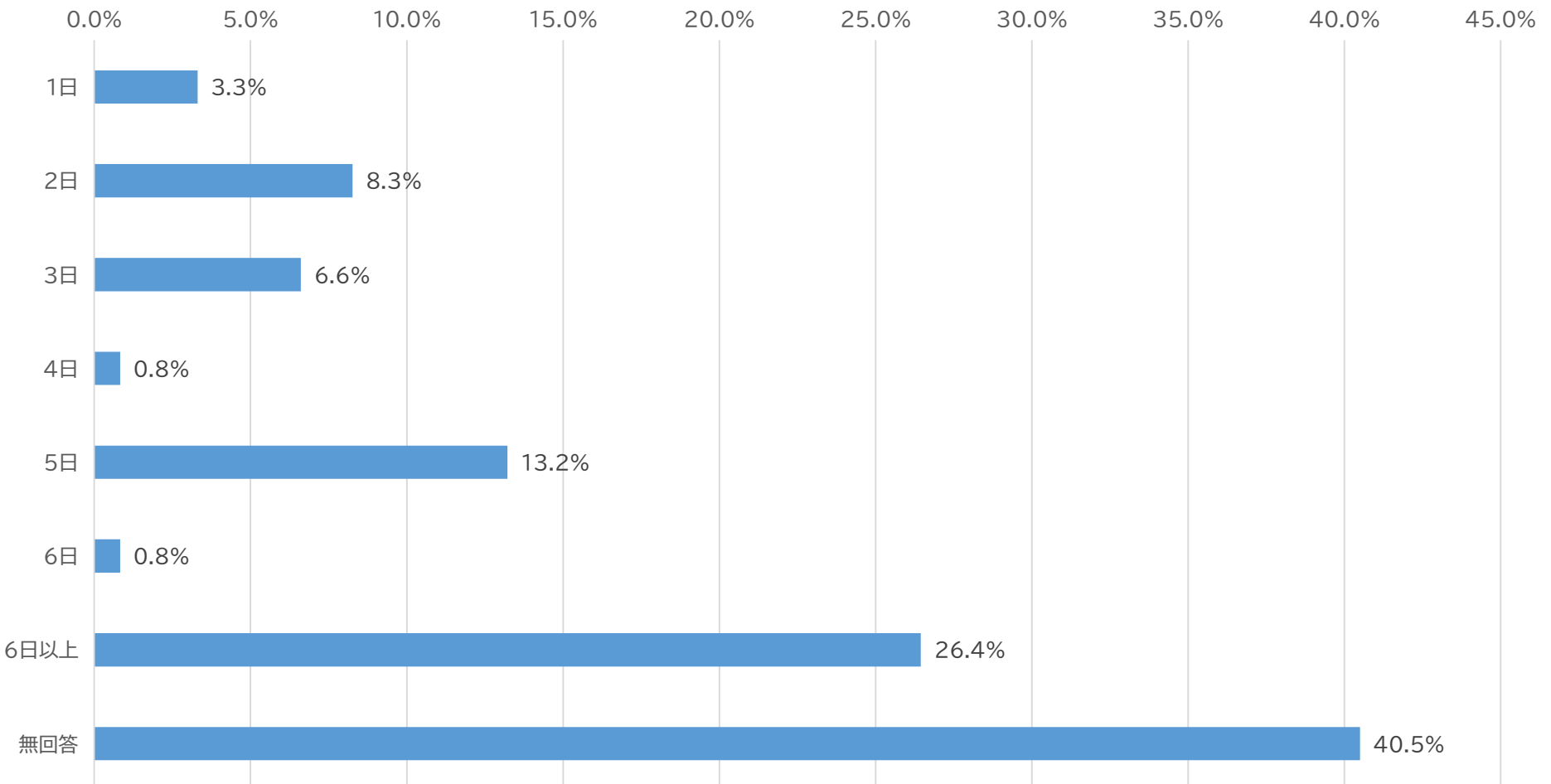
問15－2　問15－1で「1.」「2.」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。
そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

N＝394



「利用したいと思わない」と回答した割合が40.4%と最も高く、次いで「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が30.7%

（1）「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」日数



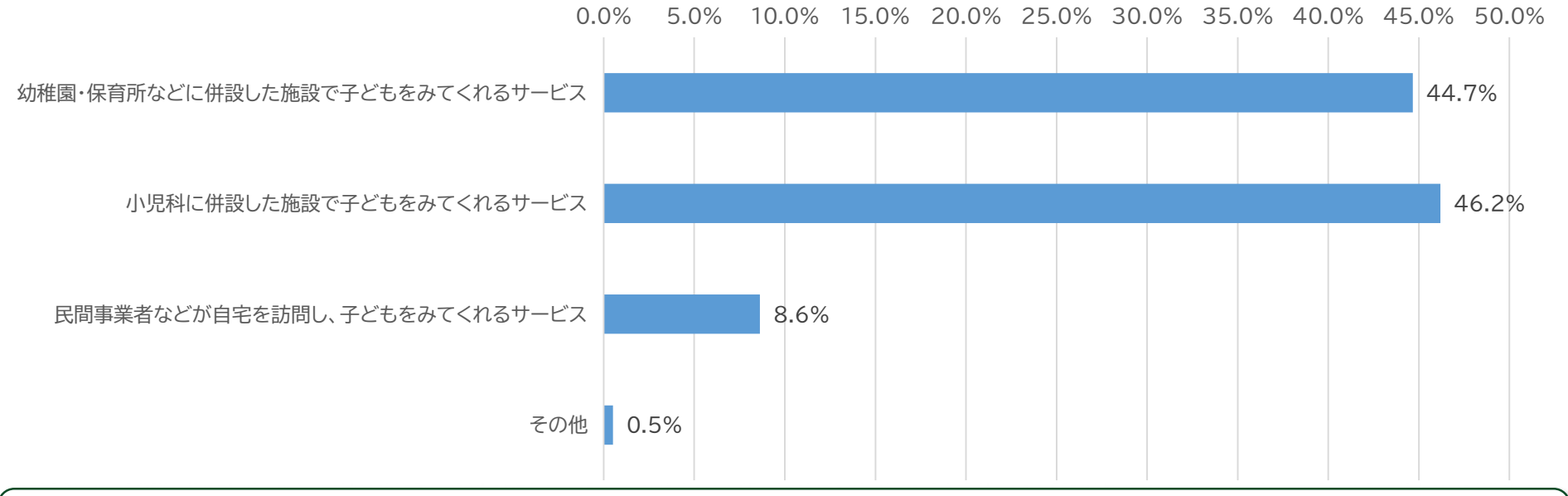
「6日以上」と回答した割合が26.4%と最も高くなっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（3）病気になったときの対応について（平日定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ）

問15－3　問15－2で「1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」を選ばれた方におうかがいします。利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

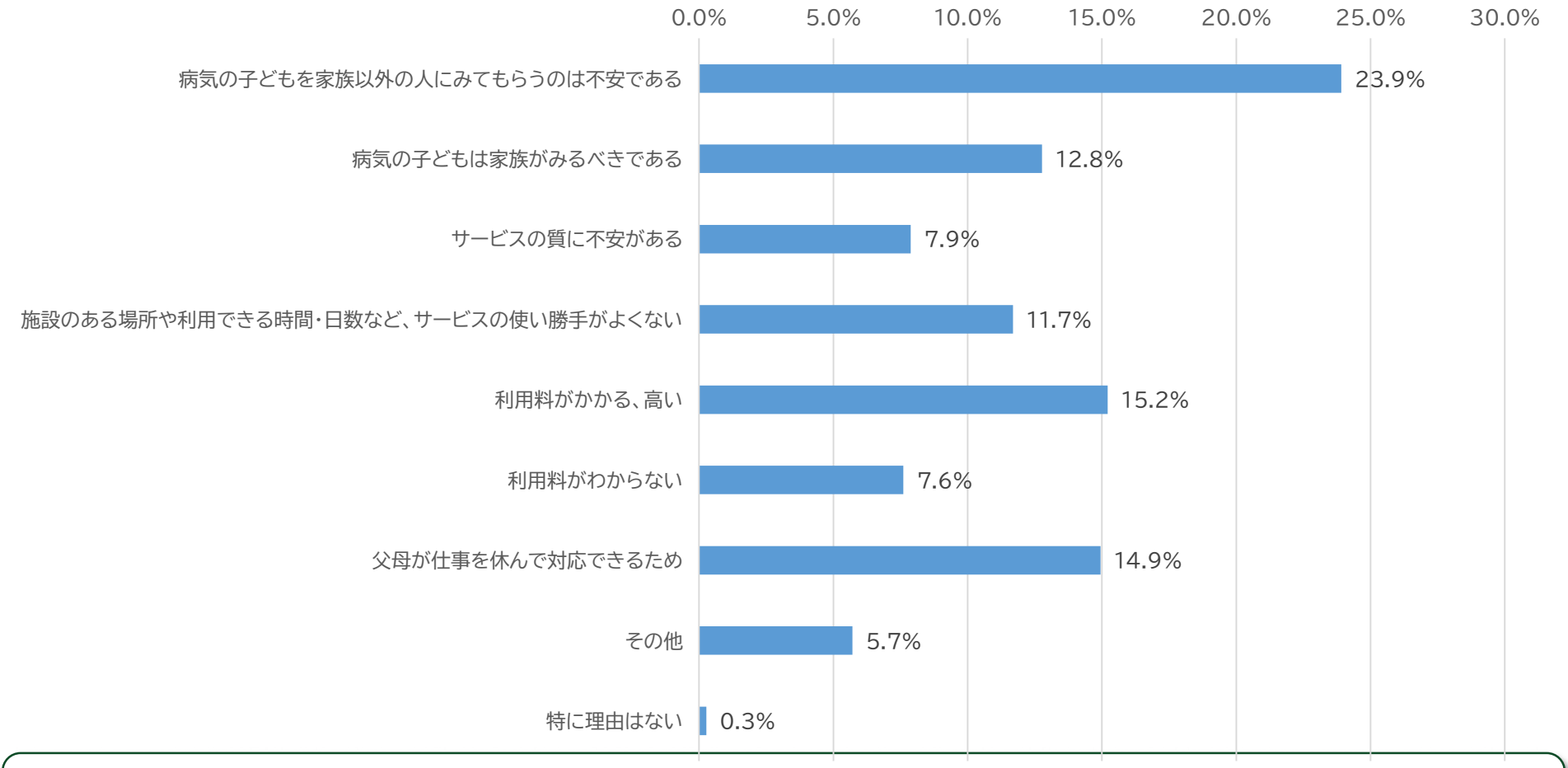
N＝197　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」と回答した割合が46.2%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」が44.7%となっている。

問15－4　問15－2で「2. 利用したいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N＝368　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



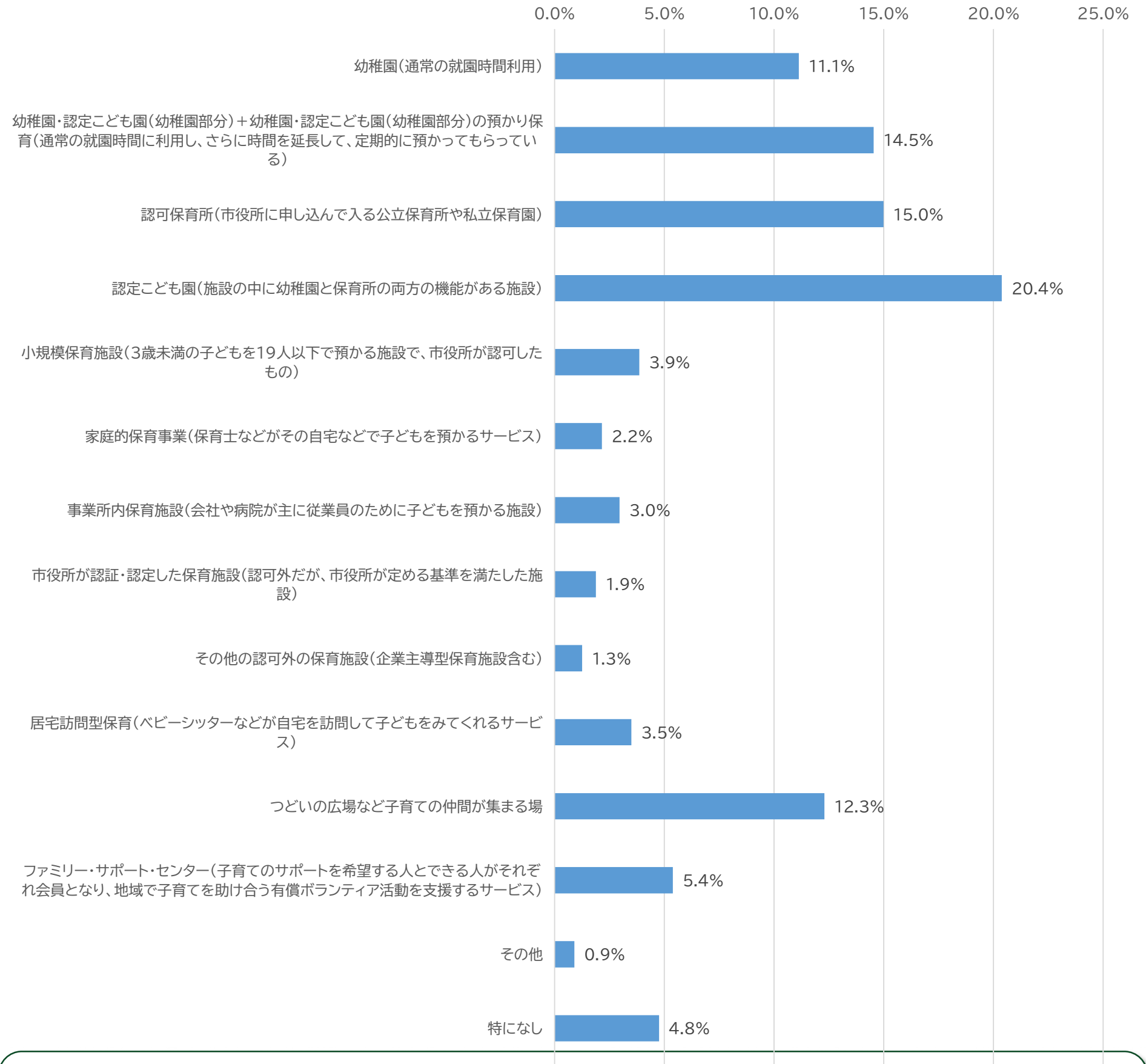
「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」と回答した割合が23.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる、高い」が15.2%、「父母が仕事を休んで対応できるため」が14.9%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

（4）平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて

問16　幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するためには、一定の利用料が発生します。

N＝1,114　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



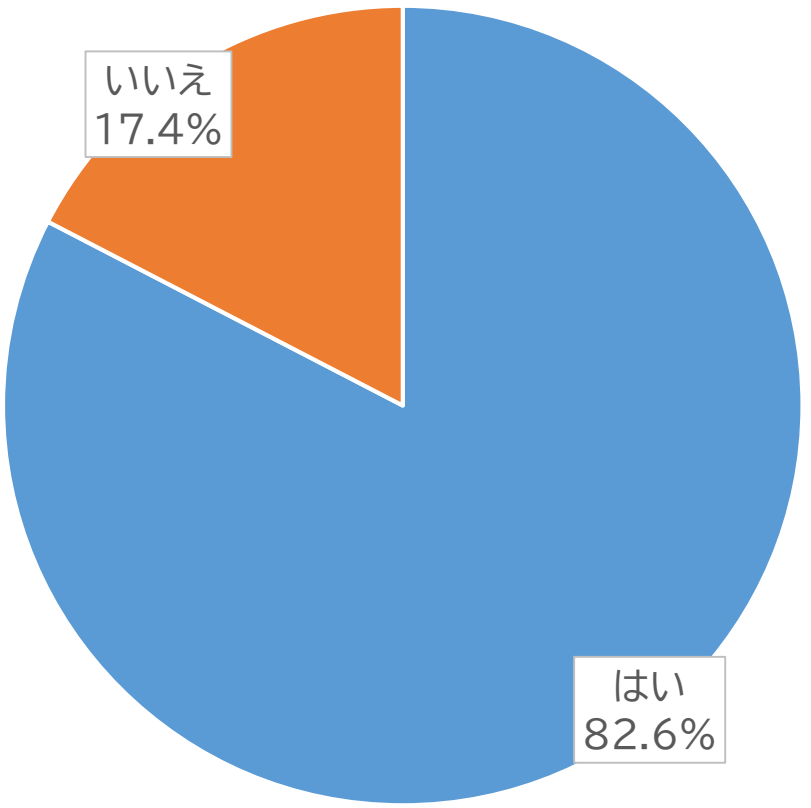
「認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所の両方の機能がある施設）」と回答した割合が20.4%と最も高く、次いで「認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園）」が15.0%、「幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）＋幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）」が14.5%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

（4） 平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて

問16-1　問16で「1. 幼稚園（通常の就園時間利用）」又は「2. 幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）＋幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）」に○をつけ、かつ、3～14にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。

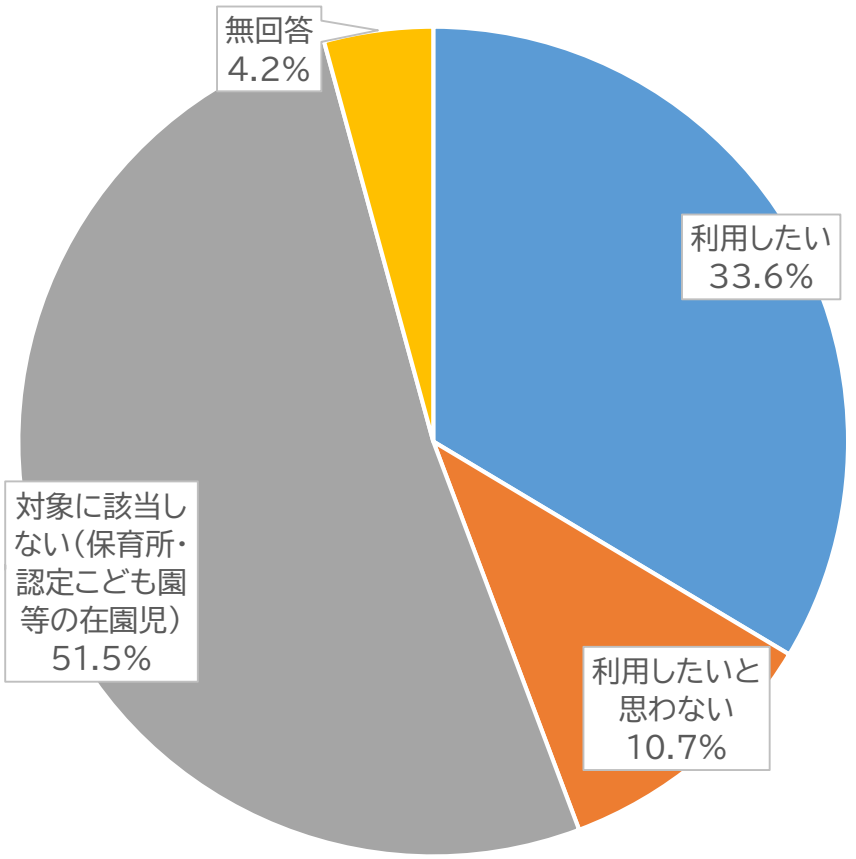
N=115



「はい」と回答した割合が82. 6%となっており、幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望する回答が多くなっている。

問17　国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）（※）」が創設された場合、週に何日ぐらい利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、「利用したい」の場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず、（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

（1） 利用に関する意向状況　N=542



※「こども誰でも通園制度（仮称）」とは
普段、保育所や幼稚園等を利用していない未就学児（0歳6か月～2歳児）を、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、保育所等で定期的に預かることで、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度が検討されています。

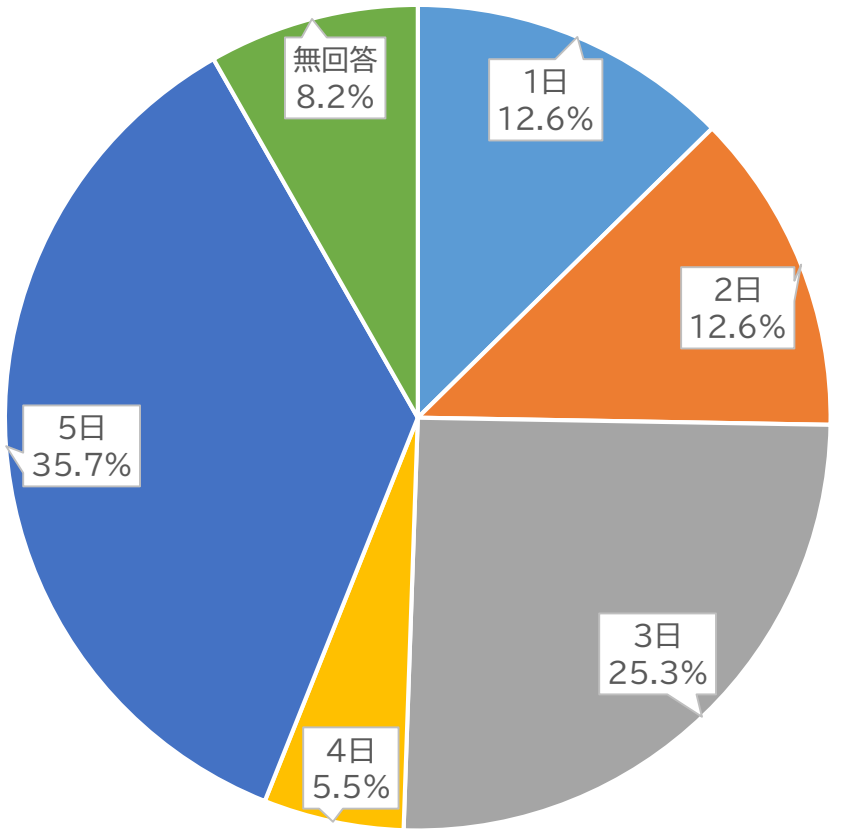
「利用したい」と回答した割合が33.6%、「利用したいと思わない」と回答した割合が10.7%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（4） 平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて

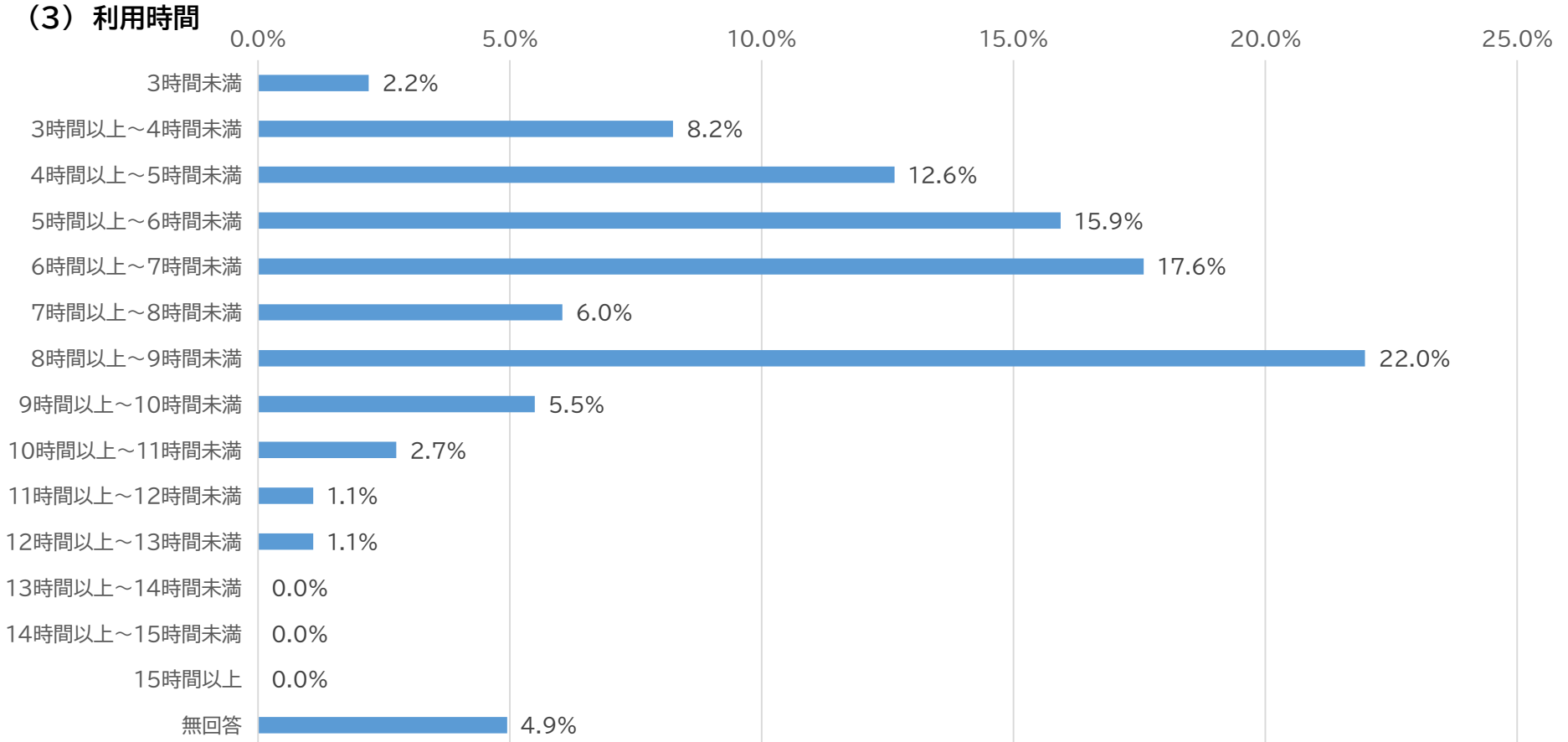
問17　国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）（※）」が創設された場合、週に何日ぐらい利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、「利用したい」の場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず、（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

（2） 週の利用日数　N＝182



「5日」と回答した割合が35.7%と最も高くなっており、次いで「3日」が25.3%、「1日」「2日」が12.6%となっている。

（3） 利用時間



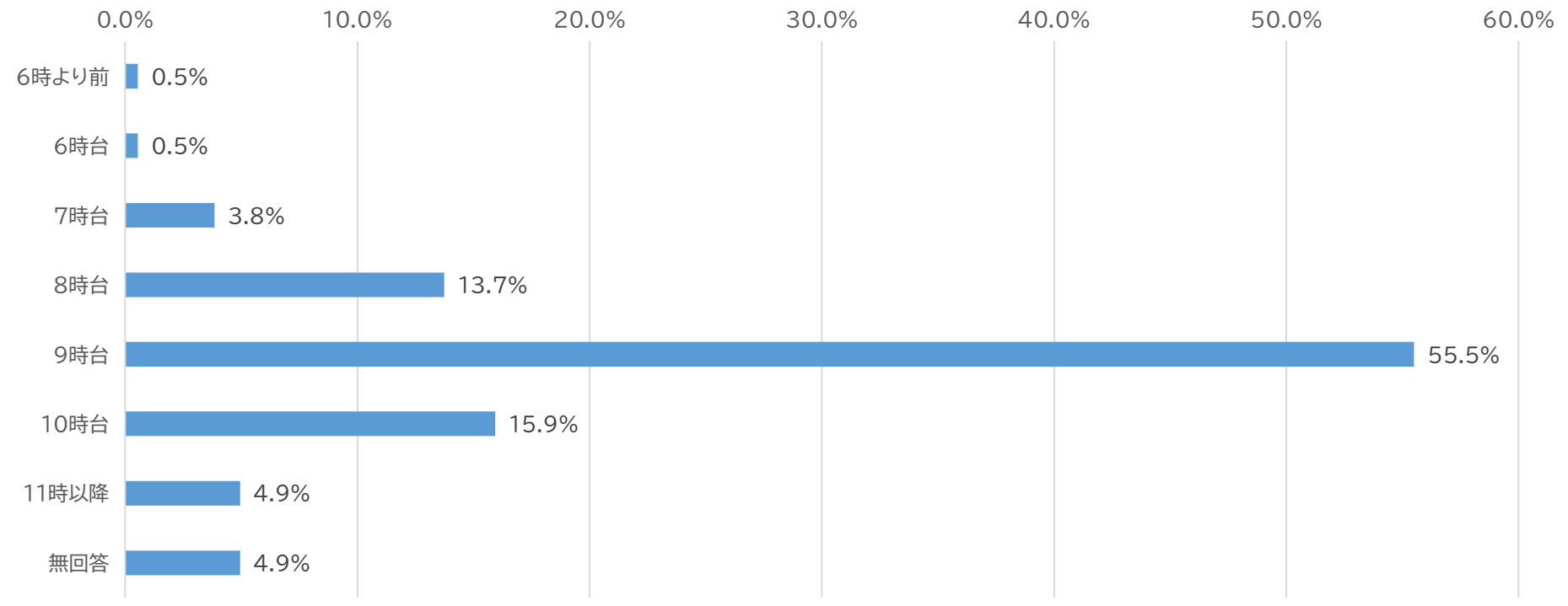
「8時間以上9時間未満」と回答した割合が22.0%と最も高く、次いで「6時間以上7時間未満」が17.6%、「5時間以上6時間未満」が15.9%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（4） 平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて

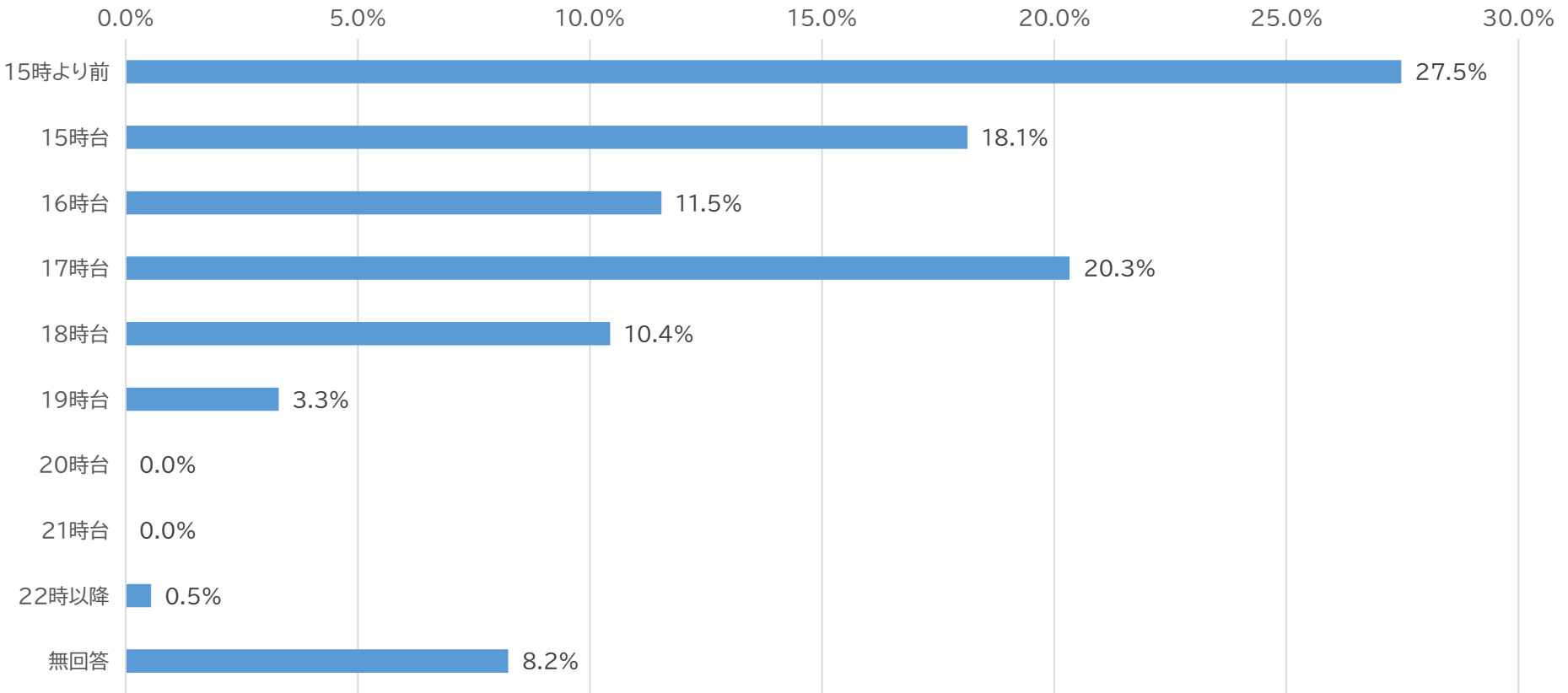
問17　国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）（※）」が創設された場合、週に何日ぐらい利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、「利用したい」の場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず、（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

（4） 利用開始時間　N＝182



「9時台」と回答した割合が55.5%と最も高くなっており、次いで「10時台」が15.9%、「8時台」が13.7%となっている。

（5） 利用終了時間　N＝182



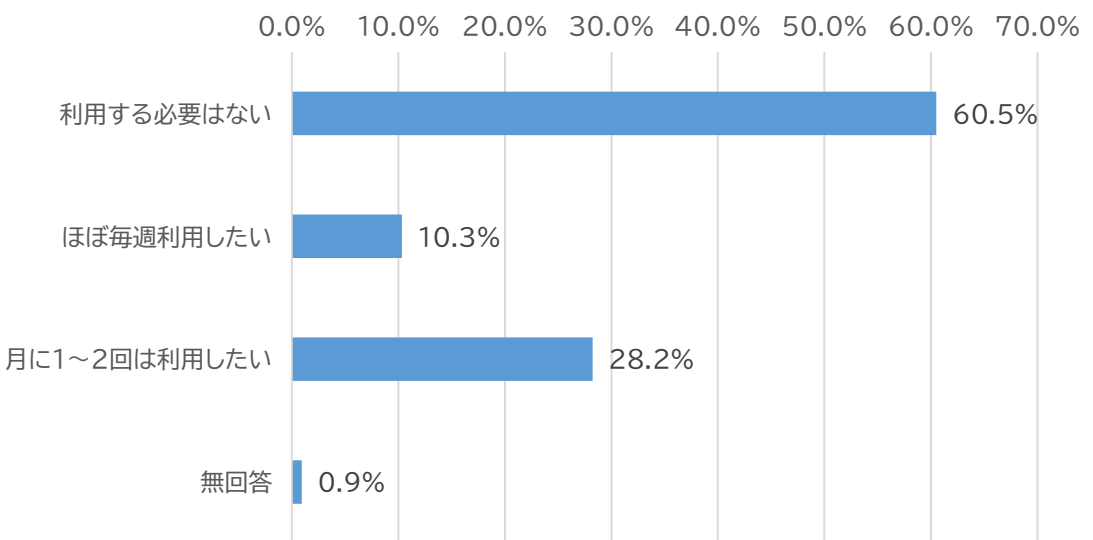
「15時より前」と回答した割合が27.5%と最も高く、次いで「17時台」が20.3%、「15時台」が18.1%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(5)幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について

問18　封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望がありますか。(仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。)あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、(　)内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(9:00～18:00)のように24時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

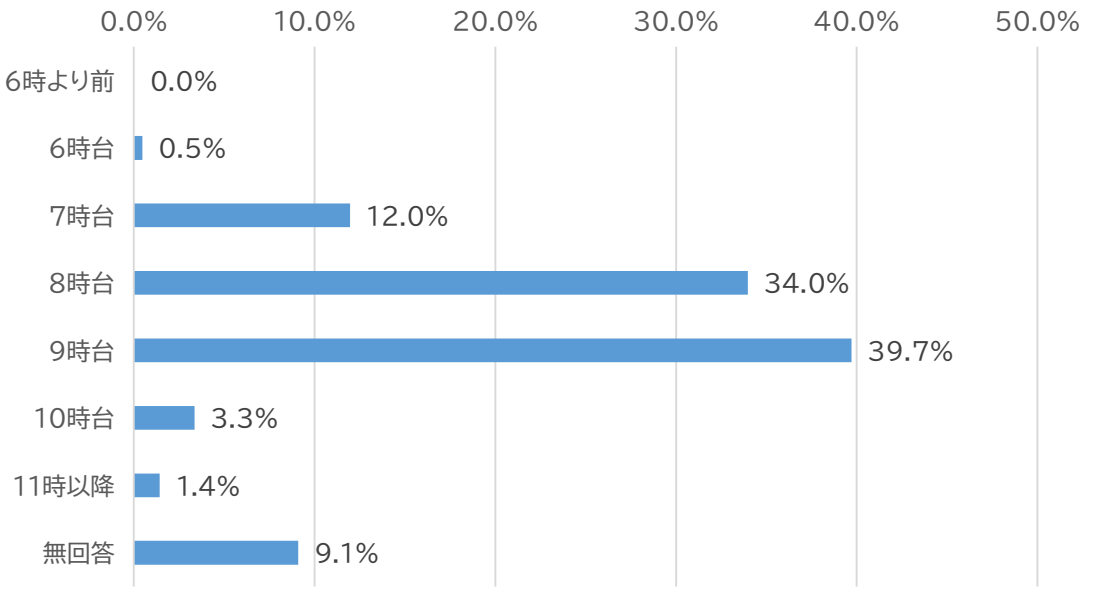
(1) 土曜日　N=542



「利用する必要はない」と回答した割合が60.5%と最も高くなっており、次いで「月に1～2回は利用したい」が28.2%、「ほぼ毎週利用したい」が10.3%となっている。

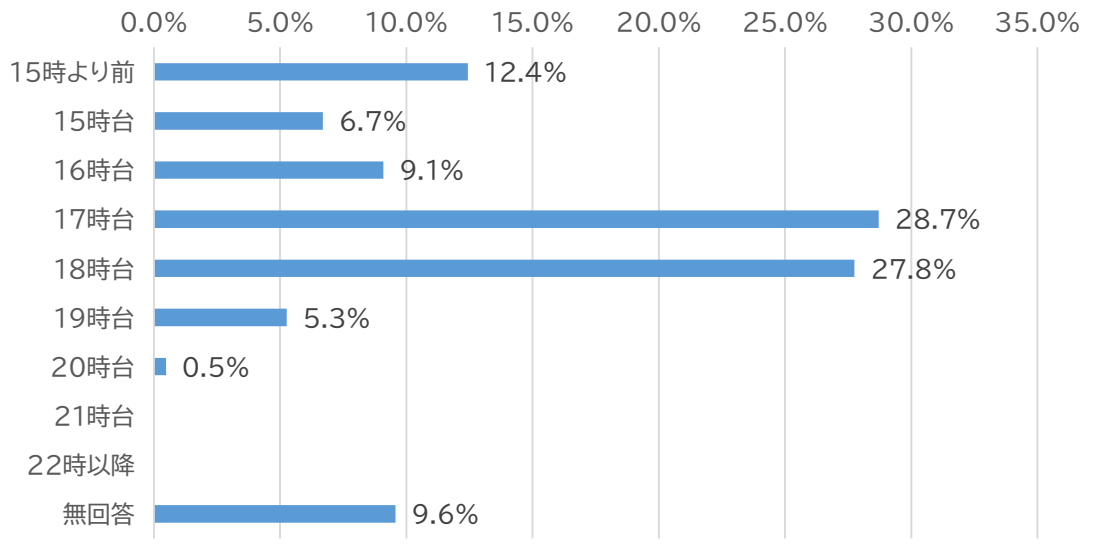
①利用したい時間帯　N=209

ア 開始時間



「9時台」と回答した割合が39.7%と最も高くなっており、次いで「8時台」が34.0%、「7時台」が12.0%となっている。

イ 終了時間



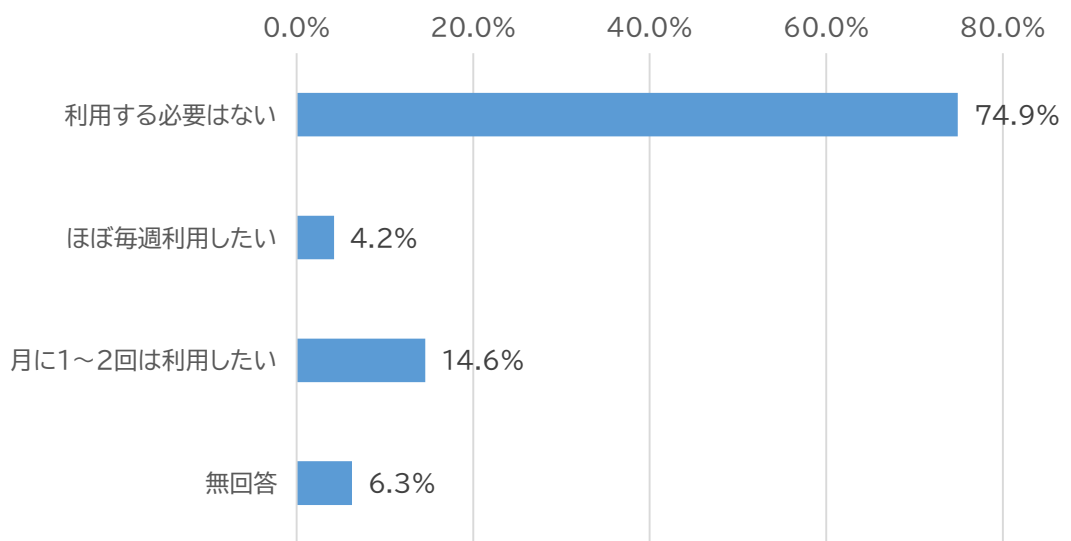
「17時台」と回答した割合が28.7%と最も高くなっており、次いで「18時台」が27.8%、「15時より前」が12.4%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（5）幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について

問18　封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

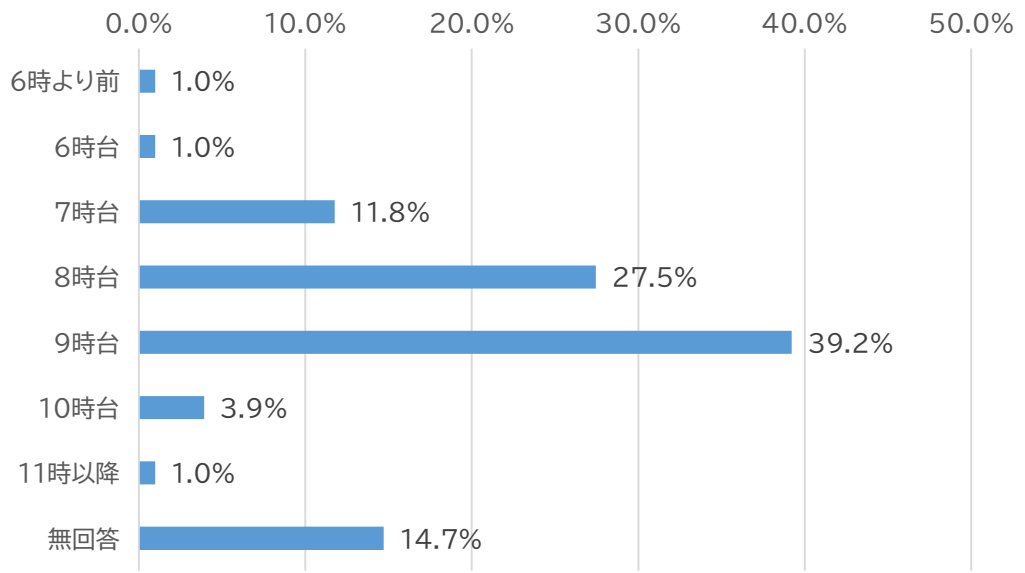
（2）　日曜日・祝日　N＝542



「利用する必要はない」と回答した割合が74.9%と最も高くなっており、次いで「月に1～2回は利用したい」が14.6%、「ほぼ毎週利用したい」が4.2%となっている。

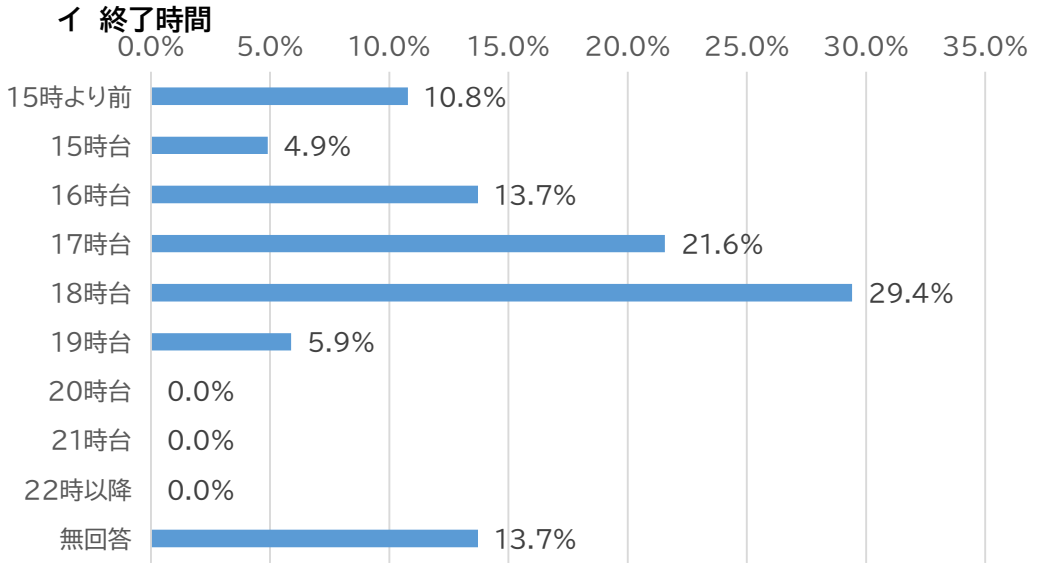
①利用したい時間帯　N＝102

ア　開始時間



「9時台」と回答した割合が39.2%と最も高くなっており、次いで「8時台」が27.5%、「7時台」が11.8%、となっている。

イ　終了時間

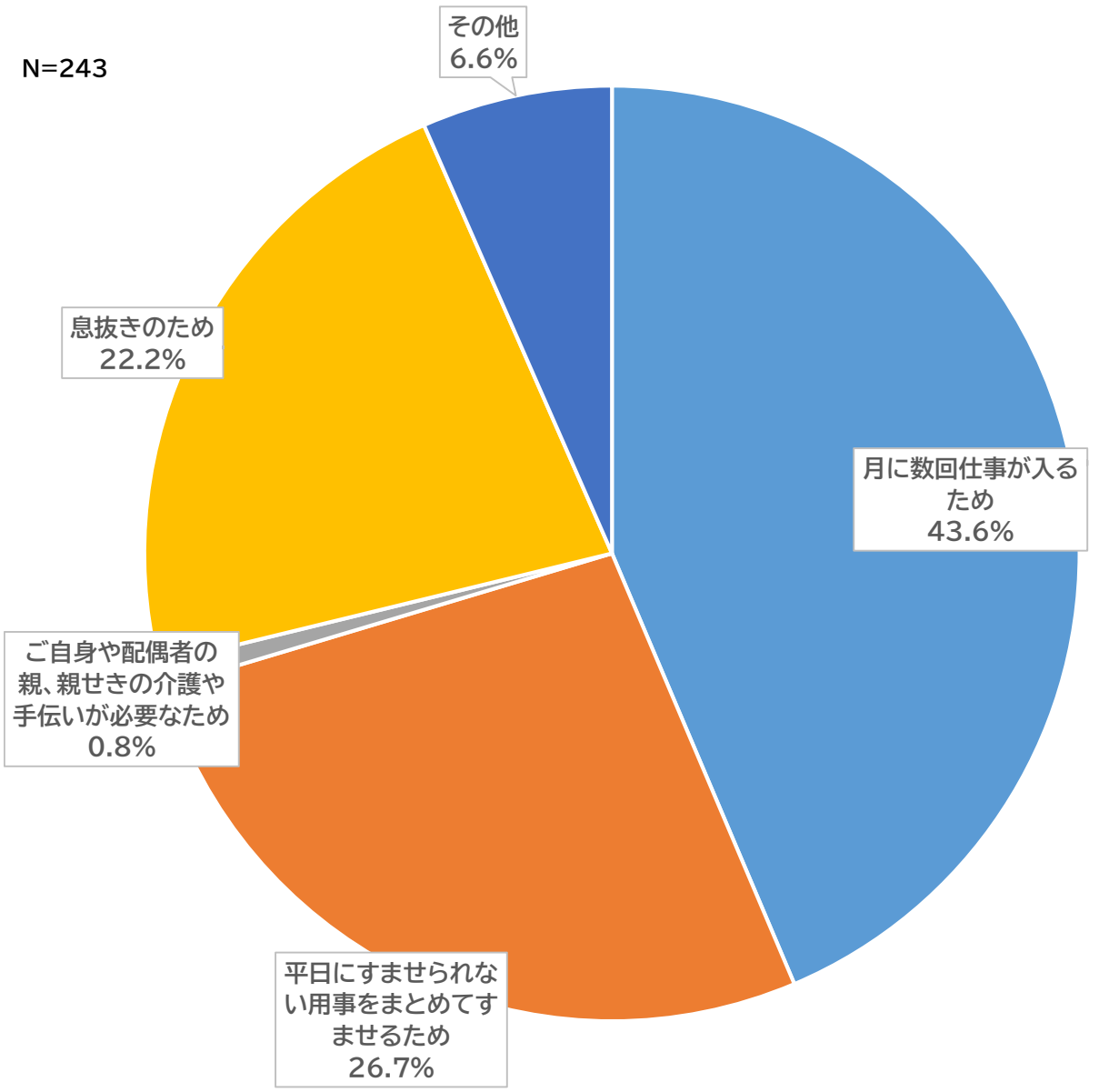


「18時台」と回答した割合が29.4%と最も高くなっており、次いで「17時台」が21.6%、「16時台」が13.7%、となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(5)幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について

問 18－1 問18の(1)または(2)で、「月に1～2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



「月に数回仕事が入るため」と回答した割合が43.6%と最も高くなっており、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が26.7%、「息抜きのため」が22.2%となっている。

その他であった主な理由について

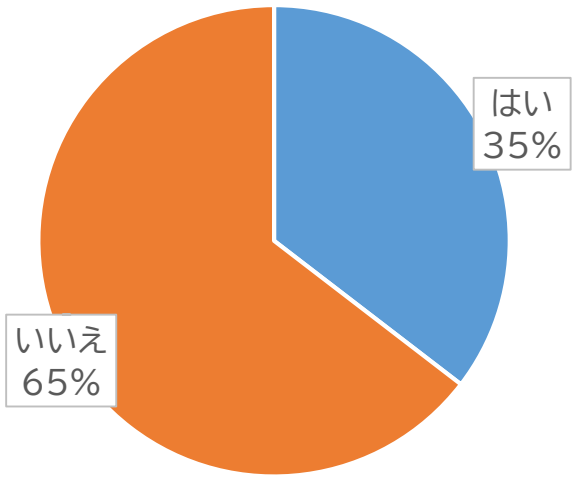
・下の子どもの育休中も夫が仕事でワンオペになる、育休後は夫婦ともに仕事が入るため
・今後働くつもりでいるので土曜日出勤することがあるかもしれないので
・少しでも働きに出られる
・転職を考えた時に、家の近くだとたまに土日出勤が条件の求人が多かったので
・シフト勤務のため、土日祝は働けませんと毎月伝えるのがしんどい。単身赴任の夫が毎週土日にこちらの家に帰ってきてるとは限らない。
・祝日は仕事のため

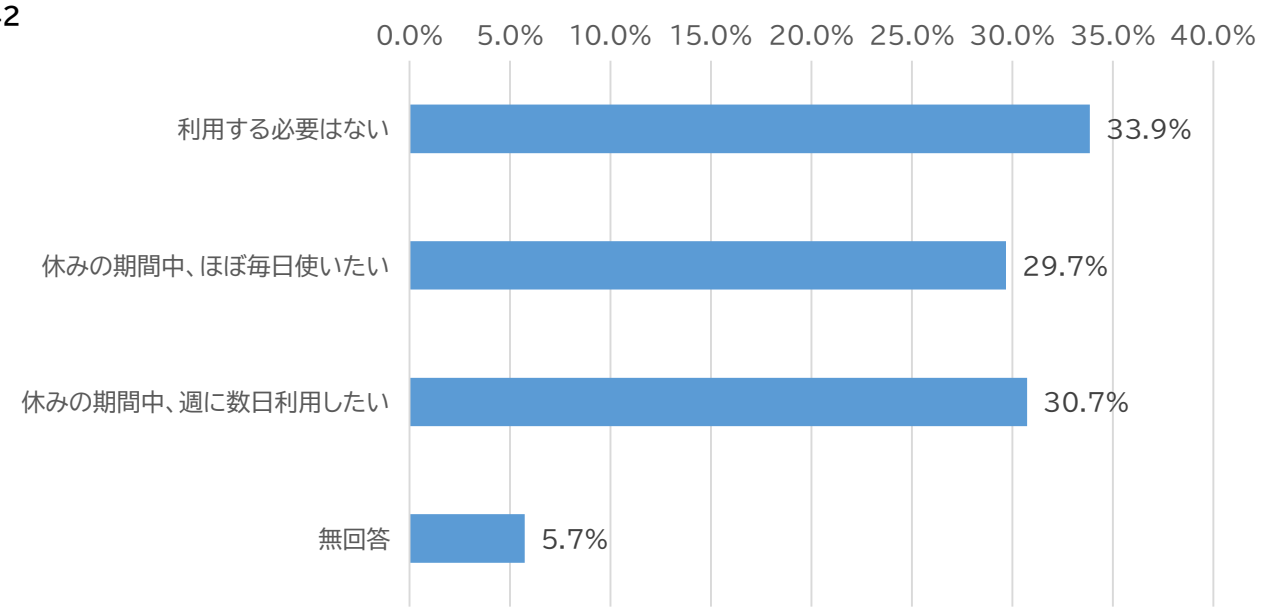
Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(5)幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について

問19　封筒のあて名のお子さんが「幼稚園、認定こども園(幼稚園部分)」を利用されている方におうかがいします。夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園、認定こども園の利用を希望しますか。希望がある場合は、(　)内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(9:00～18:00)のように24時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するためには、一定の利用料が発生します。

幼稚園、認定こども園(幼稚園部分)の利用状況　N＝542

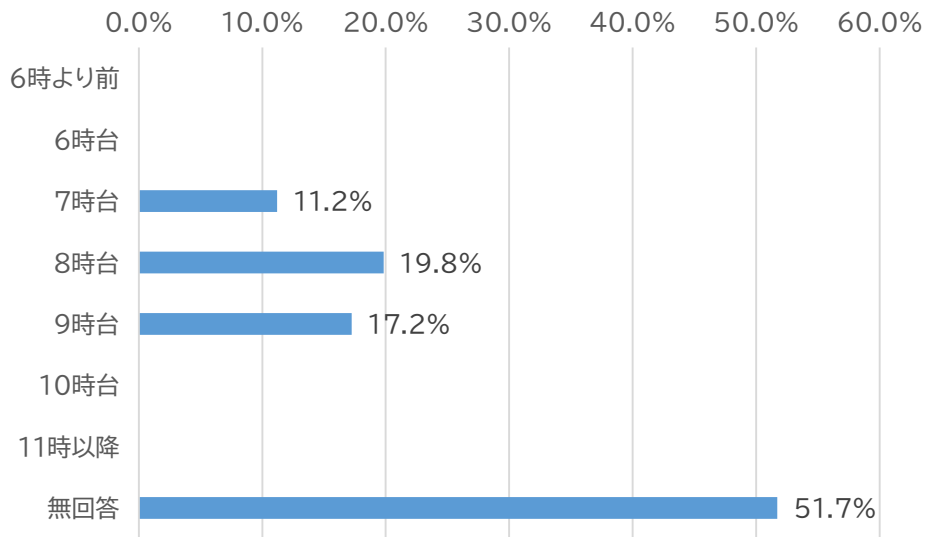




幼稚園、認定こども園(幼稚園部分) を利用しているとして回答したものは、回答者全体の35%となっている。
そのうち、長期休暇中について、「利用する必要はない」と回答した割合が、33.9%と最も高く、次いで、「休みの期間中、週に数日利用したい」が30.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」が29.7%となっている。

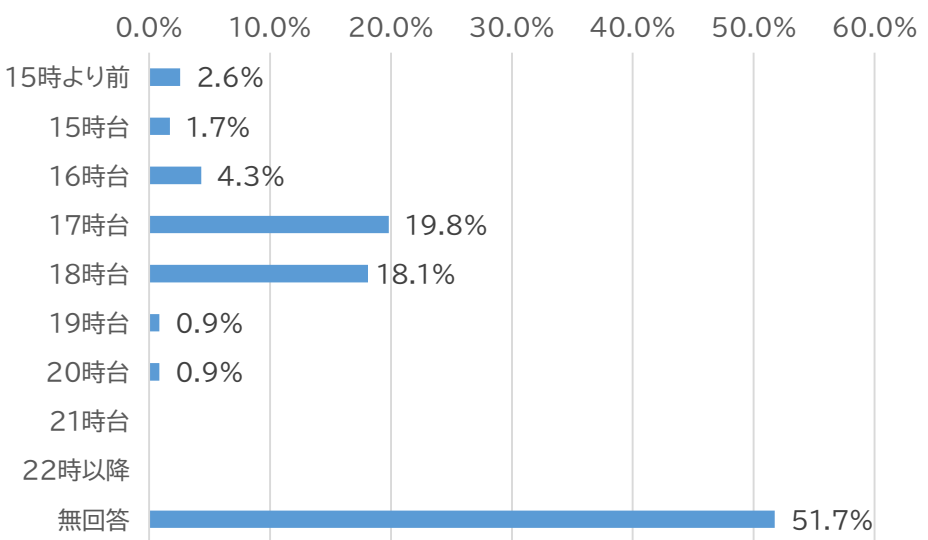
①利用したい時間帯　N＝116(就学前児童)

ア　開始時間



「8時台」と回答した割合が19.8%と最も高くなっており、次いで「9時台」が17.2%、「7時台」が11.2%となっている。

イ　終了時間



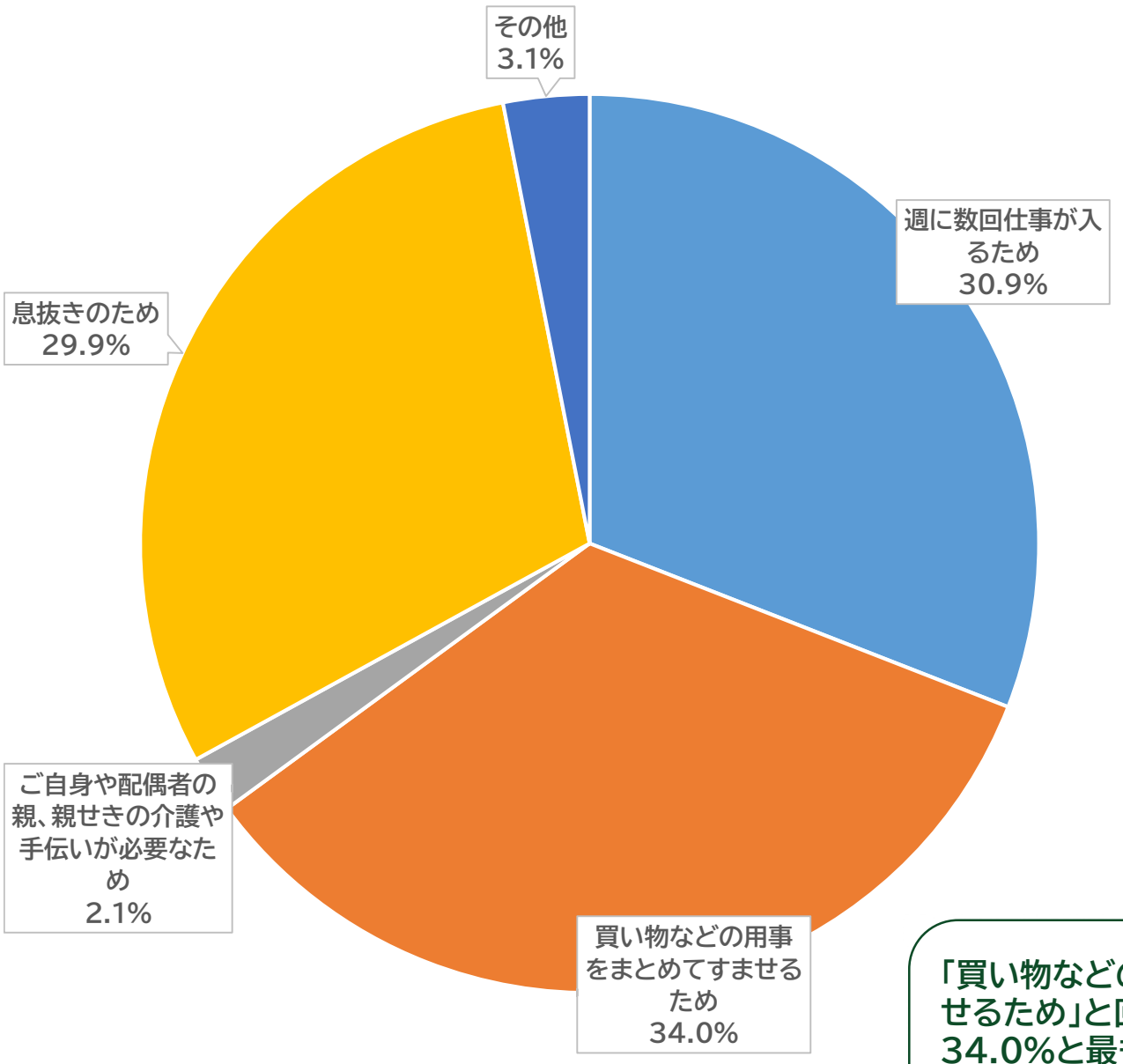
「17時台」と回答した割合が19.8%と最も高くなっており、次いで「18時台」が18.1%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(5)幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について

問19－1 問19で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N＝97　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「買い物などの用事をまとめてすませるため」と回答した割合が34.0%と最も高くなっており、次いで「週に数回仕事が入るため」が30.9%、「息抜きのため」が29.9%となっている。

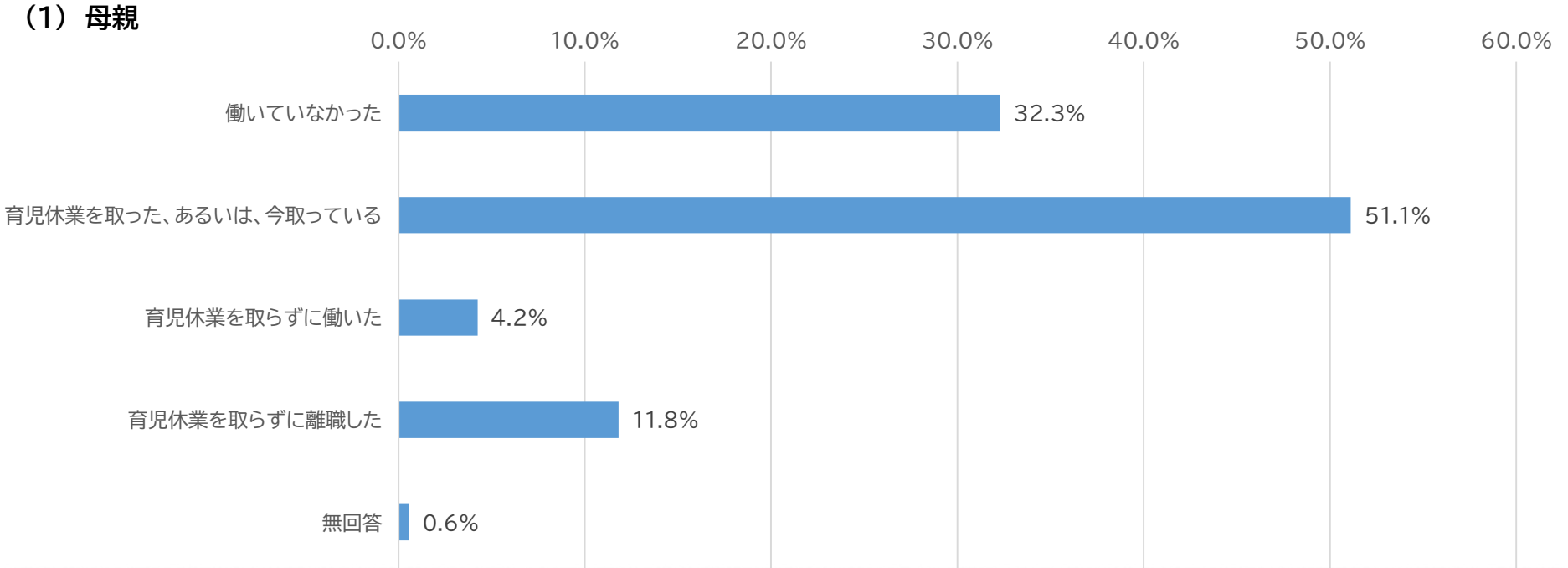
Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問20　封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父親について、「2.」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について(　)内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

N＝542

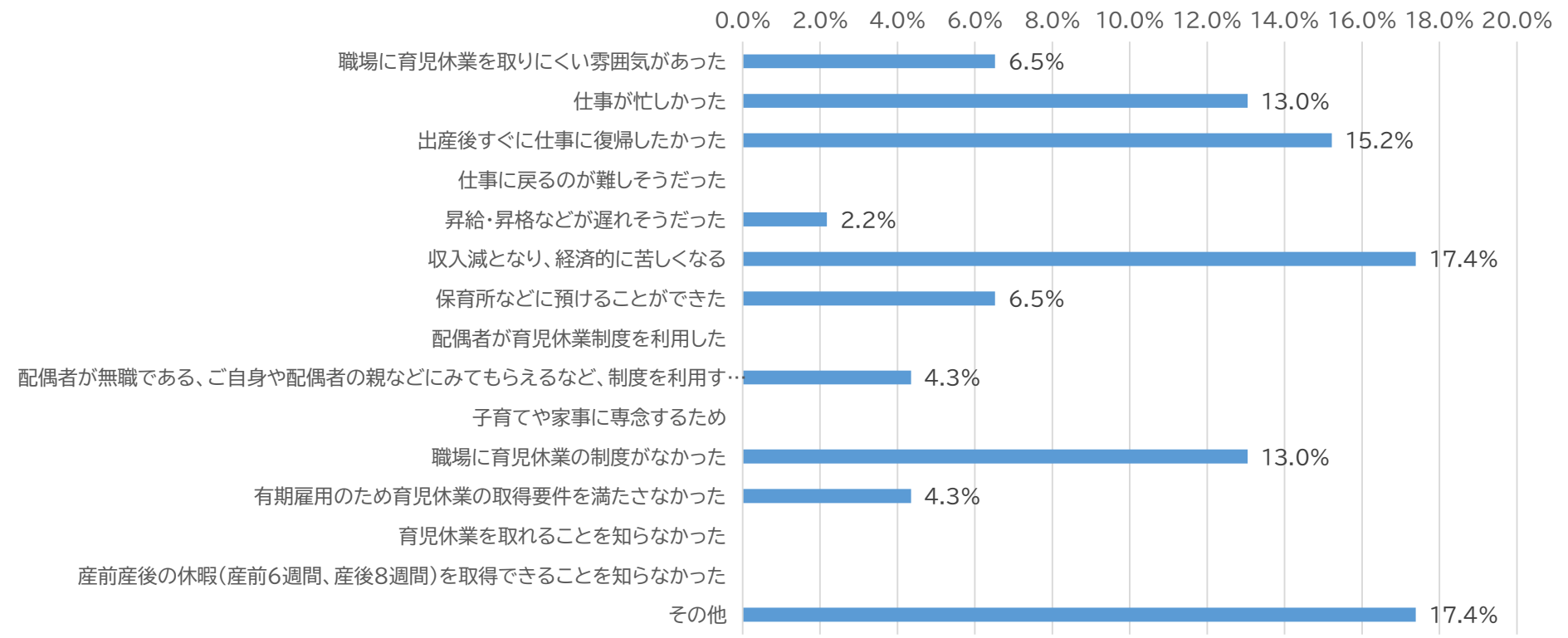
(1) 母親



「育児休業を取った、あるいは、今取っている」と回答した割合が51.1%と最も高くなっており、次いで「働いていなかった」が32.3%となっている。

「3.育児休業を取らずに働いた(母親)」

①育児休業取得を取得していない理由　N＝46　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「収入減となり、経済的に苦しくなる」と回答した割合が17.4%と最も高くなっており、次いで「出産後すぐに仕事に復帰したかった」が15.2%、「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業の制度がなかった」が13.0%となっている。

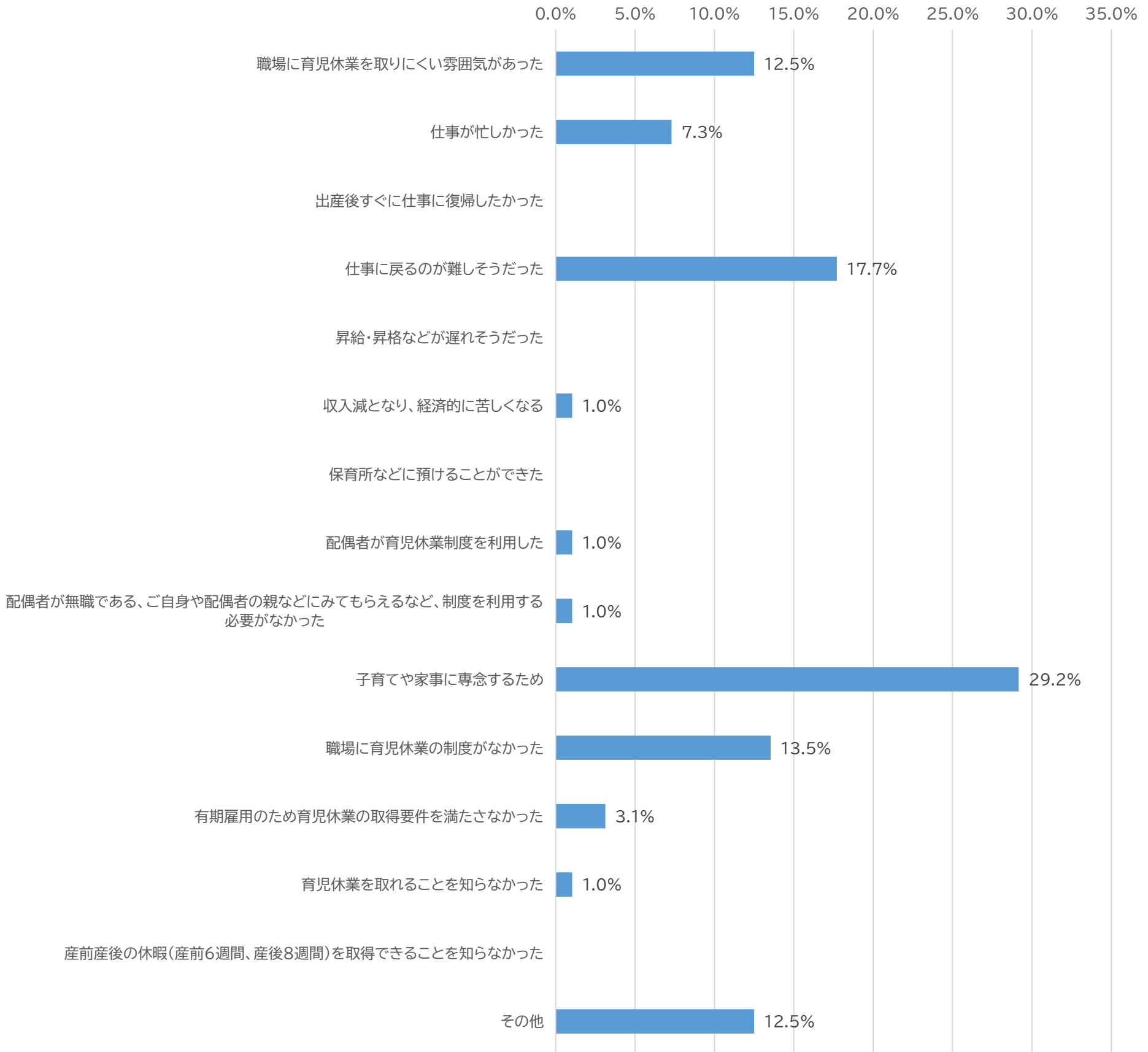
Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問20　封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父親について、「2.」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について(　)内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

「4.育児休業を取らずに離職した(母親)」　N＝96　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

①育児休業取得を取得していない理由



「子育てや家事に専念するため」と回答した割合が29.2%と最も高くなっており、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が17.7%、「職場に育児休業の制度がなかった」が13.5%となっている。

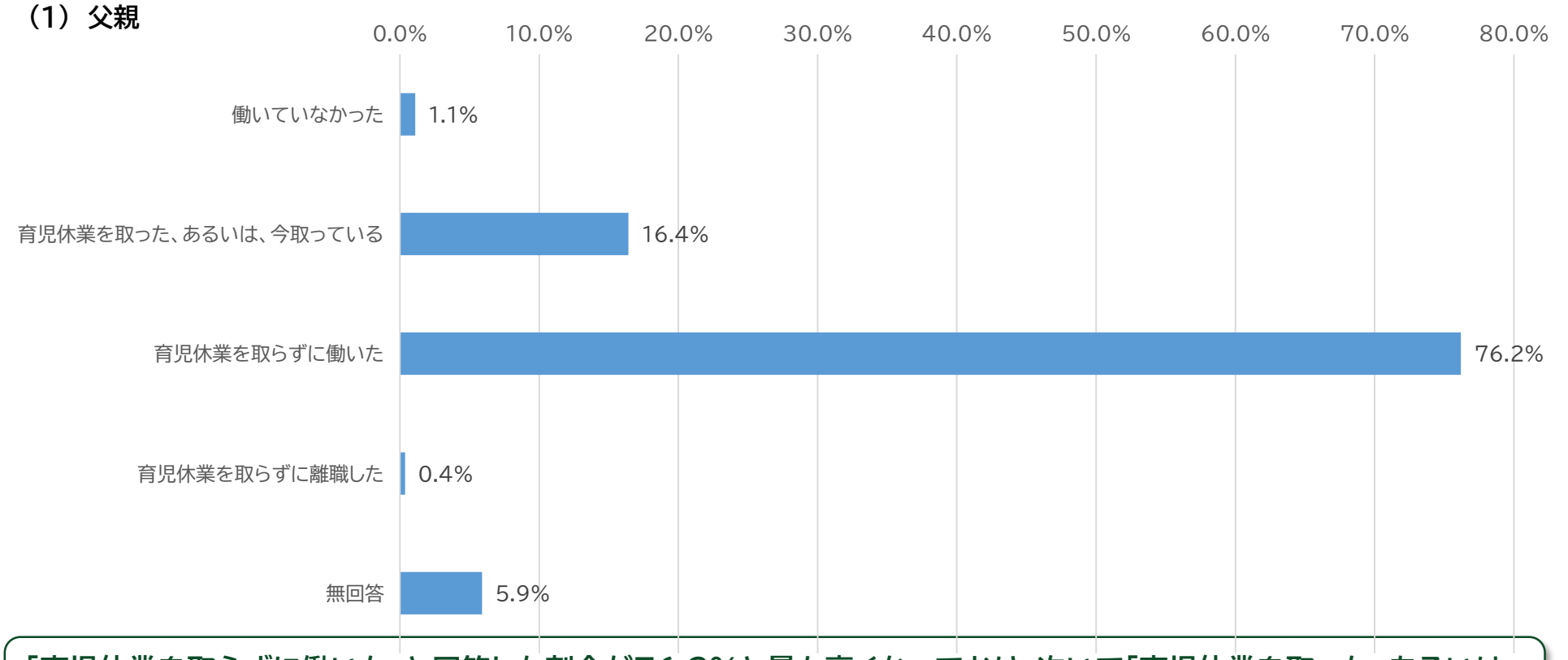
Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問20　封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父親について、「2.」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について(　)内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

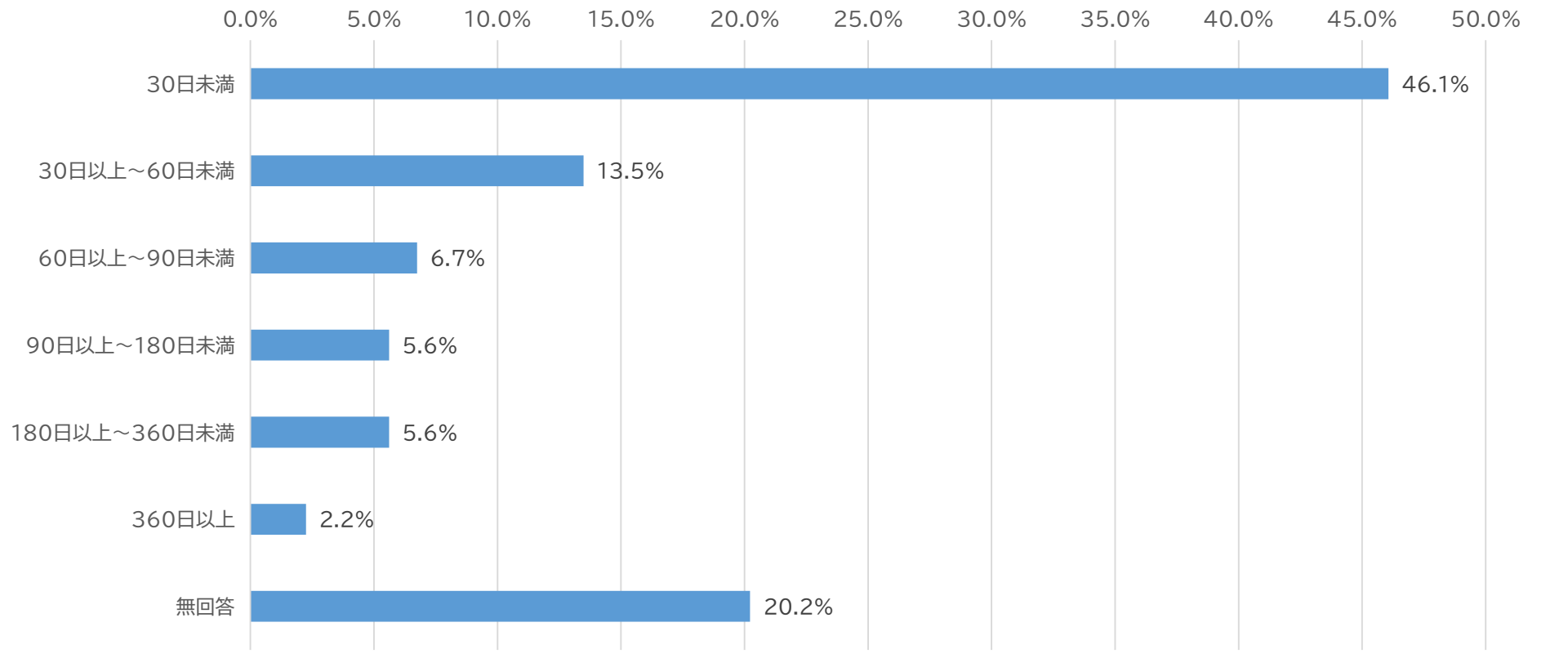
N＝542

（1）父親



「育児休業を取らずに働いた」と回答した割合が76.2%と最も高くなっており、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が16.4%となっている。

①育児休業の取得予定の日数　　N＝89　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「30日未満」と回答した割合が46.1%と最も高くなっており、次いで「30日以上～60日未満」が13.5%、「60日以上～90日未満」が6.7%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

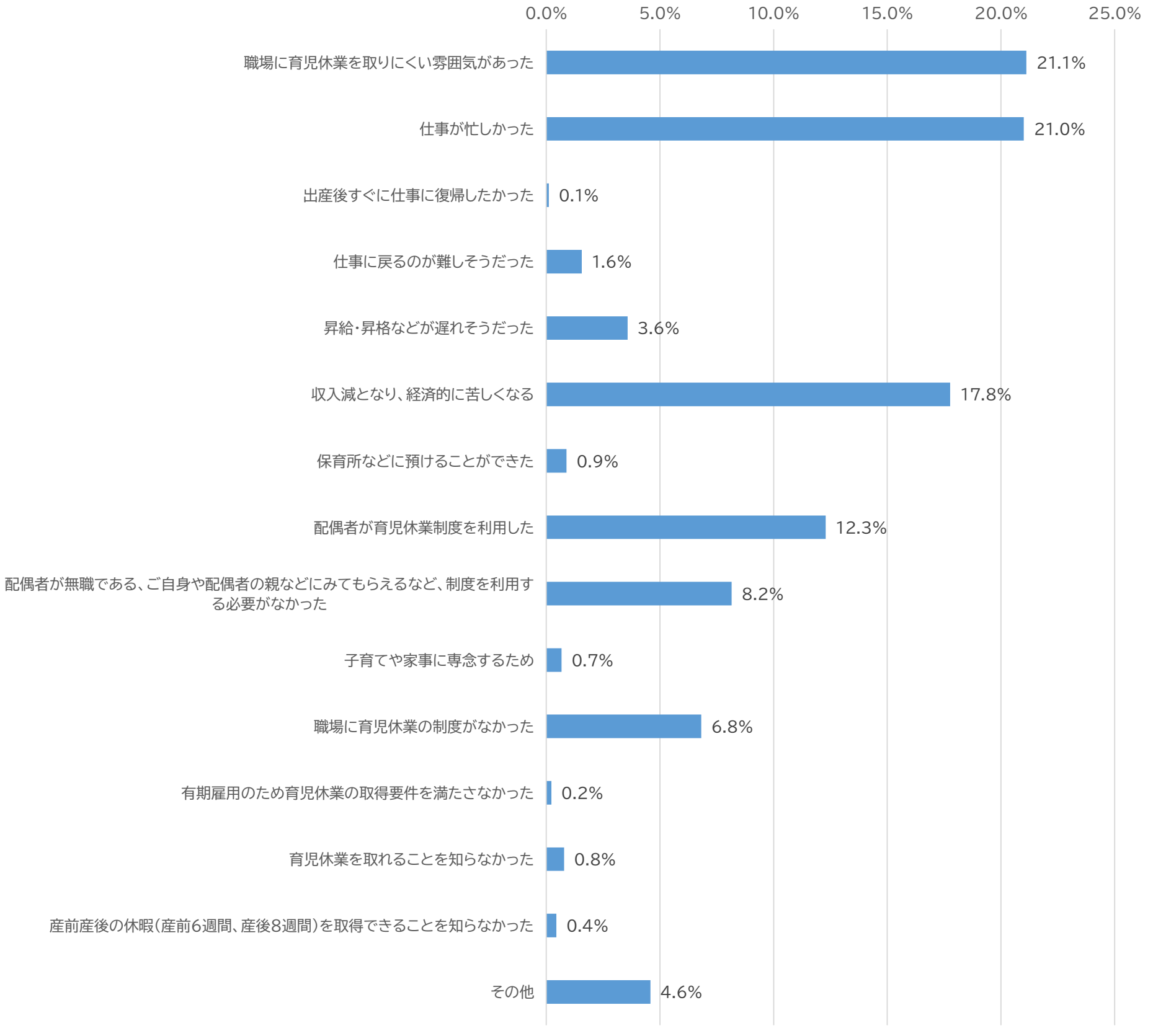
(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問20　封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父親について、「2.」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について(　)内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

N＝895　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

(2) 父親 「3. 育児休業を取らずに働いた(父親)」

育児休業取得を取得していない理由



「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と回答した割合が21.1%と最も高くなっており、次いで「仕事が忙しかった」が21.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が17.8%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

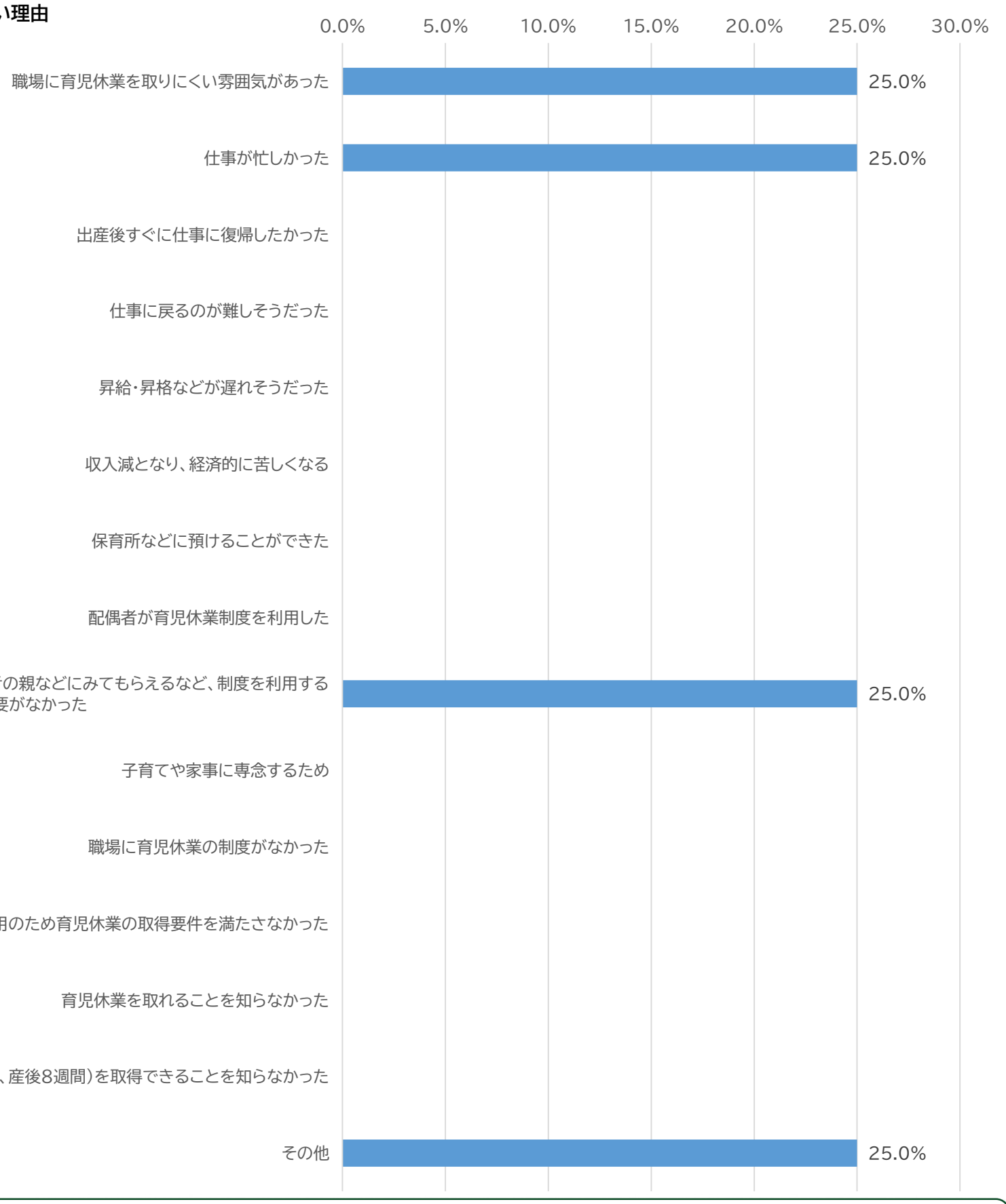
(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問20　封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父親について、「2.」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について(　)内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

N＝4　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

(2)　父親　「4. 育児休業を取らずに離職した(父親)」

育児休業取得を取得していない理由



「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がそれぞれ25.0%となっている。

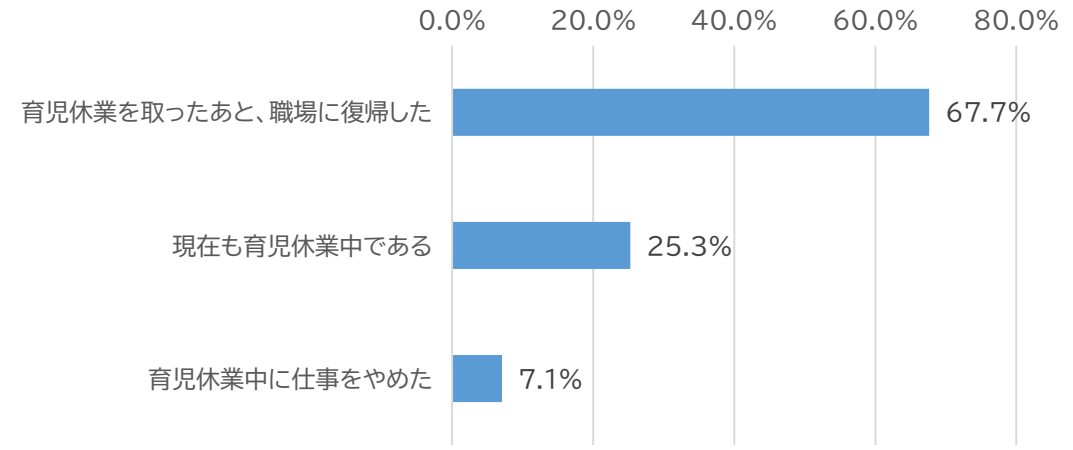
Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問20－1　問20の(1)、(2)とも、または、どちらかで「2.」を選ばれた「育児休業を取られた方」におうかがいします。
育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○、(　)内に数字で記入)

N=269

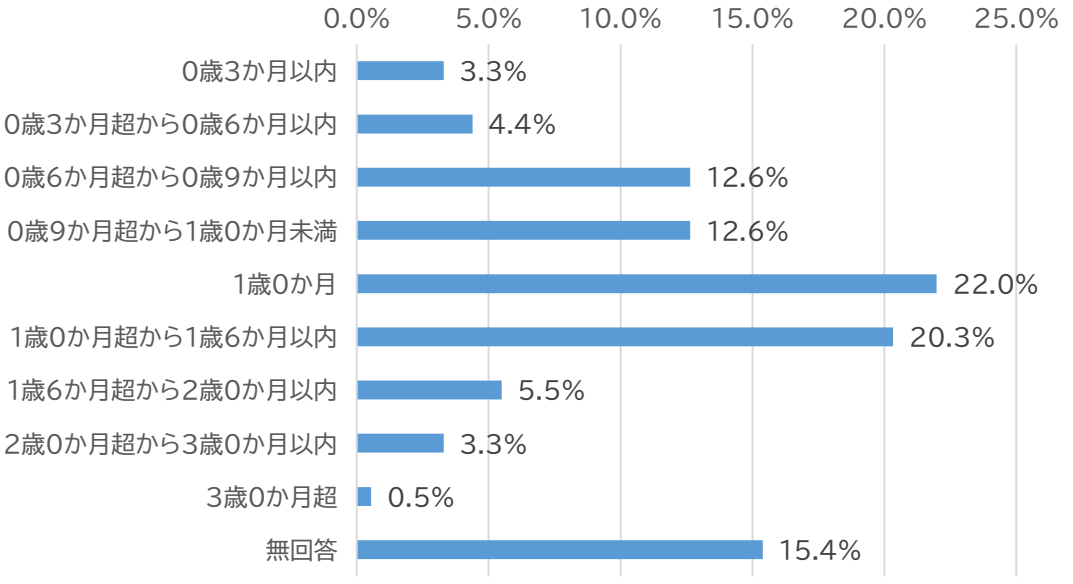
(1) 母親



「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」と回答した割合が67.7%と最も高くなっており、次いで「現在も育児休業中である」が25.3%、「育児休業中に仕事をやめた」が7.1%となっている。

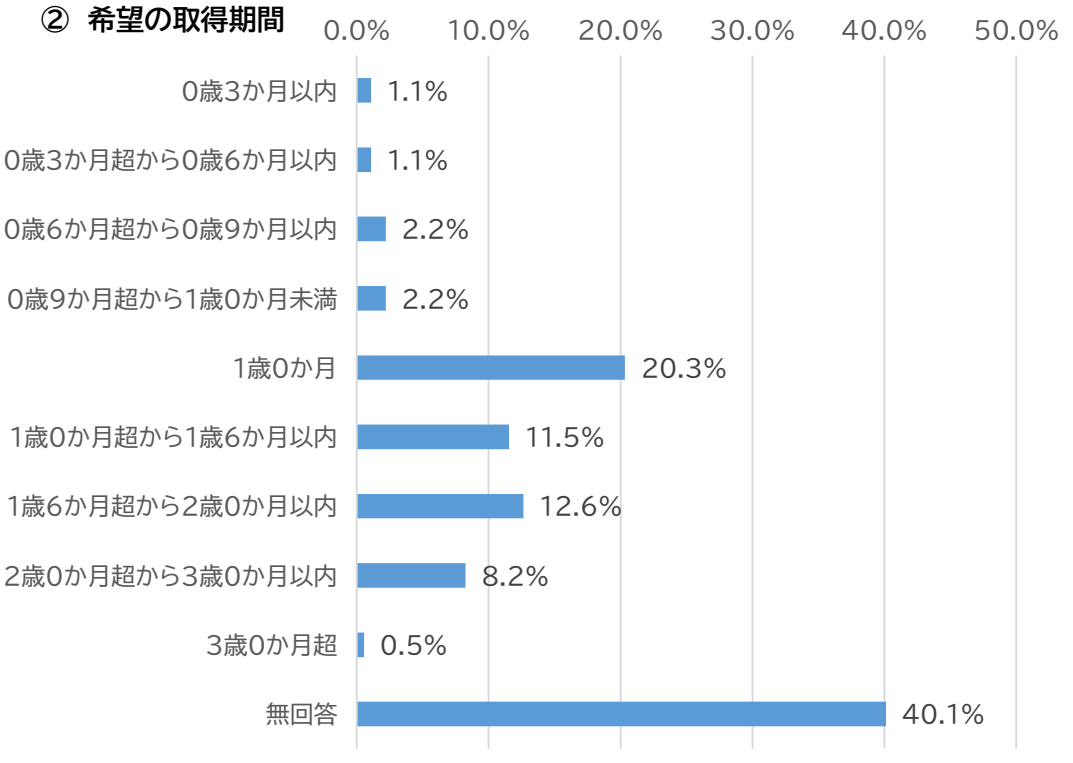
N=182

① 実際の取得期間



「1歳0か月」と回答した割合が22.0%と最も高くなっており、次いで「1歳0か月超から1歳6か月以内」が20.3%、「0歳6か月超から0歳9か月以内」、「 0歳9ヶ月超から1歳0か月未満」が12.6%となっている。

② 希望の取得期間



「1歳0か月」と回答した割合が20.3%と最も高くなっており、次いで「1歳6か月超から2歳0か月以内」が12.6%、「1歳0ヶ月超から1歳6か月以内」が11.5%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

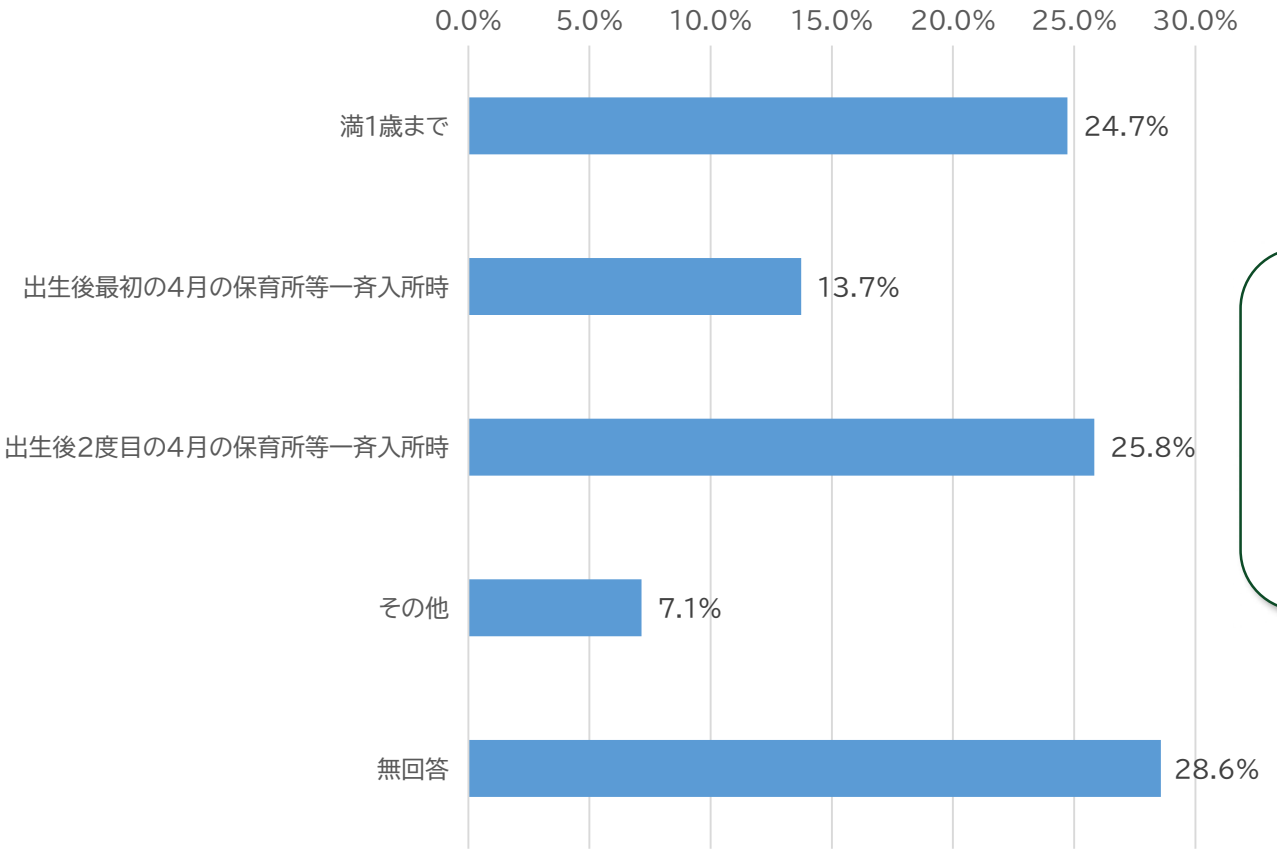
(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問20－1　問20の(1)、(2)とも、または、どちらかで「2.」を選ばれた「育児休業を取られた方」におうかがいします。育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○、(　)内に数字で記入)

N=269

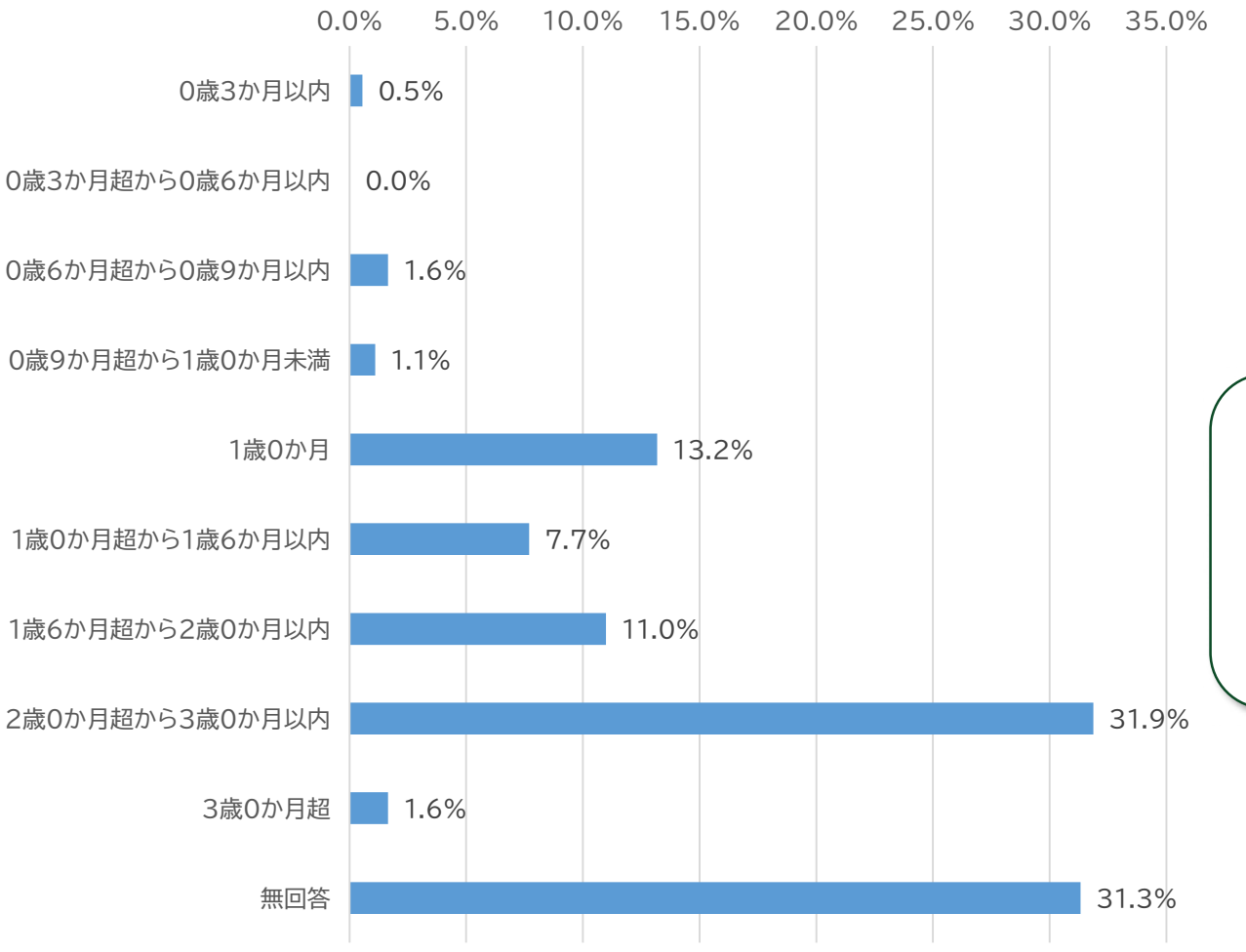
(1) 母親　N=182

②-1 希望の取得期間終了時



「出生後2度目の4月の保育所等一斉入所時」と回答した割合が25.8%と最も高くなっており、次いで「満1歳まで」が24.7%、「出生後最初の4月の保育所等一斉入所時」が13.7%となっている。

③ 希望の取得期間(3歳まで休暇を取得できる制度があった場合)



「2歳0か月超から3歳0か月以内」と回答した割合が31.9%と最も高くなっており、次いで「1歳0か月」が13.2%、「1歳6か月超から2歳0か月以内」が11.0%となっている。

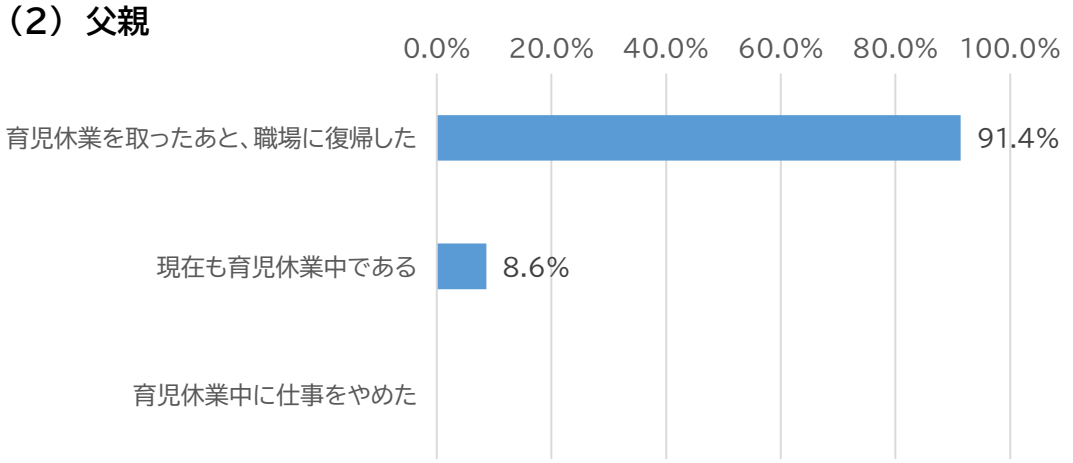
Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問20－1　問20の(1)、(2)とも、または、どちらかで「2.」を選ばれた「育児休業を取られた方」におうかがいします。
育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○、(　)内に数字で記入)

N＝81

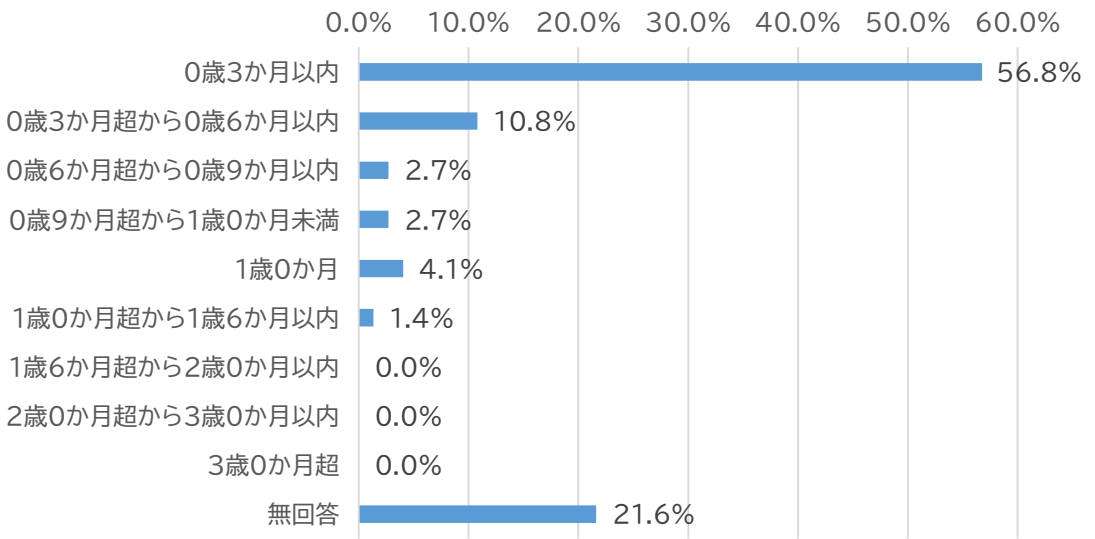
（2） 父親



「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」と回答した割合が91.4%と最も高くなっており、次いで「現在も育児休業中である」が8.6%となっている。

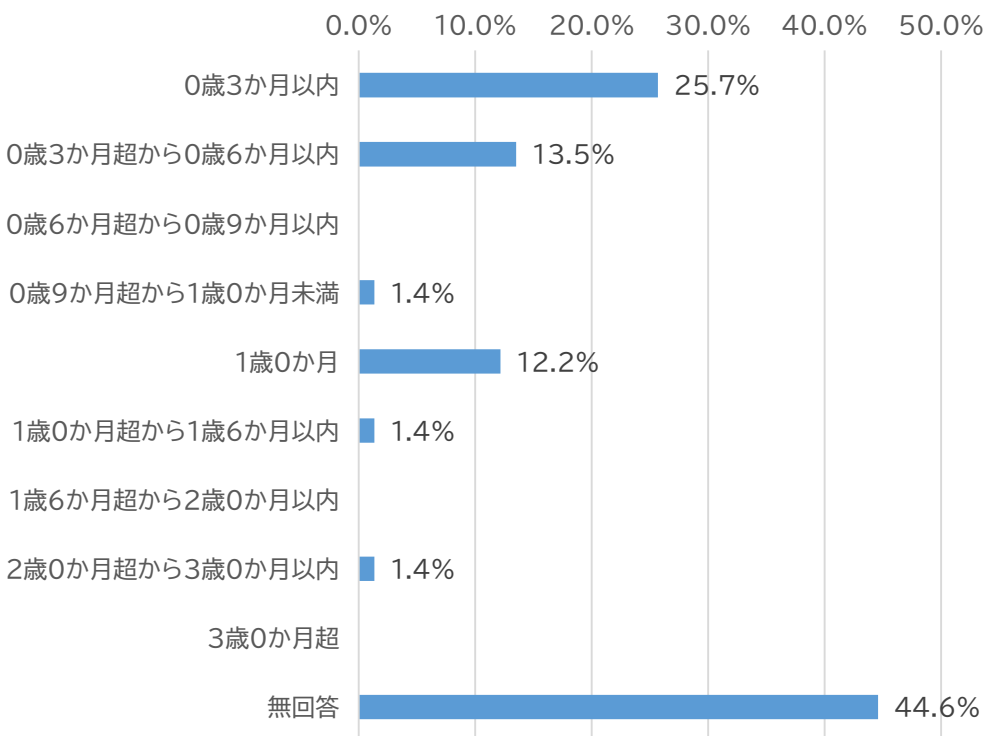
N＝74

① 実際の取得期間



「0歳3か月以内」と回答した割合が56.8%と最も高くなっており、次いで「0歳3か月超から0歳6か月以内」が10.8%となっている。

② 希望の取得期間



「0歳3か月以内」と回答した割合が25.7%と最も高くなっており、次いで「0歳3か月超から0歳6か月以内」が13.5%、「1歳0か月」が12.2%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

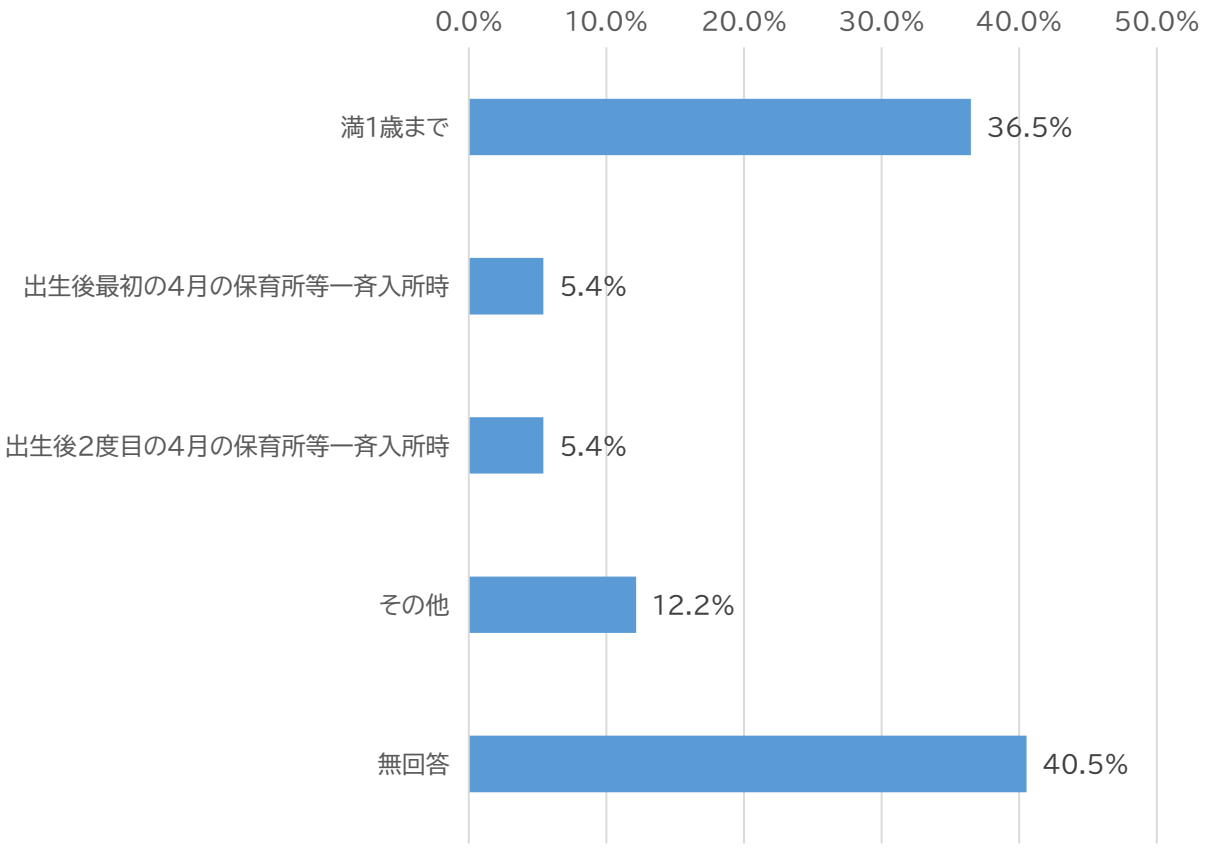
問20－1　問20の(1)、(2)とも、または、どちらかで「2.」を選ばれた「育児休業を取られた方」におうかがいします。
育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○、(　)内に数字で記入)

N＝81

(2) 父親

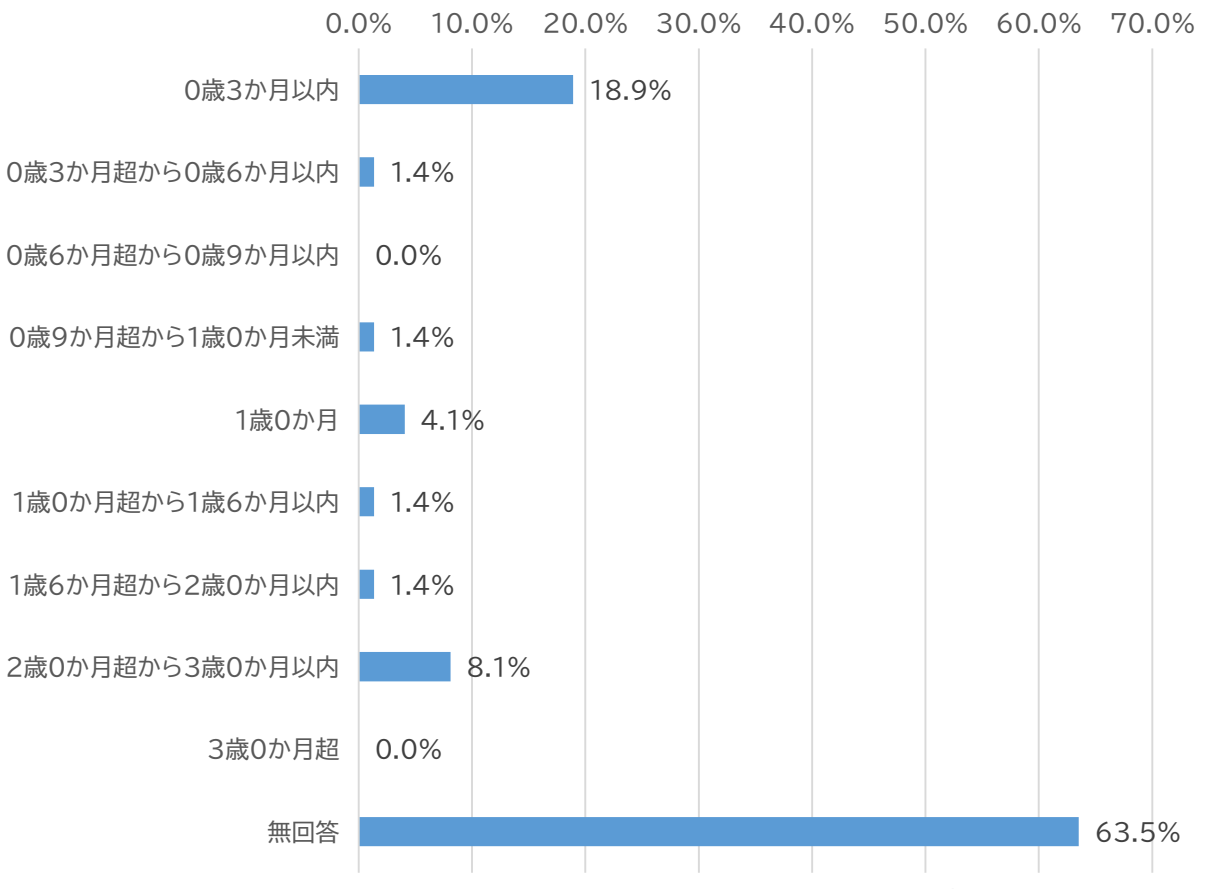
N＝74

②-1　希望の取得期間終了時



「満1歳まで」と回答した割合が36.5%と最も高くなっている。

③　希望の取得期間(3歳まで休暇を取得できる制度があった場合)



「0歳3か月以内」と回答した割合が18.9%と最も高くなっており、次いで「2歳0か月超から3歳0か月以内」が8.1%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

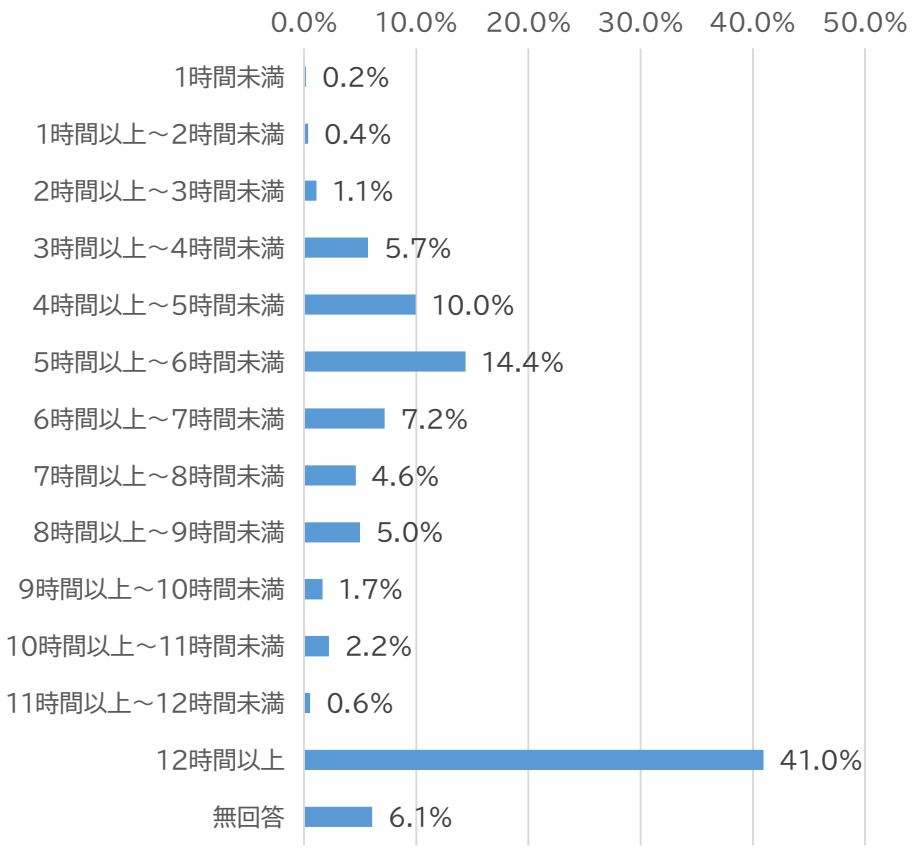
(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問21　1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

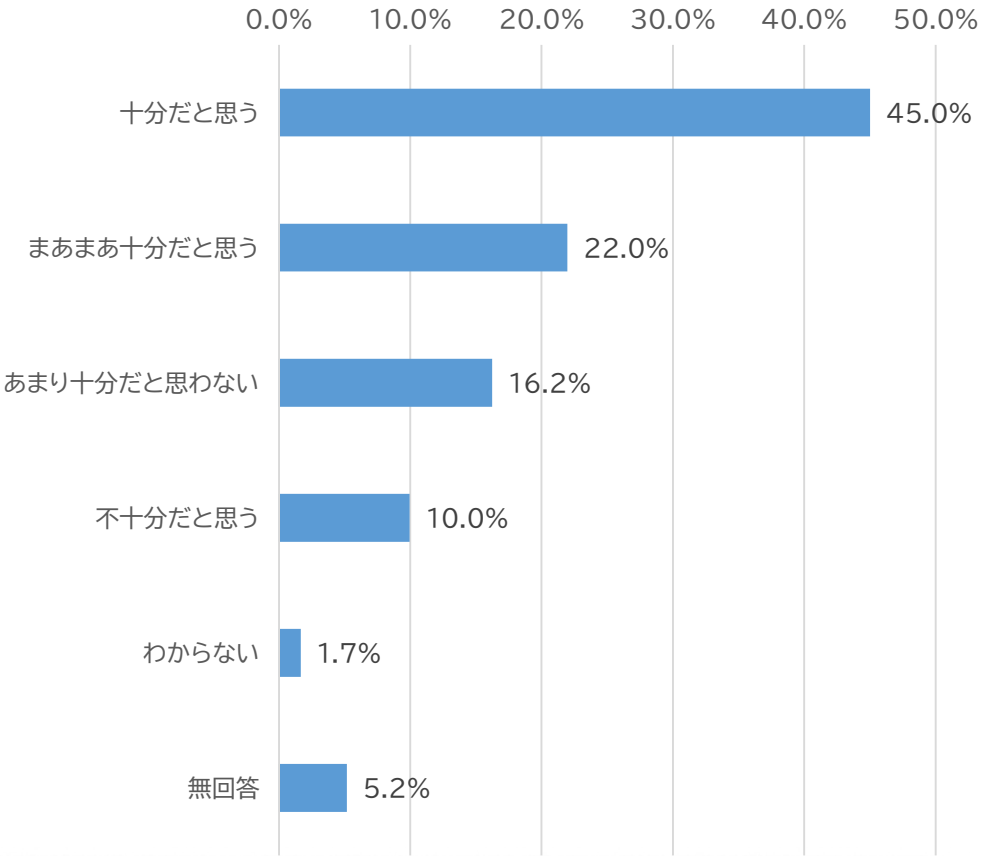
N＝542

(1) 母親　① 平日

ア 子どもと一緒に過ごす時間



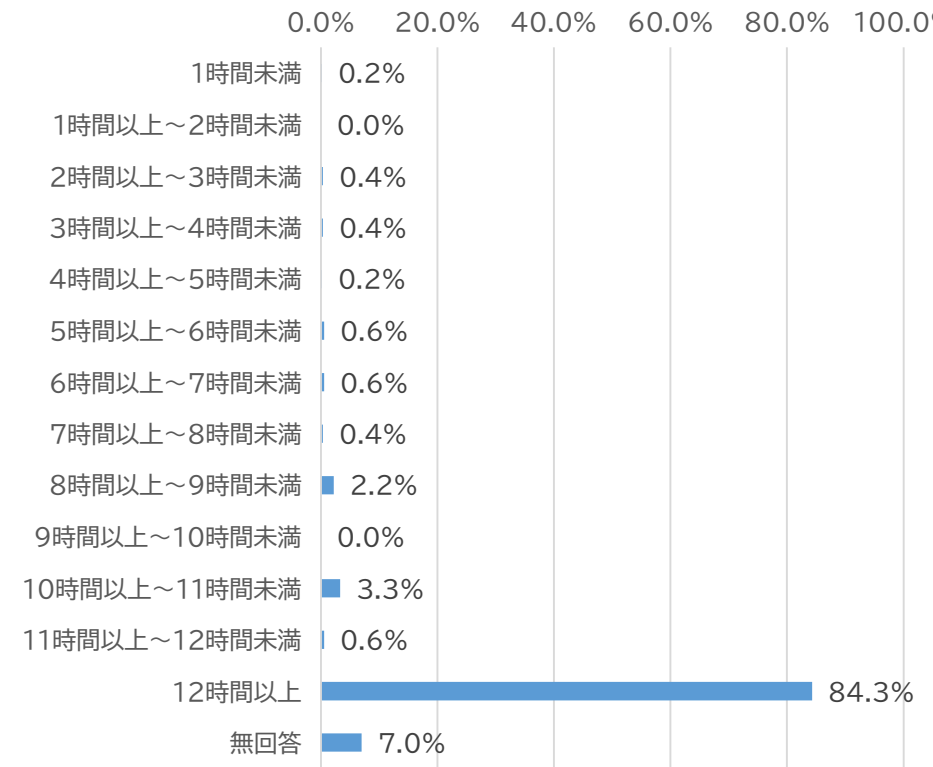
イ 十分だと思うか



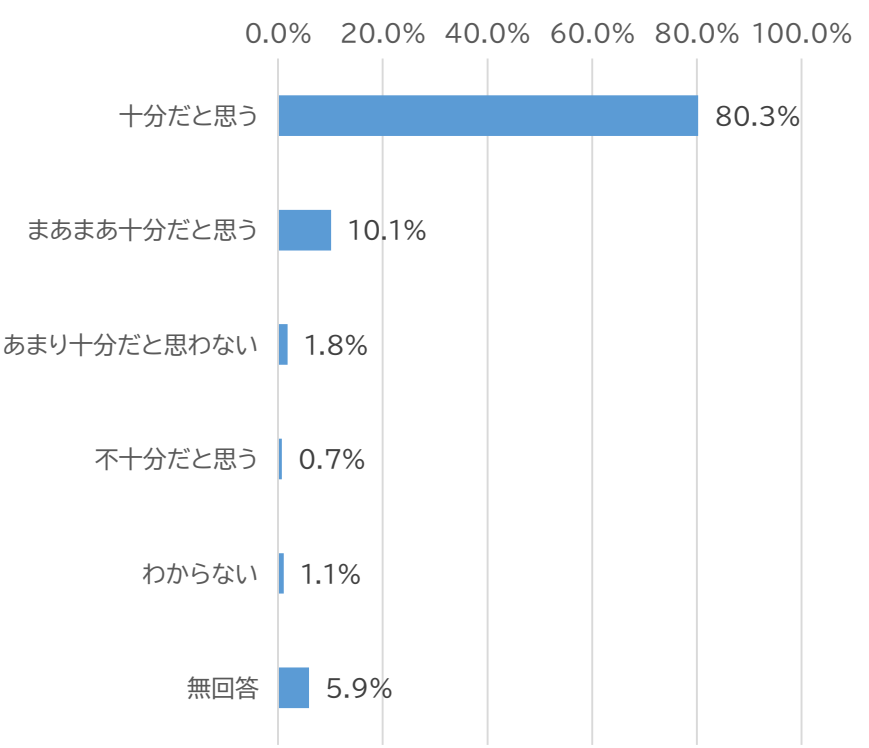
子どもと一緒に過ごす時間は、「12時間以上～」と回答した割合が41.0%と最も高く、また十分だと思うかについては、「十分だと思う」と回答した割合が45.0%と最も高い状況となっている。

② 休日

ア 子どもと一緒に過ごす時間



イ 十分だと思うか



子どもと一緒に過ごす時間は、「12時間以上」と回答した割合が84.3%と最も高く、また十分だと思うかについては、「十分だと思う」と回答した割合が80.3%と最も高い状況となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

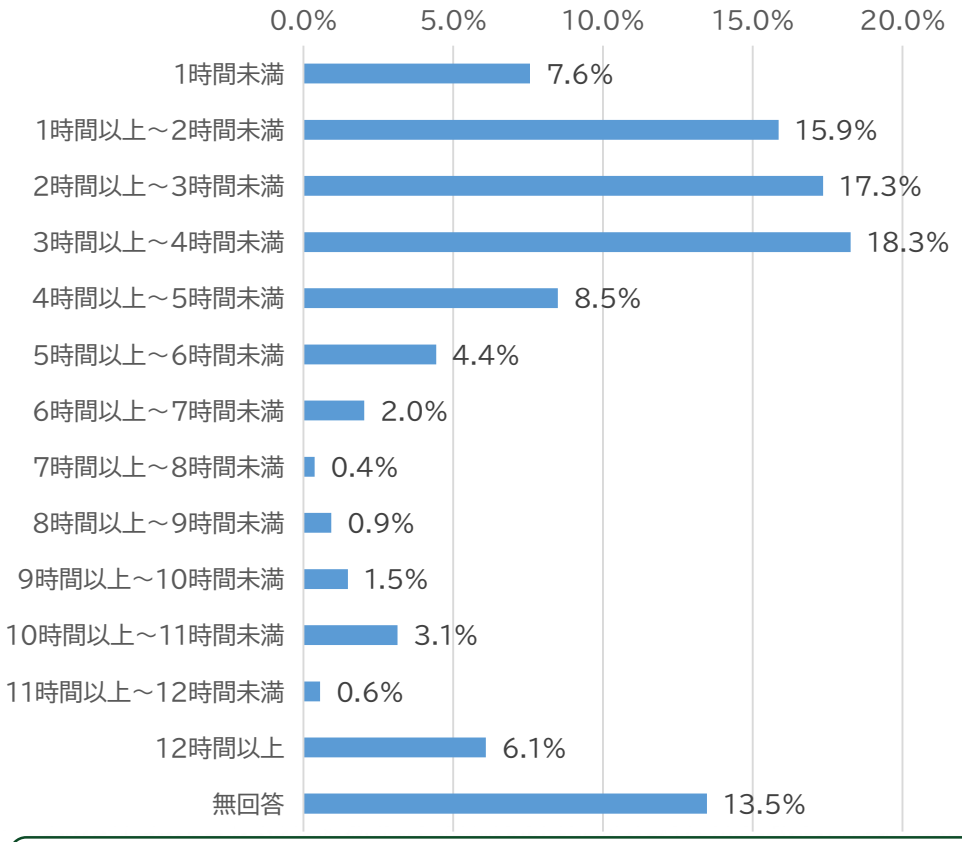
（6）育児休業など、仕事と子育ての両立について

問21　1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

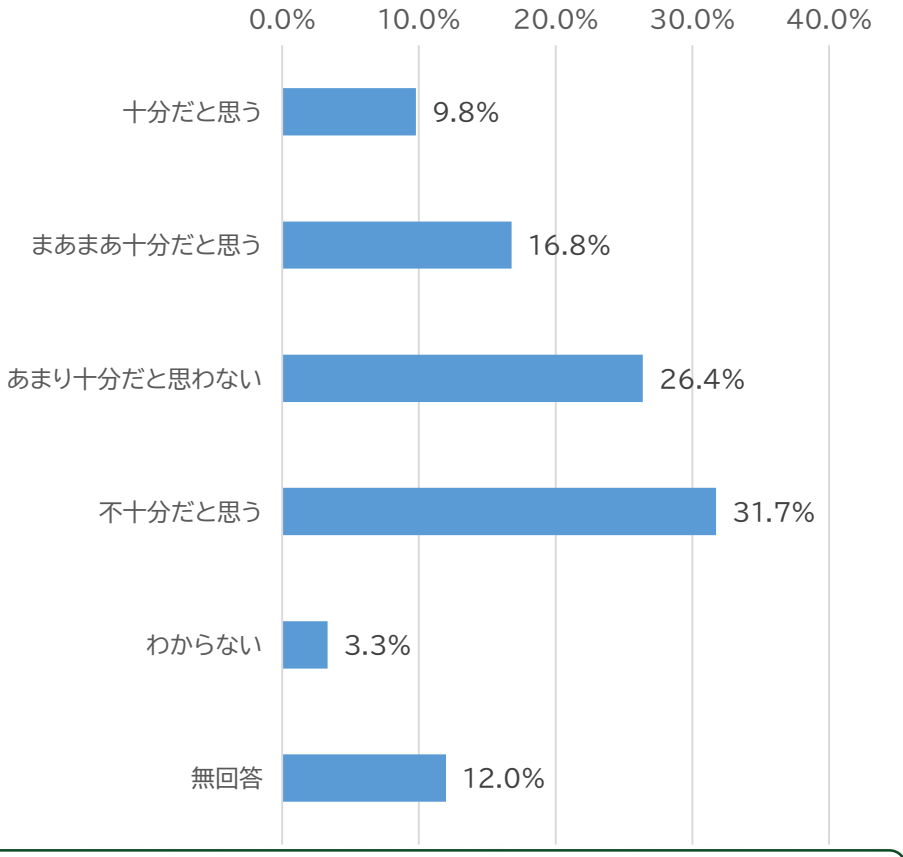
N＝542

（2）父親 ① 平日

ア　子どもと一緒に過ごす時間



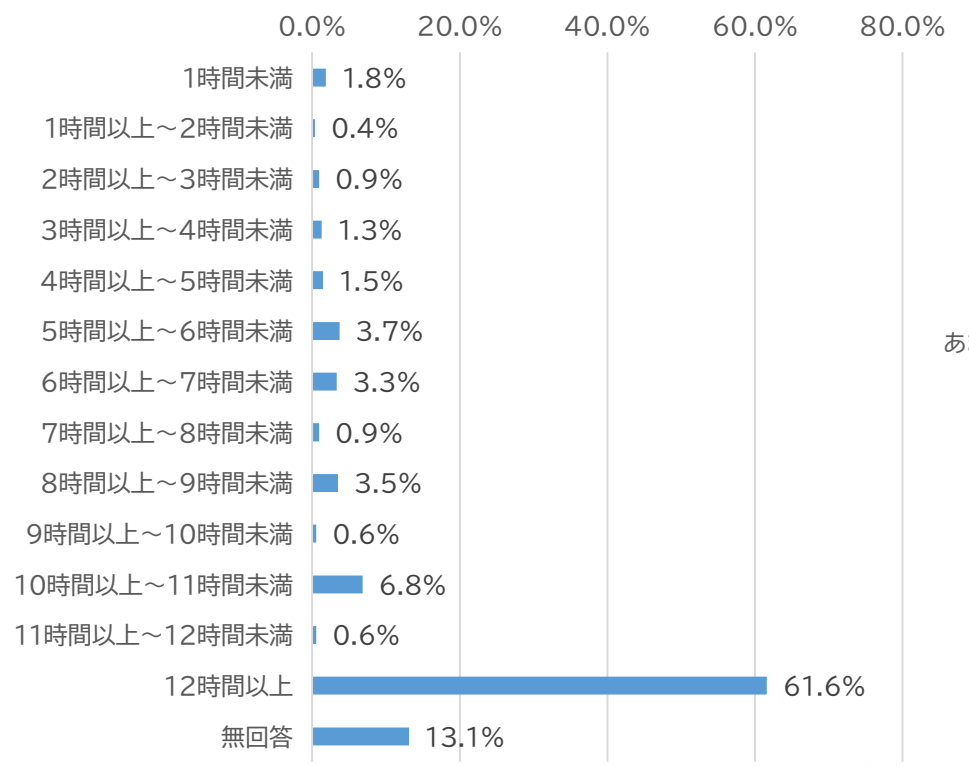
イ　十分だと思うか



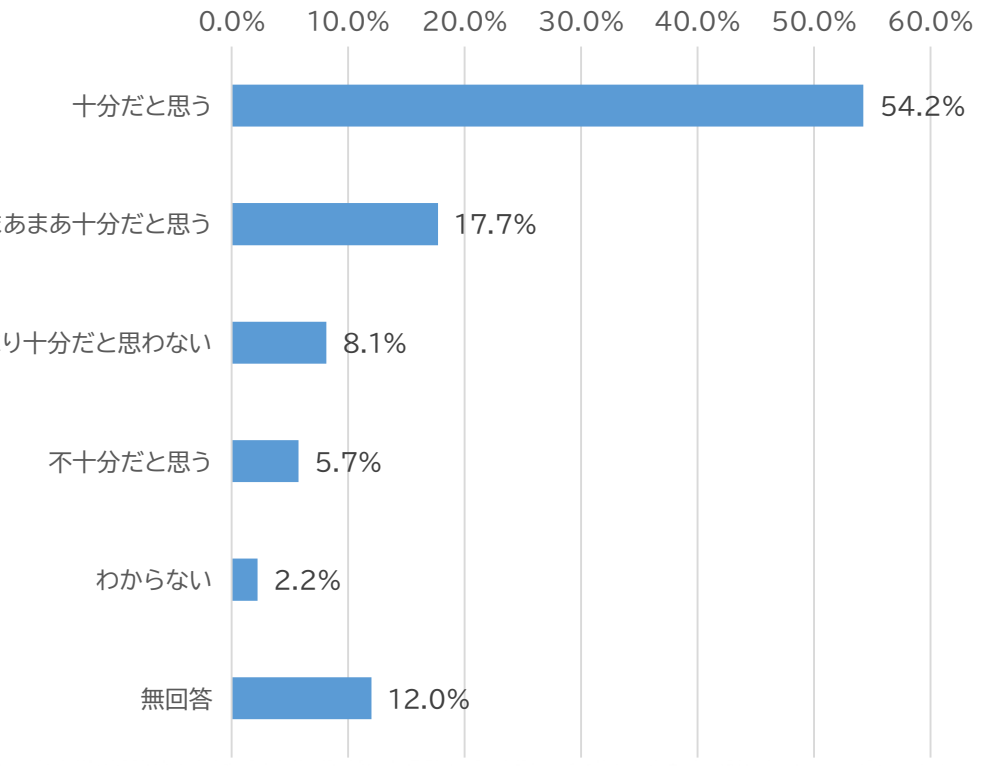
子どもと一緒に過ごす時間は、「3時間以上4時間未満」と回答した割合が18.3%と最も高く、また十分だと思うかについては、「不十分だと思う」と回答した割合が31.7%と最も高い状況となっている。

② 休日

ア　子どもと一緒に過ごす時間



イ　十分だと思うか



子どもと一緒に過ごす時間は、「12時間以上」と回答した割合が61.6%と最も高く、また十分だと思うかについては、「十分だと思う」と回答した割合が54.2%と最も高い状況となっている。

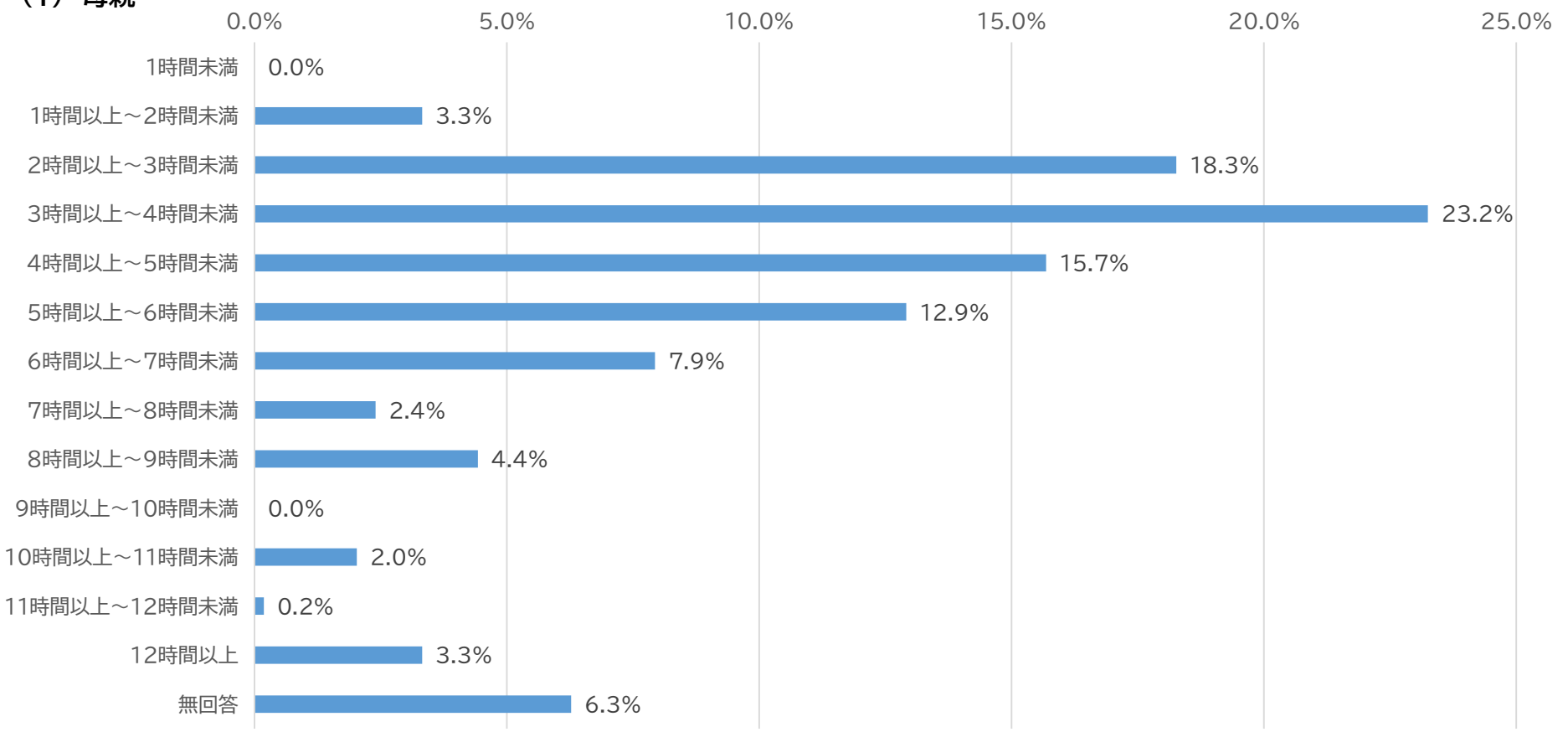
Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(6)育児休業など、仕事と子育ての両立について

問22　1日当たり、家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

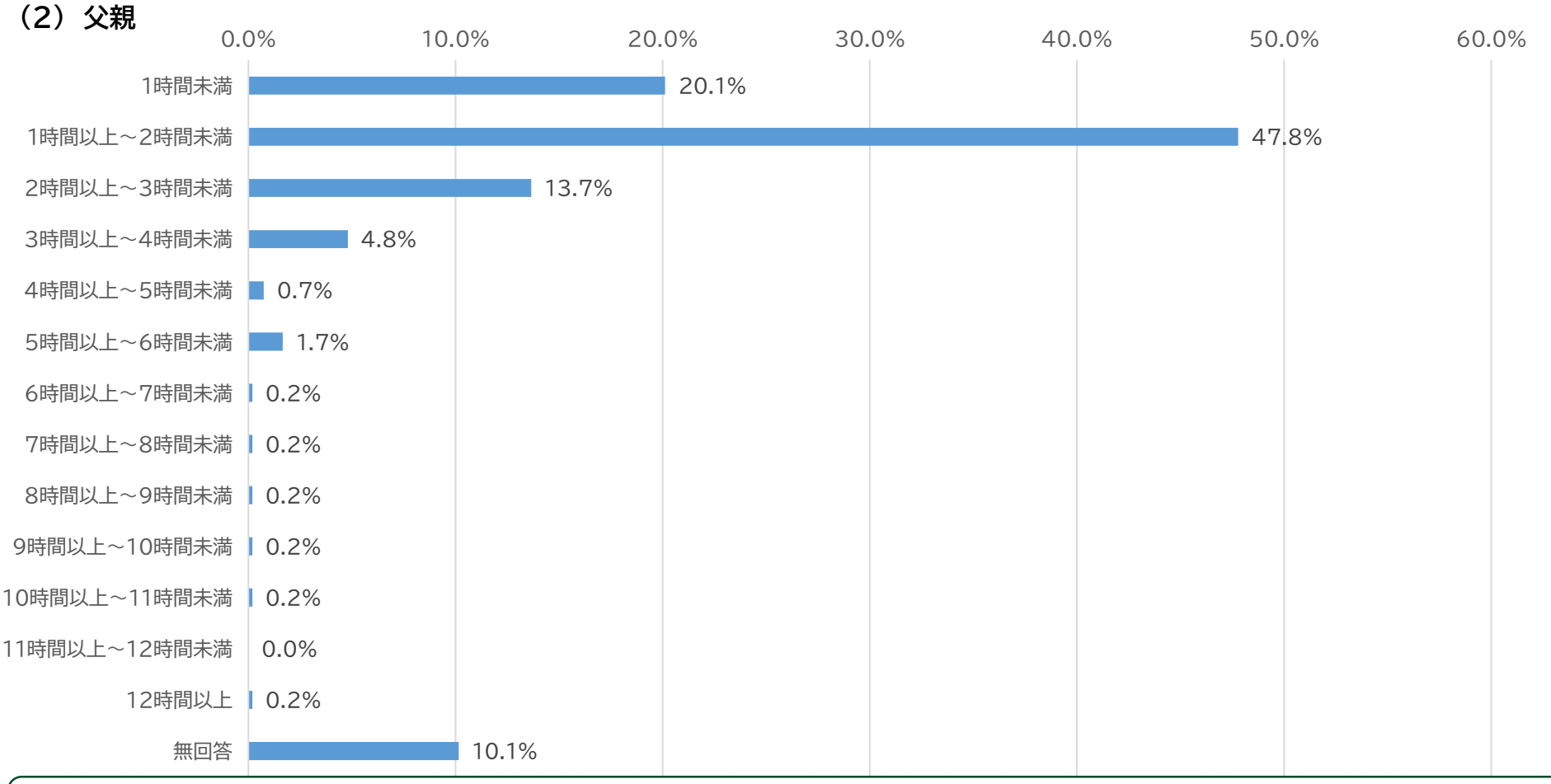
N＝542

（1） 母親



「3時間以上～4時間未満」と回答した割合が23.2%と最も高く、次いで、「2時間以上～3時間未満」と回答した割合が18.3%、「4時間以上～5時間未満」が15.7%となっている。

（2） 父親



「1時間以上～2時間未満」と回答した割合が47.8%と最も高く、次いで、「1時間未満」と回答した割合が20.1%、「2時間以上～3時間未満」が13.7%となっている。

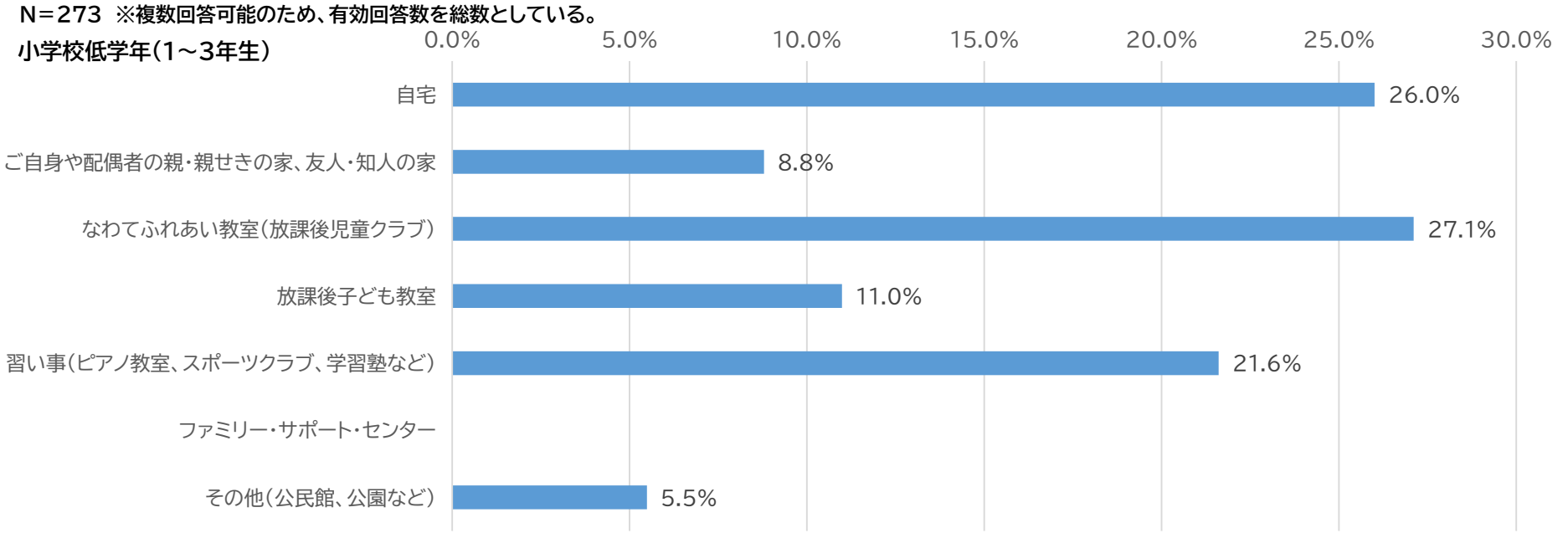
Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(7)小学校就学後の放課後の過ごし方について(お子さんが5歳以上である方)

問24　小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、(　)内に具体的な数字を入れてください。「なわてふれあい教室※(放課後児童クラブ)」を選択された場合には、利用を希望する時間についても(　)内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず(18:00)のように24時間制で記入してください。

N＝273　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

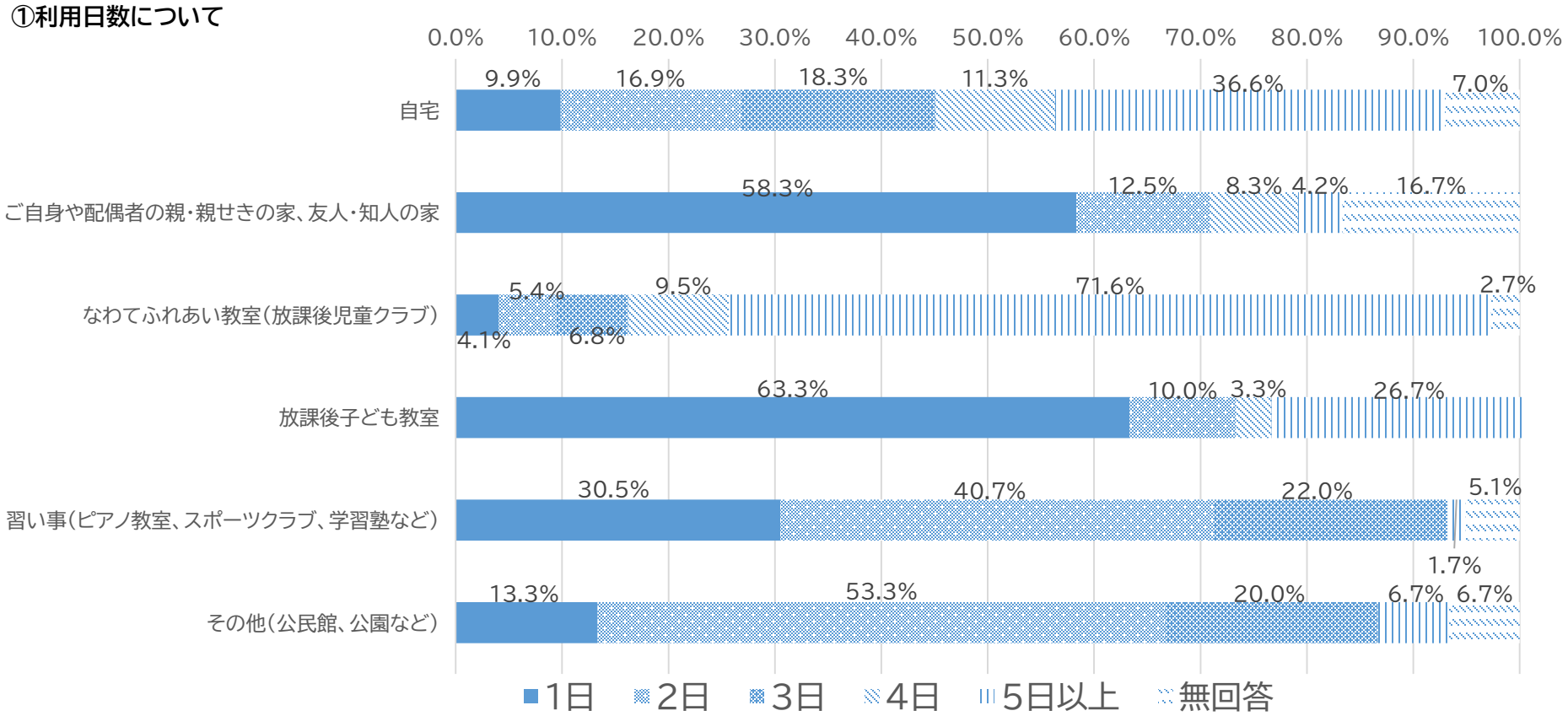
小学校低学年(1～3年生)



「なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)」と回答した割合が27.1%と最も高く、次いで、「自宅」と回答した割合が26.0%、「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」が21. 6%となっている。

(1)放課後の時間の過ごさせたい場所別週当たり利用日数等について

①利用日数について



いずれの場所においても、「1日」、「2日」、「5日以上」と回答した割合が最も高い傾向となっている。
自宅においては、「5日以上」と回答した割合が36.6%と最も高くなっている。ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家においては、「1日」と回答した割合が58.3%と最も高くなっている。なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)においては、「5日以上」と回答した割合が71.6%と最も高くなっている。放課後子ども教室においては、「1日」と回答した割合が63.3%と最も高くなっている。習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)については、「2日」と回答した割合が40.7%と最も高くなっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

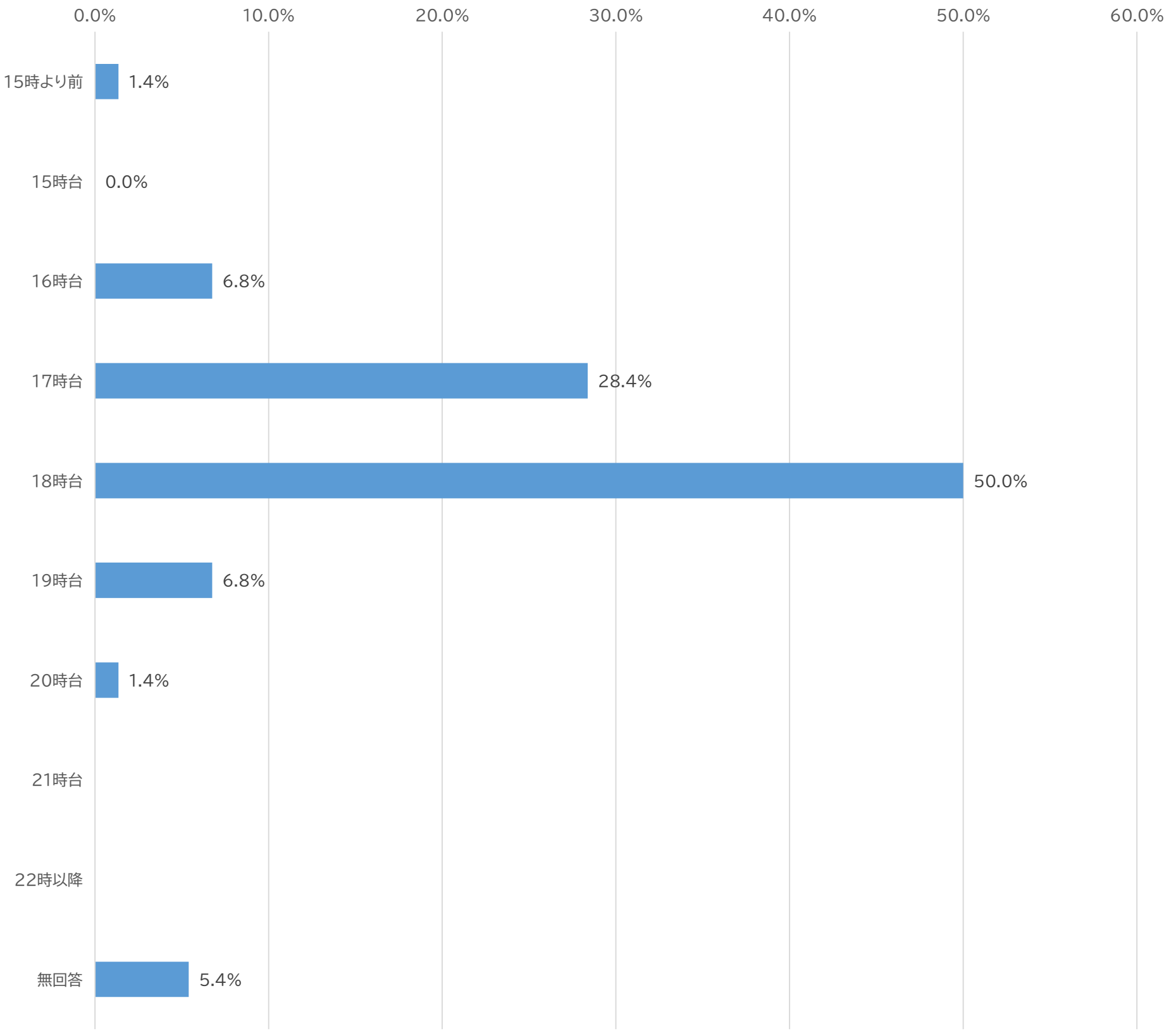
(7)小学校就学後の放課後の過ごし方について(お子さんが5歳以上である方)

問24　小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、(　)内に具体的な数字を入れてください。「なわてふれあい教室※(放課後児童クラブ)」を選択された場合には、利用を希望する時間についても(　)内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず(18:00)のように24時間制で記入してください。

N＝273　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

(1)放課後の時間の過ごさせたい場所別週当たり利用日数等について

②利用終了時刻について



「18時台」と回答した割合が50.0%と最も高く、次いで「17時台」が28.4%となっている。

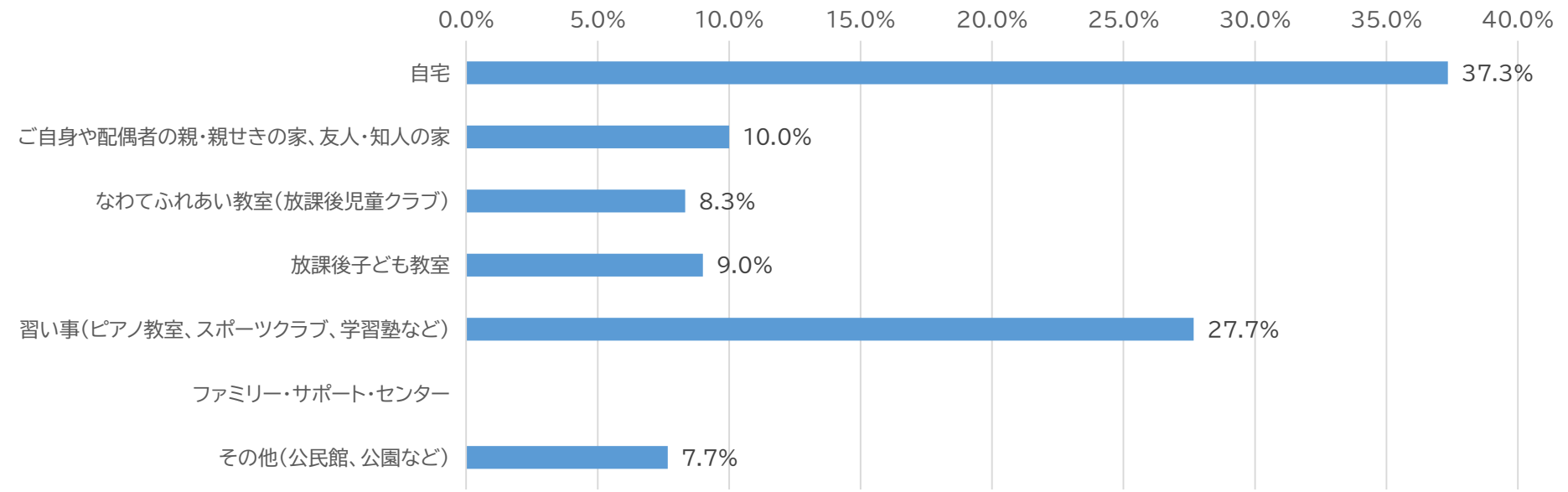
Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(7)小学校就学後の放課後の過ごし方について(お子さんが5歳以上である方)

問25　小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、(　)内に具体的な数字を入れてください。「なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)」を選択された場合には、利用を希望する時間についても(　)内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず(18:00)のように24時間制で記入してください。
＊先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

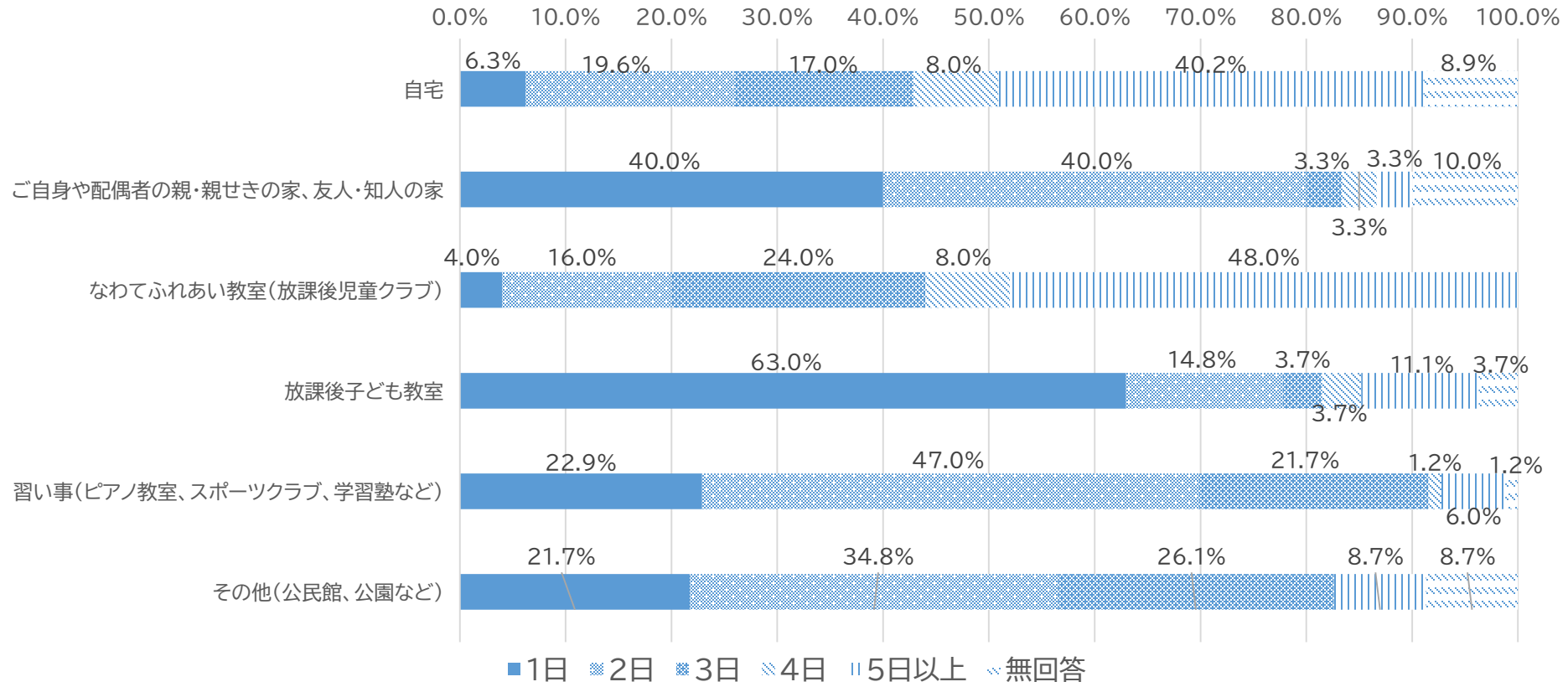
N＝300　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

小学校高学年(4～6年生)



「自宅」と回答した割合が37.3%と最も高く、次いで、「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」と回答した割合が27.7%となっている。

(1)放課後の時間の過ごさせたい場所別週当たり利用日数等について



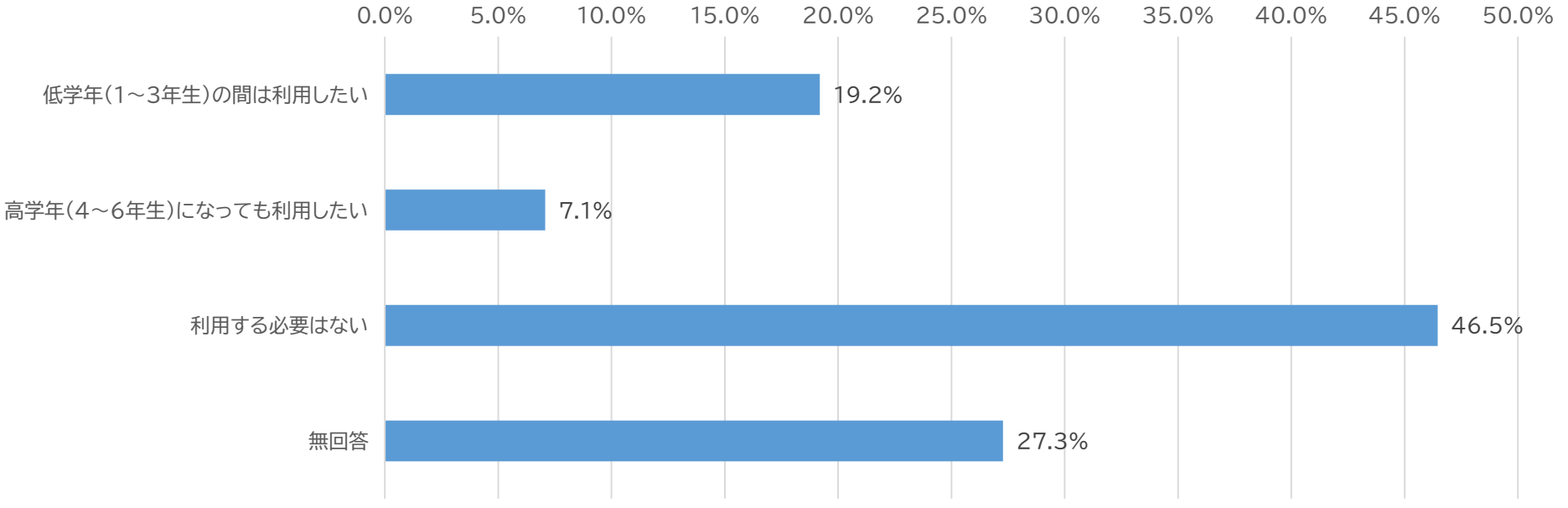
全体通じて、「1日」、「2日」、「5日以上」と回答した割合が高い傾向となっている。
ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家、放課後子ども教室は、「1日」と回答した割合が、それぞれ40.0%、63.0%と最も高くなっている。習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)、その他(公民館、公園など)は、「2日」と回答した割合がそれぞれ、47.0%、34.8%と最も高くなっている。自宅、なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)は「5日以上」と回答した割合が、40.2%、48.0%と最も高くなっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(7)小学校就学後の放課後の過ごし方について(お子さんが5歳以上である方)

問26　問24または問25で「3. なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)」を選ばれた方におうかがいします。
土曜日、日曜日・祝日に、なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に(9:00～18:00)のように24時間制で記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

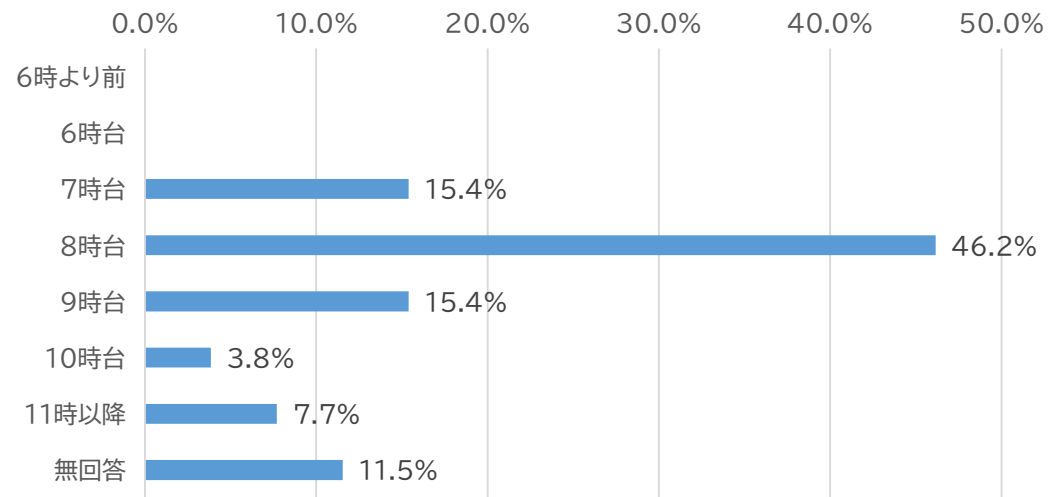
(1)土曜日　　N=99



「利用する必要はない」と回答した割合が46.5%と最も高く、次いで、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」と回答した割合が19.2%となっている。

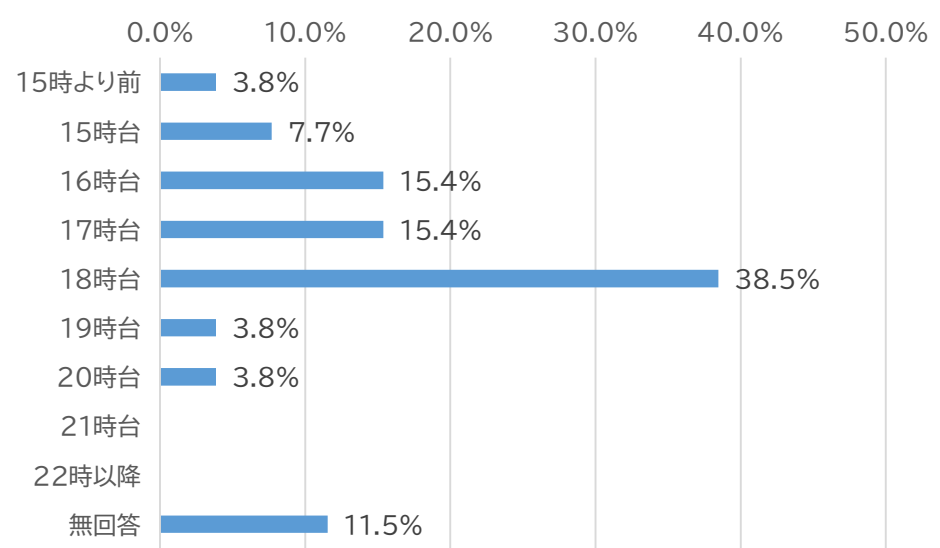
①利用したい時間帯

ア　開始時刻



「8時台」と回答した割合が46.2%と最も高く、次いで、「7時台」、「9時台」と回答した割合が15.4%となっている。

イ　終了時刻



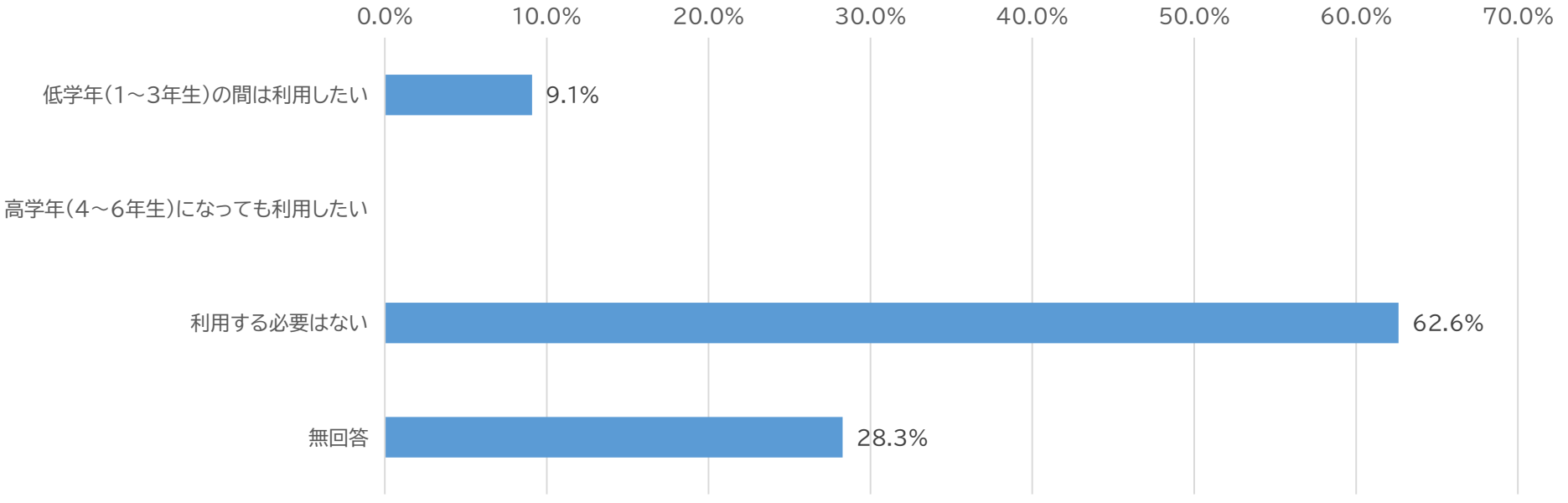
「18時台」と回答した割合が38.5%と最もと最も高く、次いで、「16時台」、「17時台」と回答した割合が15.4%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(7)小学校就学後の放課後の過ごし方について(お子さんが5歳以上である方)

問26　問24または問25で「3. なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)」を選ばれた方におうかがいします。
土曜日、日曜日・祝日に、なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に(9:00～18:00)のように24時間制で記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

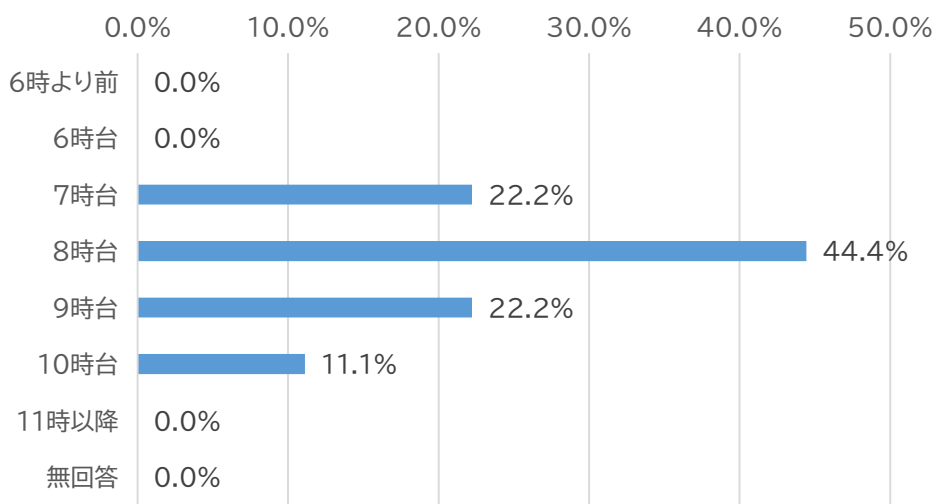
(2)日曜日　N=99



「利用する必要はない」と回答した割合が62.6%と最も高く、次いで、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」と回答した割合が9.1%となっている。

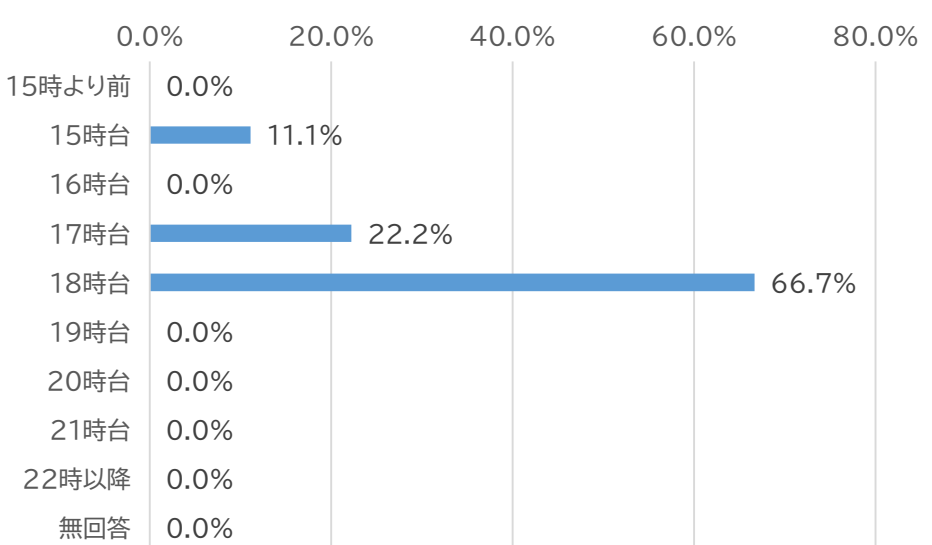
①利用したい時間帯

ア　開始時刻



「8時台」と回答した割合が44.4%と最も高く、次いで、「7時台」、「9時台」が22.2%となっている。

イ　終了時刻



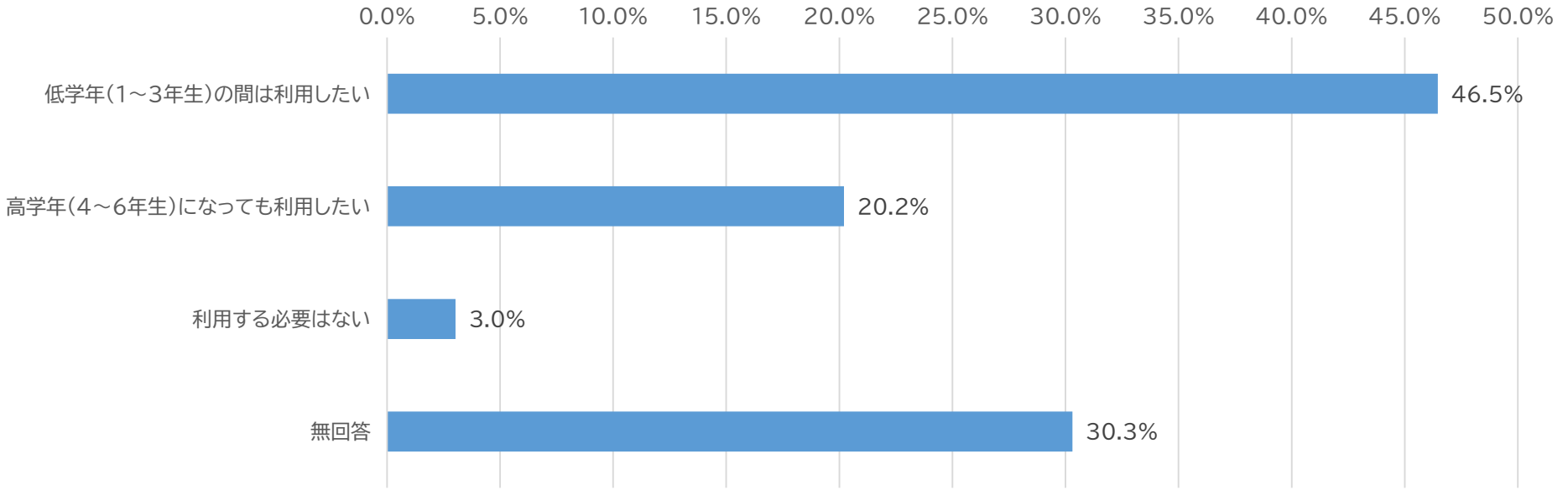
「18時台」と回答した割合が66.7%と最も高く、次いで、「17時台」が22.2%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(7)小学校就学後の放課後の過ごし方について(お子さんが5歳以上である方)

問27　問24または問25で「3. なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)」を選ばれた方におうかがいします。
お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のなわてふれあい教室(放課後児童クラブ)の利用希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に(9:00～18:00)のように24時間制で記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

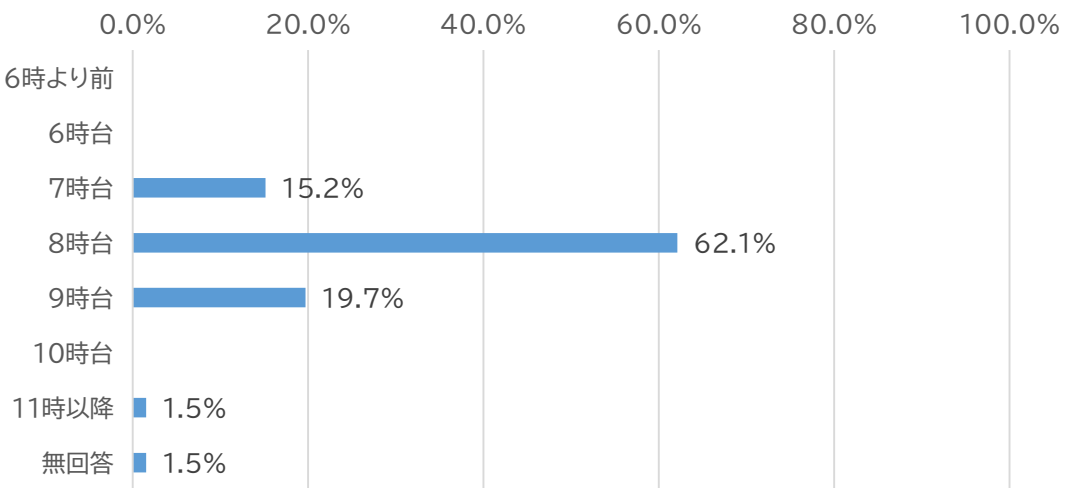
N=99



「低学年(1～3年生)の間は利用したい」と回答した割合が46.5%と最も高く、次いで、「高学年(4～6年生)の間は利用したい」と回答した割合が20.2%となっている。

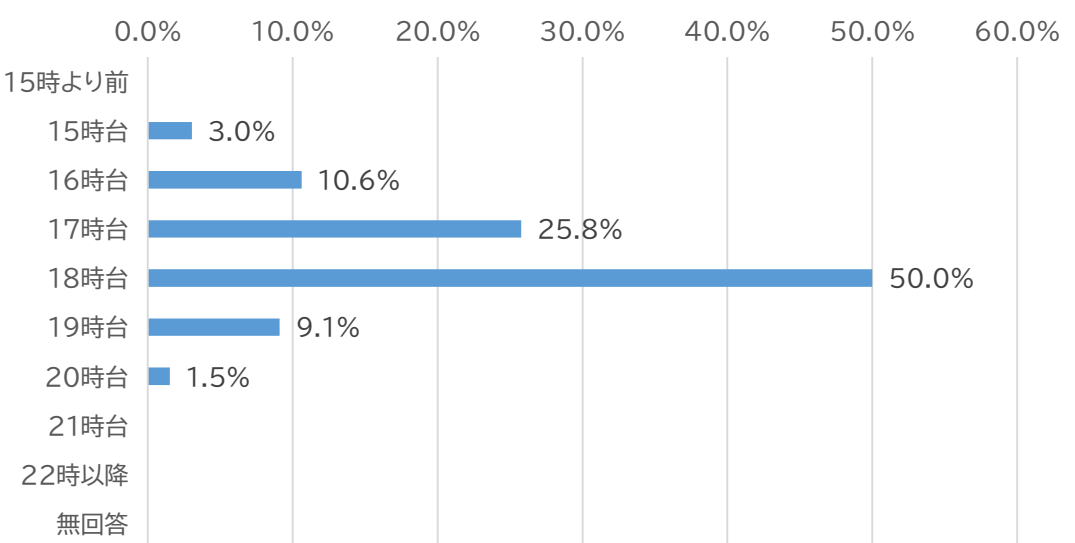
①利用したい時間帯

ア　開始時刻



「8時台」と回答した割合が62.1%と最も高く、次いで、「9時台」が19.7%となっている。

イ　終了時刻



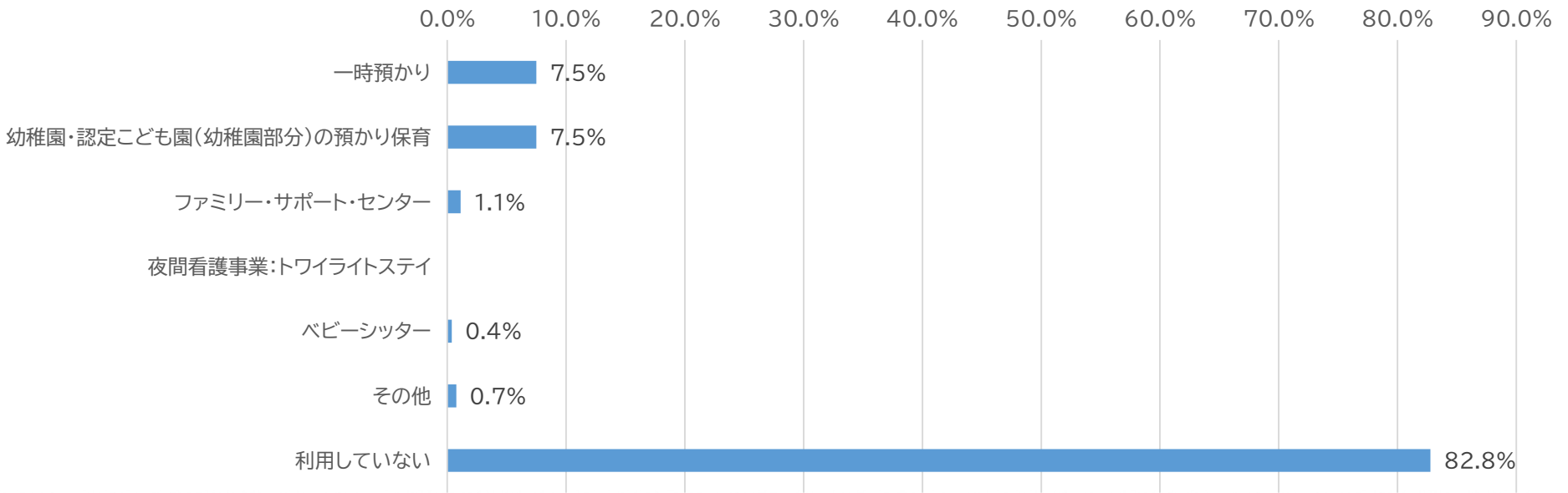
「18時台」と回答した割合が50.0%と最も高く、次いで、「17時台」と回答した割合が25.8%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(8)幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

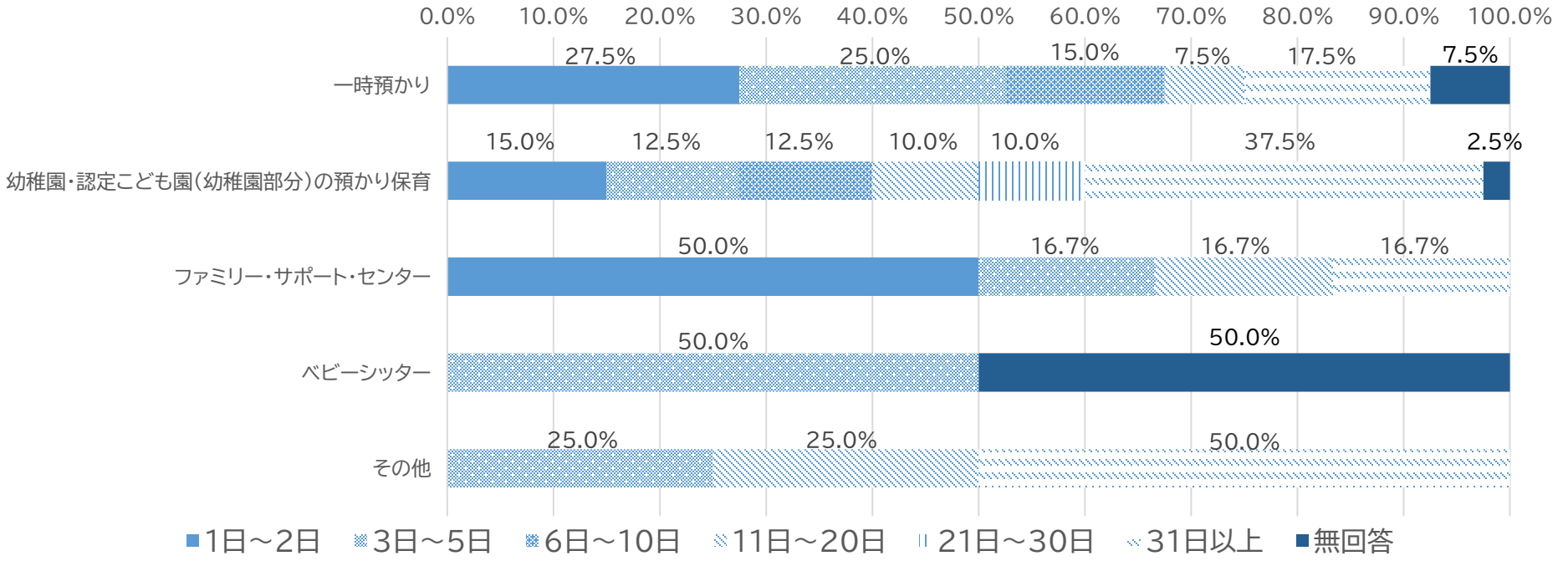
問28　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。(幼稚園や保育園、認定こども園などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。)あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について(　)内に具体的な数字を入れてください。

(1) 1年間の対処方法　N＝534　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「利用していない」の割合が82.8%と最も高く、次いで、「一時預かり」、「幼稚園・認定こども園(幼稚園部分)の預かり保育」と回答した割合がそれぞれ7.5%となっている。

(2) 1年間の対処方法別日数　N＝40(一時預かり)、N＝40(幼稚園・認定こども園)、N＝6(ファミリー・サポート)、N＝2(ベビーシッター)、N＝4(その他)



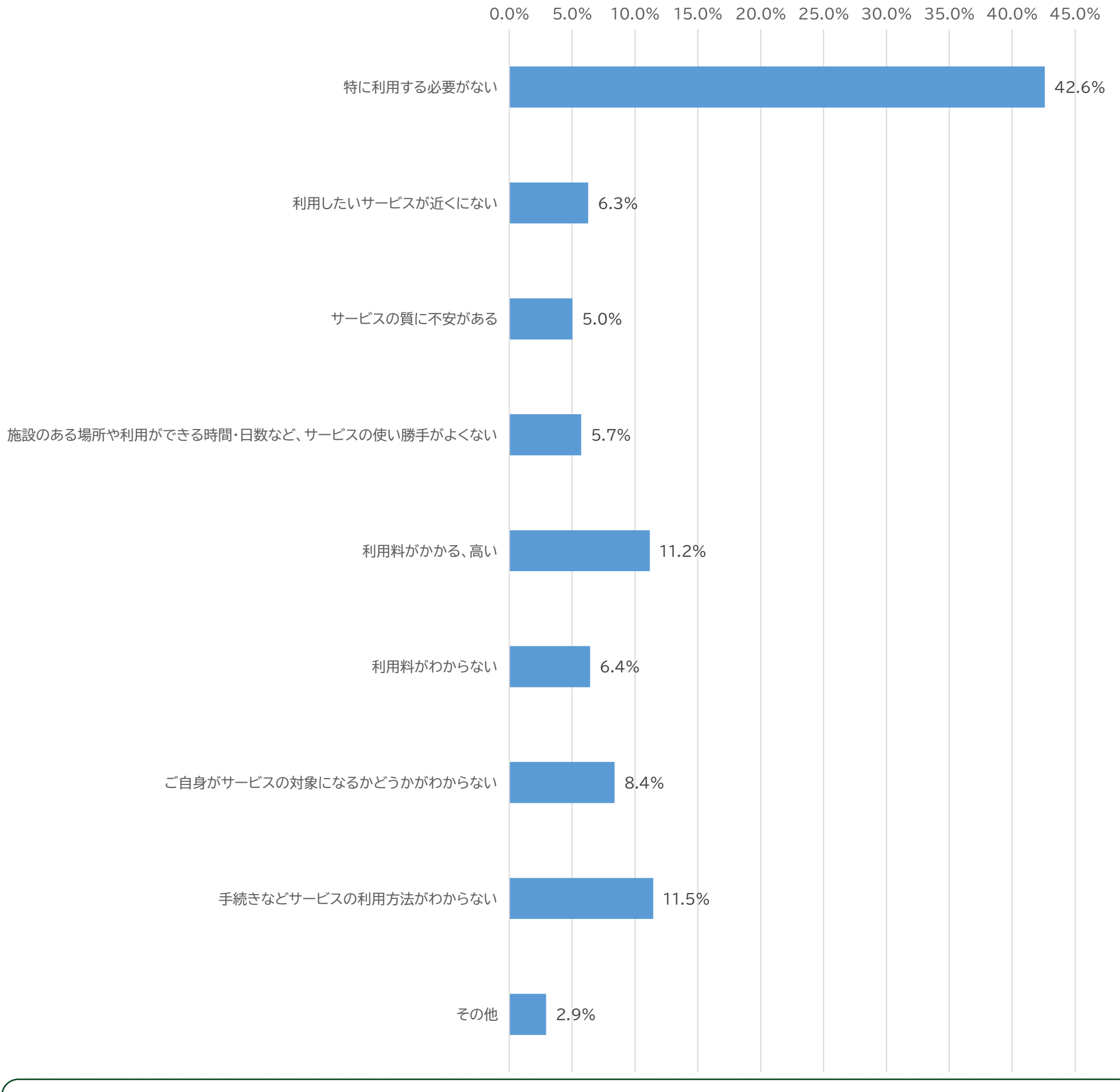
全体:「1日～2日」、「3日～5日」を回答した割合が高い傾向となっている。
一時預かり:「1日～2日」と回答した割合が27.5%と最も高くなっており、次いで「3日～5日」が25.0%となっている。
幼稚園・認定こども園(幼稚園部分)の預かり保育:「31日以上」と回答した割合が37.5%と最も高くなっており、次いで「1日～2日」が15.0%となっている。
ファミリー・サポート・センター:「1日～2日」と回答した割合が50.0%と最も高く、次いで「3日～5日」、「11日～20日」、「31日以上」が16.7%となっている。
ベビーシッター:「3日～5日」と回答した割合が50.0%となっている。
その他:「31日以上」と回答した割合が50.0%と最も高く、次いで「3日～5日」、「11日～20日」がそれぞれ25.0%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(8)幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問28－1　問28で「7. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N＝716　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



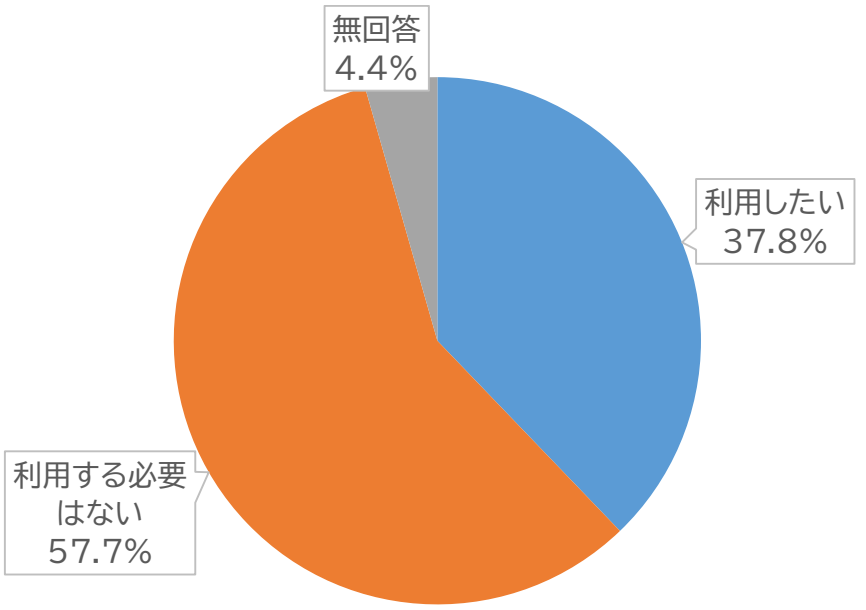
「特に利用する必要がない」と回答した割合が42.6%と最も高く、次いで、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」が11.5%、「利用料がかかる、高い」が11.2%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(8)幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

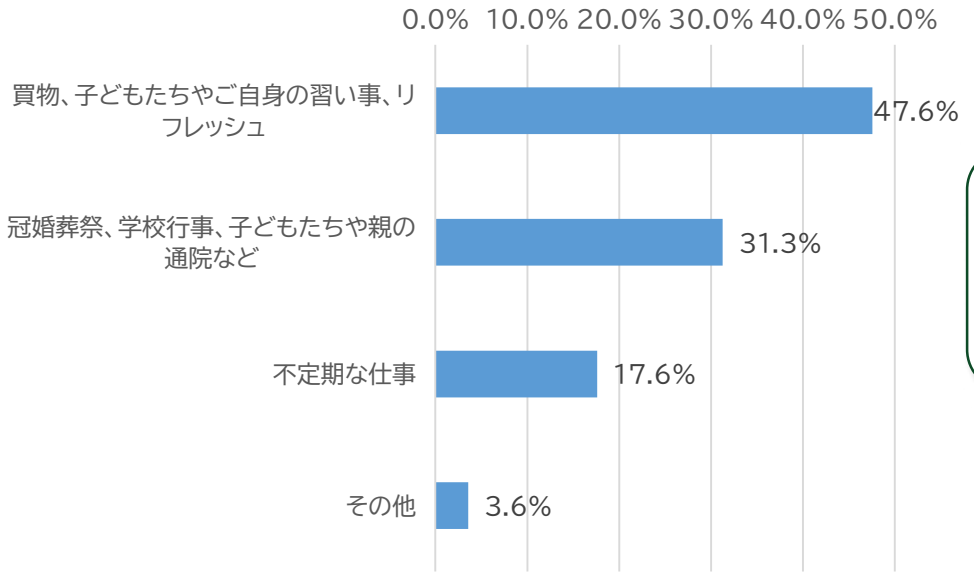
問29　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、1年間に何日くらい私立保育園などで実施されている一時預かりを利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的ごとに(　)内に日数を記入し、合計の(　)内についても記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料や事前の面接が必要な場合があります。

N＝542



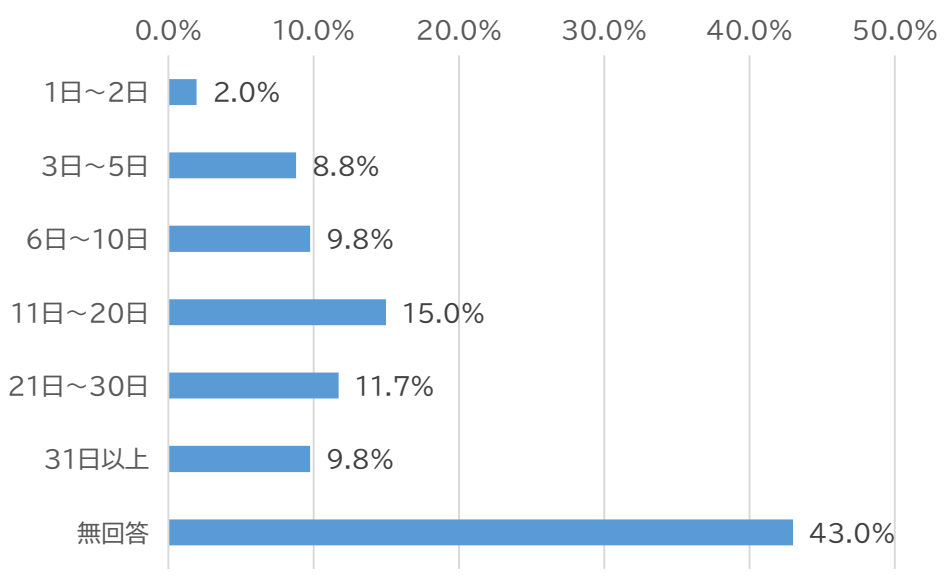
「利用する必要はない」と回答した割合が57.7%と最も高く、次いで「利用したい」が37.8%となっている。

(1) 利用したい目的　N＝307



「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」と回答した割合が47.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が31.3%となっている。

(2) 利用したい合計日数　N＝307(就学前児童)



「11日～20日」と回答した割合が15.0%と最も高く、次いで「21日～30日」が11.7%、「6日～10日」、「31日以上」が9.8%となっている。

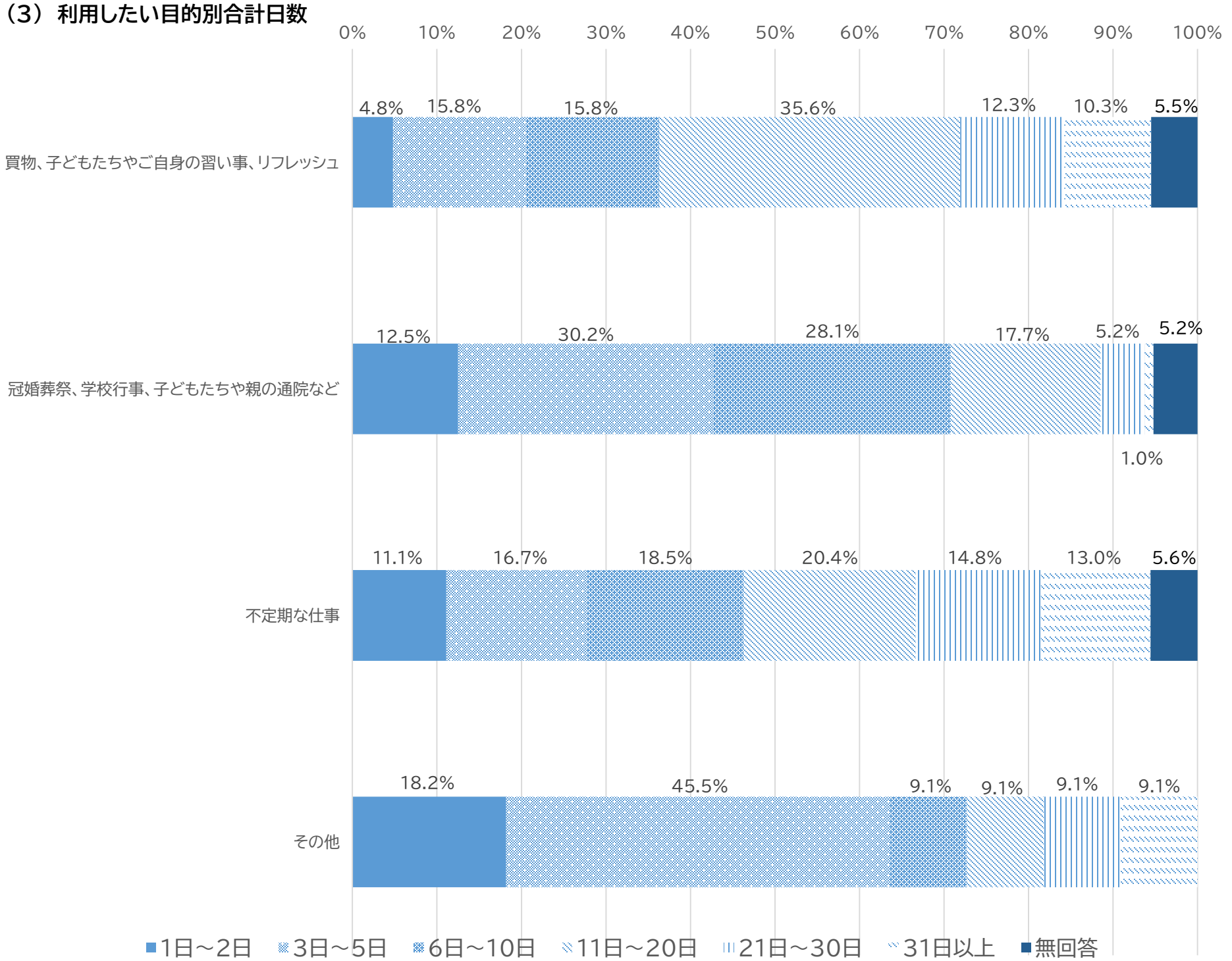
Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(8)幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問29　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、1年間に何日くらい私立保育園などで実施されている一時預かりを利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的ごとに(　)内に日数を記入し、合計の(　)内についても記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料や事前の面接が必要な場合があります。

N＝146(買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ)、N＝96(冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など)、N＝54(不定期な仕事)、N＝11(その他)

(3)　利用したい目的別合計日数



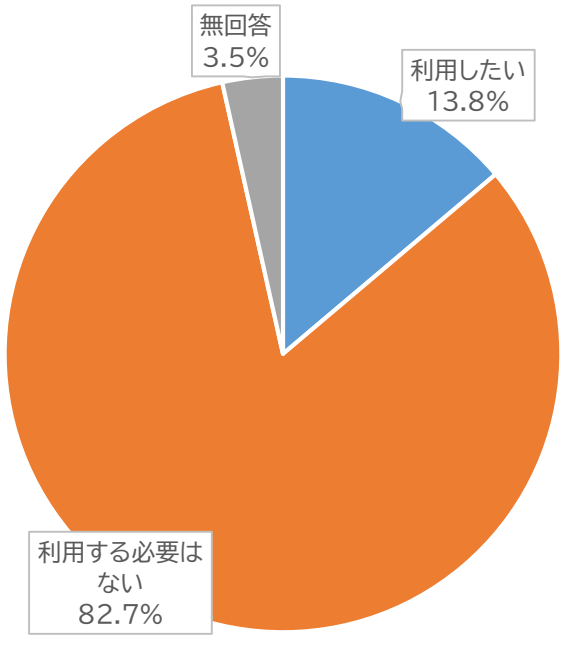
全体:「3日～5日」、「11日～20日」を回答した割合が高い傾向となっている。
買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ:「11日～20日」と回答した割合が35.6%と最も高くなっており、次いで「3日～5日」「6日～10日」が15.8%となっている。
冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など:「3日～5日」と回答した割合が30.2%と最も高くなっており、次いで「6日～10日」が28.1%となっている。
不定期な仕事:「11日～20日」と回答した割合が20.4%と最も高くなっており、次いで「6日～10日」が18.5%となっている。
その他:「3日～5日」と回答した割合が45.5%と最も高く、次いで「1日～2日」がそれぞれ18.2%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(8)幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問30　封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
　短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。)。
　なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

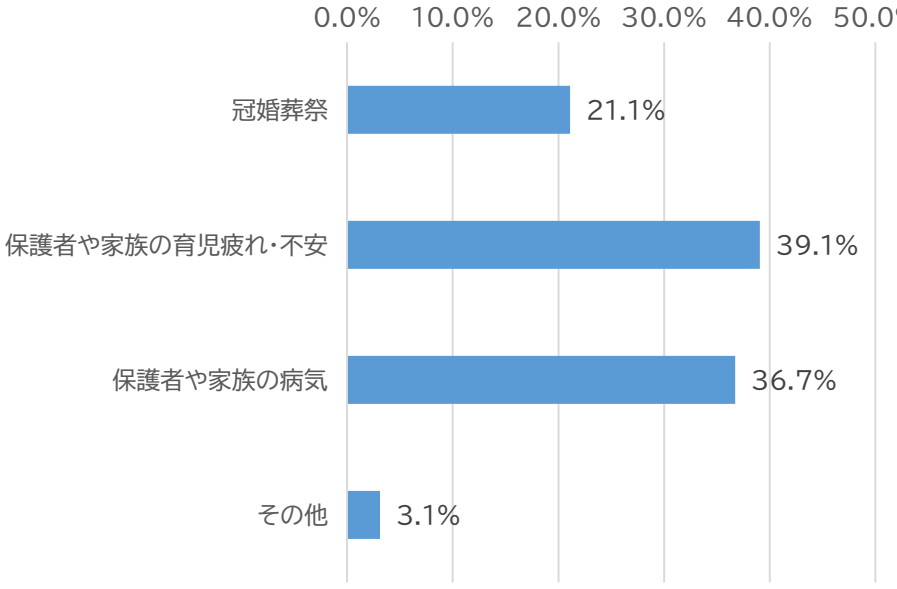
N＝542



「利用する必要はない」と回答した割合が82.7%と最も高く、次いで「利用したい」が13.8%となっている。

(1) 1年間の対処方法

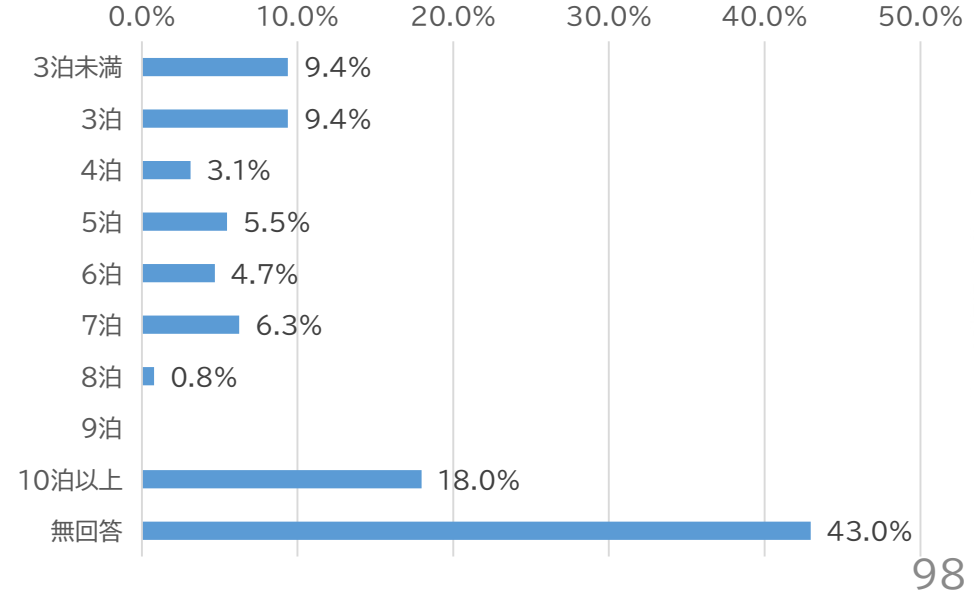
N＝128　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「保護者や家族の育児疲れ・不安」と回答した割合が39.1%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」が36.7%となっている。

(2) 1年間の対処方法泊数(合計)

N＝128　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



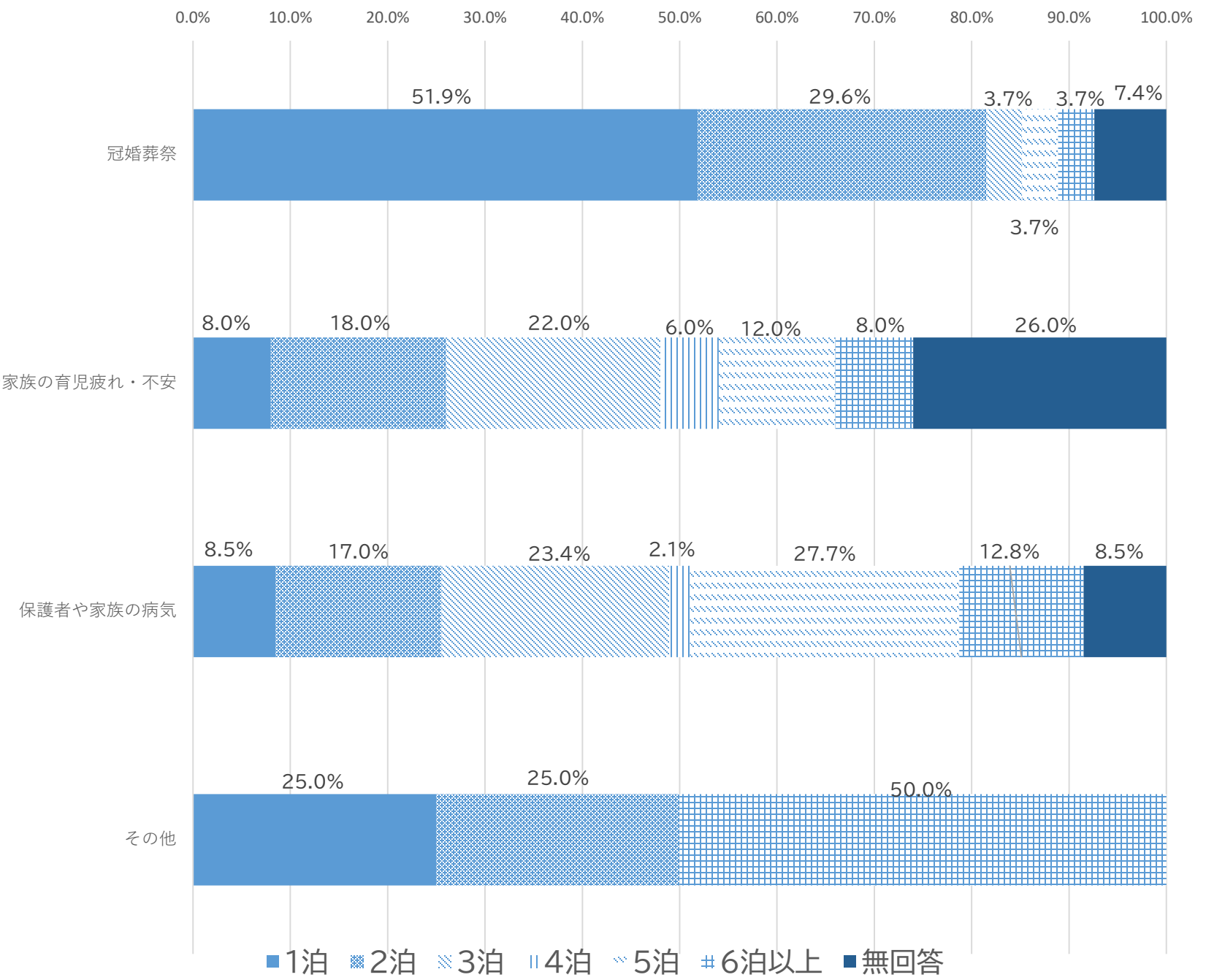
「10泊以上」と回答した割合が18.0%と最も高く、次いで「3泊」、「3泊未満」が9.4%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(8)幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問30　封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
　短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。)。
　なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

(3)　1年間の対処方法泊数(目的別)　N＝27(冠婚葬祭)、N＝50(保護者や家族の育児疲れ・不安)、N＝47(保護者や保護者や家族の病気)、N＝4(その他)



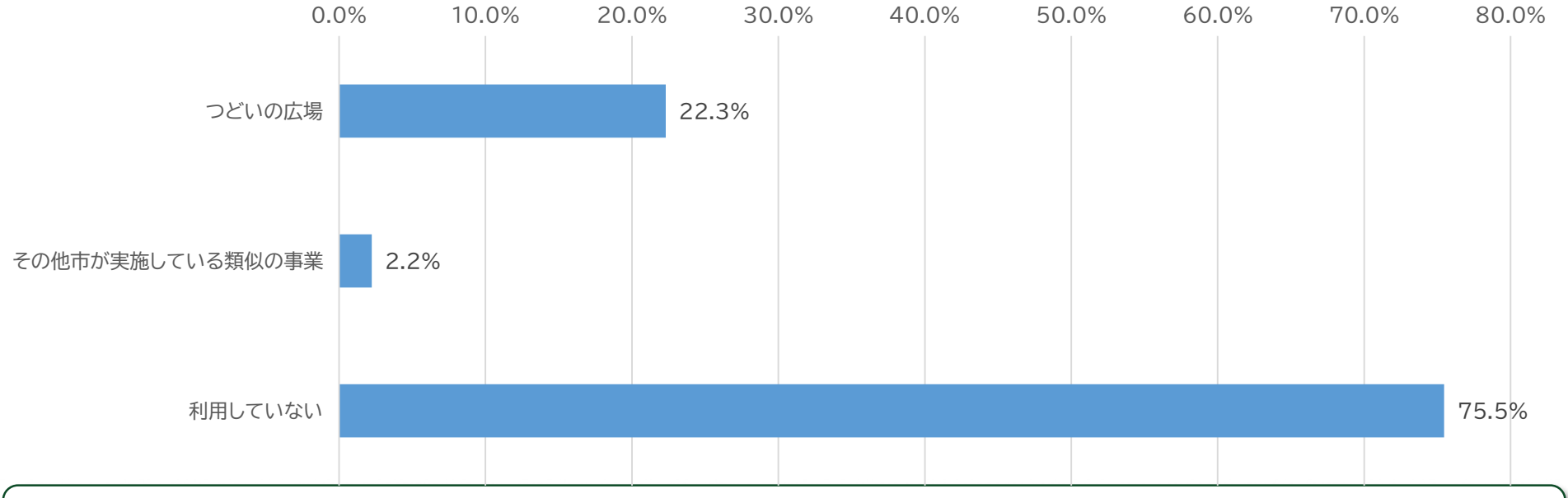
全体:「2泊」、「3泊」を回答した割合が高い傾向となっている。
冠婚葬祭:「1泊」と回答した割合が51.9%と最も高くなっており、次いで「2泊」が29.6%となっている。
保護者や家族の育児疲れ・不安:「3泊」と回答した割合が22.0%と最も高くなっており、次いで「2泊」が18.0%となっている。
保護者や家族の病気:「5泊」と回答した割合が27.7%と最も高くなっており、次いで「3泊」が23.4%となっている。
その他:「6泊以上」と回答した割合が50.0%と最も高く、次いで「1泊」、「2泊」がそれぞれ25.0%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(9)地域の子育て支援サービスの利用状況について

問31　つどいの広場※についておうかがいします。現在、つどいの広場を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、(　)内に具体的な数字を入れてください。

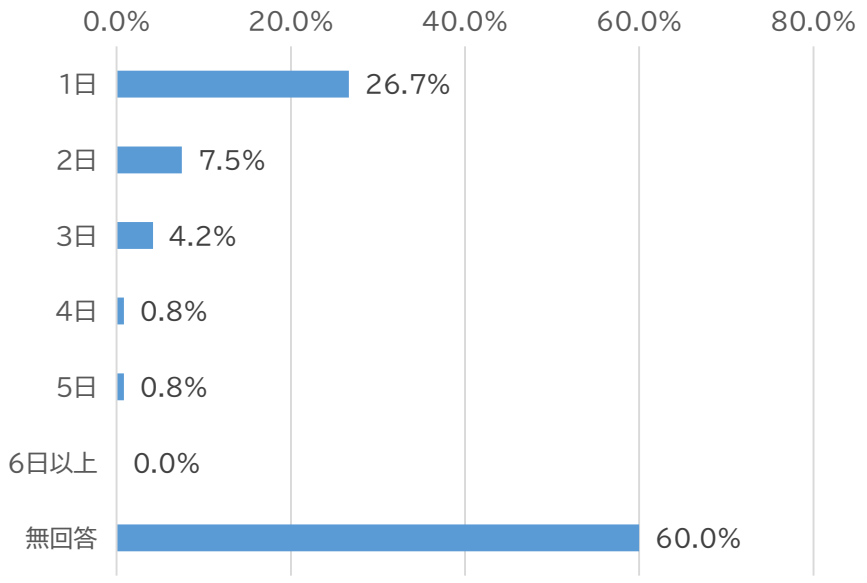
N＝538　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「利用していない」の割合が75.5%と最も高く、次いで、「つどいの広場」が22.3%となっている。

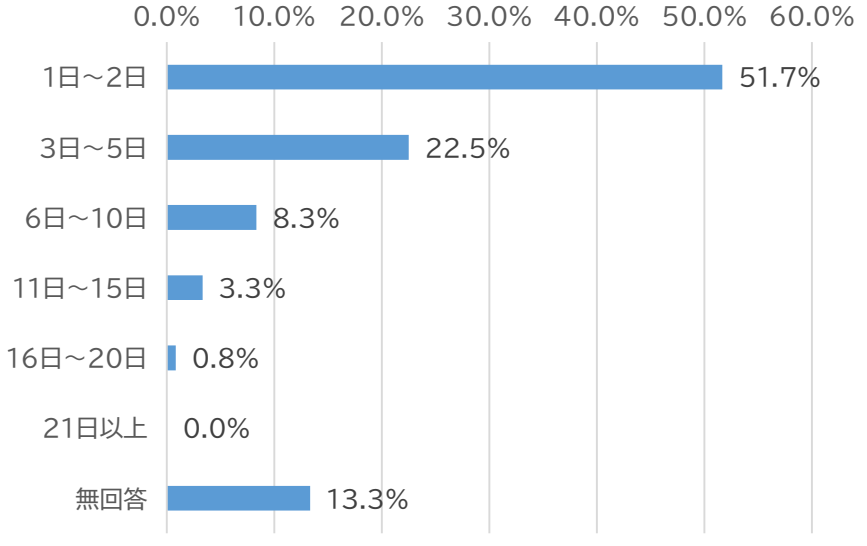
(1)　つどいの広場や子育て総合支援センターの利用回数　N=120

①　1週当たり利用回数



「1日」と回答した割合が26.7%と最も高く、次いで「2日」が7.5%となっている。

②　1か月当たりの利用回数



「1日～2日」と回答した割合が51.7%と最も高く、次いで「3日～5日」が22.5%となっている。

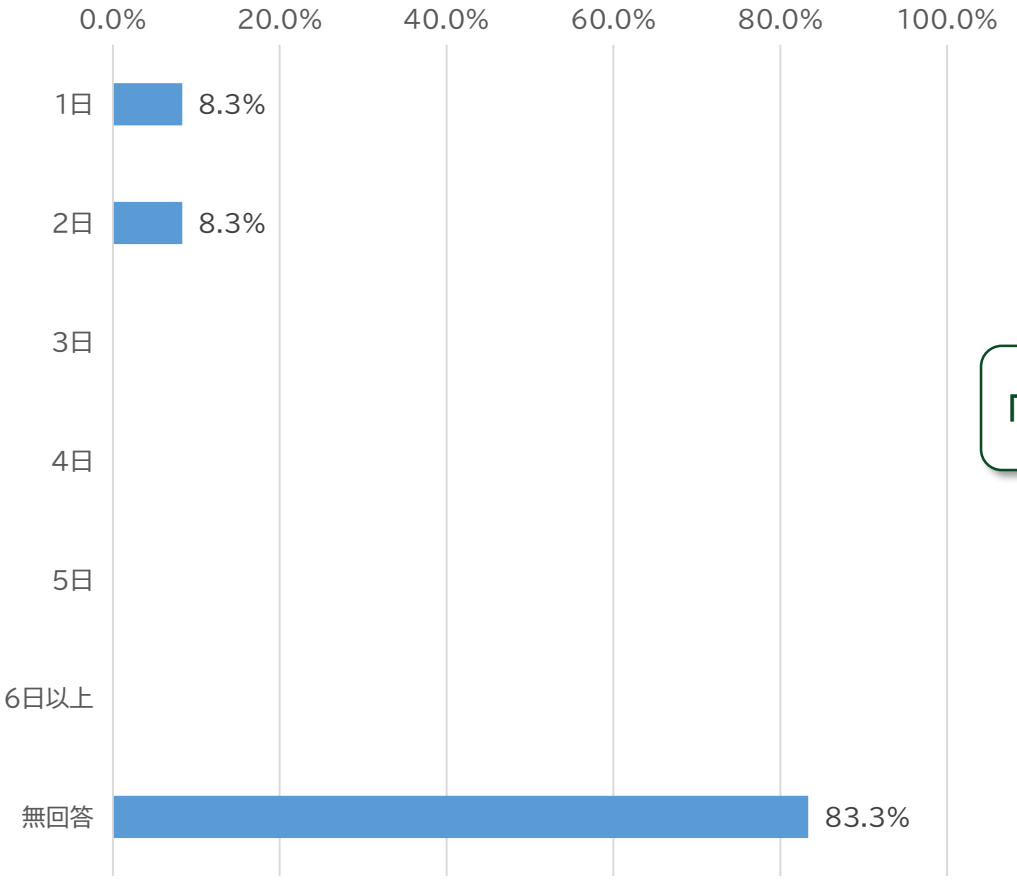
Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(9)地域の子育て支援サービスの利用状況について

問31　つどいの広場※についておうかがいします。現在、つどいの広場を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、(　)内に具体的な数字を入れてください。

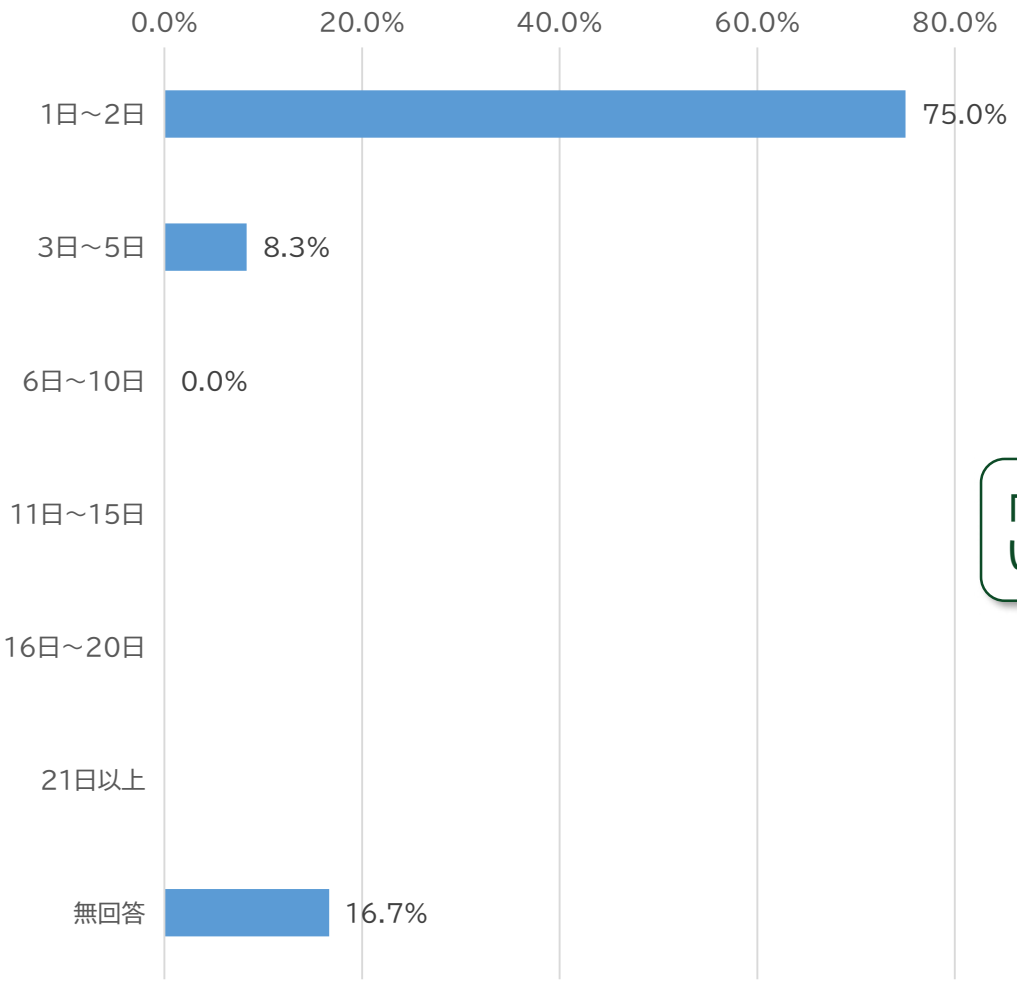
(2)その他市が実施している類似の事業　N=12

① 1週当たり利用回数



「1日」、「2日」と回答した割合が8.3%となっている。

② 1か月当たりの利用回数

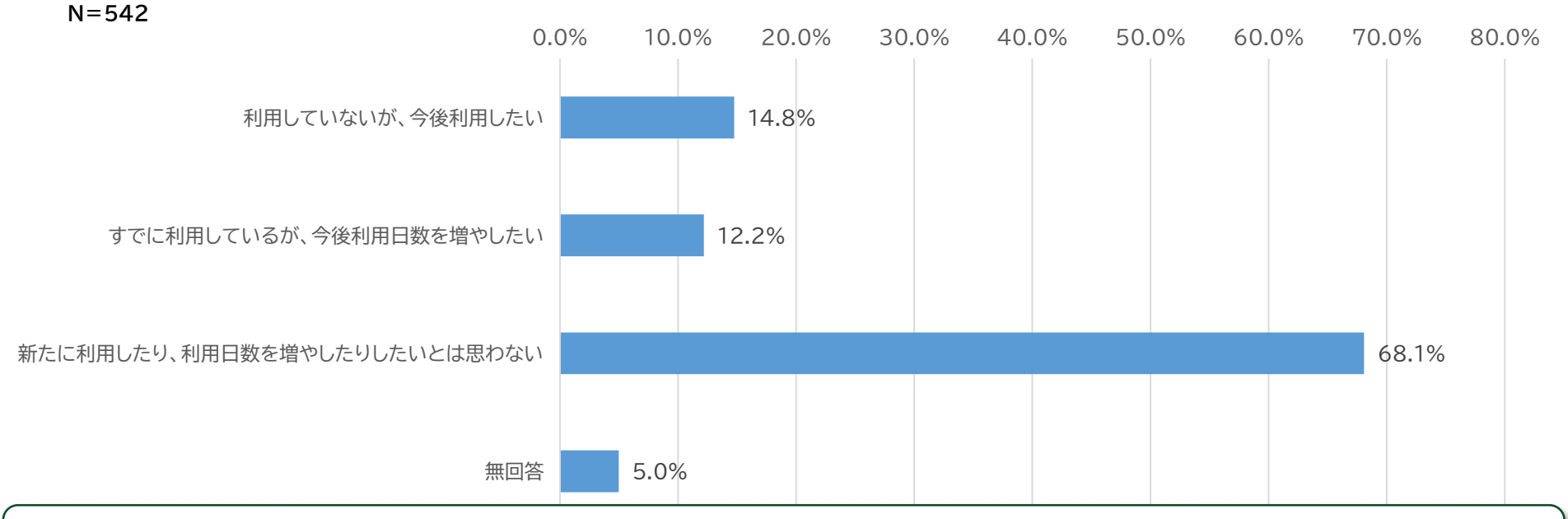


「1日～2日」と回答した割合が75.0%と最も高く、次いで「3日～5日」が8.3%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(9)地域の子育て支援サービスの利用状況について

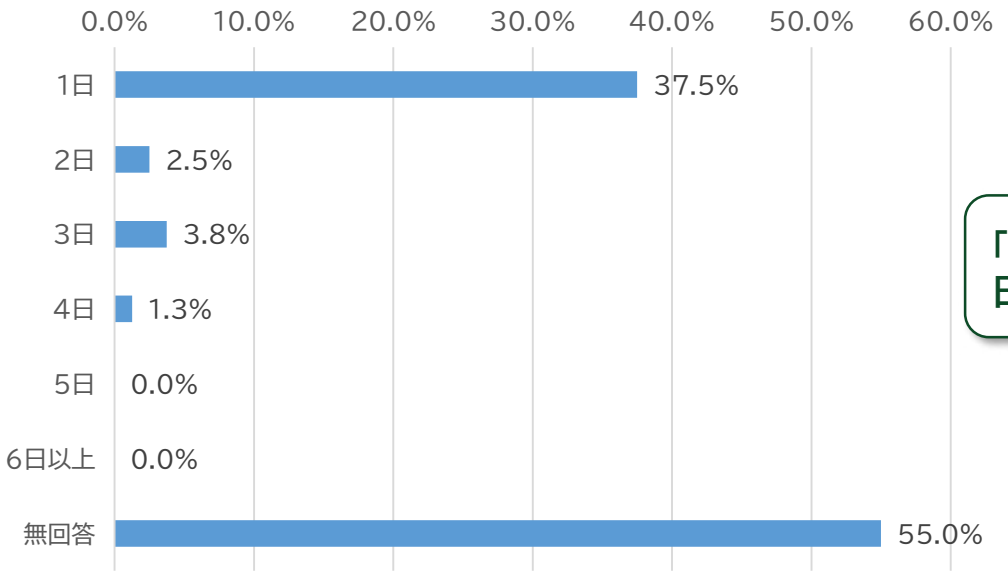
問32　つどいの広場について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は(　)内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。



「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」の割合が68.1%と最も高く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が14.8%となっている。

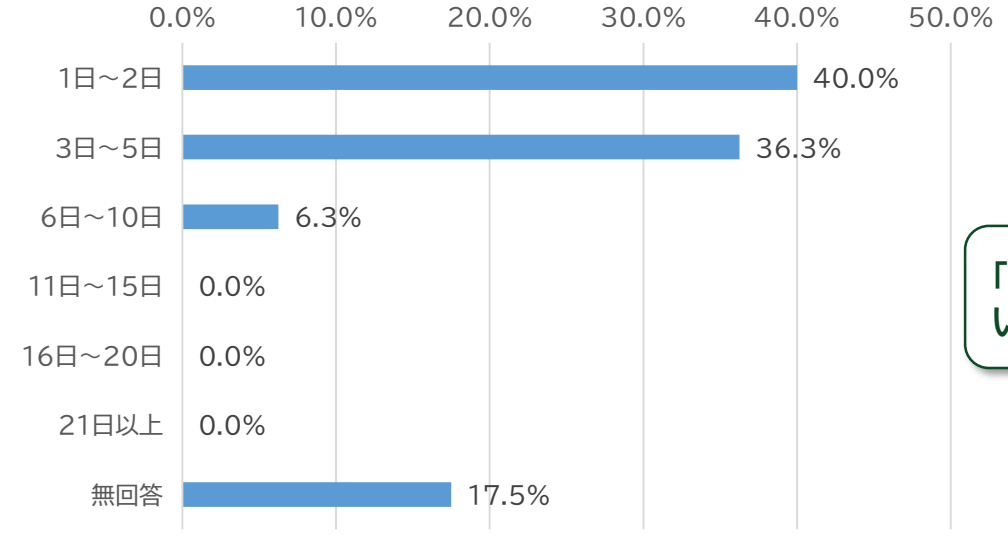
(1)　利用していないが、今後利用したい人の利用希望回数　N=80

①　1週当たり利用回数



「1日」と回答した割合が37.5%と最も高く、次いで「3日」が3.8%となっている。

②　1か月当たり利用希望回数



「1日～2日」と回答した割合が40.0%と最も高く、次いで「3日～5日」が36.3%となっている。

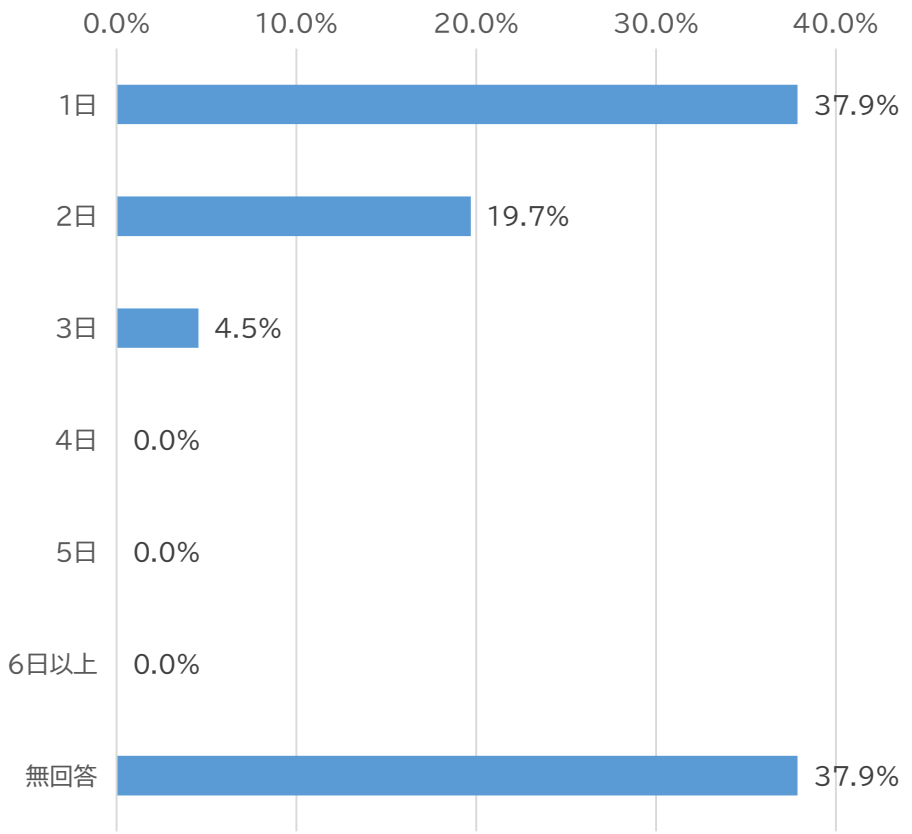
Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(9)地域の子育て支援サービスの利用状況について

問32　つどいの広場について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は(　)内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

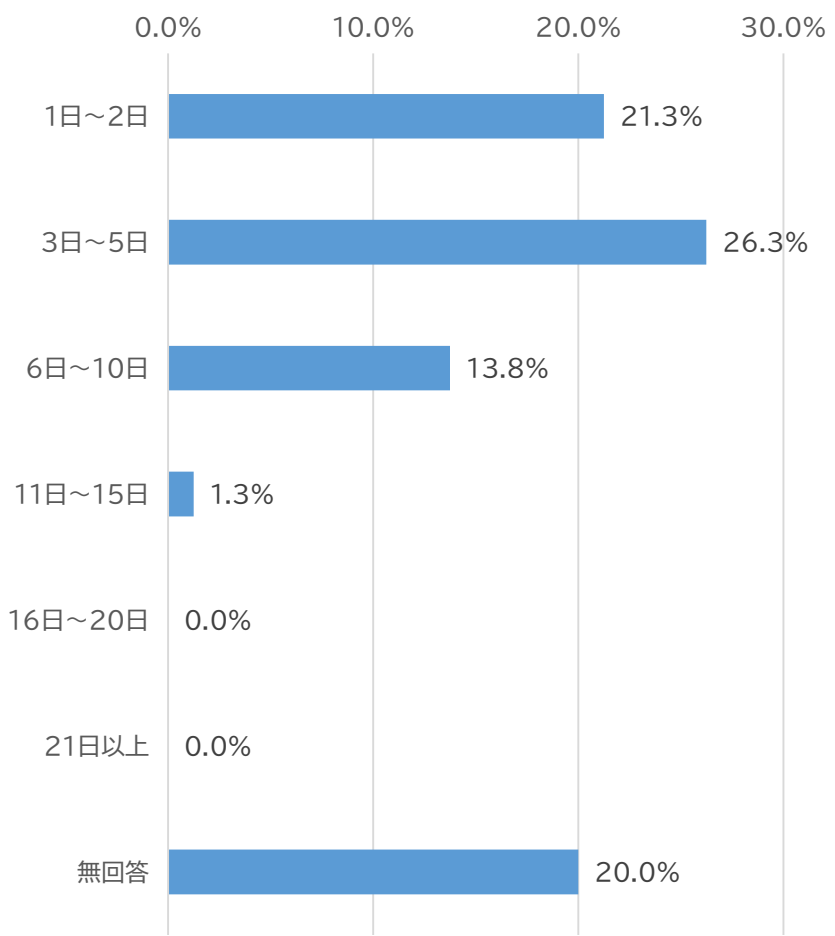
(2)すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい　N=66

① 1週当たり利用回数



「1日」と回答した割合が37.9%と最も高く、次いで「2日」が19.7%となっている。

② 1か月当たり利用希望回数



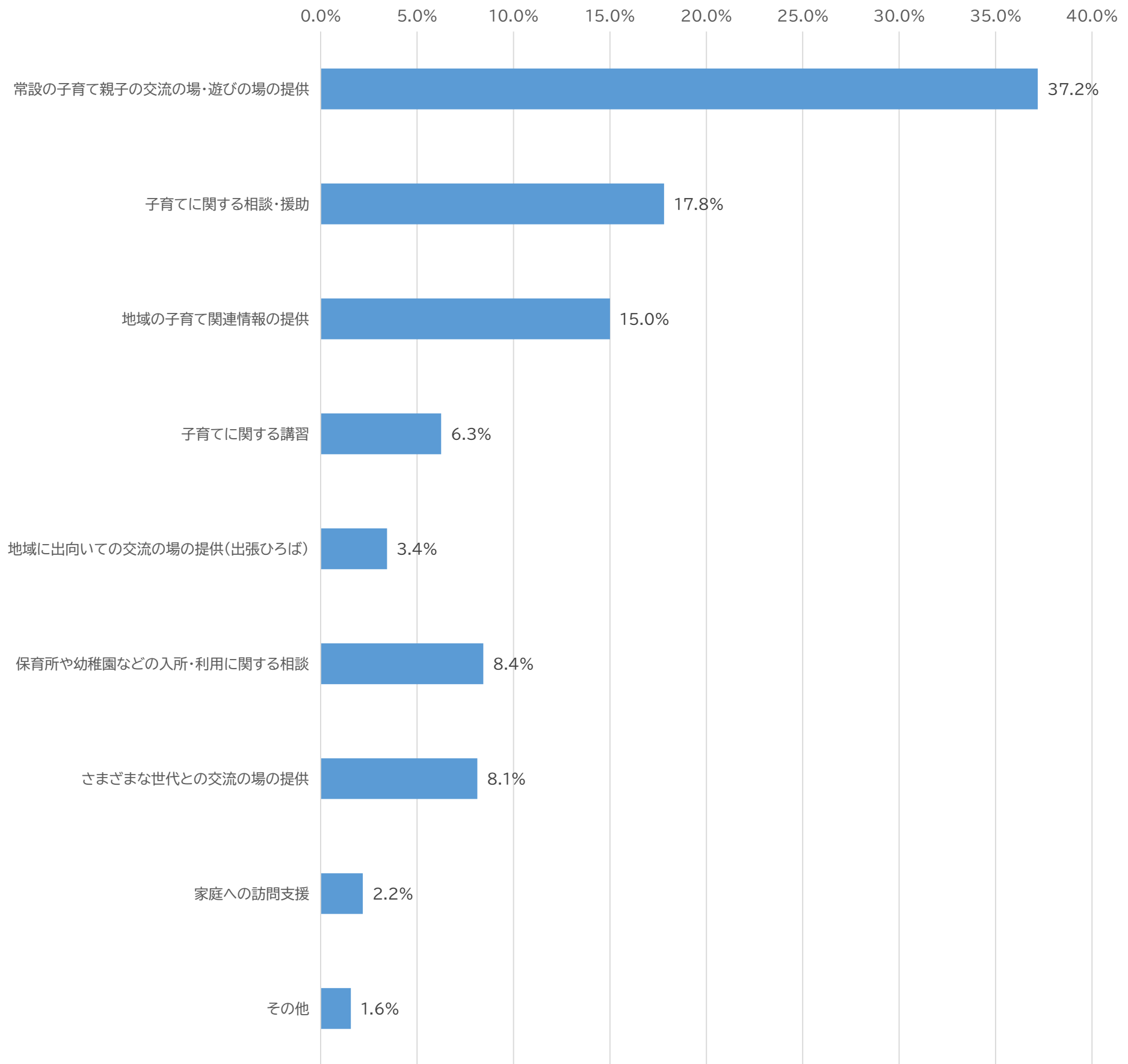
「3日～5日」と回答した割合が26.3%と最も高く、次いで「1日～2日」が21.3%となっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(9)地域の子育て支援サービスの利用状況について

問32－1　問32で「1.」、「2.」を選ばれた、つどいの広場を利用したい方やすでに利用している方におうかがいします。つどいの広場を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスに3つまで○をつけてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

N＝320　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



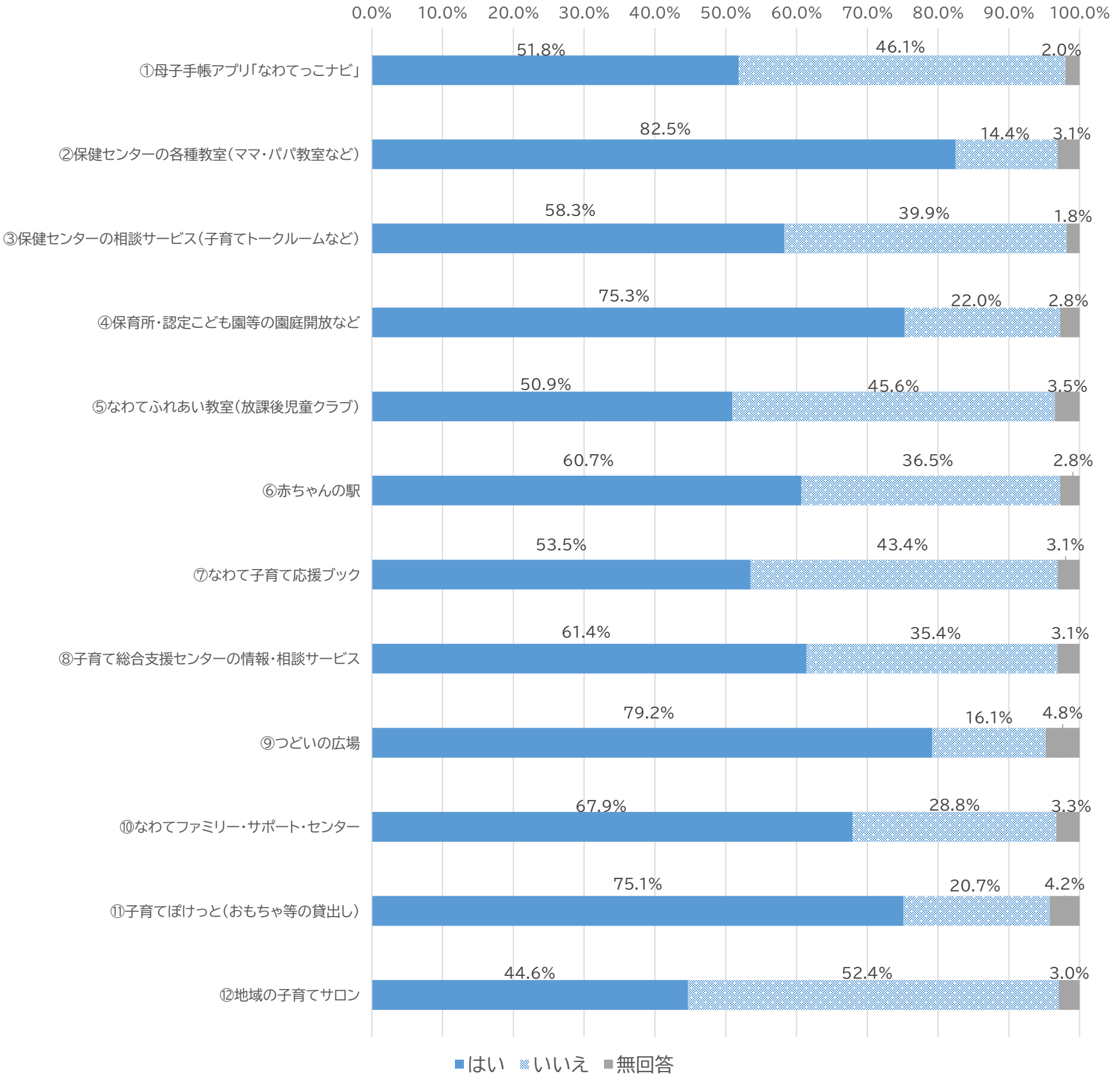
「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」と回答した割合が37.2%と最も高く、次いで、「子育てに関する相談・援助」が17.8%、「地域の子育て関連情報の提供」が15.0%となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

(9)地域の子育て支援サービスの利用状況について

問33　子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

(1)認知度 N=542



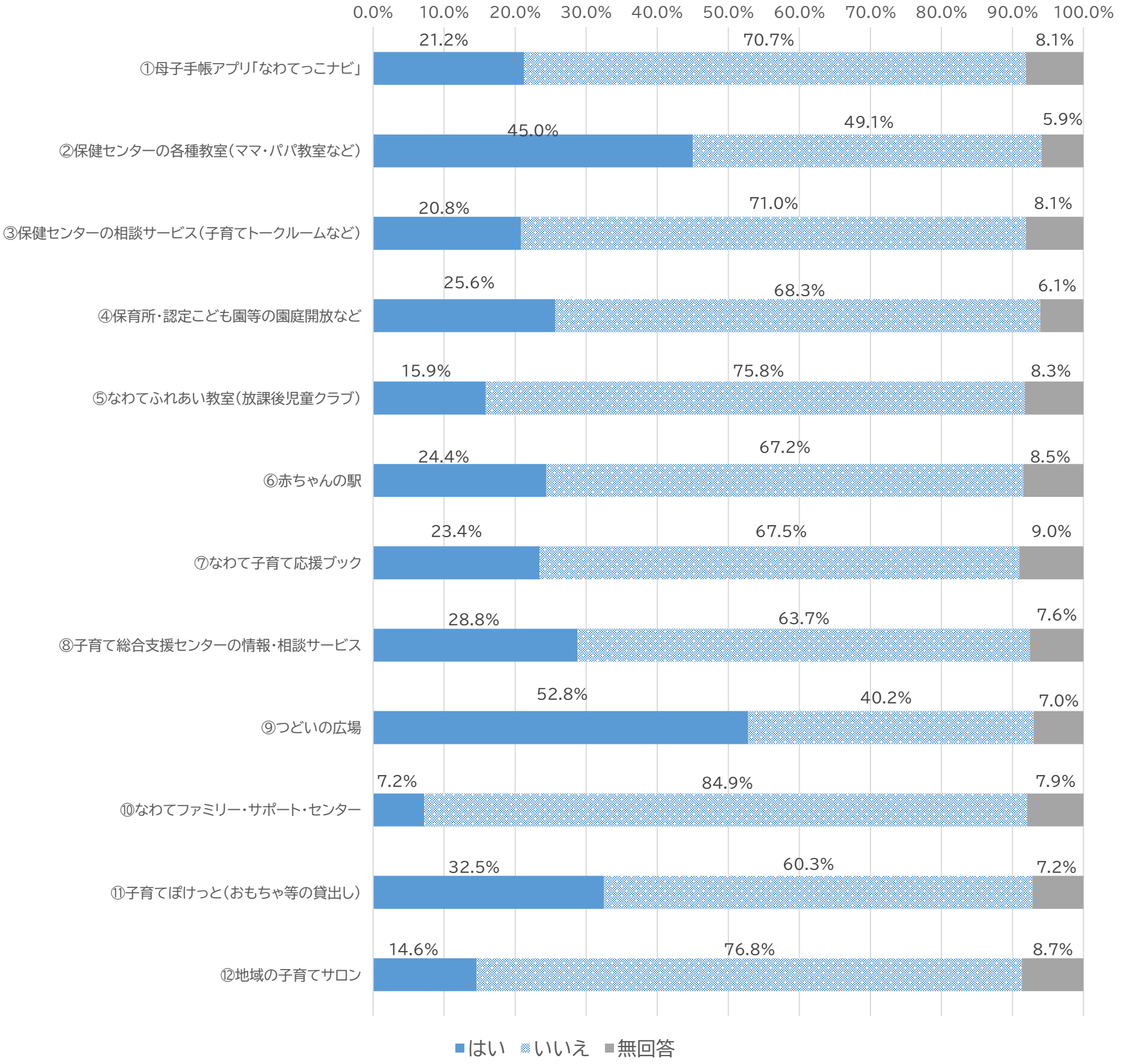
認知度については、②保健センターの各種教室(ママ・パパ教室など)、④保育所・認定こども園等の園庭開放など、⑨つどいの広場、⑪子育てぽけっと(おもちゃ等の貸出し)で「はい」の割合が高く、7割を超えている。一方、⑫地域の子育てサロンについては「いいえ」の割合が高くなっている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(9)地域の子育て支援サービスの利用状況について

問33　子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

(2)利用状況 N=542



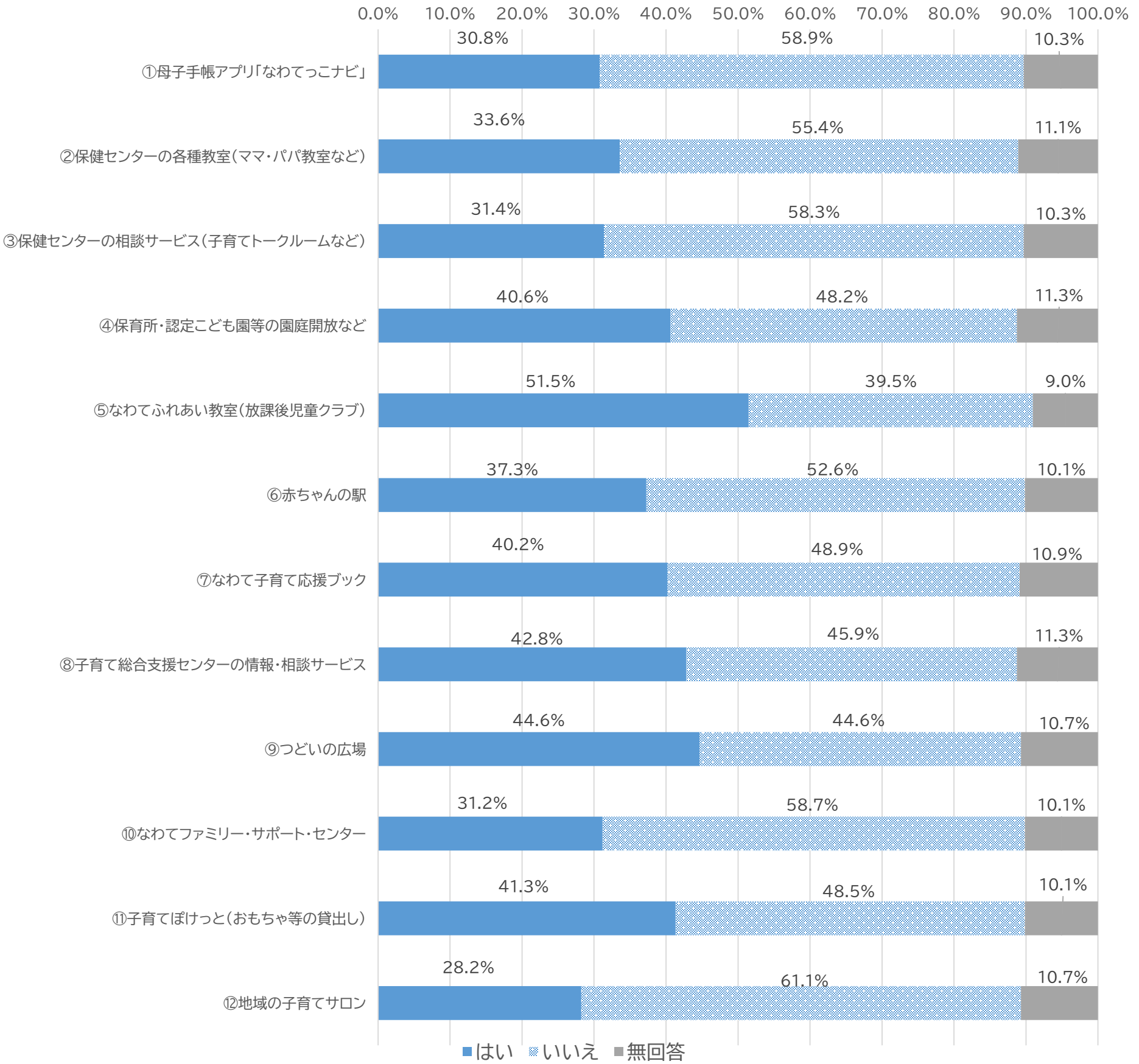
利用状況については、⑨つどいの広場で「はい」の割合が高くなっている。一方、①母子手帳アプリ「なわてっこナビ」、③保健センターの相談サービス(子育てトークルームなど)、⑤なわてふれあい教室(放課後児童クラブ)、⑩なわてファミリー・サポート・センター、⑫地域の子育てサロンについては「いいえ」の割合が高く、7割を超えている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（9）地域の子育て支援サービスの利用状況について

問33　子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

（3）今後の利用希望 N＝542



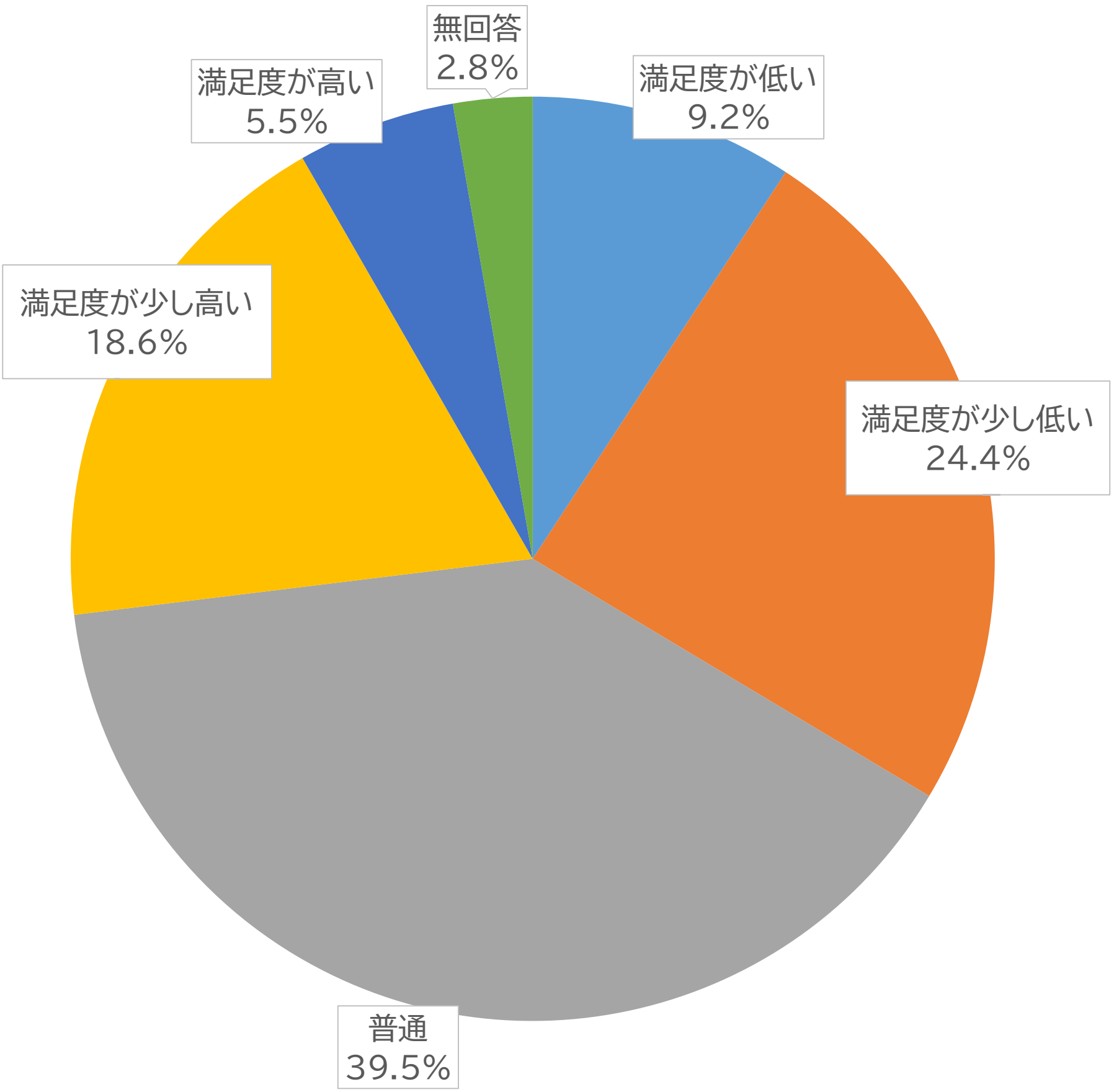
今後の利用希望については、⑤なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）で「はい」の割合が高くなっている。一方、①母子手帳アプリ「なわてっこナビ」、②保健センターの各種教室（ママ・パパ教室など）、③保健センターの相談サービス（子育てトークルームなど）、⑥赤ちゃんの駅、⑩なわてファミリー・サポート・センター、⑫地域の子育てサロンについては「いいえ」の割合が高く、5割を超えている。

Ⅱ　調査結果　2　就学前児童の状況

(10)市役所などへの要望

問 34　四條畷市における子育て環境や子育て支援への満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=542



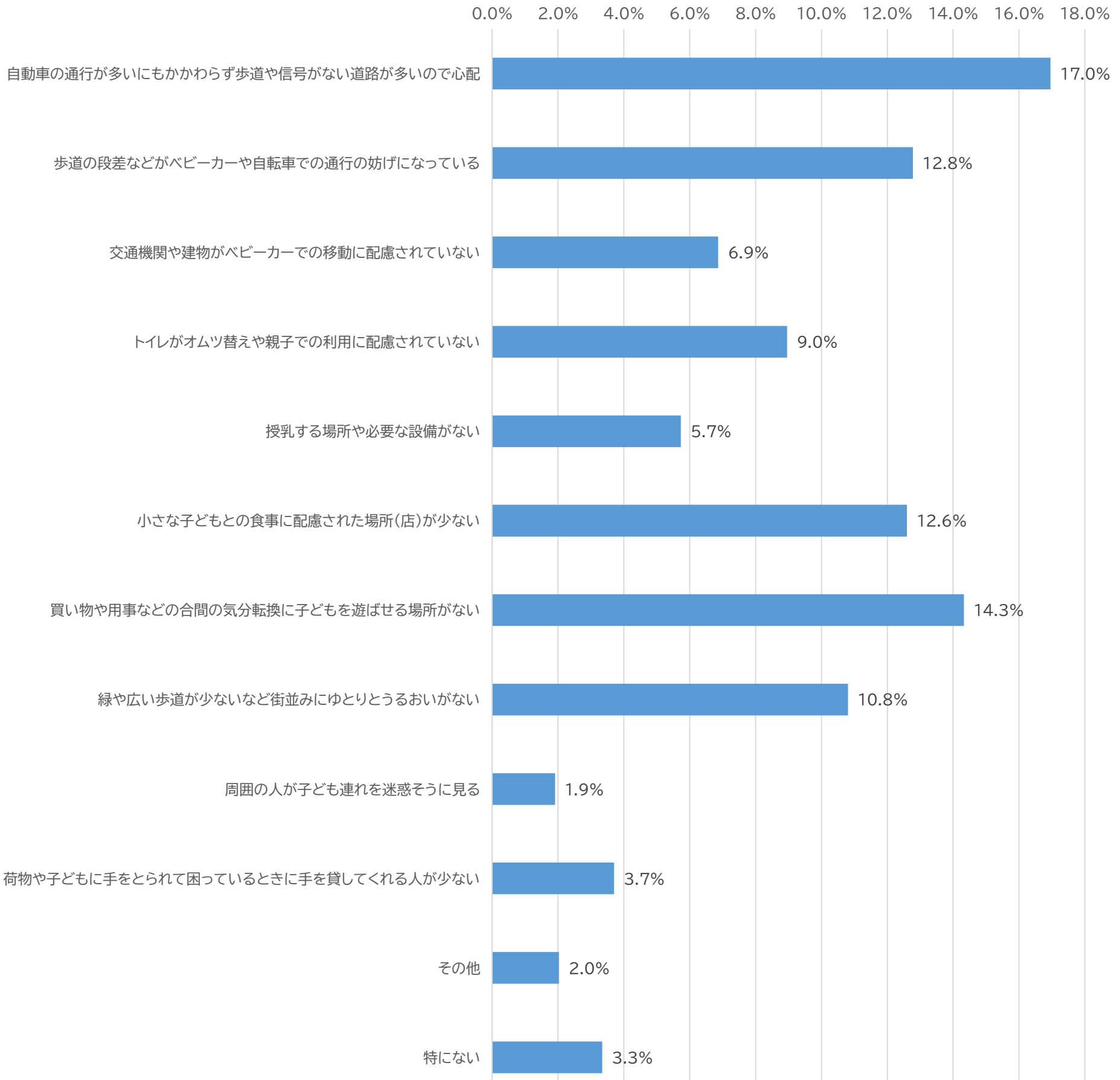
「普通」と回答した割合が39.5%と最も高く、次いで、「満足度が少し低い」が24.4%となっている。「満足度が高い」、「満足度が少し高い」といった肯定的な回答が2割程度と低い水準となっている。

Ⅱ　調査結果　２　就学前児童の状況

（11）子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

問37　封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N＝1,675　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」と回答した割合が17．0%と最も高く、次いで「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が14.3%、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」が12.8%となっている。

Ⅱ　調査結果

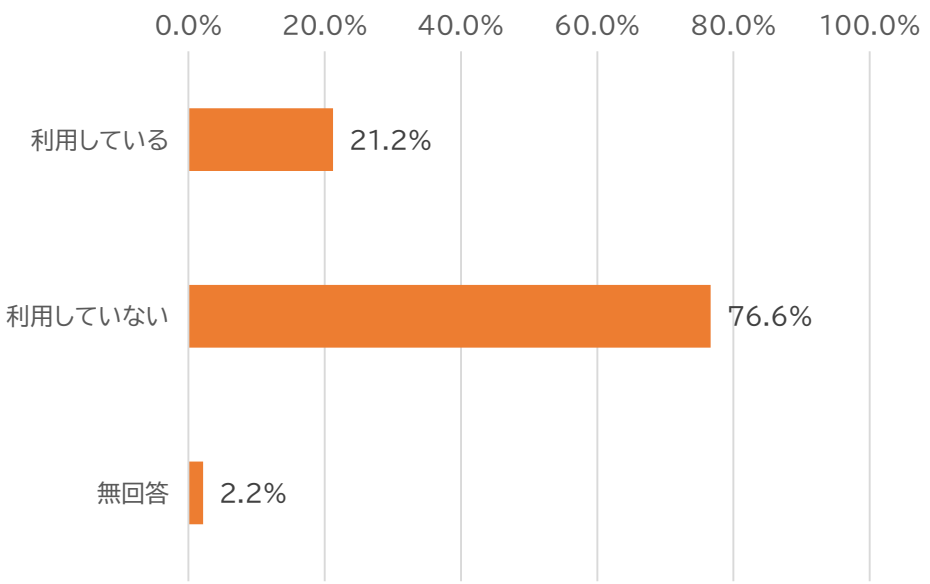
３　就学児童の状況

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（1）お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について

問12　平日（月曜日から金曜日）に、現在、なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N＝231



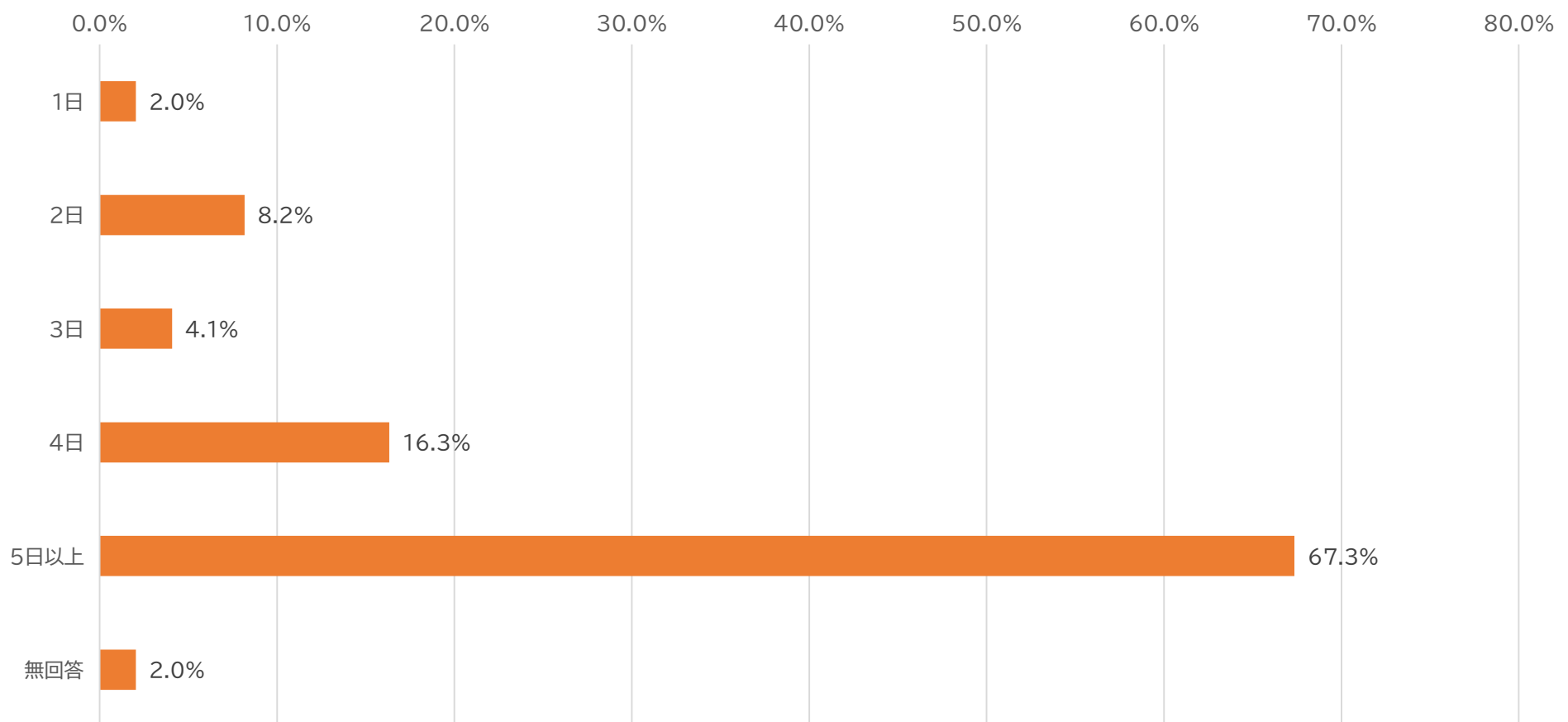
「利用していない」と回答した割合が76.6%となっている。

問13　問12で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用しているなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

N＝49

(1)現在

① 1週当たり日数



「5日以上」と回答した割合が67.3%と最も高く、次いで「4日」は16.3%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

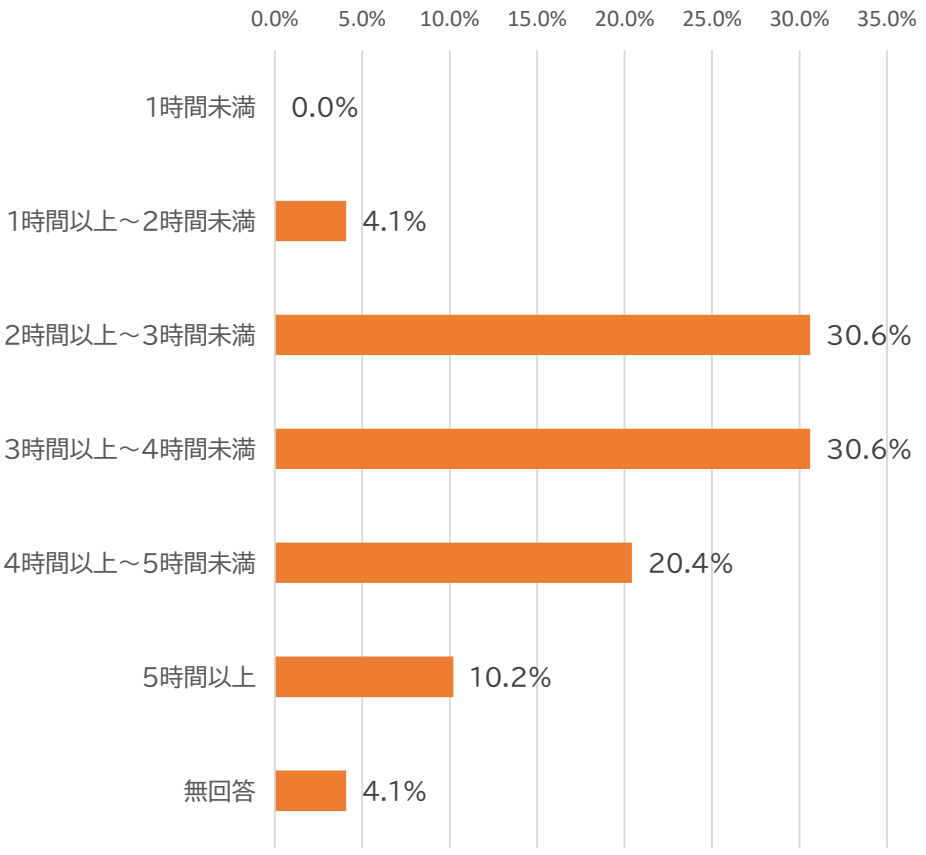
（1） お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について

問13　問12で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用しているなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

N＝49

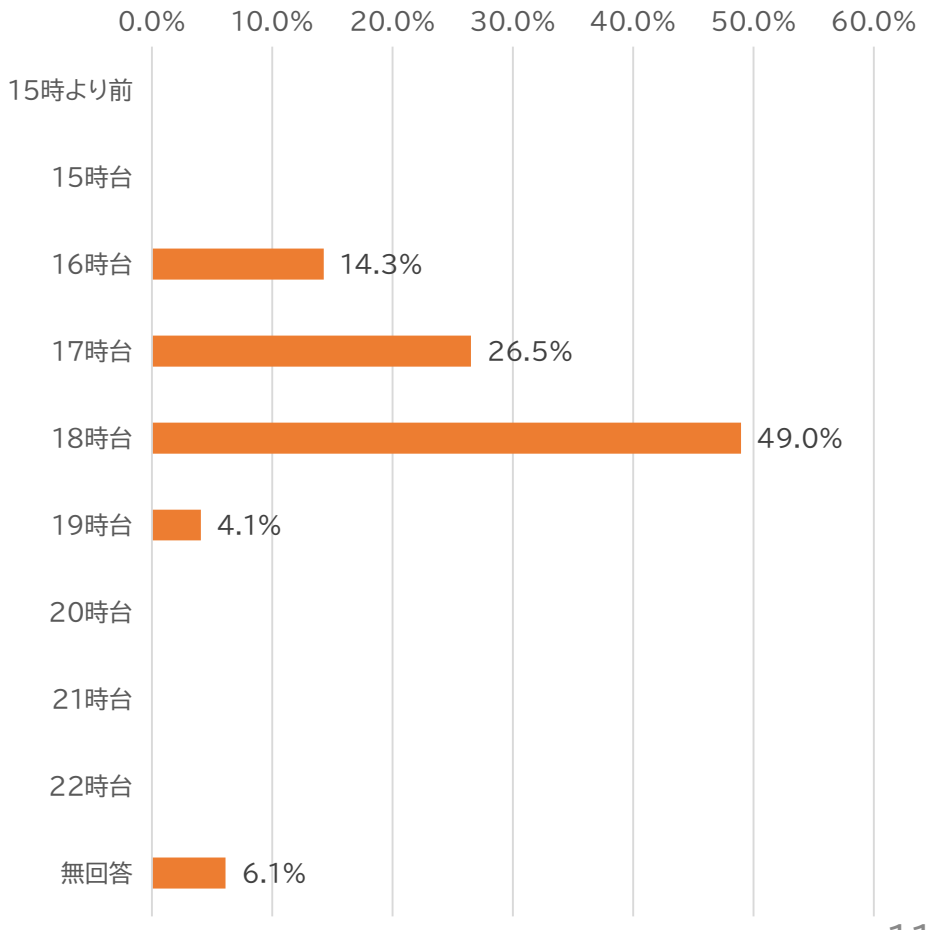
(1)現在

②　1日当たり利用時間



「2時間以上～3時間未満」、「3時間以上～4時間未満」と回答した割合がそれぞれ30.6%と最も高く、次いで「4時間以上～5時間未満」が、20.4%となっている。

②-1　終了時刻



「18時台」が回答した割合が49.0%と最も高く、次いで、「17時台」が26.5%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

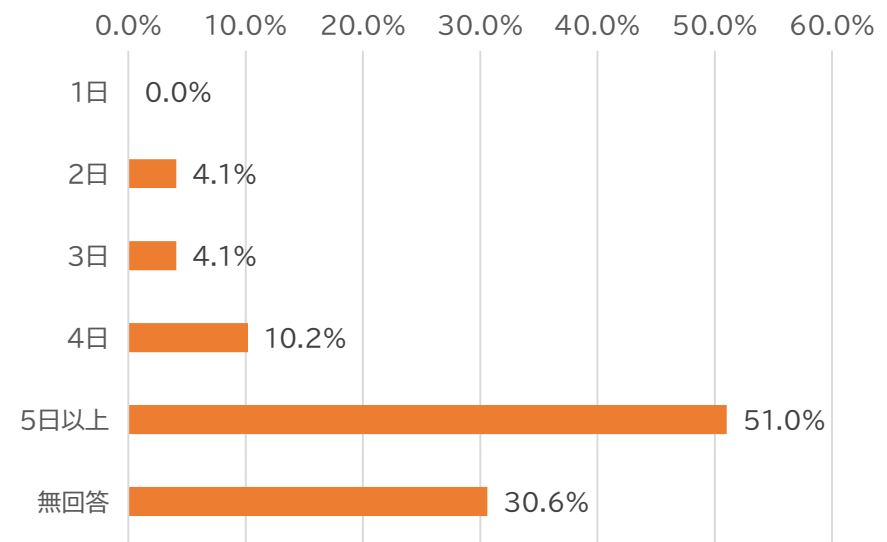
（1）お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について

問13　問12で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用しているなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

N＝49

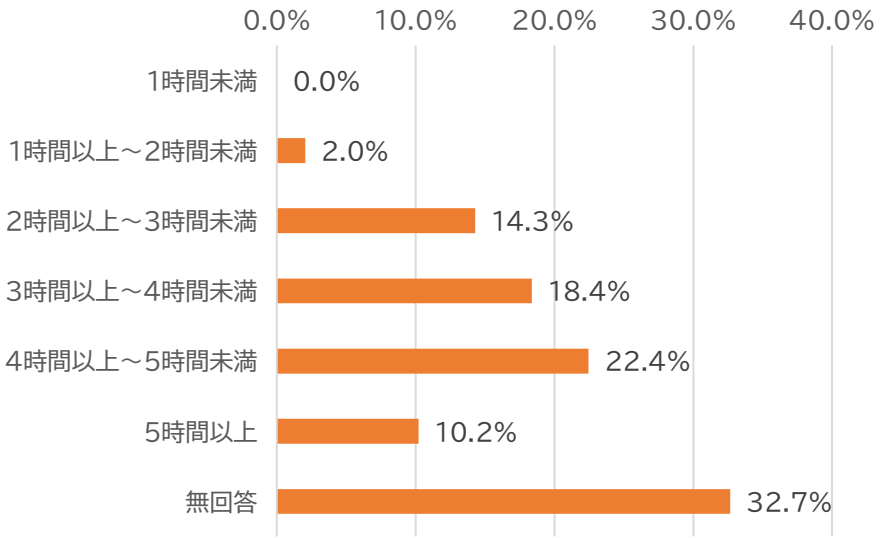
（2）希望

①　1週当たり日数



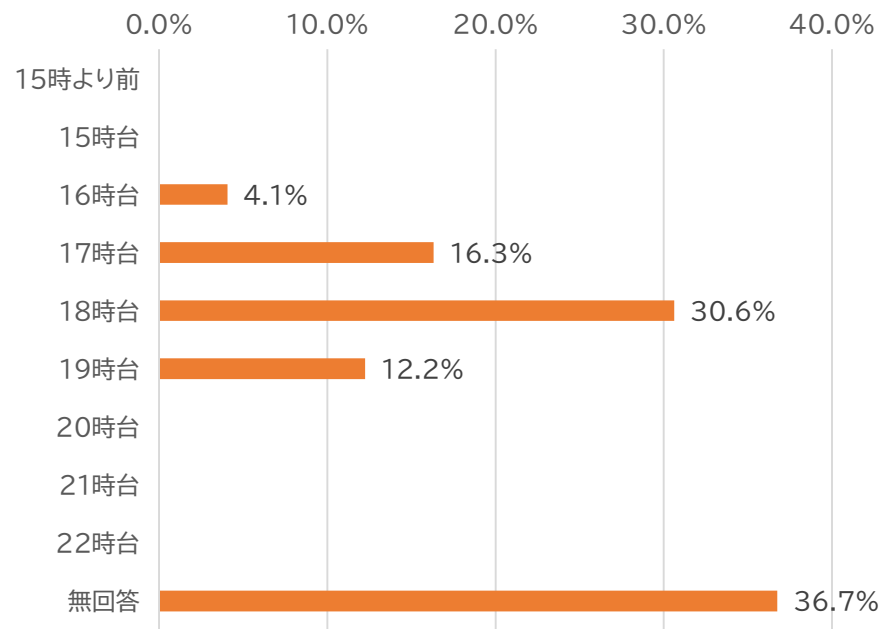
「5日以上」と回答した割合が51.0%と最も高く、次いで「4日」が、10.2%となっている。

②　1日当たりの利用時間



「4時間以上～5時間未満」と回答した割合22.4%と最も高く、次いで「3時間以上～4時間未満」が、18.4%となっている。

②-1　終了時刻

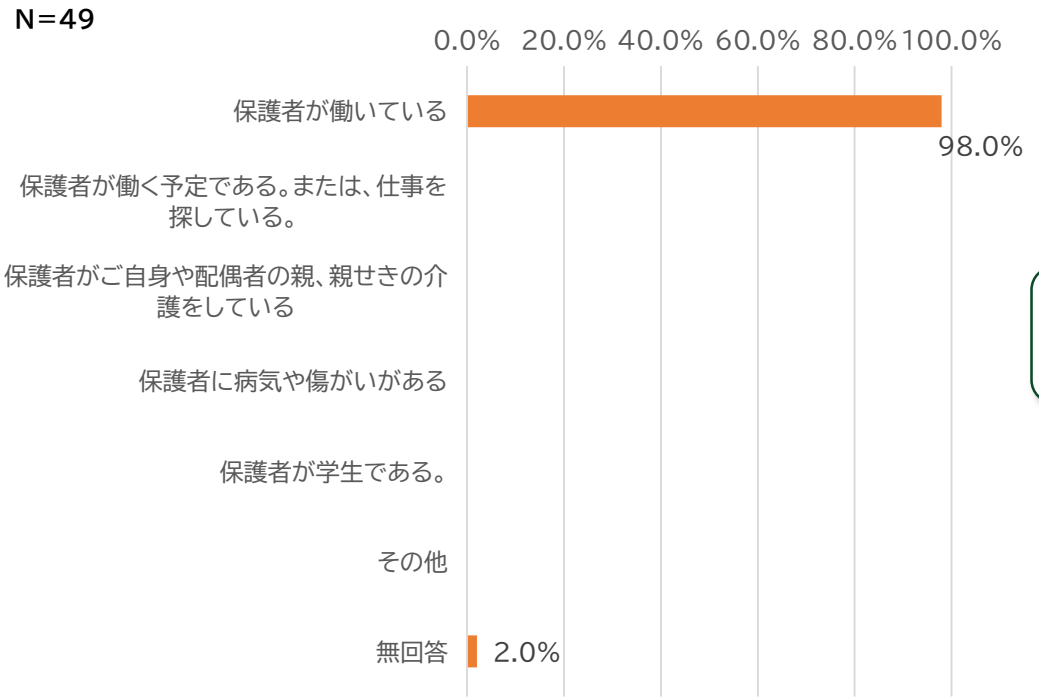


「18時台」と回答した割合が30.6%と最も高く、次いで「17時台」が、16.3%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

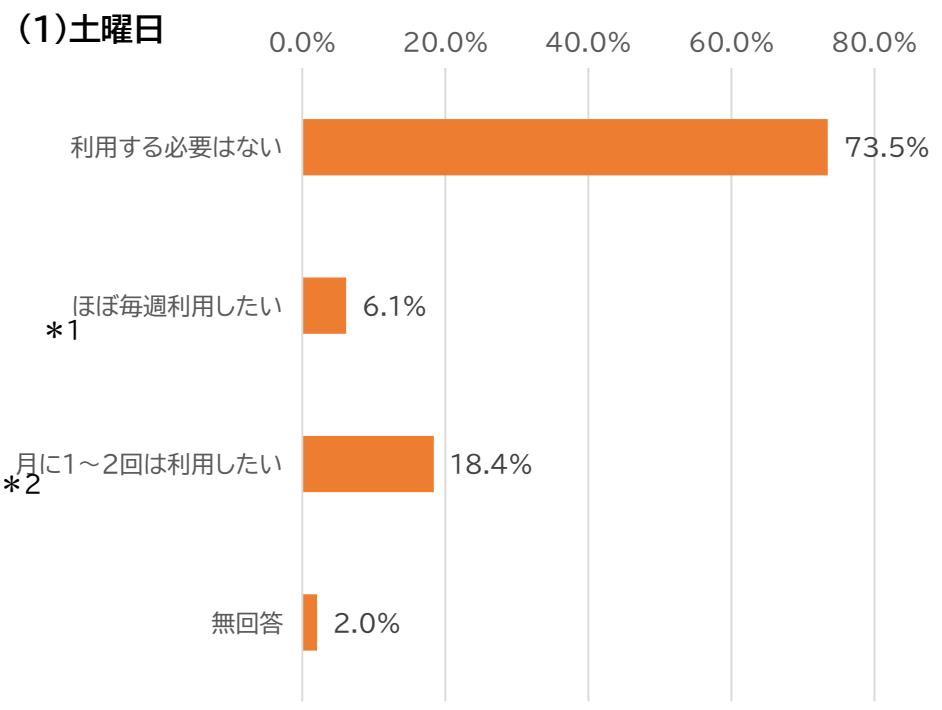
（1）お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について

問13－1　問12で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



「保護者が働いている」と回答した割合が98.0%と最も高くなっている。

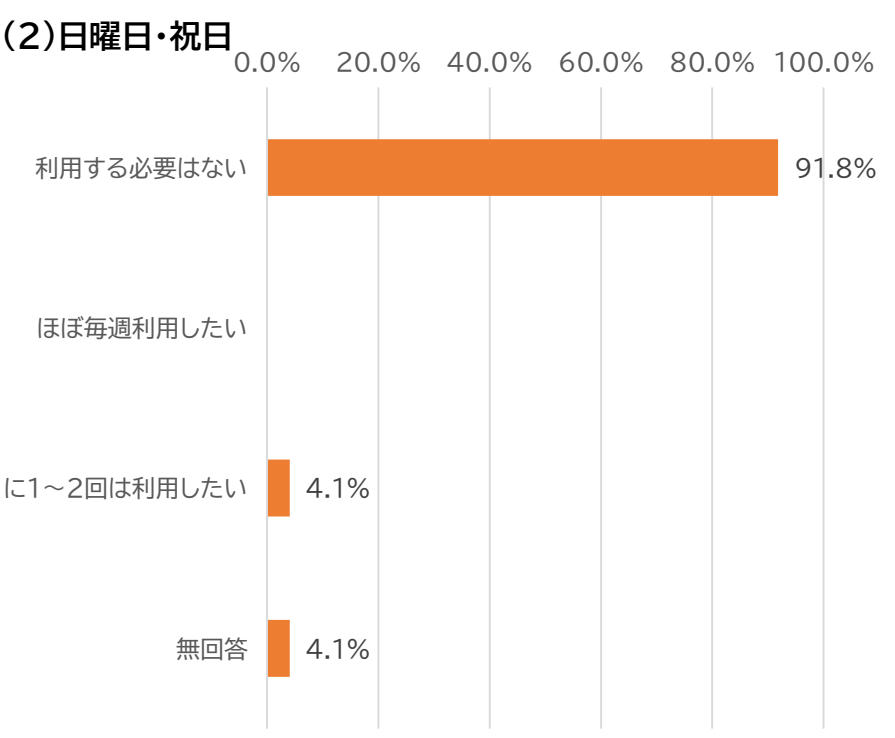
問13－2　問12で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。土曜日、日曜日・祝日に、なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）の利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。



＊1:「7時台」が1件、「8時台」が1件

＊2:「7時台」が1件、「8時台」が4件,「9時台」が2件

「利用する必要はない」と回答した割合が73.5%と最も高く、次いで「月に月に1～2回は利用したい」が18.4%となっている。



＊1:「8時台」が2件

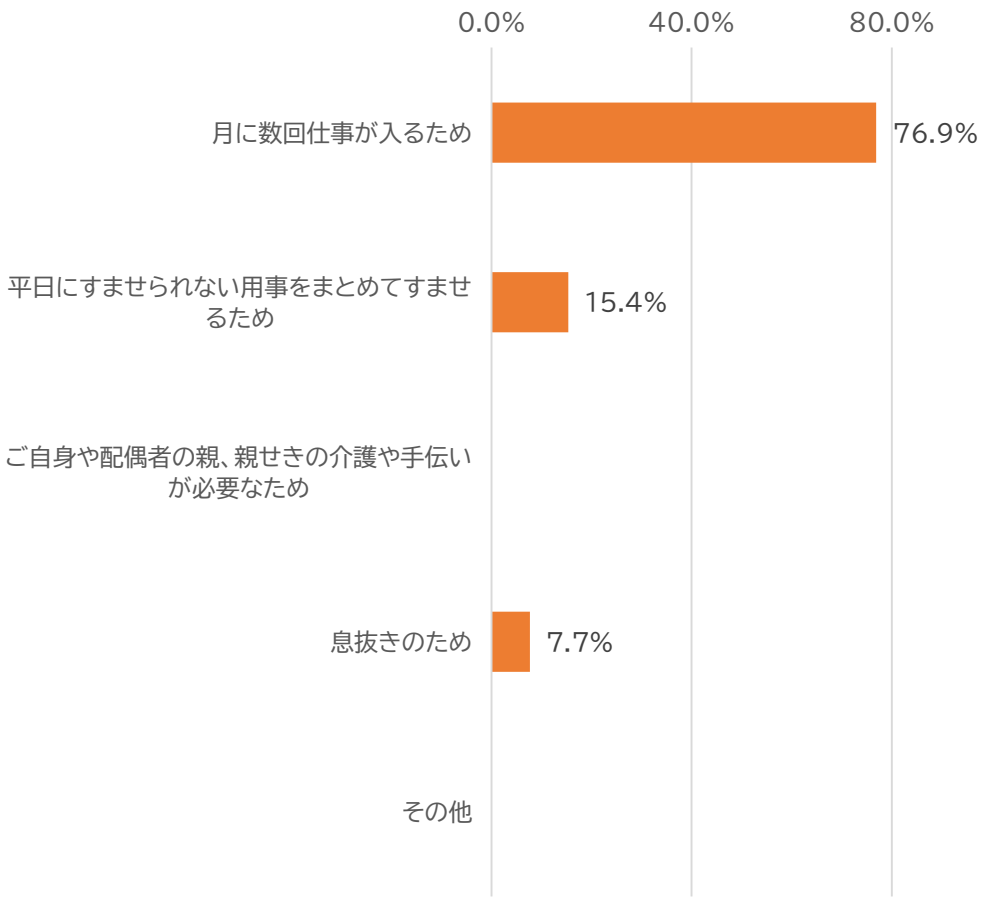
「利用する必要はない」と回答した割合が91.8%と最も高く、次いで「月に月に1～2回は利用したい」が4.1%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（1）お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について

問13－3　問13－2の(1)または(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

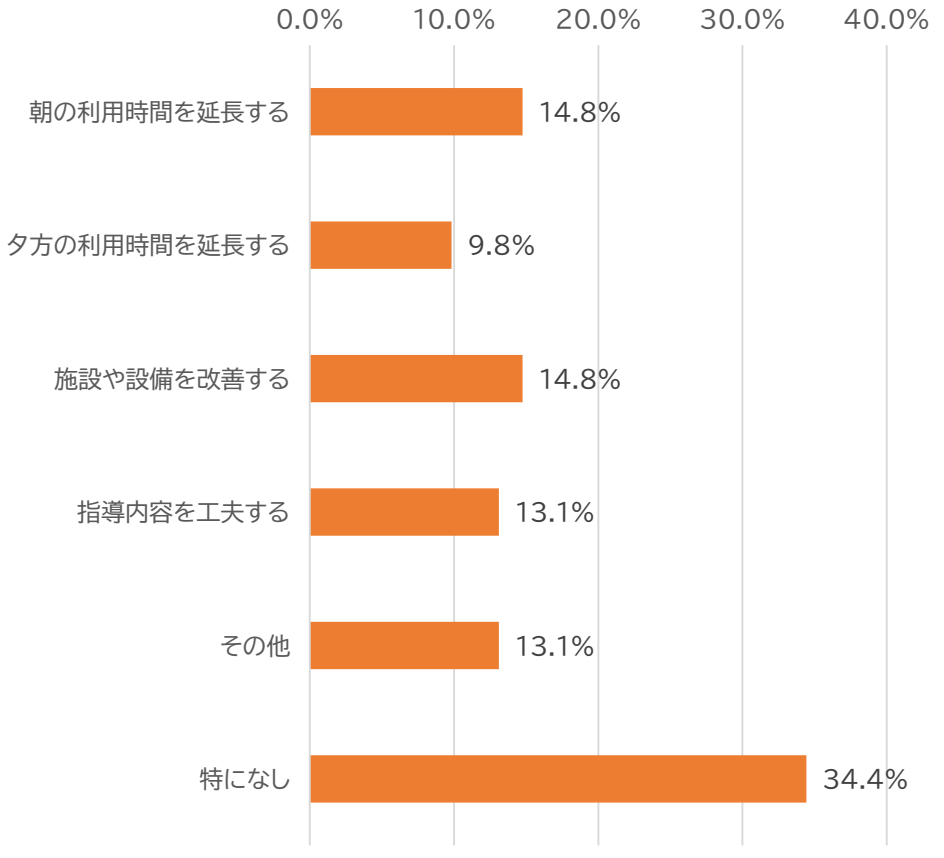
N＝12　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「月に数回仕事が入るため」と回答した割合が76.9%と最も高く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が15.4%となっている。

問13－4　問12で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。現在通っているなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N＝61　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



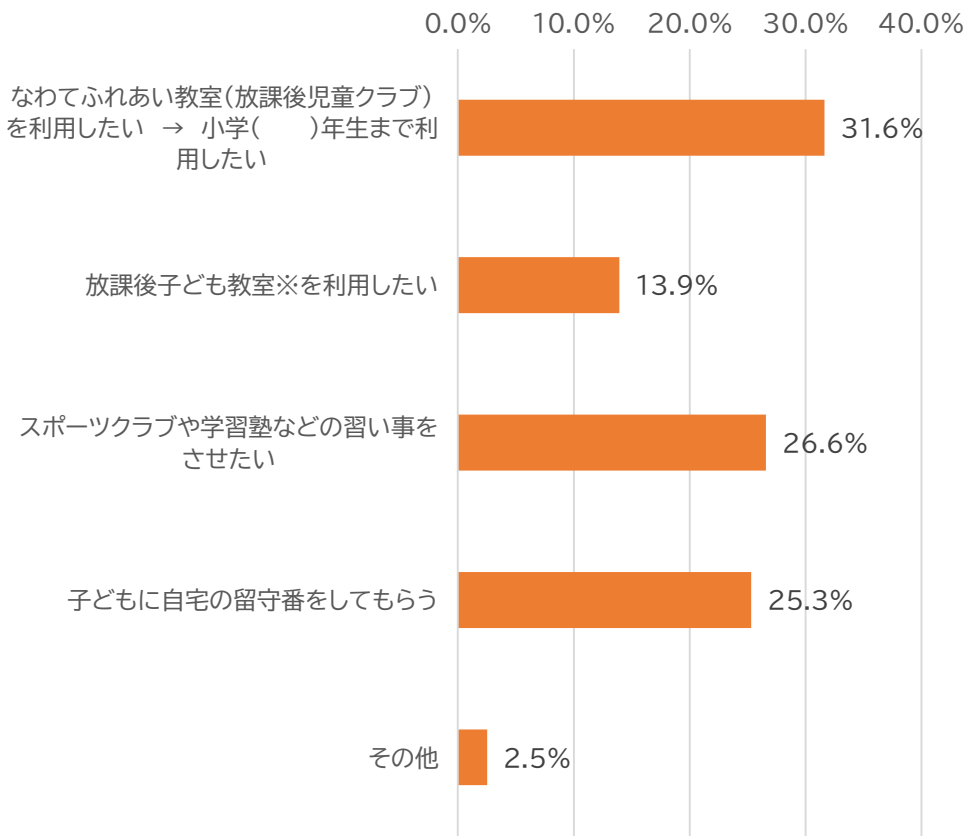
「朝の利用時間を延長する」、「施設や設備を改善する」と回答した割合が14.8%と最も高く、次いで、「指導内容を工夫する」が13.1%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（1）お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について

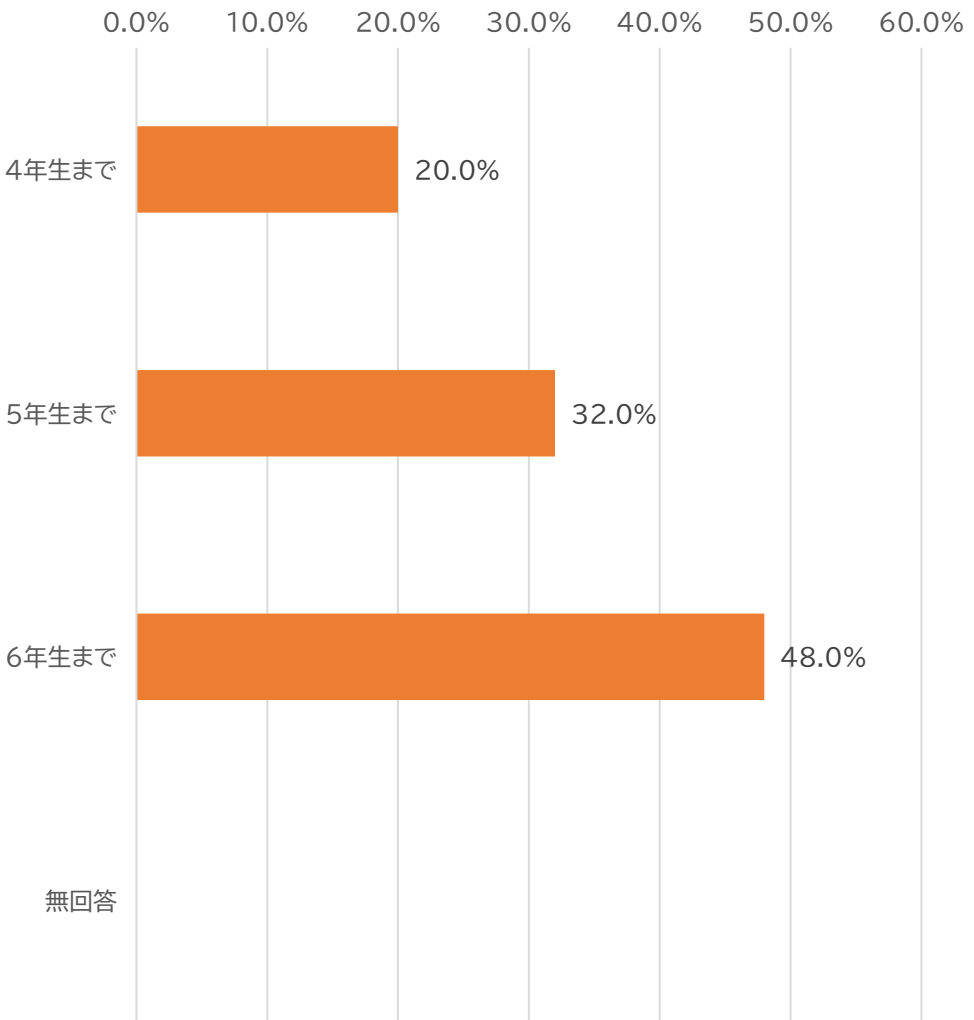
問13－5　問12で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「1. 」を選択した場合は、（　）内に具体的な数字を入れてください。

N＝79　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用したい　→　小学（　　）年生まで利用したい」と回答した割合が31.6%と最も高く、次いで、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」が26.6%となっている。

（1）なわてふれあい教室（放課後児童クラブを利用したい　小学（）年生まで利用したい子どもの学年　N=25



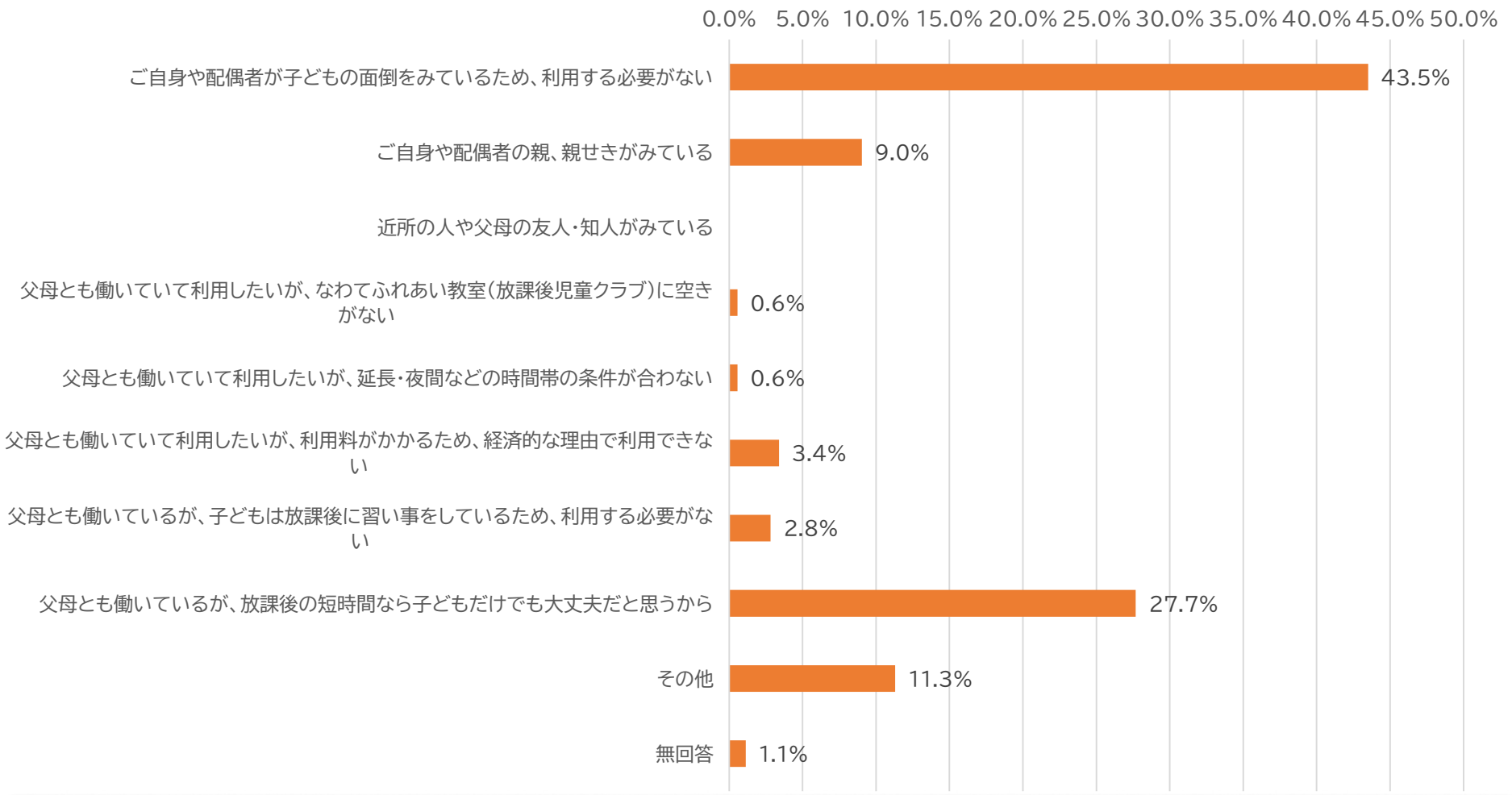
「6年生まで」と回答した割合が48.0%と最も高く、次いで、「5年生まで」が32.0%、「4年生まで」が20.0%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（2）お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について

問14　問12で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

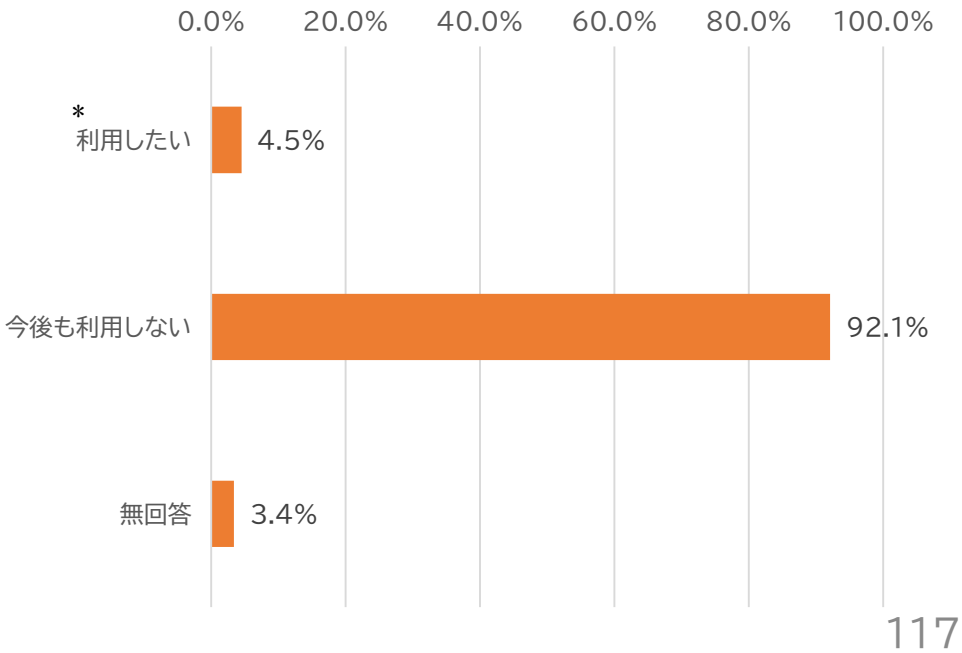
N＝177



「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」と回答した割合が43.5%と最も高く、次いで、「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」が27.7%となっている。

問14－1　問12で「2. 利用していない」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

N＝177



「今後も利用しない」と回答した割合が92.1%と最も高くなっている。

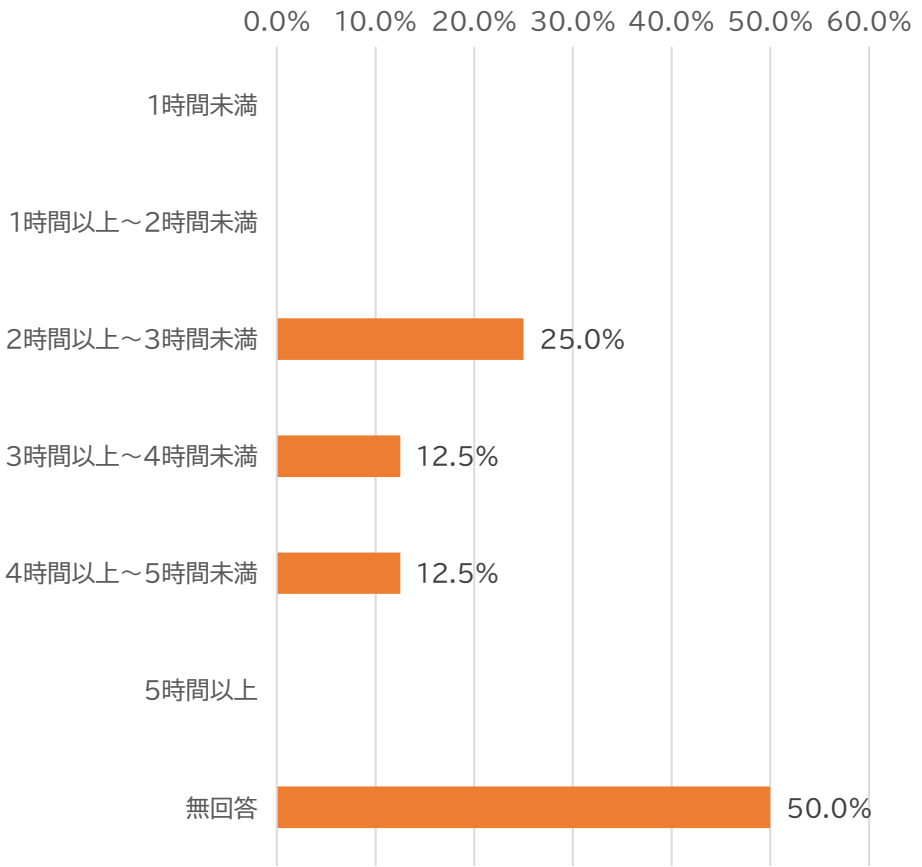
1週当たりの利用日数
*「2日」が1件、「5日」が4件

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（1）お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について

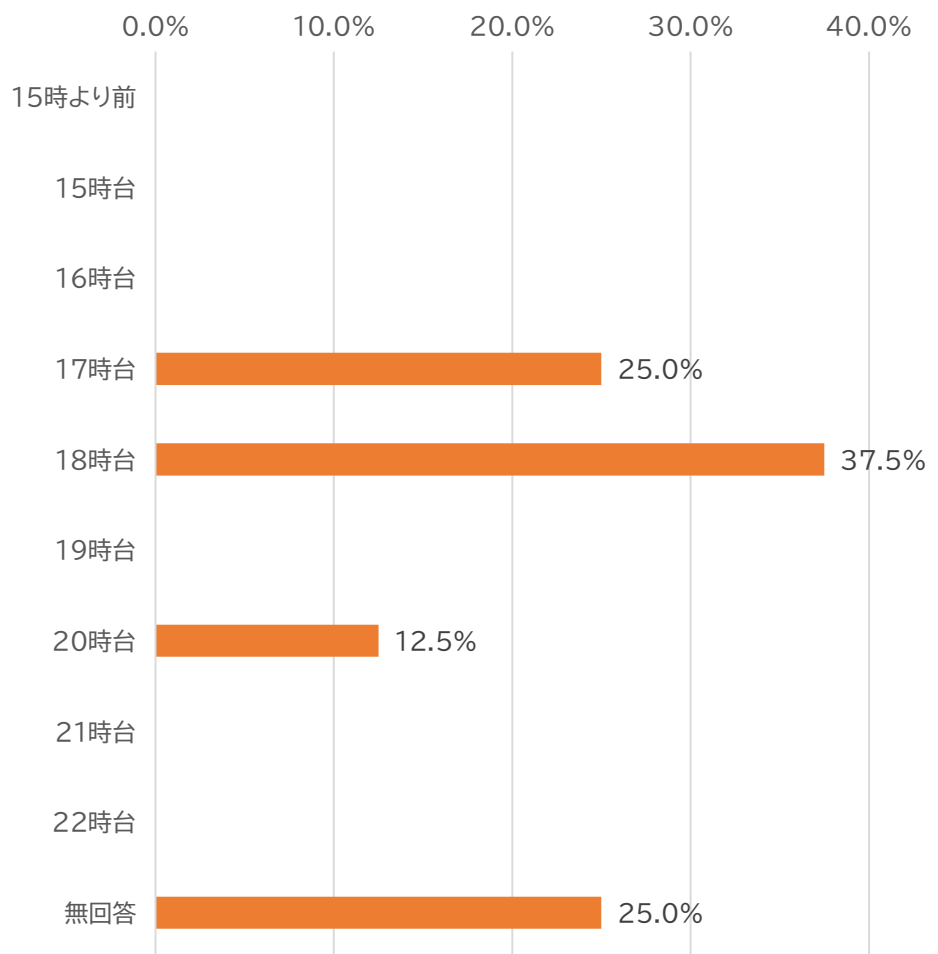
問14－1　問12で「2. 利用していない」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

（1）1日当たりの利用時間　　N=8



「2時間以上～3時間未満」と回答した割合が25.0%と最も高くなっている。

（2）利用終了時間　　N=8



「18時台」と回答した割合が37.5%と最も高くなっており、次いで「17時台」が25.0%となっている。

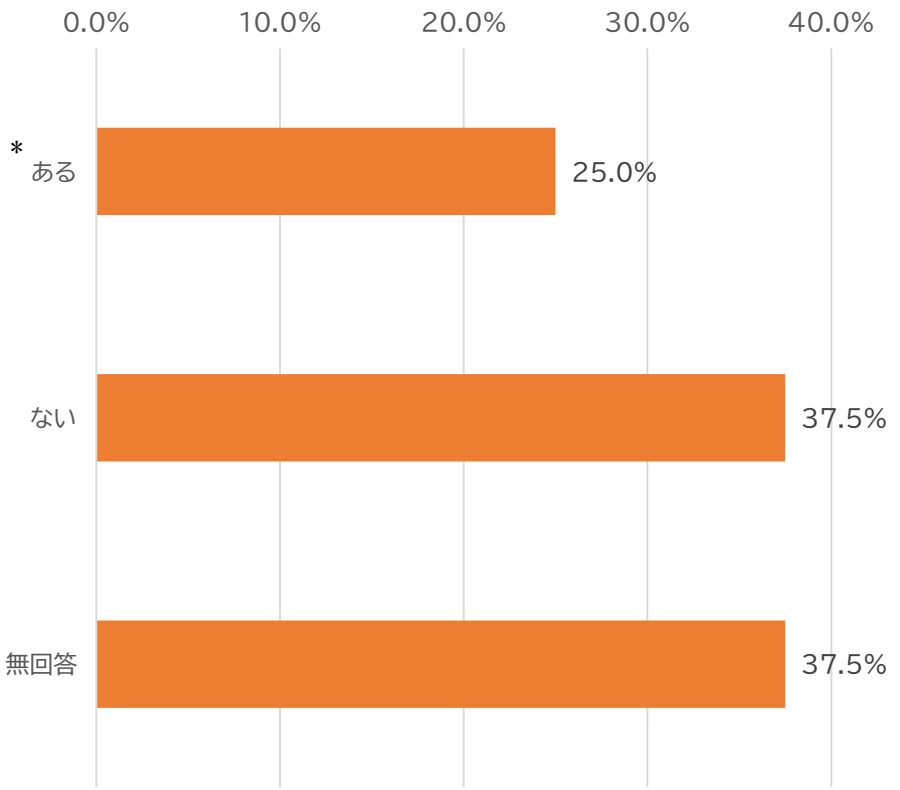
Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（1） お子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について

問14－2　問14－1で「1. 利用したい」を選ばれた方におうかがいします。土曜日と日曜日・祝日の利用希望がある場合は、利用したい時間帯を、必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

N＝8

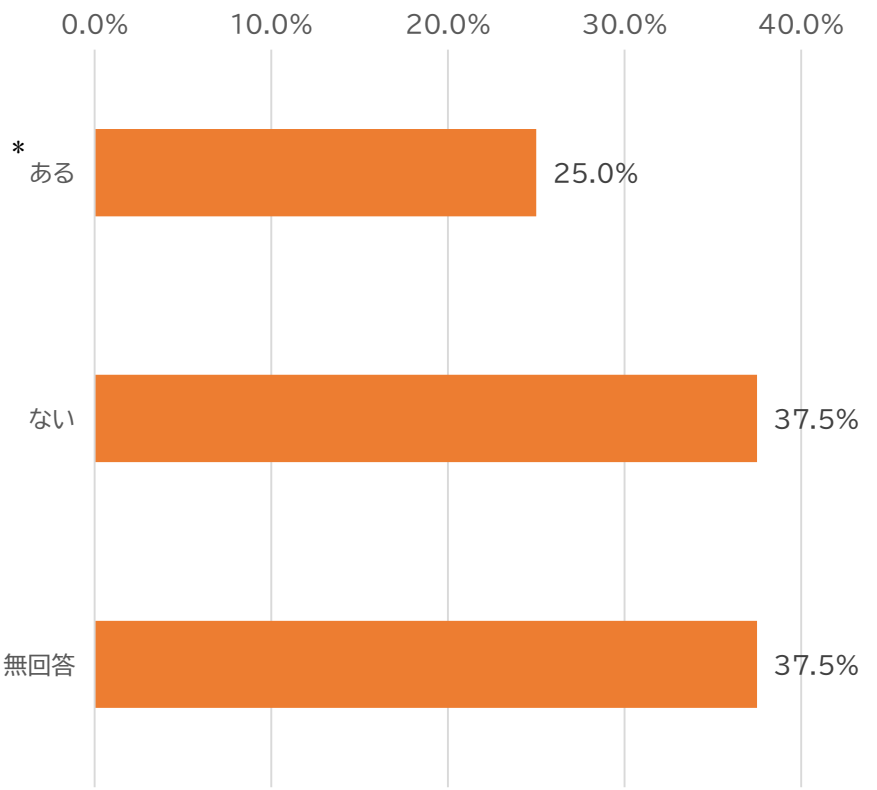
（1） 土曜日



「ない」と回答した割合が37.5%と最も高くなっている。

*利用時間：10時間が1件
*終了時刻：「17時～18時」が2件

（2） 日曜日・祝日



「ない」と回答した割合が37.5%と最も高くなっている。

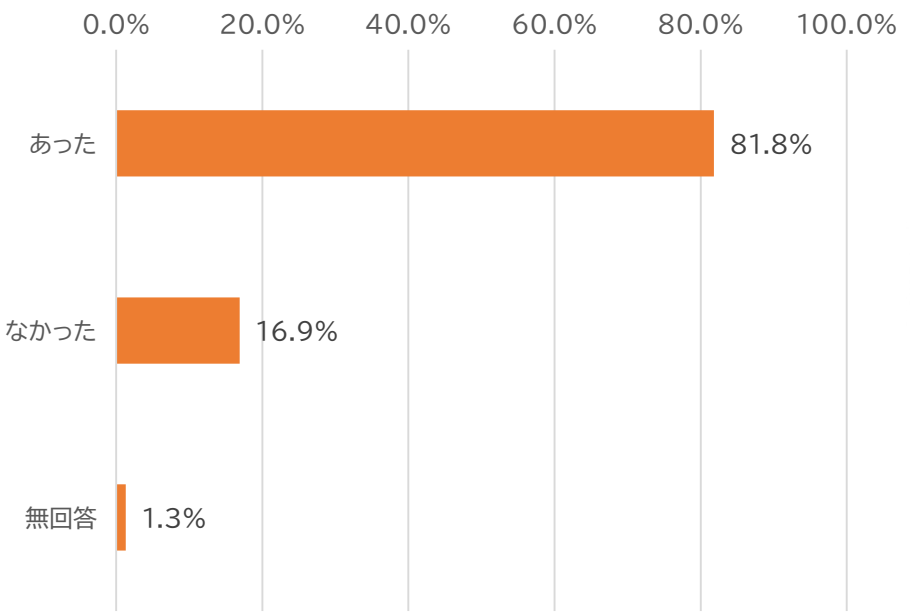
*利用時間：無回答が1件
*終了時刻：「17時～18時」が1件

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（2）お子さんが病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて

問15　封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

N＝231

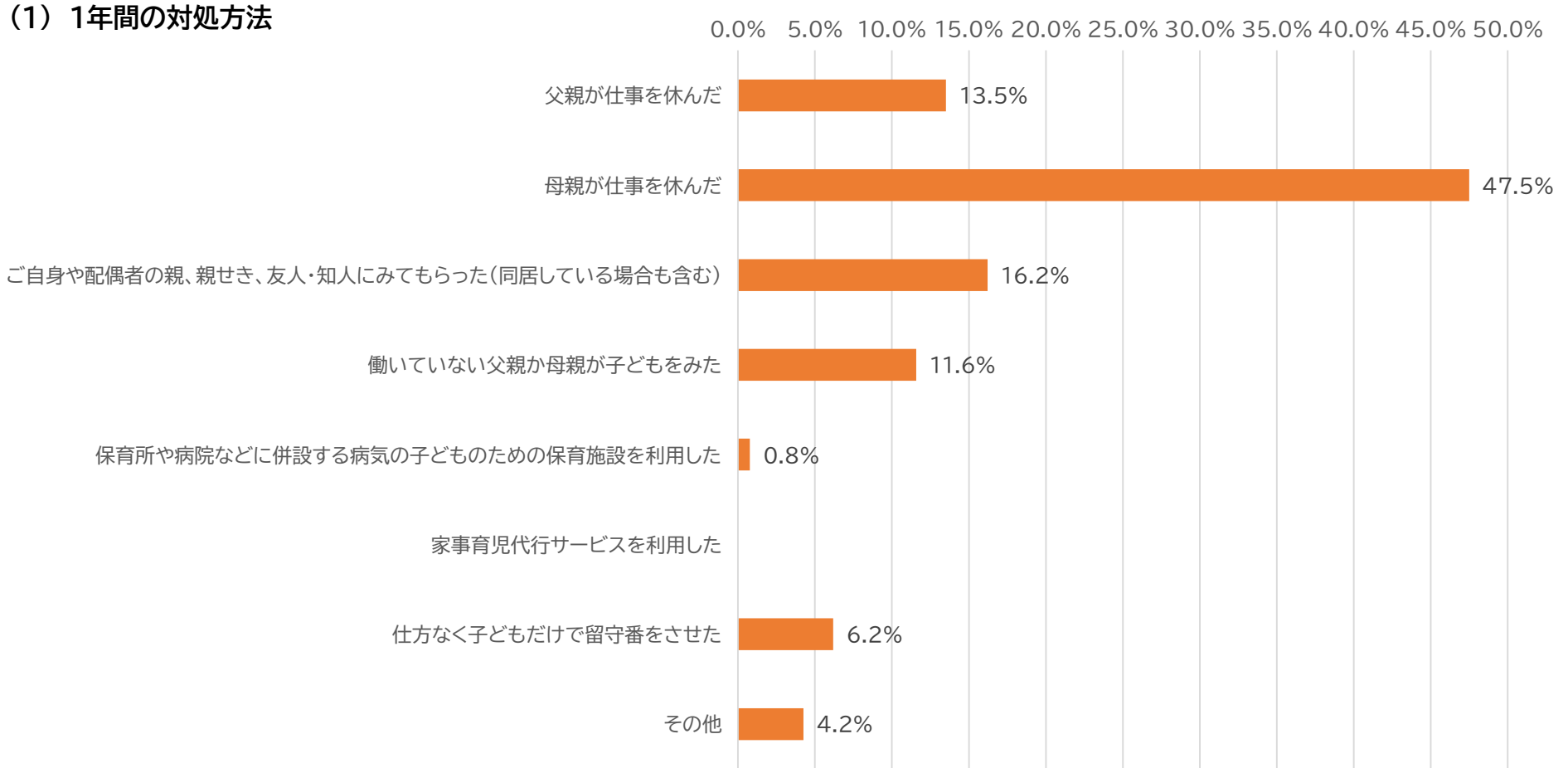


「あった」と回答した割合が81.8%と最も高くなっている。

問15－1　問15で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

N＝259　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

（1）1年間の対処方法



「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が47.5%と最も高くなっており、次いで、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が16.2%、「父親が仕事を休んだ」が13.5%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

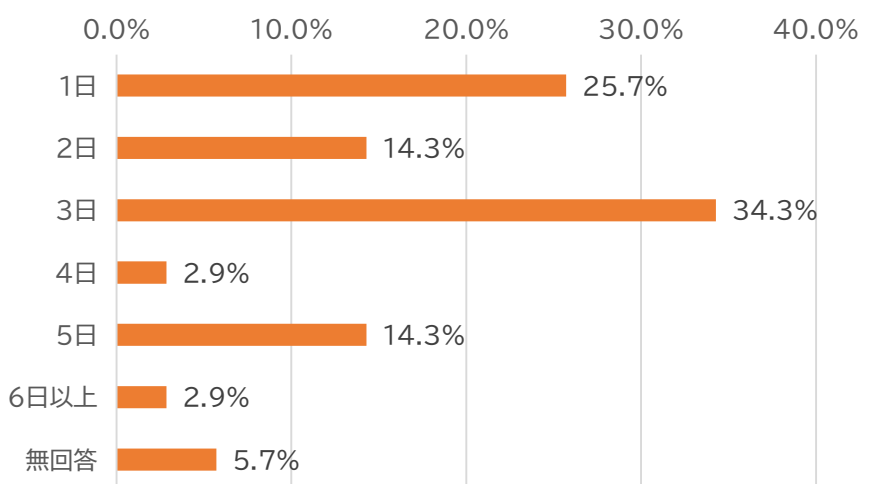
（2）お子さんが病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて

問15－1　問15で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

N＝259　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

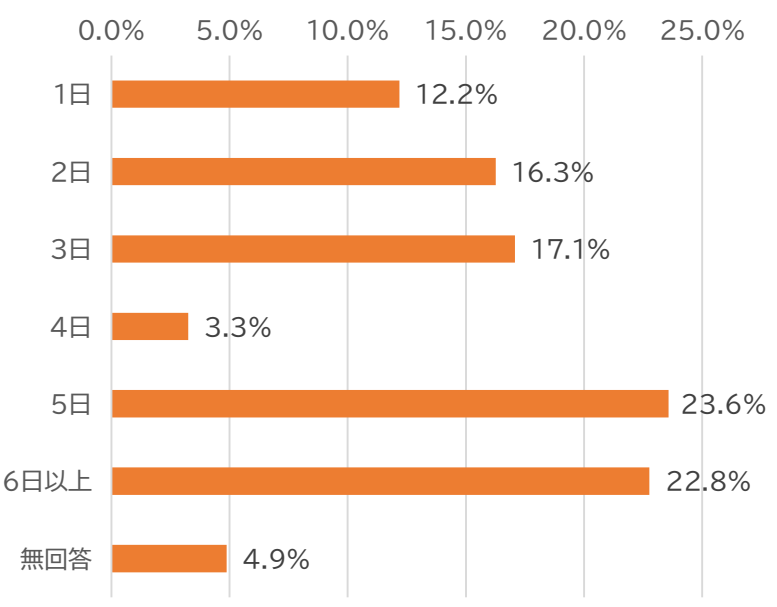
（2）対処方法別日数

①父親が仕事を休んだ　N＝35



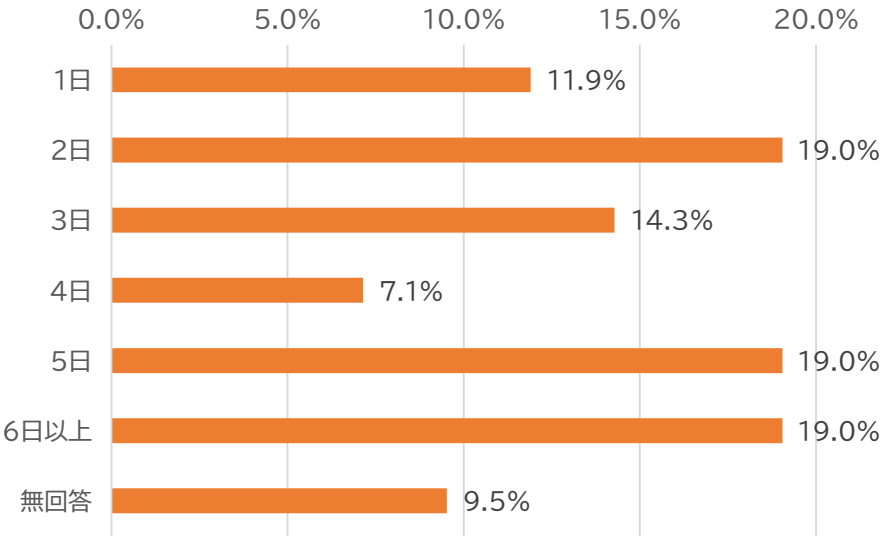
「3日」と回答した割合が34.3%と最も高く、次いで「1日」が25.7%、「2日」、「5日」がそれぞれ14.3%となっている。

②母親が仕事を休んだ　N＝123



「5日」と回答した割合が23.6%と最も高く、次いで「6日以上」が22.8%、「3日」が17.1%となっている。

③ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）　N＝42



「2日」、「5日」、「6日以上」、と回答した割合が19.0%と最も高くなっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

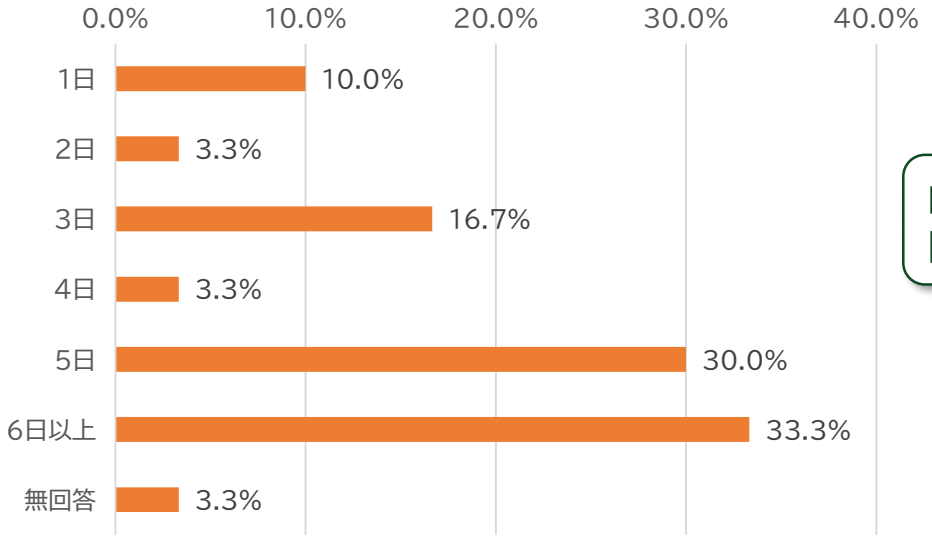
（2） お子さんが病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて

問15－1　問15で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について(　)内に具体的な数字を入れてください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

N＝259　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

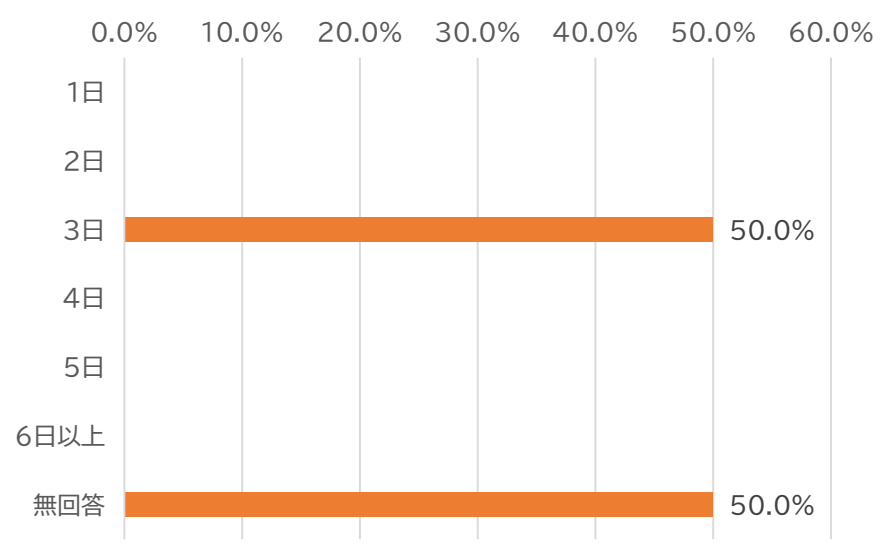
（2） 対処方法別日数

④働いていない父親か母親が子どもをみた　N＝30



「6日以上」と回答した割合が33.3%と最も高く、次いで「5日」が30.0%となっている。

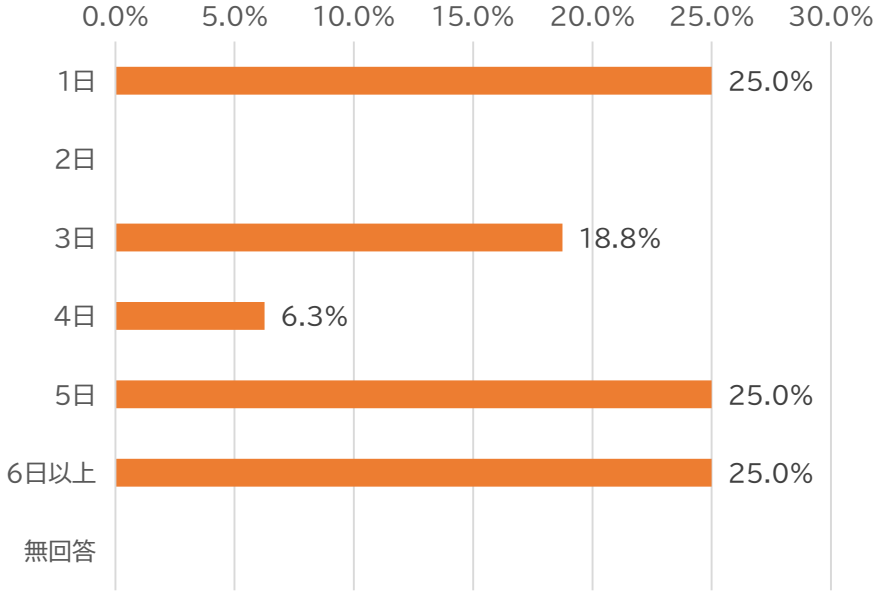
⑤保育所や病院などに併設する病気の子どものための保育施設を利用した　N＝2



「3日」と回答した割合が50.0%となっている。

⑥家事育児代行サービスを利用した　N＝0

⑦仕方なく子どもだけで留守番をさせた　N＝16



「1日」、「5日」、「6日以上」と回答した割合がそれぞれ25.0%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

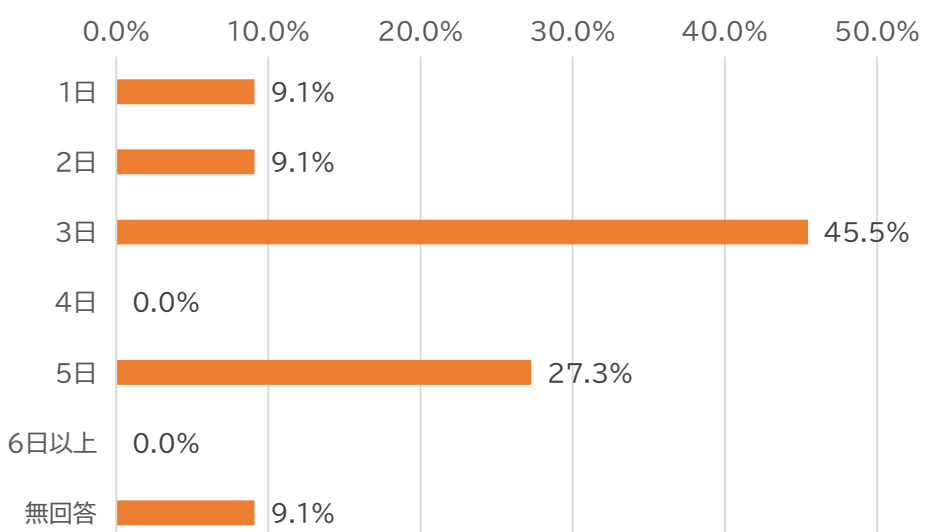
（2） お子さんが病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて

問15－1　問15で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について(　)内に具体的な数字を入れてください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

N＝259　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

（2） 対処方法別日数

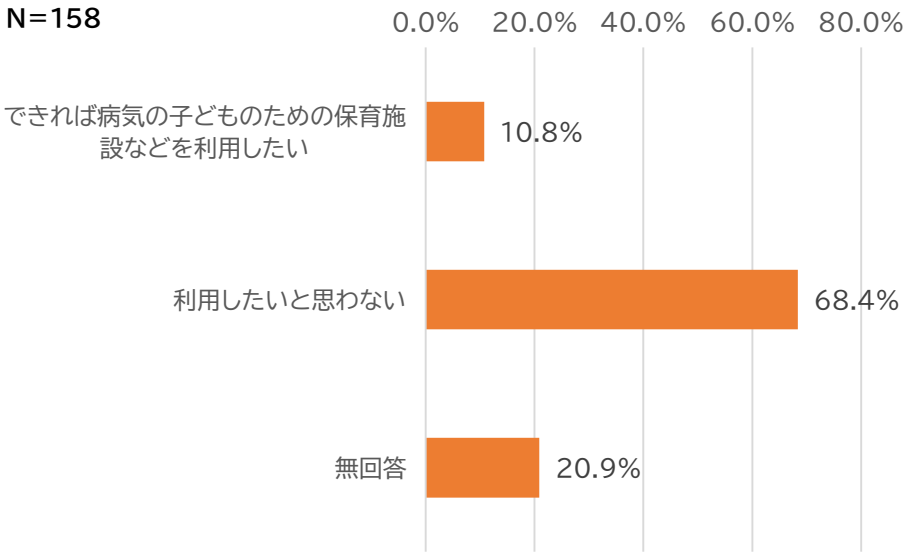
⑧その他 N＝11



「3日」と回答した割合が45.5%と最も高く、次いで「5日」が27.3%となっている。

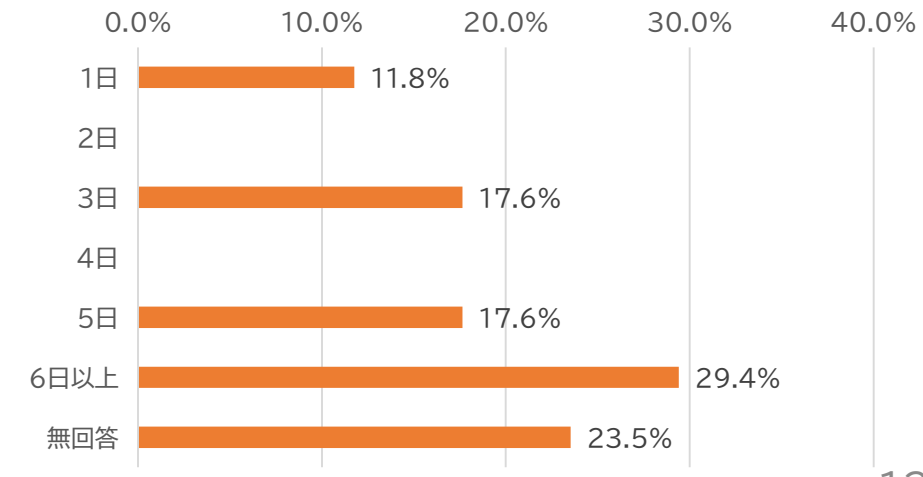
問15－2　問15－1で「1. 」「2. 」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。
そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は(　)内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

N=158



「利用したいと思わない」と回答した割合が68.4%となっている。

（1）「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」日数　N=17



「6日以上」と回答した割合が29.4%と最も高く、次いで、「3日」、「5日」がそれぞれ17.6%となっている。

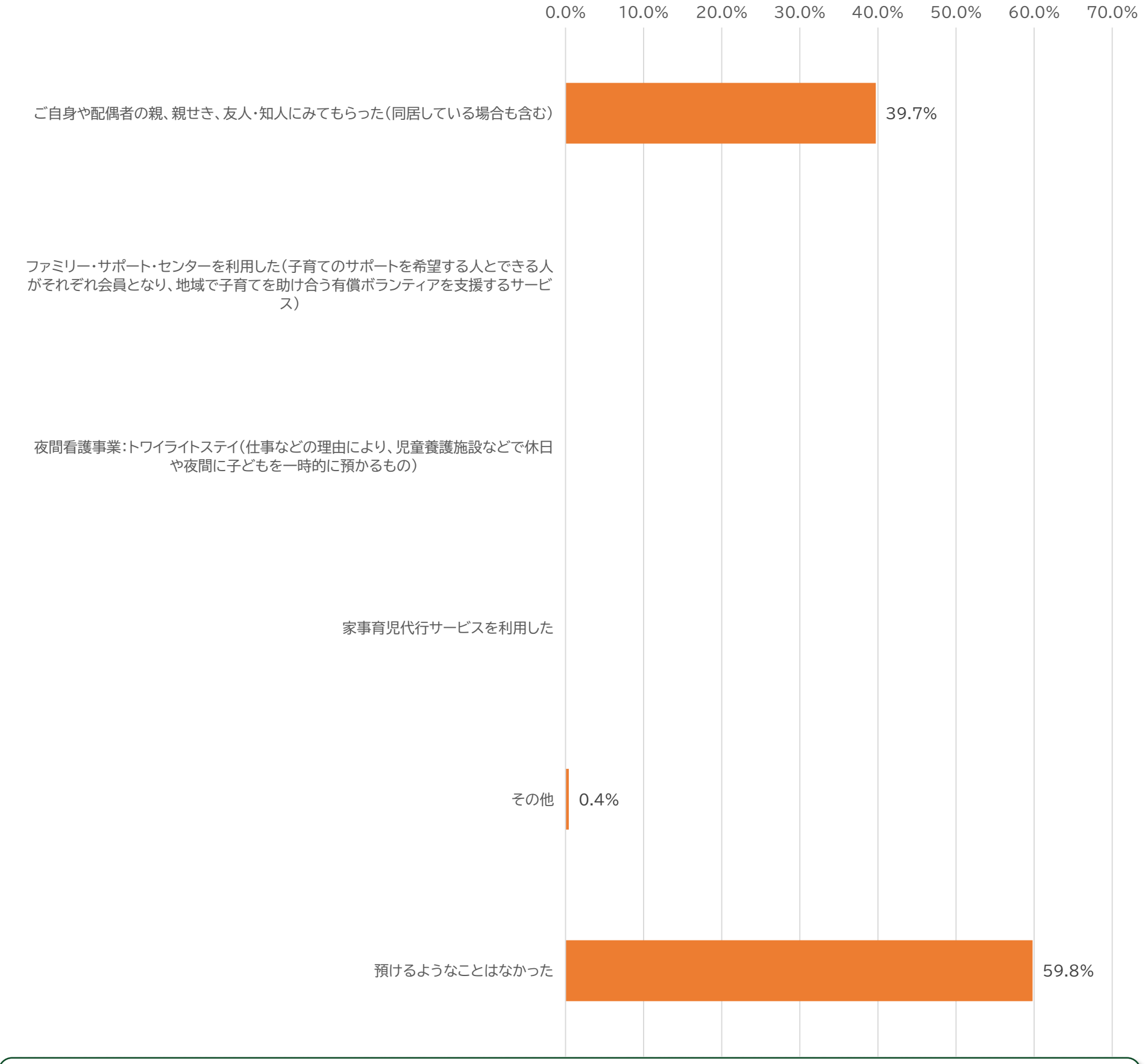
Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（2）お子さんが病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて

問16　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。

N＝229　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

（1）1年間の対処方法



「預けるようなことはなかった」と回答した割合が59.8%と最も高くなっており、次いで、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が39.7%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

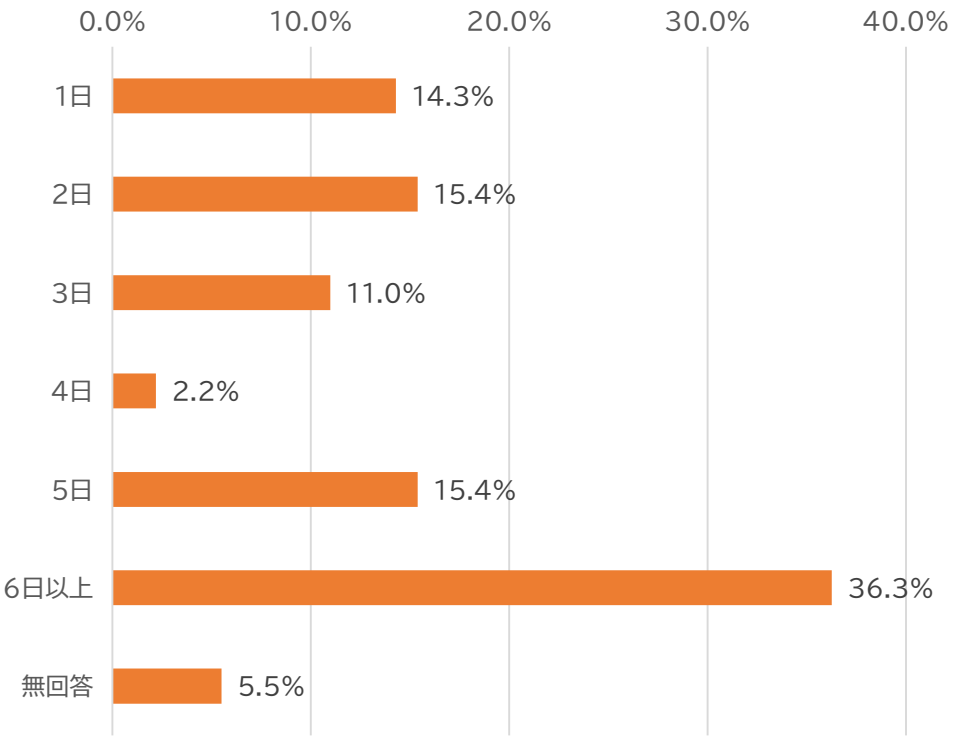
（2）お子さんが病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて

問16　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。

N＝229　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。

（2）対処方法別日数

①ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）N＝91



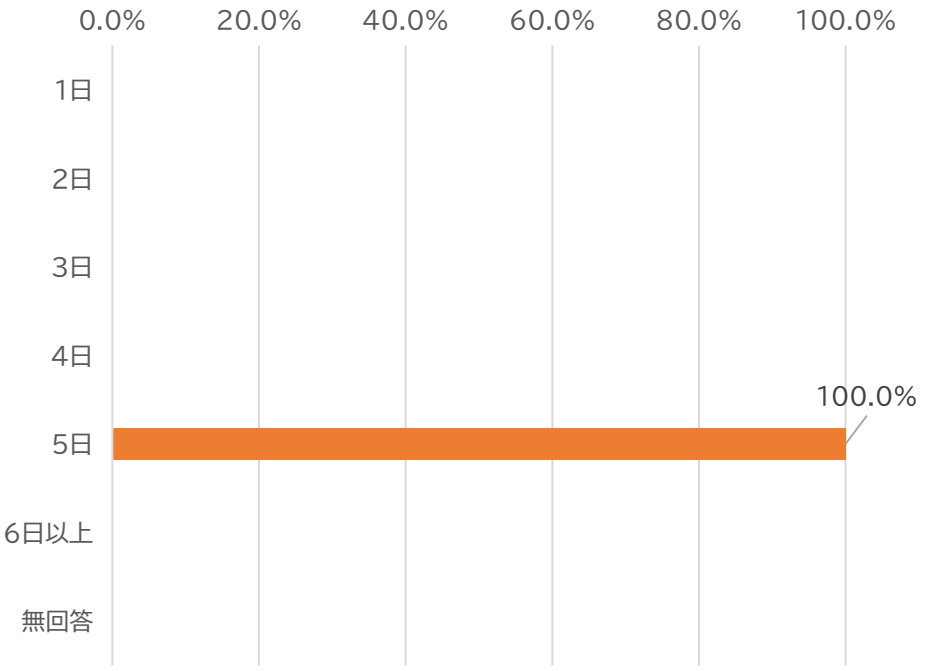
「6日以上」と回答した割合が36.3%と最も高く、次いで「2日」、「5日」がそれぞれ15.4%となっている。

②ファミリー・サポート・センターを利用した　N＝0　※有効回答なし

③夜間看護事業:トワイライトステイ　N＝0　※有効回答なし

④家事育児代行サービスを利用した　N＝0　※有効回答なし

⑤その他　N＝1



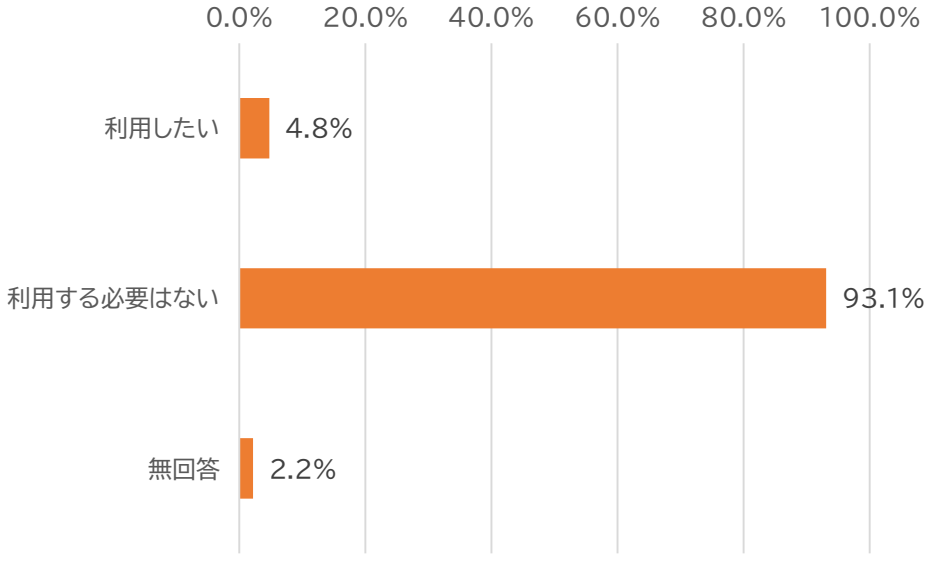
「5日」と回答した割合が1件となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（2）お子さんが病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて

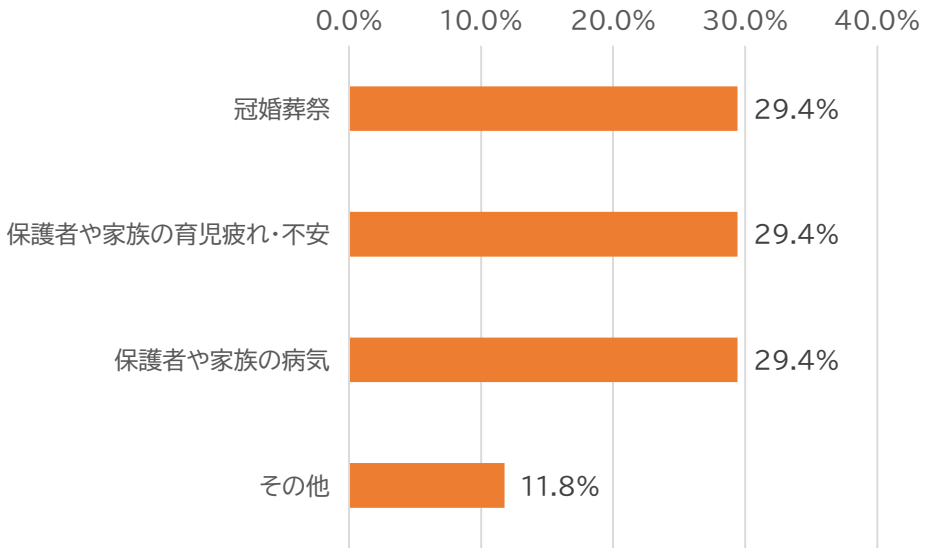
問17　封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
　短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）。
　なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

N＝231



「利用する必要はない」と回答した割合が93.1%と最も高く、次いで「利用したい」が4.8%となっている。

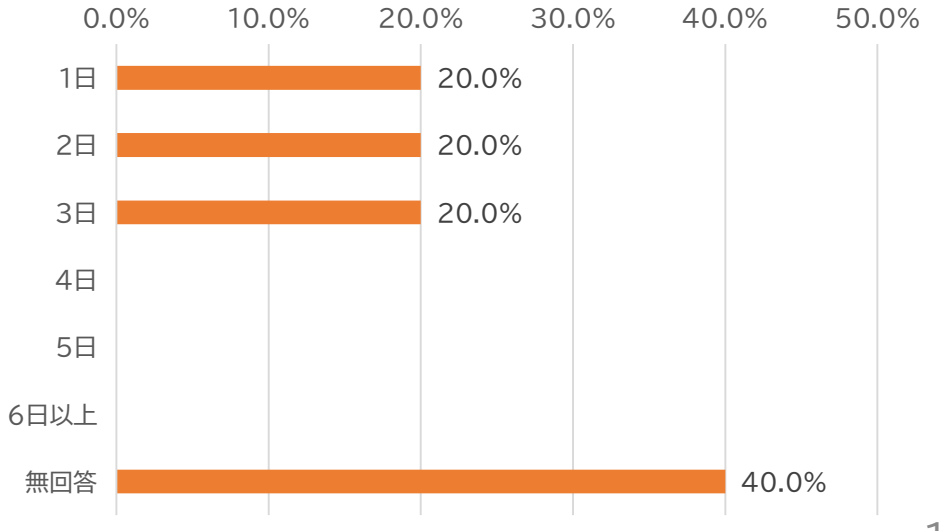
（1）利用用途（保護者の用事）　N＝17



「冠婚葬祭」、「保護者や家族の育児疲れ・不安」、「保護者や家族の病気」と回答した割合がそれぞれ29.4%となっている。

（2）対処方別日数　N＝17

①冠婚葬祭　N＝5



「1日」、「2日」、「3日」と回答した割合がそれぞれ20.0%となっている。

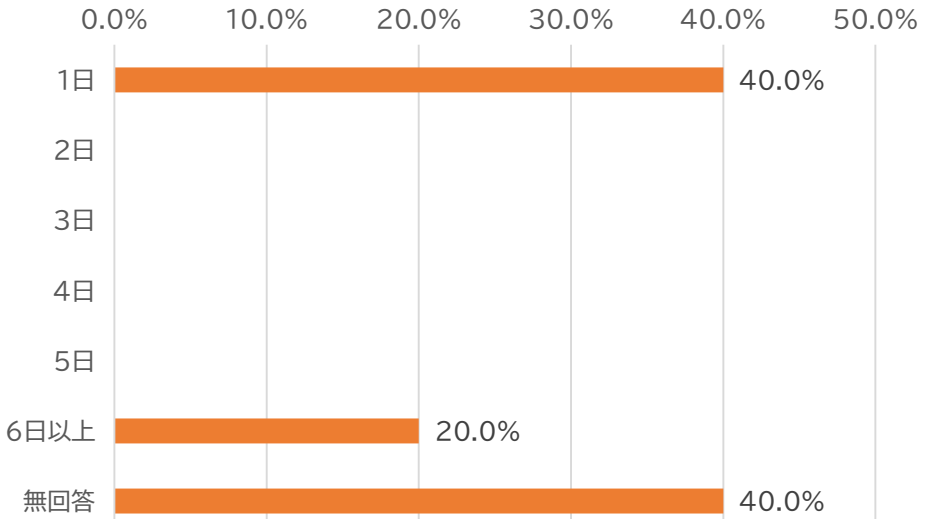
Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（2）お子さんが病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて

問17　封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
　短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）。
　なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

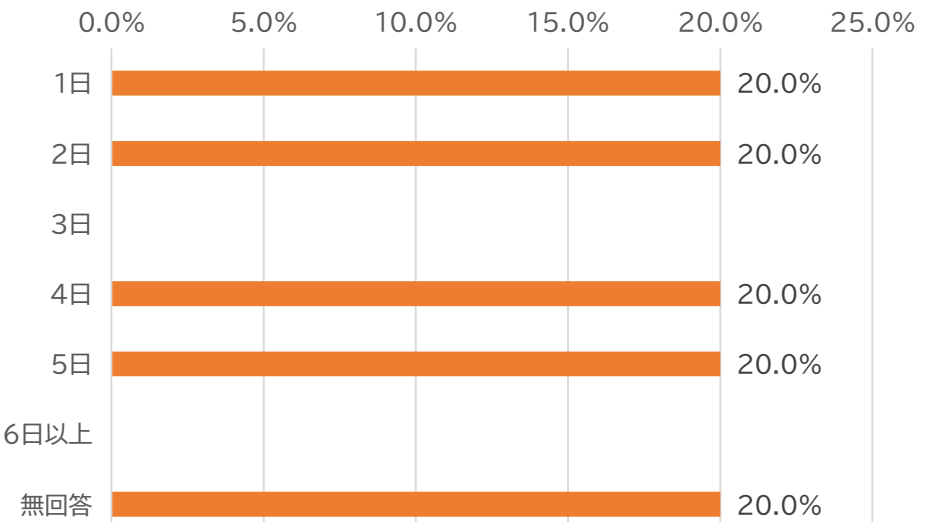
（2）対処方別日数　　N＝17

②保護者や家族の育児疲れ・不安　N＝5



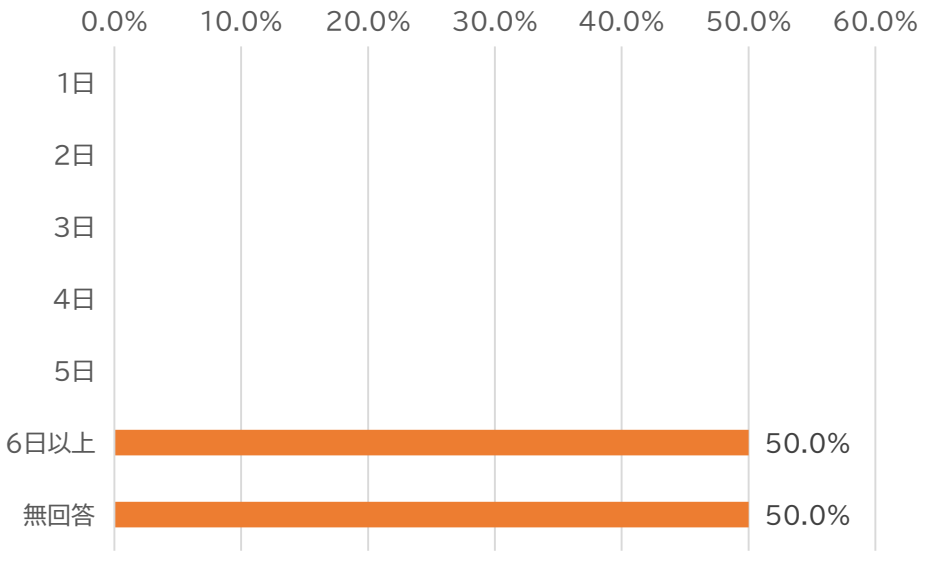
「1日」と回答した割合が40.0%（2件）となっている。

③保護者や家族の病気　N＝5



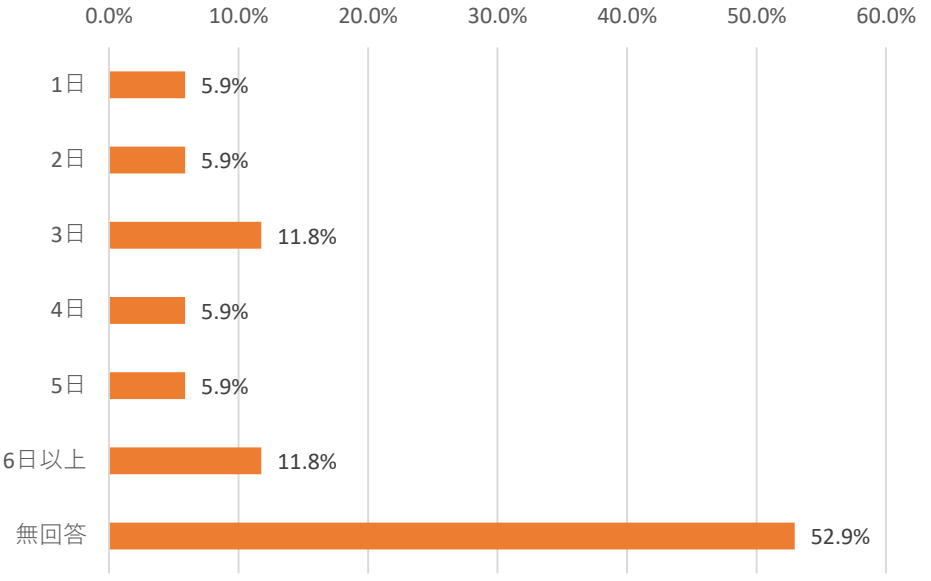
「1日」、「2日」、「4日」、「5日」と回答した割合が20.0%（1件）となっている。

④その他　N＝2



「6日以上」と回答した割合が50%（1件）となっている。

⑤合計日数　N＝17



「3日」、「6日以上」、と回答した割合が11.8%と最も高くなっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

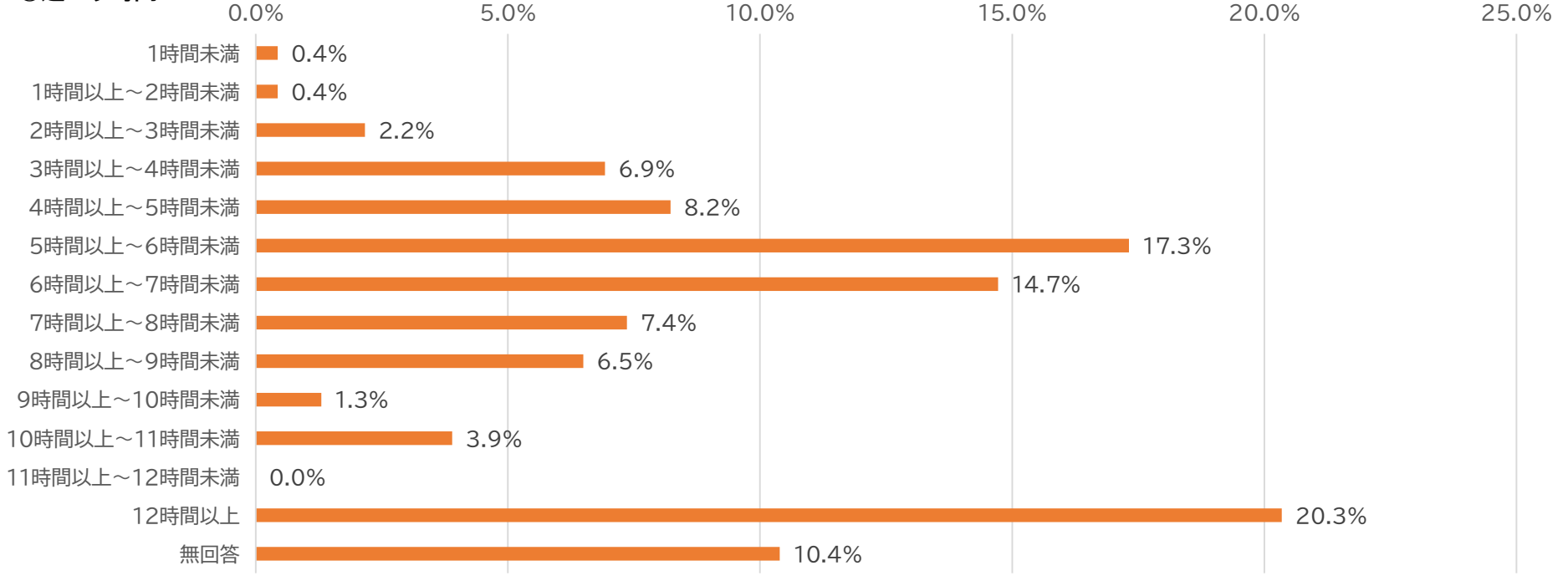
(3)仕事と子育ての両立について

問18　1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

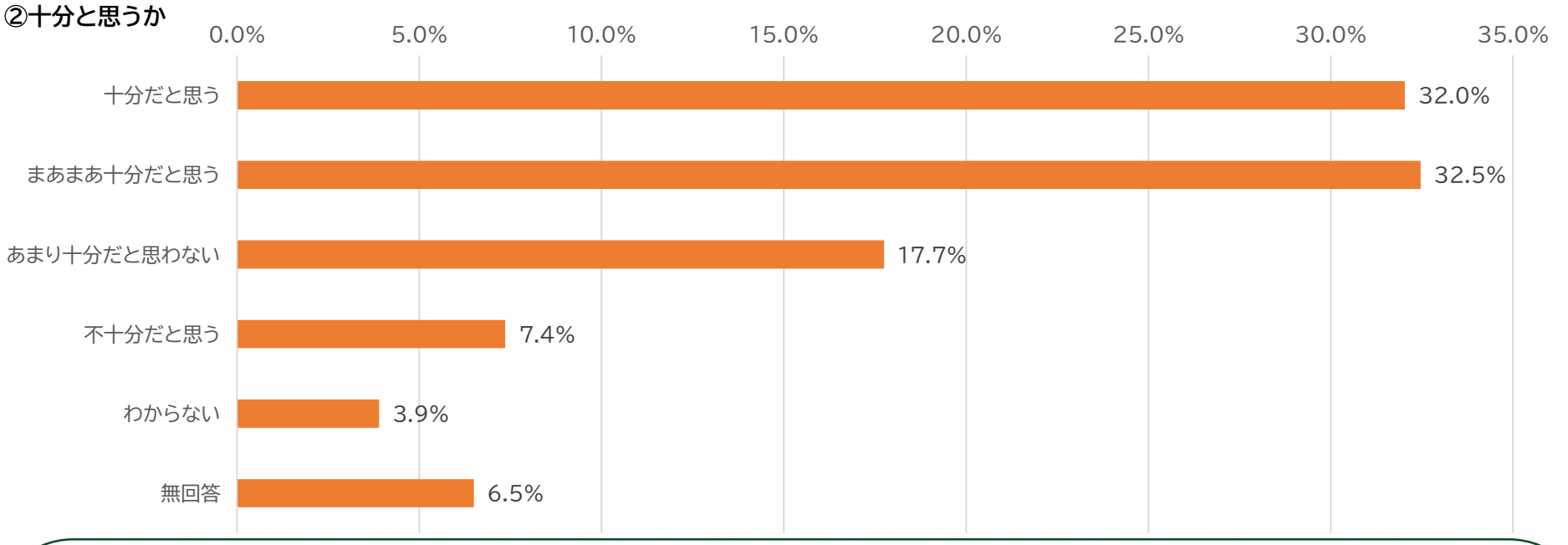
N＝231

（1） 母親

①過ごす時間



②十分と思うか



①過ごす時間について
「12時間以上」と回答した割合が20.3%と最も高く、次いで「5時間以上～6時間未満」が17.3%、「6時間以上～7時間未満」が14.7%となっている。

②十分と思うかについて
「まあまあ十分だと思う」と回答した割合が32.5%と最も高く、次いで「十分だと思う」が32.0%、「あまり十分だと思わない」が17.7%となっている。

父親との比較
①過ごす時間については、父親は、「1時間～3時間程度」が多いことを考慮すると、母親は、子どもと過ごす時間が長くなっている。②十分と思うのかの問いにたいして、父親が、「あまり十分だと思わない」、「不十分だと思う」などといった否定的な回答割合が多く、母親は「十分だと思う」などの肯定的な回答が多くなっており、父親の子どもと過ごす時間を充実させたいというニーズを読み取ることができる。

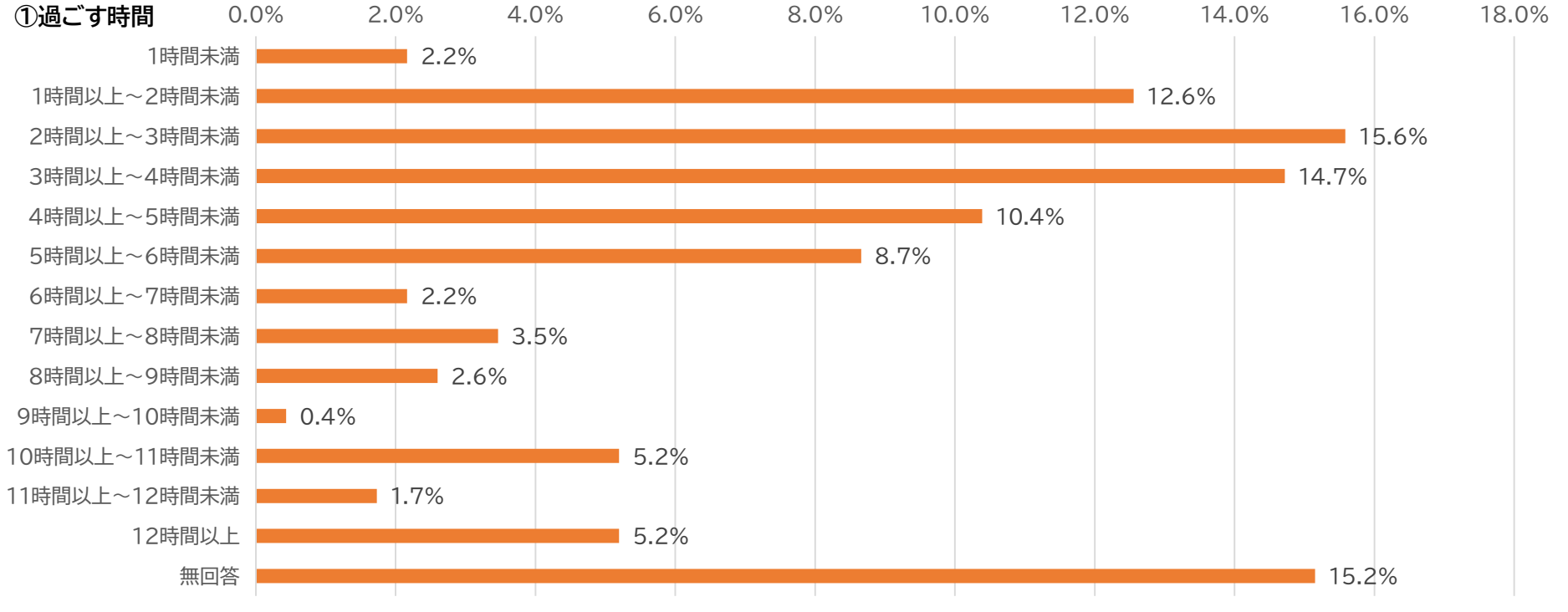
Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

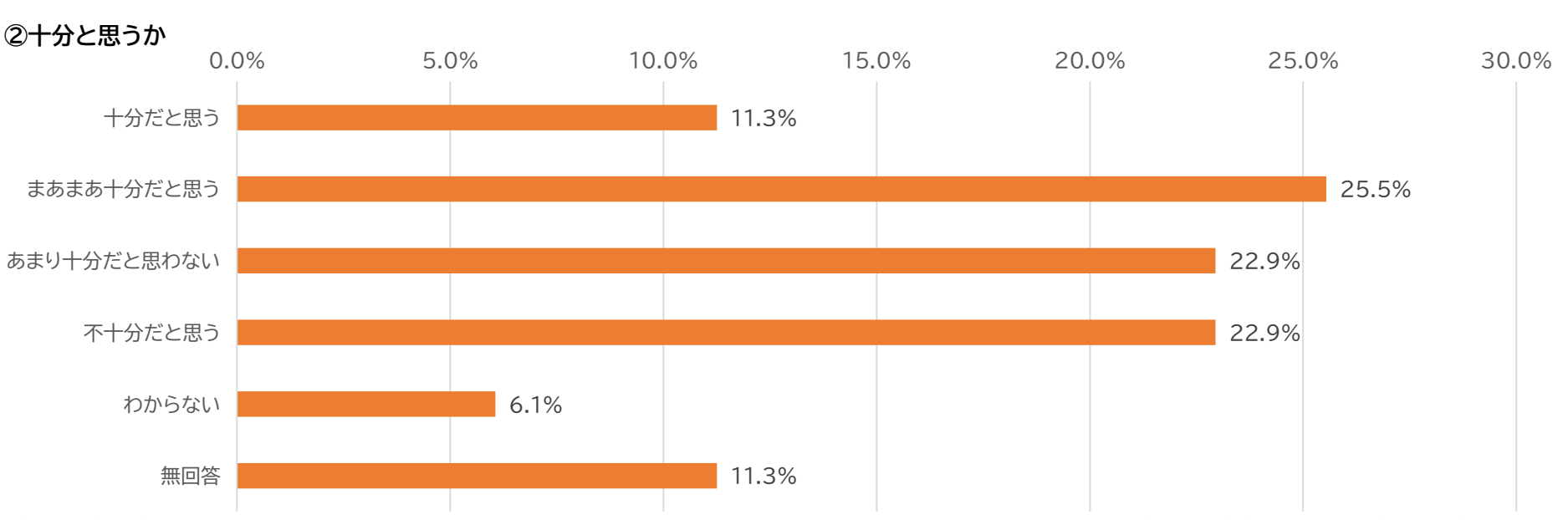
（3）仕事と子育ての両立について

問18　1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

N＝231

（2）父親





①過ごす時間について
「2時間以上～3時間未満」と回答した割合が15.6%と最も高く、次いで「3時間以上～4時間未満」が14.7%、「1時間以上～2時間未満」が12.6%となっている。

②十分と思うかについて
「まあまあ十分だと思う」と回答した割合が25.5%と最も高く、次いで「あまり十分だと思わない」、「不十分だと思う」がそれぞれ22.9%となっている。

母親との比較
①過ごす時間については、母親は、「5時間～7時間、12時間以上」が多いことを考慮すると、父親は、子どもと過ごす時間が短くなっている。②十分と思うのかの問いにたいして、母親は「十分だと思う」などの肯定的な回答が多く父親が、「あまり十分だと思わない」、「不十分だと思う」などといった否定的な回答割合が多く、母親の方が比較的現状に満足している状況である。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

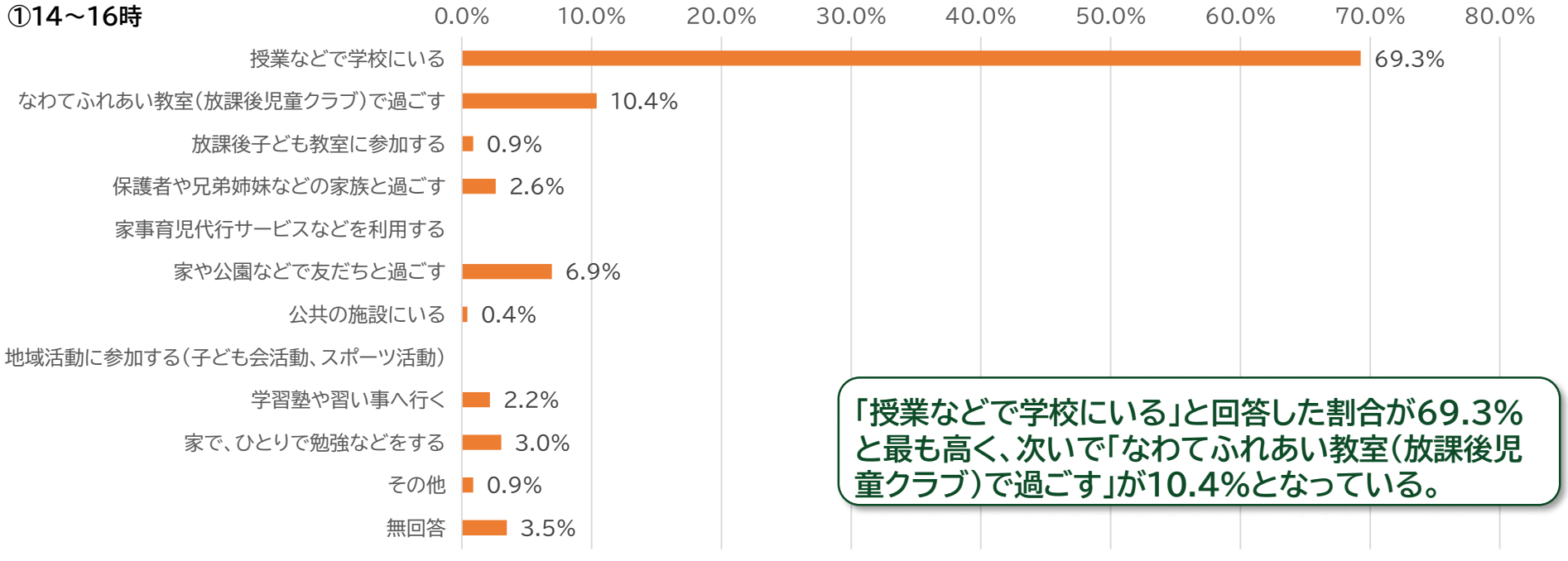
（4）お子さんの普段の過ごし方

問23　平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号を1つだけ選んで記入してください。

N＝231

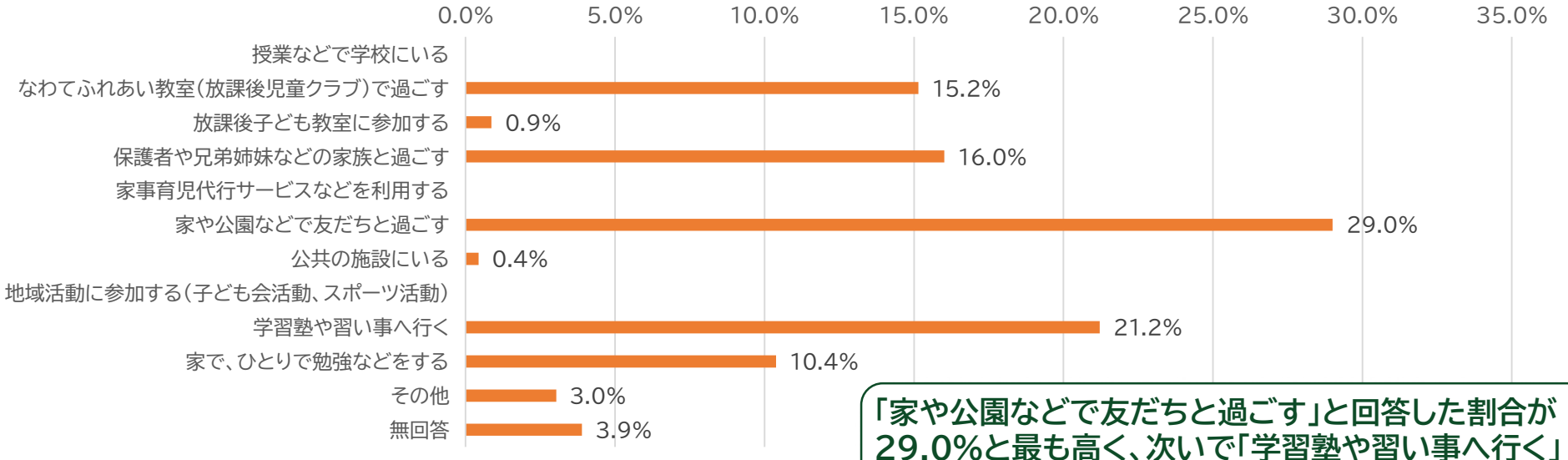
(1)平日

①14～16時



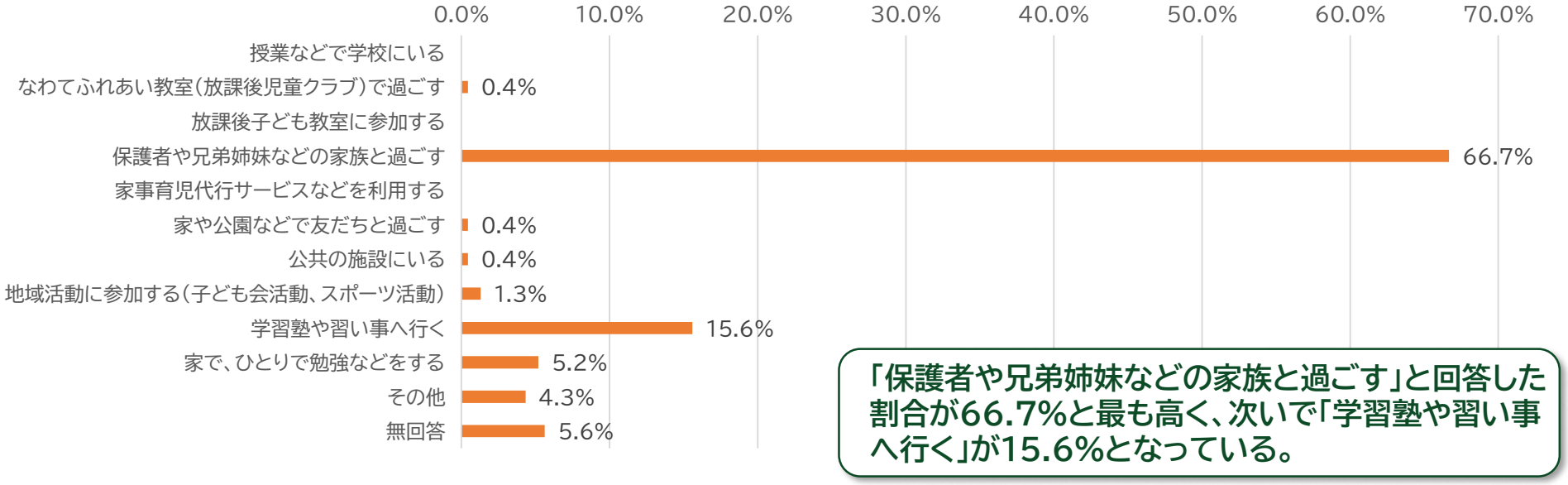
「授業などで学校にいる」と回答した割合が69.3%と最も高く、次いで「なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）で過ごす」が10.4%となっている。

②16～18時



「家や公園などで友だちと過ごす」と回答した割合が29.0%と最も高く、次いで「学習塾や習い事へ行く」が21.2%となっている。

③18～20時



「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」と回答した割合が66.7%と最も高く、次いで「学習塾や習い事へ行く」が15.6%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

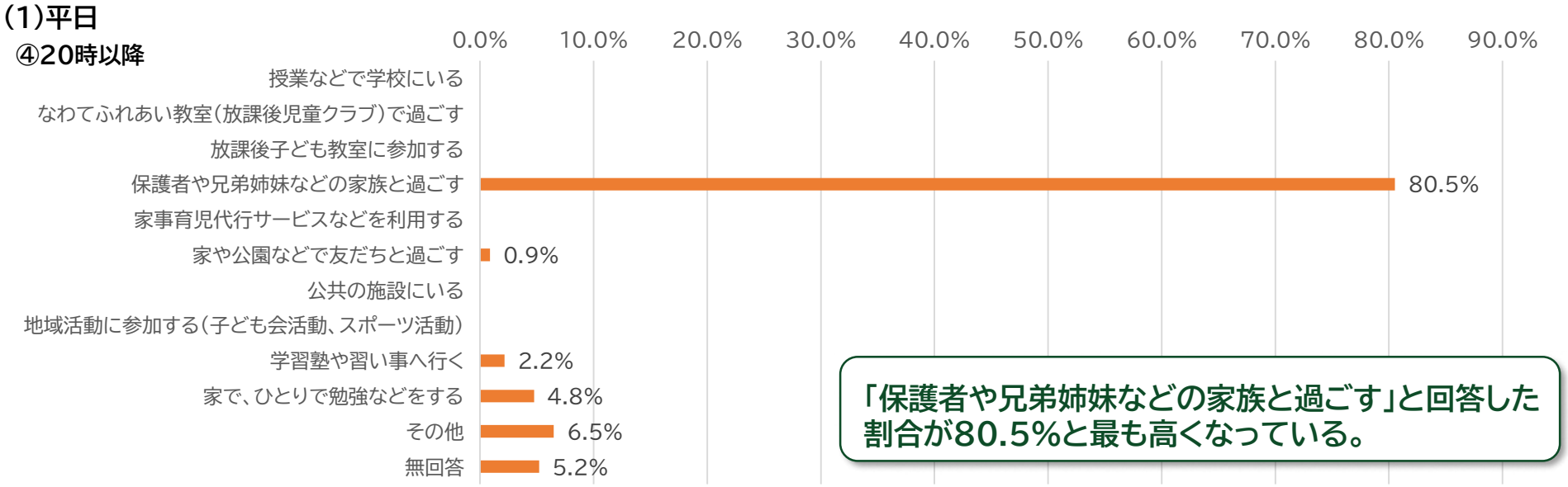
（4）お子さんの普段の過ごし方

問23　平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号を1つだけ選んで記入してください。

N＝231

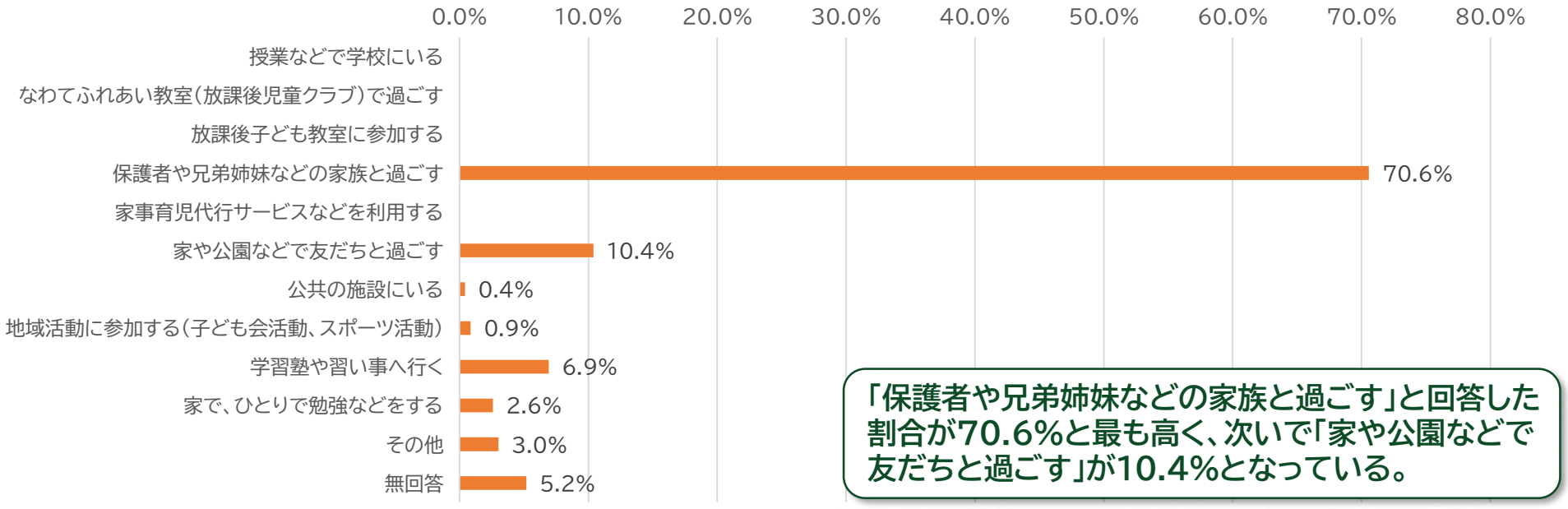
(1)平日

④20時以降



「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」と回答した割合が80.5%と最も高くなっている。

(2)休日

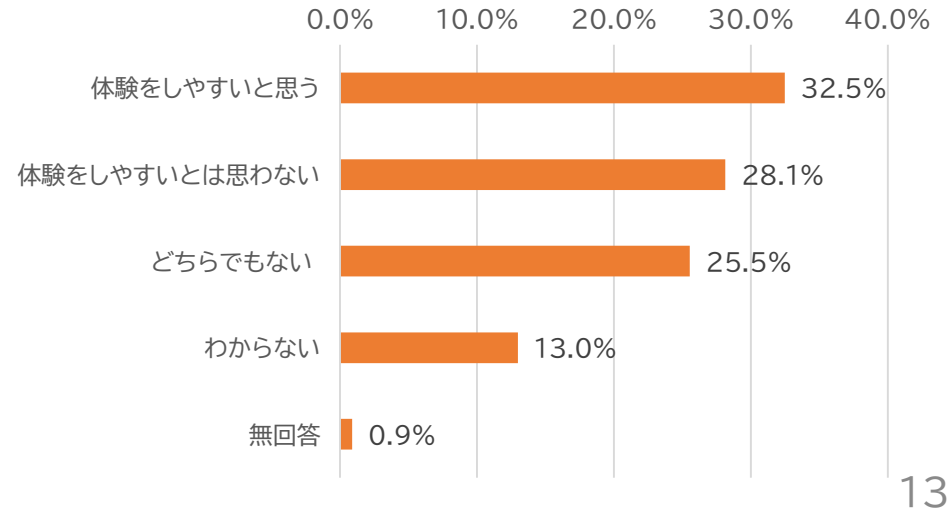


「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」と回答した割合が70.6%と最も高く、次いで「家や公園などで友だちと過ごす」が10.4%となっている。

（5）お子さんの地域での自然体験などへの参加など

問24　お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N＝231



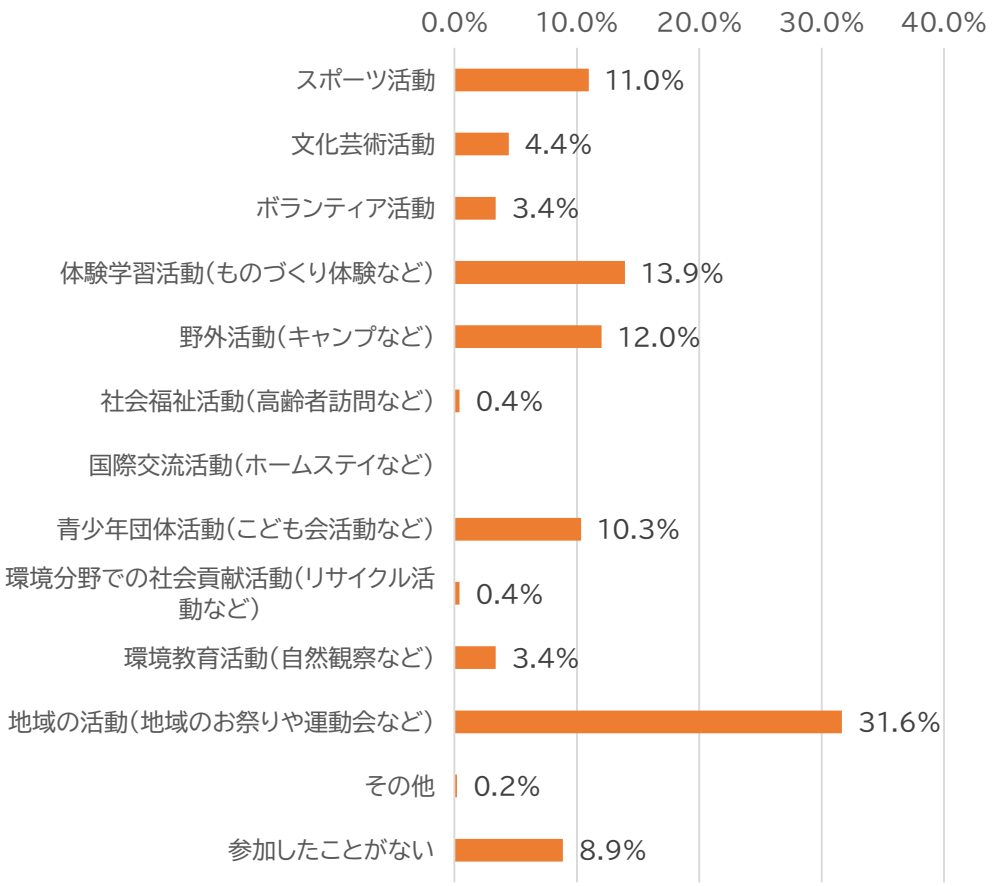
「体験をしやすいと思う」と回答した割合が32.5%と最も高く、次いで「体験をしやすいとは思わない」が28.1%、「どちらでもない」が25.5%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（5）お子さんの地域での自然体験などへの参加など

問25　参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

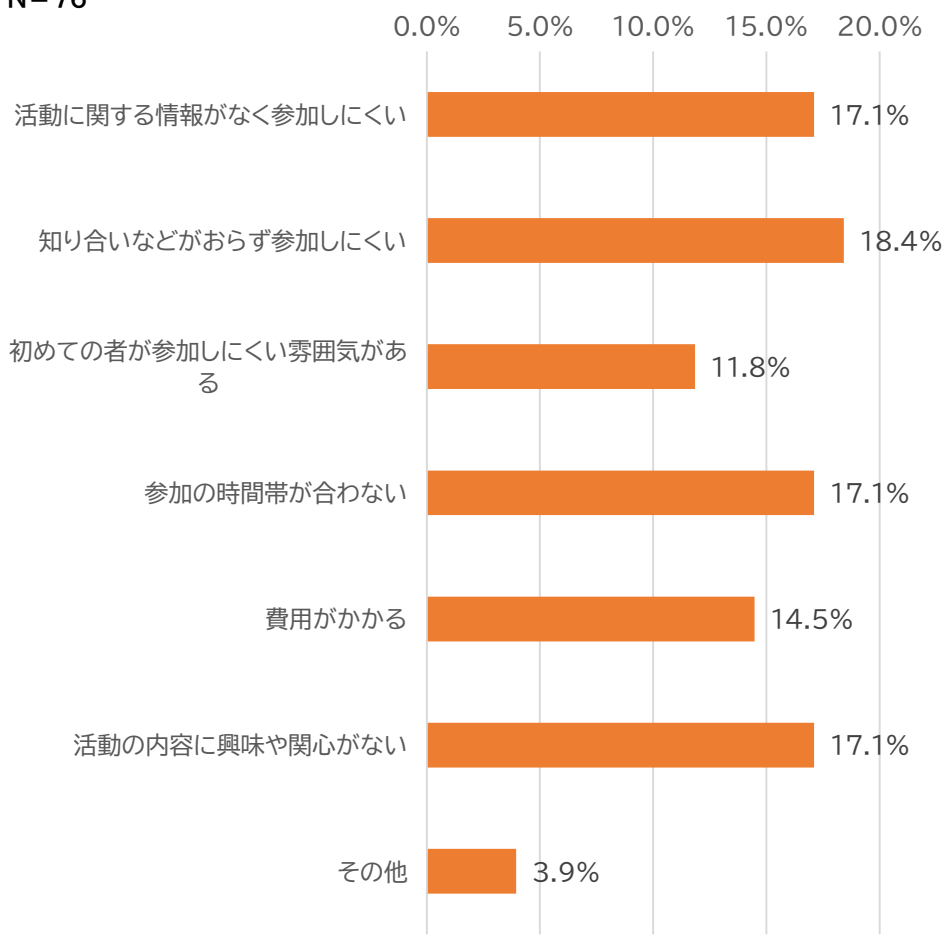
N＝474　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」と回答した割合が31.6%と最も高く、次いで「体験学習活動（ものづくり体験など）」が13.9%となっている。

問25－1　問25で「13. 参加したことがない」を選ばれた方におうかがいします。
お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N＝76　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



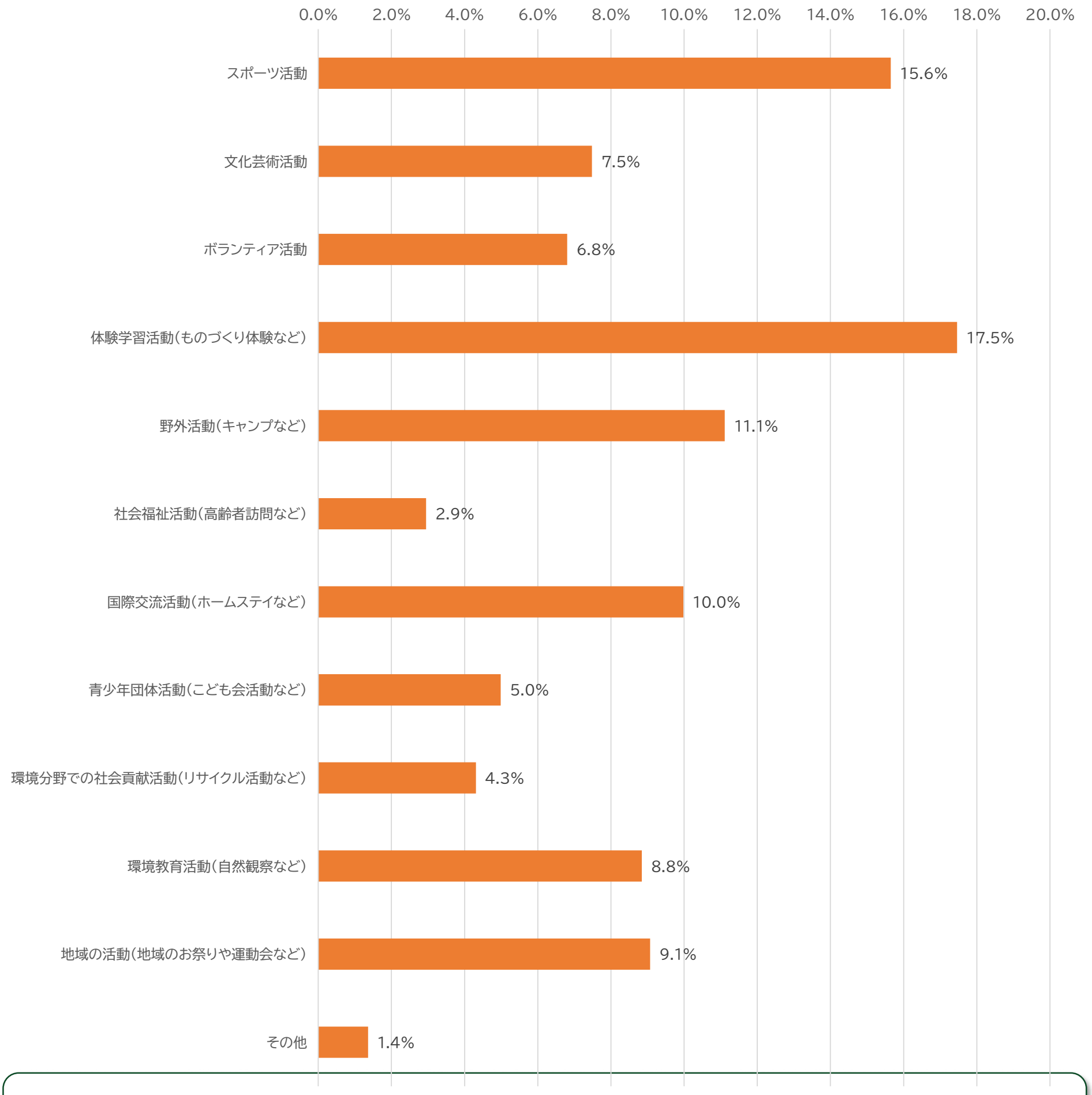
「知り合いなどがおらず参加しにくい」と回答した割合が18.4%と最も高く、次いで「活動に関する情報がなく参加しにくい」、「参加の時間帯が合わない」、「活動の内容に興味関心がない」がそれぞれ17.1%となっている。

Ⅱ　調査結果　３　就学児童の状況

（5）お子さんの地域での自然体験などへの参加など

問26　お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

N＝441　　※複数回答可能のため、有効回答数を総数としている。



「体験学習活動（ものづくり体験など）」と回答した割合が17.5%と最も高く、次いで「スポーツ活動」が15.6%、「野外活動（キャンプなど）」が11.1%となっている。

Ⅲ　調査結果のまとめ

Ⅲ　調査結果のまとめ

※前回調査：H30.12　今回調査：R5.12

(1)子育て家庭状況と定期的な教育・保育事業の利用

区分	項目	前回数値	今回の数値	前回との比較
就学前児童	子どもの希望人数 ※「2人・3人」回答割合	2人：46.8% 3人：36.0%	2人：47.4% 3人：33.9%	→
	子どもを見てもらえる人がいる割合 （肯定的な回答）	89.1%	85.4%	→
	母親の就労状況 ※「働いている」と回答した割合	60.1%	74.5%	↗
	幼稚園や保育所などの定期的な利用状況	71.2%	72.3%	↗
就学児童	現在の子どもの人数 ※「2人・3人」回答割合	2人：51.5% 3人：22.0%	2人：48.9% 3人：23.4%	→
	子どもを見てもらえる人がいる割合 （肯定的な回答）	85.9%	86.6%	↗
	母親の就労状況 ※「働いている」と回答した割合	75.0%	79.3%	↗
	なわてふれあい教室などの利用状況 「利用している」割合	16.2%	21.2%	↗

まとめ

○就学前児童：子どもを見てもらえる人がいる割合が減少しており、母親の就労状況が大きく増加している。
○就学児童：子どもを見てもらえる人がいる割合はわずかに増えているが、母親の就労状況は増加しており、ふれあい教室の利用状況にも表れている。

Ⅲ　調査結果のまとめ

（2） 育児休業など、仕事と子育ての両立について

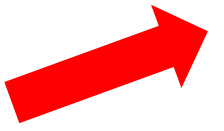
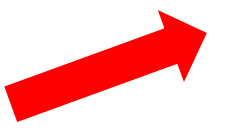
区分	項目	前回数値	今回の数値	前回との比較
就学前児童	育児休業の取得状況 ①母親 ②父親 ※取得していると回答した割合	①37.8% ②3.7%	①51.1% ②16.4%	↗
	父親が育児休業未取得の理由 ①仕事の多忙 ②育児休業が取りにくい雰囲気 ③経済的な理由による	①19.7% ②18.2% ③15.6%	①21.0% ②21.1% ③17.8%	↗
	家事を行う時間（母親） ①12時間以上 ②3時間～4時間 ③4時間～5時間	①32.3% ②14.6% ③11.3%	①3.3% ②23.2% ③15.7%	↘
	家事を行う時間（父親） ①1時間～2時間 ②2時間～3時間	①26.8% ②10.4%	①47.8% ②13.7%	↗
就学児童	子どもと過ごす時間（母親） ①6時間～7時間 ②5時間～6時間 ③4時間～5時間	①18.7% ②17.4% ③13.3%	①14.7% ②17.3% ③8.2%	↘
	子どもと過ごす時間（父親） ①2時間～3時間 ②3時間～4時間 ③1時間～2時間	①24.1% ②18.3% ③13.8%	①15.6% ②14.7% ③12.6%	↘
	家事を行う時間（母親） ①4時間～5時間 ②3時間～4時間 ③2時間～3時間	①22.4% ②21.6% ③15.8%	①17.3% ②27.3% ③14.3%	↘
	家事を行う時間（父親） ①1時間～2時間 ②2時間～3時間	①24.1% ②2.2%	①42.9% ②9.5%	↗

まとめ

●共通：母親・父親ともに育児休業の取得状況が改善され、父親の育児・家事への従事時間が増加している。
〇就学前児童：父親の取得状況の改善や家事への参加時間が長くなっている。
〇就学児童：子どもと過ごす時間について、父親・母親ともに短くなっていることから、就労している割合が増えていることによるものである可能性がうかがえる。また、家事を行う時間についても、父親の時間が1時間～2時間を回答する割合が増加している。

Ⅲ　調査結果のまとめ

（3）子どもが病気になったときの対応について

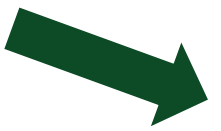
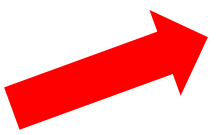
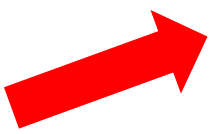
区分	項目	前回数値	今回の数値	前回との比較
就学前児童	子どもの病気やケガが原因で保育施設などのサービスを利用できなかったことがある割合	81.1%	90.6%	
	この1年間で子どもが病気で保育施設等を利用できなかった場合の対処方法 ①父親が仕事を休んだ ②母親が仕事を休んだ ③働いていない父親または母親が子どもをみた	①10.3% ②42.8% ③15.9%	①20.0% ②45.7% ③10.5%	
	病気の子どものための保育施設などを利用したい割合	37.3%	30.7%	
就学児童	子どもの病気やけがが原因とする小学校を休ませたことがある割合	68.5%	81.8%	
	この1年間で子どもが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法 ①父親が仕事を休んだ ②母親が仕事を休んだ ③働いていない父親または母親が子どもをみた	①6.8% ②45.0% ③17.3%	①13.5% ②47.5% ③11.6%	
	病気の子どものための保育施設などを利用したい割合	12.7%	10.8%	

まとめ

●共通：前回と比較して、病気で保育施設や小学校を休む割合が増えていることから、母親が仕事を休む傾向は高いが、父親が仕事を休んで対応する割合が増加している。また、働いていない父親または母親が子どもを見た割合が減少していることから、両親ともに就労している世帯が増えていることを読み取ることができる。
〇病気の子どものための保育施設などを利用したいと思う割合が前回と比較して、減少傾向である。

Ⅲ　調査結果のまとめ

（4） 地域の子育て支援サービスの利用状況について

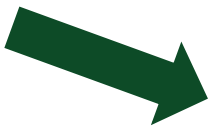
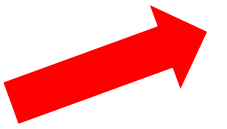
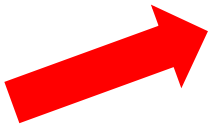
区分	項目	前回数値	今回の数値	前回との比較
就学前児童	つどいの広場や子育て総合支援センターの利用割合	24.2%	22.3%	
	つどいの広場や子育て総合支援センターの今後の利用意向 ※利用に肯定的な割合	31.4%	27.0%	
	利用したいサービス			
	常設の子育て親子の交流の場・遊び場の提供	32.4%	37.2%	
	子育てに関する相談・援助	19.6%	17.8%	
	地域の子育て関連情報の提供	13.8%	15.0%	

まとめ

〇つどいの広場や子育て総合支援センターの利用割合、今後の利用意向への肯定的な割合が減少している。
〇利用したいサービスは、常設の子育て親子の交流の場・遊び場の提供、地域の子育て関連情報の提供の回答割合が高くなっており、子育てに関する相談・援助は低くなっている。

Ⅲ　調査結果のまとめ

（5）市役所などへの要望について

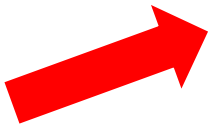
区分	項目	前回数値	今回の数値	前回との比較
就学前児童	親子が安心して集まれる公園など屋外の施設を整備すること	12.2%	11.8%	
	小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制整備	11.3%	11.5%	
	育児休業給付、児童手当などの子育て世帯への経済的支援	10.0%	11.8%	
	親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内施設の整備	8.1%	6.4%	
就学児童	親子が安心して集まれる公園など屋外の施設を整備すること	11.3%	13.3%	
	小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制整備	13.9%	14.3%	
	育児休業給付、児童手当などの子育て世帯への経済的支援	12.5%	13.0%	
	親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内施設の整備	6.0%	6.2%	

まとめ

●共通：医療提供体制整備、子育て世帯への経済的支援の充実については、就学前児童・就学児童ともに、回答割合が増加している。
○就学前児童：屋外・屋内施設の充実の回答割合が減少し、医療・経済的支援への回答割合が増加。
○就学児童：総じて、医療・経済的支援・子どもの遊び場確保に対する回答割合が増加。

Ⅲ　調査結果のまとめ

（6）子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全確保について

区分	項目	前回数値	今回の数値	前回との比較
就学前児童	子どもの遊び場への満足度（満足していると回答した割合）	9.9%	11.3%	
	遊び場へ感じること ①「雨の日に遊べる場所」がないこと ②遊具などの種類が充実していない ③公園などの遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない	①15.9% ②14.5% ③11.0%	①15.5% ②14.7% ③10.2%	
就学児童	子どもの遊び場への満足度（満足していると回答した割合）	9.1%	6.9%	
	遊び場へ感じること ①思い切り遊ぶために十分な広さがない ②「雨の日に遊べる場所」がないこと ③遊具などの種類が充実していない	①18.4% ②17.9% ③14.1%	①17.8% ②16.7% ③16.3%	
まとめ	●就学前児童においては、子どもの遊び場への満足度が高くなっている一方、就学児童においては、満足度が低くなっている。 〇就学前児童：前回からほぼ同じ状況である。 〇就学児童：遊具などの種類が充実していないと回答した割合が高く、遊具などの種類の充実が必要な状況である。			

Ⅲ　調査結果のまとめ

（7）子育てに対する意識について

区分	項目	前回数値	今回の数値	前回との比較
就学前児童	子育てを楽しめているかについての肯定的な割合	65.2%	67.7%	↗
	有効・必要な子育て支援策 ①子育てしやすい住居・まちの環境面 ②仕事と家庭生活の両立ができる労働環境 ③子どもの教育環境 ※子育てを楽しいと感じる方の割合	①16.8% ②12.2% ③12.1%	①16.5% ②14.0% ③13.6%	↗
	子育てに関する悩み ①子どもの教育に関すること ②食事や栄養に関すること ③病気や発育発達に関すること	①17.6% ②17.1% ③15.9%	①18.3% ②19.3% ③18.0%	↗
	子育てに関する悩み（ご自身） ①自分の時間が取れないこと ②子育てにかかる出費がかさむこと ③子育てによる身体の疲れが大きい ④ストレスで子どもへあたってしまう	①20.0% ②14.9% ③13.4% ④13.2%	①18.1% ②20.7% ③15.6% ④10.1%	↗
就学児童	子育てを楽しめているかについての肯定的な割合	61.8%	54.5%	↘
	有効・必要な子育て支援策 ①子どもを対象とした犯罪・事故の軽減 ②子どもの教育環境 ③子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 ※子育てを楽しいと感じる方の割合	①19.1% ②18.4% ③17.3%	①16.4% ②15.3% ③20.6%	↘
	子育てに関する悩み ①子どもの教育に関すること ②子どもの友達付き合いに関すること	①25.4% ②19.9%	①24.8% ②20.8%	↘
	子育てに関する悩み（ご自身） ①子育てにかかる出費がかさむこと ②自分の時間が取れないこと ③ストレスで子どもへあたってしまう	①19.6% ②15.0% ③13.5%	①25.6% ②15.7% ③15.0%	↗

総括

●就学前児童においては、子育てを楽しんでいると回答した割合が高くなっている一方、就学児童においては、子育てを楽しめている割合が低くなっている。
●就学前児童は教育に関することや食事、病気や発育発達に関する子ども自身に関する悩みが多いが、就学児童では子どもの友達付き合いに関することが多く、子どもの交友関係や社会性の広がりから保護者の悩みも変わっていくことがうかがえる。
●自身に関する悩みは共通して子育てに関する出費や自身の時間が取れない事の割合が高かった。

Ⅳ　資料編

第３期四條畷市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査
～就学前児童用調査票～

【 ご 協 力 の お 願 い 】

皆さまには、日頃より市政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

四條畷市では、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的に、子ども・子育て支援法に基づく「第２期四條畷市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、この計画に基づき、子ども・子育て支援などに関するさまざまな施策を実施しています。

この計画が令和６年度で終了するため、この計画を引き継ぐ第３期の計画策定に向けて現在取り組んでいます。

第３期の計画策定にあたって、市民の皆さまが必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や施策に対する意向を把握し、基礎資料とするため、ニーズ調査を実施します。

ご多用のところ恐れ入りますが、本市の施策向上のため、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和５年 12 月

四條畷市長　東　　修　平

・この調査は、市内在住の就学前児童の保護者の中から、無作為に 1,400 人抽出し、ご協力をお願いしています。無記名でご回答いただき、統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはございません。

・この調査は、Web または紙の調査票により実施します。**どちらかの方法で**ご回答いただき、重複して回答されないようお願いします。

・Web の場合は、右記の２次元コードからアンケートフォームへお進みいただき、ご回答ください。

・紙の調査票の場合は、ご記入後、**切手は貼らずに**同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。

【回答期限（Web・紙）：令和５年 12 月 22 日（金）】

【お問合せ先】
四條畷市　子ども未来部　子ども政策課
TEL　072−877−2121（代表）内線 682
田原地区からの TEL 0743(71)0330(代表)
ＦＡＸ　072−879−2596

調査内容について

この調査の調査内容は次のとおりです。

１．家庭の基本情報について（問１～問 13）
　家族構成や保護者の働いておられる状況など、家庭の基本情報についてお聞きします。ご家庭の状況により必要なサービスは異なってきますので、サービス提供のための前提となる調査です。

２．幼稚園や保育所、認定こども園など定期的に利用したい施設やサービスについて（問 14～問 27）
　幼稚園や保育所、認定こども園など定期的に利用したい施設やサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかをお聞きするものです。また、育児休業の取得状況などについてもあわせてお聞きします。ご回答いただいた内容は、保育所等の整備などに反映されます。

３．一時的な預かりやつどいの広場などの子育て支援サービスについて（問 28～問 35）
　一時的な預かりやつどいの広場など、子育てを支援するサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかなどをお聞きします。ご回答いただいた内容は、子育て支援サービスの充実などに反映されます。

４．子どもや子育て支援に関する意識などについて（問 36～問 44）
　子育てについての意識や子育て環境についてお聞きします。子育て支援サービスを展開していくにあたって前提となる保護者のみなさんの意識などについて把握します。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

１．ご家族の構成や保護者の働いている状況などについておうかがいします。

問１　お住まいの地域の小学校区名を記入してください。

（　　）小学校区
小学校区が分からない場合は、町名を記入してください。
（　　）

問２　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問３　封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「令和」か「西暦」に○をつけ、（　）内に数字を入れてください。

平成・令和・西暦（　　）年（　　）月生まれ

問４　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、一番下のお子さんの年齢（令和５年４月１日現在の年齢）を記入してください。

（　　）人　　一番下のお子さんの年齢（　　）歳

問５　希望として、子どもが何人ほしいですか。

（　　）人

問６　もう１人以上の子どもを持ちたいと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．持ちたいと思う　---▶**【問７へ】**　　２．持ちたいと思わない　---▶**【問６－１へ】**

問６－１　問６で「２．持ちたいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。
どのような環境が整えばもう１人以上の子どもを持ちたいと思いますか。もっともあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば持ちたい
２．収入が増えれば持ちたい
３．働くところが見つかれば持ちたい
４．子どもを教育してくれる施設が充実していれば持ちたい
５．家族の理解が進めば持ちたい
６．その他（　　）

問７　封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

１．父と母と一緒に住んでいる　　２．父と一緒に住んでいる（父子家庭）
３．母と一緒に住んでいる（母子家庭）　　４．祖父と一緒に住んでいる
５．祖母と一緒に住んでいる　　６．祖父が近所に住んでいる
７．祖母が近所に住んでいる　　８．その他（　　）

問８　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

１．父母ともに　　２．主に母親　　３．主に父親
４．主に祖父母　　５．その他（　　）

問９　日頃、封筒のあて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
２．緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
３．日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる
４．緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる
５．いずれもいない

問 10　あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．いる／ある ---►**【問 10-１へ】**	２．いない／ない ---►**【問 11 へ】**

問 10-１　問 10 で「１．いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。
気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．配偶者	２．ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族
３．友人や知人	４．近所の人
５．つどいの広場や子育て総合支援センターなどの子育て支援施設	
６．ＮＰＯ法人や市民活動団体などの子育て支援団体	
７．子どもの健診などを行ってくれる保健センター	
８．幼稚園の先生	９．保育所（小規模施設を含む）・認定こども園の先生
10．民生委員・児童委員、主任児童委員	11．かかりつけの医師
12．市役所の子ども政策課、子ども支援課、人権・市民相談課の窓口	
13．携帯電話やインターネットの交流サイト	
14．キンダーカウンセラー（子育て相談を行うため私立幼稚園に配置された臨床心理士等）	
15．スマイルサポーター（私立保育所における知事認定を受けた地域貢献支援員）	
16．その他（　　）	

---►**【問 11 へ】**

問 11　封筒のあて名のお子さんの保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「1.」～「6.」のいずれか１つに○）
また、働いている人は、１週間にどのくらいの日数、１日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。（数字で記入、時間については 24 時間制で記入）

（１）母親（父子家庭の場合は記入不要です）	（２）父親（母子家庭の場合は記入不要です）
1．フルタイム※で働いている １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）	1．フルタイムで働いている １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）
2．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中） １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）	2．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中） １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）
3．パート・アルバイト※などで働いている １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）	3．パート・アルバイトなどで働いている １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）
4．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中） １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）	4．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中） １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）
【問 12 へ】	**【問 12 へ】**
5．以前は働いていたが、今は働いていない 6．これまで働いたことがない	5．以前は働いていたが、今は働いていない 6．これまで働いたことがない
【問 13 へ】	**【問 13 へ】**

問 12　問 11 の（１）母親または（２）父親で「３.」または「４.」を選ばれた「パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）」におうかがいします。
フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ１つに○）

	（１）母親	（２）父親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
パート・アルバイトなどで働き続けることを希望	3	3
パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい	4	4

----► **【問 14 へ】**

※「フルタイム」：１週間に５日程度、１日に８時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」:「フルタイム」以外の就労

問 13　問 11 の（1）母親 または（2）父親で「5.」または「6.」を選ばれた「仕事をお持ちでない方」におうかがいします。
働きたいという希望はありますか。（それぞれ１つに○、（　）内に数字で記入）

（1）母親	（2）父親
1．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）　---►【問 14 へ】	1．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）　---►【問 14 へ】
2．１年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい 3．すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい　【問 13 - 1 へ】	2．１年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい 3．すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい　【問 13 - 1 へ】
→希望する働き方 ア．フルタイム イ．パート・アルバイトなど →１週当たり（　　）日 １日当たり（　　）時間	→希望する働き方 ア．フルタイム イ．パート・アルバイトなど →１週当たり（　　）日 １日当たり（　　）時間

問 13－１　問 13 の（1）母親 または（2）父親で「2.」または「3.」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。
働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．働かないと、暮らしていけなくなるため
2．将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3．仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4．人間関係を広げたいため
5．その他（　　）

2．封筒のあて名のお子さんが、平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについておうかがいします。

問 14　平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

1．利用している　---►【問 14-２へ】　　2．利用していない　---►【問 14-１へ】

問 14－１　問 14 で「2．利用していない」を選ばれた方におうかがいします。
幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
2．ご自身や配偶者の親、親せきがみている
3．近所の人や友人・知人がみている
4．利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない
5．利用したいが、経済的な理由で利用できない
6．利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
7．利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所、認定こども園などがない
8．子どもがまだ小さいため（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている
9．その他（　　）

---►【問 16 へ】

問 14－２　問 14 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。

封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【教育・保育】※市内に所在していない施設等も含んでいます。他市でご利用の場合は選んでください。
１．幼稚園（通常の就園時間利用）
２．幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）＋幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）
３．認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園）
４．認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所の両方の機能がある施設）
５．小規模保育施設（３歳未満の子どもを 19 人以下で預かる施設で、市役所が認可したもの）
６．家庭的保育事業（保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス）
７．事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
８．市役所が認証・認定した保育施設（認可外だが、市役所が定める基準を満たした施設）
９．その他の認可外の保育施設（企業主導型保育施設含む）
10．居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス）
【子育て支援】
11．つどいの広場など子育ての仲間が集まる場
12．ファミリー・サポート・センター（子育てのサポートを希望する人とできる人がそれぞれ会員となり、地域で子育てを助け合う有償ボランティア活動を支援するサービス）
【その他】
13．その他（　　）

問 14－３　問 14 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。

現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、１週間に何日利用し、また、１日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように 24 時間制で記入してください。

（１）現在

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間　（　　：　　）～（　　：　　）

（２）希望

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間　（　　：　　）～（　　：　　）

問 14－４　問 14 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。

現在、利用している施設などはどこにありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。「２.」を選択された方は、その市町村名についても（　）内に記入してください。

１．住んでいる四條畷市内（自宅を訪問するサービスも含む）
２．他の市町村（　　）

問 14－５　問 14 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。

幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している理由について、もっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの教育や発達のため
２．保護者が働いている
３．保護者が働く予定である、または、仕事を探している
４．保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
５．保護者に病気や障がいがある
６．保護者が学生である
７．その他（　　）

3．封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。（平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ）

問 15　平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していると答えた保護者の方（問 14 で「１．利用している」に○をつけた方）に、封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。

１．あった ---▶ **【問 15-１へ】**　　２．なかった ---▶ **【問 16 へ】**

問 15－１　問 15 で「１．あった」を選ばれた方におうかがいします。
この１年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

対処方法	日数（年間）
１．父親が仕事を休んだ	（　　）日／年間
２．母親が仕事を休んだ	（　　）日／年間
３．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	（　　）日／年間
４．働いていない父親か母親が子どもをみた	（　　）日／年間
５．保育所や病院などに併設する病気の子どものための保育施設を利用した	（　　）日／年間
６．ベビーシッターを利用した	（　　）日／年間
７．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日／年間
８．その他（　　）	（　　）日／年間

▶ **【問 16 へ】**

▶ 問 15－２　問 15－１で「１.」「２.」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。
そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

１．できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい→（　　）日 ---▶ **【問 15-３へ】**
２．利用したいと思わない ---▶ **【問 15-４へ】**

問 15－３　問 15－２で「１．できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」を選ばれた方におうかがいします。利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス
２．小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス
３．民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス
４．その他（　　）

---▶ **【問 16 へ】**

問 15－４　問 15－２で「２．利用したいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。
その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である
２．病気の子どもは家族がみるべきである
３．サービスの質に不安がある
４．施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
５．利用料がかかる、高い
６．利用料がわからない
７．父母が仕事を休んで対応できるため
８．その他（　　）
９．特に理由はない

４．平日（月曜日から金曜日）に、封筒のあて名のお子さんに定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについておうかがいします。

問 16　幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するためには、一定の利用料が発生します。

【教育・保育】※市内に所在していない施設等も含んでいます。希望でご回答ください。
１．幼稚園（通常の就園時間利用）
２．幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）＋幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）
３．認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園）
４．認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所の両方の機能がある施設）
５．小規模保育施設（３歳未満の子どもを 19 人以下で預かる施設で、市役所が認可したもの）
６．家庭的保育事業（保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス）
７．事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
８．市役所が認証・認定した保育施設（認可外だが、市役所が定める基準を満たした施設）
９．その他の認可外の保育施設（企業主導型保育施設含む）
10．居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス）
【子育て支援】
11．つどいの広場など子育ての仲間が集まる場
12．ファミリー・サポート・センター（子育てのサポートを希望する人とできる人がそれぞれ会員となり、地域で子育てを助け合う有償ボランティア活動を支援するサービス）
【その他】
13．その他（　　）
14．特になし

問 16-１　問 16 で「１．幼稚園（通常の就園時間利用）」又は「２．幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）＋幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）」に○をつけ、かつ、3～14 にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。

１．はい　　２．いいえ

問 17　国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）（※）」が創設された場合、週に何日ぐらい利用したいと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。また、「利用したい」の場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず、（9：00～18：00）のように 24 時間制で記入してください。
なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

１．利用したい　週（　　）日　　１回あたり（　　）時間　　時間帯（　　：　　）～（　　：　　）
２．利用したいと思わない
３．対象に該当しない（保育所、認定こども園等の在園児）

※「こども誰でも通園制度（仮称）」
普段、保育所や幼稚園等を利用していない未就学児（０歳６か月～２歳児）を、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、保育所等で定期的に預かることで、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度が検討されています。

５．封筒のあて名のお子さんについて、幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望についておうかがいします。

問 18　封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように 24 時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

	（１）土曜日		（２）日曜日・祝日	
利用する必要はない	１		１	
ほぼ毎週利用したい	２	利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）	２	利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）
月に１～２回は利用したい	３		３	

問 18－１　問 18 の（1）または（2）で、「月に 1～2 回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．月に数回仕事が入るため
２．平日にすませられない用事をまとめてすませるため
３．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
４．息抜きのため
５．その他（　　）

【封筒のあて名のお子さんが、幼稚園を利用している方は問 19 へ、利用していない方は問 20 へ】

問 19　封筒のあて名のお子さんが「幼稚園、認定こども園（幼稚園部分）」を利用されている方におうかがいします。夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園、認定こども園の利用を希望しますか。希望がある場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように 24 時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するためには、一定の利用料が発生します。

１．利用する必要はない	
２．休みの期間中、ほぼ毎日使いたい	利用したい時間帯
３．休みの期間中、週に数日利用したい	（　　：　　）～（　　：　　）

問 19－1　問 19 で「3．休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．週に数回仕事が入るため
2．買い物などの用事をまとめてすませるため
3．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4．息抜きのため
5．その他（　　）

6．育児休業など、仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問 20　封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父親について、「2.」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について（　）内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

（1）母親（いずれかに○）	（2）父親（いずれかに○）
1．働いていなかった	1．働いていなかった
2．育児休業を取った、あるいは、今取っている	2．育児休業を取った、あるいは、今取っている→（　）日
3．育児休業を取らずに働いた	3．育児休業を取らずに働いた
取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	**取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）
4．育児休業を取らずに離職した	4．育児休業を取らずに離職した
取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	**取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．出産後すぐに仕事に復帰したかった
4．仕事に戻るのが難しそうだった
5．昇給・昇格などが遅れそうだった
6．収入減となり、経済的に苦しくなる
7．保育所などに預けることができた
8．配偶者が育児休業制度を利用した
9．配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため
11．職場に育児休業の制度がなかった
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取れることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らなかった
15．その他（　　）

【（1）、（2）とも、または、どちらかで「2.」を選ばれた方は問 20－1へ、それ以外を選ばれた方は問 21 へ】

問 20－１　問 20 の（１）、（２）とも、または、どちらかで「２.」を選ばれた「育児休業を取られた方」におうかがいします。
育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。（それぞれ１つに○、（　）内に数字で記入）

（１）母親	（２）父親
１．育児休業を取ったあと、職場に復帰した →育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのことになりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。（（　）内に数字で記入、あてはまる番号１つに○） 実際の取得期間　（　　）歳　（　　）ヶ月 希望の取得期間　（　　）歳　（　　）ヶ月 → １．満１歳まで ２．出生後最初の４月の保育所等一斉入所時 ３．出生後２度目の４月の保育所等一斉入所時 ４．その他（　　） →職場に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（数字で記入） （　　）歳　（　　）ヶ月まで ２．現在も育児休業中である ３．育児休業中に仕事をやめた	１．育児休業を取ったあと、職場に復帰した →育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのことになりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。（（　）内に数字で記入、あてはまる番号１つに○） 実際の取得期間　（　　）歳　（　　）ヶ月 希望の取得期間　（　　）歳　（　　）ヶ月 → １．満１歳まで ２．出生後最初の４月の保育所等一斉入所時 ３．出生後２度目の４月の保育所等一斉入所時 ４．その他（　　） →職場に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（数字で記入） （　　）歳　（　　）ヶ月まで ２．現在も育児休業中である ３．育児休業中に仕事をやめた

問 21　１日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。１週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を１つだけ記入してください。

（１）母親

ア．平日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間／日
　　番号を選択（　　）
イ．休日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間／日
　　番号を選択（　　）

（２）父親

ア．平日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間／日
　　番号を選択（　　）
イ．休日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間／日
　　番号を選択（　　）

１．十分だと思う	２．まあまあ十分だと思う	
３．あまり十分だと思わない	４．不十分だと思う	５．わからない

問 22　１日当たり、家事を何時間くらいしますか。１週間の平均的な時間を記入してください。

（１）母親

（　　）時間／日

（２）母親

（　　）時間／日

問 23　仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．残業や出張が入ること
2．子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと
3．配偶者の協力が得られないこと
4．ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
5．職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など）
6．職場の理解や協力が得られないこと
7．子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと
8．子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと
9．子どもと接する時間が少ないこと
10．その他（　　）

【封筒のあて名のお子さんが、５歳未満の方は問 28 へ、５歳以上の方は問 24 へ】

7．封筒のあて名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

問 24　小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する１週間の利用日数について、（　）内に具体的な数字を入れてください。「なわてふれあい教室※（放課後児童クラブ）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。

1．自宅	週（　　）日くらい	
2．ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	週（　　）日くらい	
3．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）	週（　　）日くらい	
	→ 下校時から（　　：　　）まで	
4．放課後子ども教室※	週（　　）日くらい	
5．習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい	
6．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい	
7．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい	

※「なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）」：保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

※「放課後子ども教室」：地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。すべての小学生が利用できます。

問 25　小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する１週間の利用日数について、（　）内に具体的な数字を入れてください。「なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。

＊先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1．自宅	週（　　）日くらい	
2．ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	週（　　）日くらい	
3．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）	週（　　）日くらい	
	→ 下校時から（　　：　　）まで	
4．放課後子ども教室	週（　　）日くらい	
5．習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい	
6．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい	
7．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい	

【問 24 または本問で「３.」を選ばれた方は問 26 へ、それ以外の方は問 28 へ】

問 26　問 24 または問 25 で「３．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）」を選ばれた方におうかがいします。

土曜日、日曜日・祝日に、なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に（9:00～18:00）のように 24 時間制で記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

（１）土曜日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい ３．利用する必要はない	利用したい時間帯 （　　：　　）～（　　：　　）

（２）日曜日・祝日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい ３．利用する必要はない	利用したい時間帯 （　　：　　）～（　　：　　）

問 27　問 24 または問 25 で「３．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）」を選ばれた方におうかがいします。

お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に（9:00～18:00）のように 24 時間制で記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい ３．利用する必要はない	利用したい時間帯 （　　：　　）～（　　：　　）

８．封筒のあて名のお子さんの幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についておうかがいします。

問 28　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。（幼稚園や保育園、認定こども園などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。

対処方法	日数（年間）
１．一時預かり （私用などの理由で、私立保育園などで一時的に子どもを保育するサービス）	（　　）日／年間
２．幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育 （幼稚園に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合）	（　　）日／年間
３．ファミリー・サポート・センター （子育てのサポートを希望する人とできる人がそれぞれ会員となり、地域で子育てを助け合う有償ボランティアを支援するサービス）	（　　）日／年間
４．夜間看護事業：トワイライトステイ （仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）	（　　）日／年間
５．ベビーシッター	（　　）日／年間
６．その他（　　）	（　　）日／年間
７．利用していない	

問 28－１　問 28 で「７．利用していない」を選ばれた方におうかがいします。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．特に利用する必要がない
２．利用したいサービスが近くにない
３．サービスの質に不安がある
４．施設のある場所や利用ができる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
５．利用料がかかる、高い
６．利用料がわからない
７．ご自身がサービスの対象になるかどうかがわからない
８．手続きなどサービスの利用方法がわからない
９．その他（　　）

問 29　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、１年間に何日くらい私立保育園などで実施されている一時預かりを利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的ごとに（　）内に日数を記入し、合計の（　）内についても記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料や事前の面接が必要な場合があります。

１．利用したい		合計（　　）日／年間
【問 29-1 へ】	ア．買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	（　　）日／年間
	イ．冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	（　　）日／年間
	ウ．不定期な仕事	（　　）日／年間
	エ．その他（　　）	（　　）日／年間
２．利用する必要はない　---► 【問 30 へ】		

問 29－１　問 29 で「１．利用したい」を選ばれた方におうかがいします。
問 29 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

１．幼稚園・保育所・認定こども園などの施設で子どもをみてくれるサービス
２．つどいの広場などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス
３．ファミリー・サポート・センターに登録している市内の会員などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス
４．民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス
５．その他（　　）

問 30　封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
　短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）。
　なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

対処方法		泊数（年間）
１．利用したい		合計（　　）泊／年間
	ア．冠婚葬祭	（　　）泊／年間
	イ．保護者や家族の育児疲れ・不安	（　　）泊／年間
	ウ．保護者や家族の病気	（　　）泊／年間
	エ．その他（　　）	（　　）泊／年間
２．利用する必要はない		

９．封筒のあて名のお子さんの地域の子育て支援サービスの利用状況についておうかがいします。

問 31　つどいの広場※についておうかがいします。現在、つどいの広場を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、（　）内に具体的な数字を入れてください。

１．つどいの広場　　１週間あたり（　　）回　または　１ヶ月あたり（　　）回程度
２．その他市が実施している類似の事業　（具体名：　　）
　　１週間あたり（　　）回　または　１ヶ月あたり（　　）回程度
３．利用していない

※つどいの広場：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です。

問 32　つどいの広場について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、希望がある方は（　）内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

１．利用していないが、今後利用したい
　１週間あたり（　　）回　または　１ヶ月あたり（　　）回程度
２．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
　１週間あたり、さらに（　　）回
　または　１ヶ月あたり、さらに（　　）回程度
　→【問 32－１へ】
３．新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない→【問 33 へ】

問 32－１　問 32 で「１.」、「２.」を選ばれた、つどいの広場を利用したい方やすでに利用している方におうかがいします。つどいの広場を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスに３つまで○をつけてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

１．常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供
２．子育てに関する相談・援助
３．地域の子育て関連情報の提供
４．子育てに関する講習
５．地域に出向いての交流の場の提供（出張ひろば）
６．保育所や幼稚園などの入所・利用に関する相談
７．さまざまな世代との交流の場の提供
８．家庭への訪問支援
９．その他（　　）

問 33　子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	知っている		利用したことがある		今後利用したい	
①母子手帳アプリ「なわてっこナビ」	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
②保健センターの各種教室（ママ・パパ教室など）	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
③保健センターの相談サービス（子育てトークルームなど）	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
④保育所・認定こども園等の園庭開放など	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
⑤なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
⑥赤ちゃんの駅	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ

	知っている		利用したことがある		今後利用したい	
⑦なわて子育て応援ブック	1．はい	2.いいえ	1．はい	2.いいえ	1．はい	2．いいえ
⑧子育て総合支援センターの情報・相談サービス	1．はい	2.いいえ	1．はい	2.いいえ	1．はい	2．いいえ
⑨つどいの広場	1．はい	2.いいえ	1．はい	2.いいえ	1．はい	2．いいえ
⑩なわてファミリー・サポート・センター	1．はい	2.いいえ	1．はい	2.いいえ	1．はい	2．いいえ
⑪子育てぽけっと（おもちゃ等の貸出し）	1．はい	2.いいえ	1．はい	2.いいえ	1．はい	2．いいえ
⑫地域の子育てサロン	1．はい	2.いいえ	1．はい	2.いいえ	1．はい	2．いいえ

１０．市役所などへの要望についておうかがいします。

問 34　四條畷市における子育て環境や子育て支援への満足度についてあてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

満足度が低い		⇔		満足度が高い
1	2	3	4	5

問 35　市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2．親子が安心して集まれる保育所や認定こども園などの運動場の開放を増やす
3．親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を増やす
4．子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5．子育てに困ったときの相談体制を充実する
6．子育て支援に関する情報提供を充実する
7．子育て中の親の仲間づくりなど親子教室やイベントを充実する
8．子育てサークル活動への支援を充実する
9．保育所やなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）など子どもを預ける施設を増やす
10．幼稚園・認定こども園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11．専業主婦など誰でも気軽に利用できる子育て支援団体などによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12．小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
13．子どもの安全を確保する対策を充実する
14．子育てについての知識や技術について学べる講座などを充実する
15．育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充
16．公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17．その他（　　）
18．特になし

１１．封筒のあて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

問 36　お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

（１）朝ごはんを食べますか。

1．毎日食べる	2．食べる日のほうが多い
3．食べない日のほうが多い	4．ほとんど食べない

（２）１日１回は家族と一緒に食事をしますか。

１．する	２．しない

（３）平日のテレビ・ゲーム（スマホ使用や DVD 等も含む）の１日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

１．30 分以内	２．１時間以内
３．１時間 30 分以内	４．２時間以内
５．２時間以上	

（４）起床時刻は何時ですか。

１．６時より前	２．６時～６時半前
３．６時半～７時前	４．７時～７時半前
５．７時半～８時前	６．８時以降

（５）就寝時刻は何時ですか。

１．20 時半より前	２．20 時半～21 時前
３．21 時～21 時半前	４．21 時半～22 時前
５．22 時～23 時前	６．23 時以降

（６）読み聞かせをしていますか。

１．毎日している	２．時々している	３．していない

１２．子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問 37　封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配
２．歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている
３．交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
４．トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
５．授乳する場所や必要な設備がない
６．小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない
７．買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない
８．緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとうるおいがない
９．周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る
10．荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない
11．その他（　　）
12．特にない

問 38　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．満足している	２．満足していない
３．どちらとも思わない	４．わからない

問 39　お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．近くに遊び場がない	2．雨の日に遊べる場所がない
3．思い切り遊ぶために十分な広さがない	4．遊具などの種類が充実していない
5．不衛生である	6．いつも閑散としていて寂しい感じがする
7．遊具などの設備が古くて危険である	8．緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9．遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない	
10．公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない	
11．遊び場周辺の道路が危険である	
12．遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない	
13．その他（　　）	
14．特に感じることはない	

13．子育てに対する意識についておうかがいします。

問 40　近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

1．いる	2．いない

問 41　ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

1．楽しいと感じることの方が多い ----------→ 【問 41-１へ】
2．楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3．つらいと感じることの方が多い
　　}【問 41-２へ】
4．わからない
　　}【問 42 へ】
5．その他（　　）

問 41－１　問 41 で「１.」を選ばれた、子育てを楽しいと感じる方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

1．地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
2．保育サービスの充実
3．子育て支援のネットワークづくり
4．地域における子どもの活動拠点の充実
5．訪問型の支援サービスの充実
6．健やかな妊娠・出産に対する支援
7．子どもの教育環境
8．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9．仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11．援護を要する子どもに対する支援（障がいや精神疾患、児童虐待など）
12．その他（　　）

---→【問 42 へ】

問 41－２　問 41 で「２.」「３.」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援･対策は何ですか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

１．地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
２．保育サービスの充実
３．子育て支援のネットワークづくり
４．地域における子どもの活動拠点の充実
５．訪問型の支援サービスの充実
６．健やかな妊娠・出産に対する支援
７．子どもの教育環境
８．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
９．仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11．援護を要する子どもに対する支援（障がいや精神疾患、児童虐待など）
12．その他（　　）

問 42　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

（１）子どもに関すること

１．病気や発育発達に関すること
２．食事や栄養に関すること
３．子どもとの接し方に自信が持てないこと
４．子どもと過ごす時間が十分取れないこと
５．子どもの教育に関すること
６．子どもの友だちづきあいに関すること
７．子どもの登所・登園拒否や不登校など
８．その他（　　）
９．特にない

（２）ご自身に関すること

１．子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
２．配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
３．子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
４．ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
５．子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
６．仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
７．配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
８．子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
９．子育てによる身体の疲れが大きいこと
10．子育てにかかる出費がかさむこと
11．住居がせまいこと
12．その他（　　）
13．特にない

問 43　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。（　）内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

１．感じる　　番号を選択（　　）
２．感じない　　番号を選択（　　）

１．近所の人
２．同じ世代の子どもを持つ保護者
３．民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人
４．地域活動を行っている子育て支援団体などの人
５．幼稚園、保育所、認定こども園、つどいの広場などの職員
６．市役所の職員
７．その他（　　）

14. 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんが３人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方におうかがいします。

問 44　どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われますか。もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。

１．育児用品（紙オムツ、２人乗せベビーカーなど）への経済的支援
２．外出時のタクシー利用への支援
３．家事・育児等への訪問サービス支援
４．同じ境遇にある母親や父親との交流
５．多子・多胎育児経験者による相談支援
６．幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
７．理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
８．電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
９．その他（　　）

問 44－１　２番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。

１．育児用品（紙オムツ、２人乗せベビーカーなど）への経済的支援
２．外出時のタクシー利用への支援
３．家事・育児等への訪問サービス支援
４．同じ境遇にある母親や父親との交流
５．多子・多胎育児経験者による相談支援
６．幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
７．理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
８．電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
９．その他（

15. その他についておうかがいします。

問 45　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
調査票を三ツ折のうえ、同封の返信用封筒に入れ、切手は貼らずにご投函ください。

第３期四條畷市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査
～就学児童用調査票～

【 ご 協 力 の お 願 い 】

皆さまには、日頃より市政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

四條畷市では、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的に、子ども・子育て支援法に基づく「第２期四條畷市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、この計画に基づき、子ども・子育て支援などに関するさまざまな施策を実施しています。

この計画が令和６年度で終了するため、この計画を引き継ぐ第３期の計画策定に向けて現在取り組んでいます。

第３期の計画策定にあたって、市民の皆さまが必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や施策に対する意向を把握し、基礎資料とするため、ニーズ調査を実施します。

ご多用のところ恐れ入りますが、本市の施策向上のため、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和５年12月

四條畷市長　東　　修　平

・この調査は、市内在住の就学児童の保護者の中から、無作為に 600 人抽出し、ご協力をお願いしています。無記名でご回答いただき、統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはございません。

・この調査は、Web または紙の調査票により実施します。**どちらかの方法で**ご回答いただき、重複して回答されないようお願いします。

・Web の場合は、右記の２次元コードからアンケートフォームへお進みいただき、ご回答ください。

・紙の調査票の場合は、ご記入後、**切手は貼らずに**同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。

【回答期限（Web・紙）：令和５年 12 月 22 日（金）】

【お問合せ先】
四條畷市　子ども未来部　子ども政策課
TEL　072－877－2121（代表）内線 682
田原地区からの TEL 0743(71)0330(代表)
ＦAX　072－879－2596

調査内容について

この調査の調査内容は次のとおりです。

１．家庭の基本情報について（問１～問１１）
　家族構成や保護者の働いておられる状況など、家庭の基本情報についてお聞きします。ご家庭の状況により必要なサービスは異なってきますので、サービス提供のための前提となる調査です。

２．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）などの子育て支援サービスについて（問１２～問２１）
　なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）など、子育てを支援するサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかなどをお聞きします。また、仕事と子育ての両立についてもあわせてお聞きします。ご回答いただいた内容は、子育て支援サービスの充実などに反映されます。

３．子どもや子育て支援に関する意識などについて（問２２～問３３）
　子育てについての意識や子育て環境についてお聞きします。子育て支援サービスを展開していくにあたって前提となる保護者のみなさんの意識などについて把握します。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

１．ご家族の構成や保護者の働いている状況などについておうかがいします。

問１　お住まいの地域の小学校区名を記入してください。

（　　）小学校区

小学校区が分からない場合は、町名を記入してください。

（　　）

問２　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問３　封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、（　）内に数字を入れてください。

平成・西暦（　　）年（　　）月生まれ

問４　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、一番下のお子さんの年齢（令和５年４月１日現在の年齢）を記入してください。

（　　）人　　一番下のお子さんの年齢（　　）歳

問５　封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

１．父と母と一緒に住んでいる　　２．父と一緒に住んでいる（父子家庭）
３．母と一緒に住んでいる（母子家庭）　　４．祖父と一緒に住んでいる
５．祖母と一緒に住んでいる　　６．祖父が近所に住んでいる
７．祖母が近所に住んでいる　　８．その他（　　）

問６　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

１．父母ともに　　２．主に母親　　３．主に父親
４．主に祖父母　　５．その他（　　）

問７　日頃、お子さんをみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
２．緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
３．日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる
４．緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる
５．いずれもいない

問８　あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．いる／ある ---►**【問８－１へ】**　　２．いない／ない ---►**【問９へ】**

問８－１　問８で「１．いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．配偶者	２．ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族
３．友人や知人	４．近所の人
５．小学校の先生	６．なわてふれあい教室※（放課後児童クラブ）の指導員
７．子育て支援施設や子育て支援団体	
８．ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの習い事の先生	
９．民生委員・児童委員、主任児童委員	10．かかりつけの医師
11．市役所の教育相談の窓口	12．携帯電話やインターネットの交流サイト
13．その他（　　）	

※「なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）」：地域によっては学童保育などとよばれています。保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

問９　封筒のあて名のお子さんの保護者の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。（それぞれ「１.」～「６.」のいずれか１つに○）また、働いている人は、１週間にどのくらいの日数、１日あたりどのくらいの時間働きますか。家を出る時刻と帰宅時刻もお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。（数字で記入、時間については 24 時間制で記入）

（１）母親（父子家庭の場合は記入不要です）	（２）父親（母子家庭の場合は記入不要です）
１．フルタイムで働いている １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）	１．フルタイムで働いている １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）
２．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中） １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）	２．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中） １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）
３．パート・アルバイト※などで働いている １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）	３．パート・アルバイトなどで働いている １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　）
４．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中） １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　） **【問 10 へ】**	４．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中） １週当たり　（　　）日 １日当たり　（　　）時間 家を出る時刻　（　：　） 帰宅時刻　（　：　） **【問 10 へ】**
５．以前は働いていたが、今は働いていない ６．これまで働いたことがない **【問 11 へ】**	５．以前は働いていたが、今は働いていない ６．これまで働いたことがない **【問 11 へ】**

※「フルタイム」：１週間に５日程度、１日に８時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」：「フルタイム」以外の就労

問 10　問９の（１）母親または（２）父親で「３.」または「４.」を選ばれた「パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）」におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ１つに○）

	（１）母親	（２）父親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	１	１
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	２	２
パート・アルバイトなどで働き続けることを希望	３	３
パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい	４	４

問 11　問９の（１）母親または（２）父親で「５.」または「６.」を選ばれた「仕事をお持ちでない方」におうかがいします。働きたいという希望はありますか。（それぞれ１つに○、（　）に数字で記入）

（１）母親	（２）父親
１．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）　---►【問 12 へ】 ２．１年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい ３．すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい　【問 11 - 1 へ】 →希望する働き方 ア．フルタイム イ．パート・アルバイトなど →１週当たり（　　）日 １日当たり（　　）時間	１．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）　---►【問 12 へ】 ２．１年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい ３．すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい　【問 11 - 1 へ】 →希望する働き方 ア．フルタイム イ．パート・アルバイトなど →１週当たり（　　）日 １日当たり（　　）時間

問 11－１　問 11 の（１）母親 または（２）父親で「２.」または「３.」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．働かないと、暮らしていけなくなるため
２．将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
３．仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
４．人間関係を広げたいため
５．その他（　　）

２．封筒のあて名のお子さんのなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）の利用についておうかがいします。

問 12　平日（月曜日から金曜日）に、現在、なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用されていますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．利用している　---►**【問 13 へ】**	２．利用していない　---►**【問 14 へ】**

問 13　問 12 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用しているなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）について、もっとも多いパターンとして、１週間に何日利用し、また、１日あたり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。

（１）現在

１週当たり（　　）日
１日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで

（２）希望

１週当たり（　　）日
１日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで

問 13－１　問 12 で「１．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．保護者が働いている
２．保護者が働く予定である、または、仕事を探している
３．保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
４．保護者に病気や障がいがある
５．保護者が学生である
６．その他（　　）

問 13－２　問 12 で「１．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。土曜日、日曜日・祝日に、なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）の利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

（１）土曜日

１．利用する必要はない	**【問 13－４へ】**
２．ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）	**【問 13－４へ】**
３．月に１～２回は利用したい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）	**【問 13－３へ】**

（２）日曜日・祝日

１．利用する必要はない	**【問 13－４へ】**
２．ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）	**【問 13－４へ】**
３．月に１～２回は利用したい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）	**【問 13－３へ】**

問 13－３　問 13－２の（１）または（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．月に数回仕事が入るため
２．平日にすませられない用事をまとめてすませるため
３．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
４．息抜きのため
５．その他（　　）

問 13－４　問 12 で「１．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。現在通っているなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．朝の利用時間を延長する	２．夕方の利用時間を延長する
３．施設や設備を改善する	４．指導内容を工夫する
５．その他（　　）	
６．特になし	

問 13－５　問 12 で「１．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。小学４年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「１.」を選択した場合は、（　）内に具体的な数字を入れてください。

１．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用したい　→　小学（　　）年生まで利用したい
２．放課後子ども教室※を利用したい
３．スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい
４．子どもに自宅の留守番をしてもらう
５．その他（　　）

※「放課後子ども教室」：地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。すべての小学生が利用できます。

問 14　問 12 で「２．利用していない」を選ばれた方におうかがいします。なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
２．ご自身や配偶者の親、親せきがみている
３．近所の人や父母の友人・知人がみている
４．父母とも働いていて利用したいが、なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）に空きがない
５．父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
６．父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
７．父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
８．父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
９．その他（　　）

問 14－１　問 12 で「２．利用していない」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

１．利用したい
　→１週当たり（　　）日
　　１日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで　**【問 14－２へ】**
２．今後も利用しない　- - - - - - - - - - - →**【問 15 へ】**

問 14－２　問 14－１で「１．利用したい」を選ばれた方におうかがいします。土曜日と日曜日・祝日の利用希望がある場合は、利用したい時間帯を、必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

（１）土曜日

１．ある　→　１日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで
２．ない

（２）日曜日・祝日

１．ある　→　１日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで
２．ない

３．封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応や、不定期な一時預かりについておうかがいします。

問 15　封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

１．あった - - - →**【問 15－１へ】**　　２．なかった - - - →**【問 16 へ】**

問 15－１　問 15 で「１．あった」を選ばれた方におうかがいします。この１年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

対処方法	日数（年間）
１．父親が仕事を休んだ	（　　）日／年間
２．母親が仕事を休んだ	（　　）日／年間
３．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	（　　）日／年間
４．働いていない父親か母親が子どもをみた	（　　）日／年間
５．保育所や病院などに併設する病気の子どものための保育施設を利用した	（　　）日／年間
６．家事育児代行サービスを利用した	（　　）日／年間
７．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日／年間
８．その他（　　）	（　　）日／年間

【問 16 へ】

【問 15－２へ】

問 15－２　問 15－１で「１.」「２.」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。
そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、希望がある方は（　）内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

１．できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい　→　（　　）日
２．利用したいと思わない

問 16　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数について（　）内に具体的な数字を入れてください。

対処方法	日数（年間）
１．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった （同居している場合も含む）	（　　）日／年間
２．ファミリー・サポート・センターを利用した （子育てのサポートを希望する人とできる人がそれぞれ会員となり、地域で子育てを助け合う有償ボランティアを支援するサービス）	（　　）日／年間
３．夜間看護事業：トワイライトステイ （仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）	（　　）日／年間
４．家事育児代行サービスを利用した	（　　）日／年間
５．その他（　　）	（　　）日／年間
６．預けるようなことはなかった	

問 17　封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）。
なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

対処方法		泊数（年間）
１．利用したい		合計（　　）泊／年間
	ア．冠婚葬祭	（　　）泊／年間
	イ．保護者や家族の育児疲れ・不安	（　　）泊／年間
	ウ．保護者や家族の病気	（　　）泊／年間
	エ．その他（　　）	（　　）泊／年間
２．利用する必要はない		

4．仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問 18　１日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。１週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を１つだけ記入してください。

（１）母親

子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間／日 番号を選択（　　）

（２）父親

子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間／日 番号を選択（　　）

１．十分だと思う	２．まあまあ十分だと思う
３．あまり十分だと思わない	４．不十分だと思う
５．わからない	

問 19　１日当たり、家事を何時間くらいしますか。１週間の平均的な時間を記入してください。

（１）母親

（　　）時間／日

（２）父親

（　　）時間／日

問 20　仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．残業や出張が入ること
２．子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと
３．配偶者の協力が得られないこと
４．ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
５．職場に子育てを支援する制度がないこと（子どもの看護休暇、短時間勤務など）
６．職場の理解や協力が得られないこと
７．子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと
８．子どもを預かってくれるなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）などがみつからないこと
９．子どもと接する時間が少ないこと
10．その他（　　）

5．市役所などへの要望についておうかがいします。

問 21　市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2．親子が安心して集まれる保育所や認定こども園などの運動場の開放を増やす
3．親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する
4．子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5．子育てに困ったときの相談体制を充実する
6．子育て支援に関する情報提供を充実する
7．子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8．子育てサークル活動への支援を充実する
9．保育所やなわてふれあい教室（放課後児童クラブ）など子どもを預ける施設を増やす
10．幼稚園・認定こども園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11．専業主婦など誰でも気軽に利用できる子育て支援団体などによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12．小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
13．子どもの安全を確保する対策を充実する
14．子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15．育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充
16．公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17．その他（　　）
18．特になし

6．封筒のあて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

問 22　お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

（１）朝ごはんを食べますか。

1．毎日食べる	2．食べる日のほうが多い
3．食べない日のほうが多い	4．ほとんど食べない

（２）１日１回は家族と一緒に食事をしますか。

1．する	2．しない

（３）平日のテレビ・ゲーム（スマホ使用や DVD 等も含む）の１日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

1．30 分以内	2．１時間以内	3．１時間 30 分以内	4．２時間以内	5．２時間以上

（４）起床時刻は何時ですか。

1．６時より前	2．６時～６時半前	3．６時半～７時前
4．７時～７時半前	5．７時半～８時前	6．８時以降

（５）就寝時刻は何時ですか。

1．20 時半より前	2．20 時半～21 時前	3．21 時～21 時半前
4．21 時半～22 時前	5．22 時～23 時前	6．23 時以降

（６）読書をしますか。

1．毎日している	2．時々している	3．していない

7．封筒のあて名のお子さんの普段の過ごし方についておうかがいします。

問 23　平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で１番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号を１つだけ選んで記入してください。

１．平日 14～16 時　番号を選択（　　）	
２．平日 16～18 時　番号を選択（　　）	
３．平日 18～20 時　番号を選択（　　）	
４．平日 20 時以降　番号を選択（　　）	
５．休日　番号を選択（　　）	

１．授業などで学校にいる	２．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）で過ごす
３．放課後子ども教室に参加する	４．保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす
５．家事育児代行サービスなどを利用する	６．家や公園などで友だちと過ごす
７．公共の施設にいる	８．地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）
９．学習塾や習い事へ行く	10．家で、ひとりで勉強などをする
11．その他（　　）	

8．封筒のあて名のお子さんの地域での自然体験などへの参加などについておうかがいします。

問 24　お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．体験をしやすいと思う	２．体験をしやすいとは思わない
３．どちらでもない	４．わからない

問 25　参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．スポーツ活動	２．文化芸術活動
３．ボランティア活動	４．体験学習活動（ものづくり体験など）
５．野外活動（キャンプなど）	６．社会福祉活動（高齢者訪問など）
７．国際交流活動（ホームステイなど）	８．青少年団体活動（こども会活動など）
９．環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）	
10．環境教育活動（自然観察など）	11．地域の活動（地域のお祭りや運動会など）
12．その他（　　）	
13．参加したことがない　----▶**【問 25－１へ】**	

問 25－１　問 25 で「13. 参加したことがない」を選ばれた方におうかがいします。
お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．活動に関する情報がなく参加しにくい	２．知り合いなどがおらず参加しにくい
３．初めての者が参加しにくい雰囲気がある	４．参加の時間帯が合わない
５．費用がかかる	６．活動の内容に興味や関心がない
７．その他（　　）	

問 26　お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．スポーツ活動	2．文化芸術活動
3．ボランティア活動	4．体験学習活動（ものづくり体験など）
5．野外活動（キャンプなど）	6．社会福祉活動（高齢者訪問など）
7．国際交流活動（ホームステイなど）	8．青少年団体活動（こども会活動など）
9．環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）	
10．環境教育活動（自然観察など）	11．地域の活動（地域のお祭りや運動会など）
12．その他（　　）	

9．子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問 27　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

1．満足している	2．満足していない
3．どちらとも思わない	4．わからない

問 28　お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．近くに遊び場がない	2．雨の日に遊べる場所がない
3．思い切り遊ぶために十分な広さがない	4．遊具などの種類が充実していない
5．不衛生である	6．いつも閑散としていて寂しい感じがする
7．遊具などの設備が古くて危険である	8．緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9．遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない	
10．公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない	
11．遊び場周辺の道路が危険である	
12．遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない	
13．その他（　　）	
14．特に感じることはない	

10．子育てに対する意識についておうかがいします。

問 29　近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

1．いる	2．いない

問 30　ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

1．楽しいと感じることの方が多い	**【問 30－１へ】**
2．楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	**【問 30－２へ】**
3．つらいと感じることの方が多い	
4．わからない	**【問 31 へ】**
5．その他（　　）	

問 30－１　問 30 で「１.」を選ばれた、子育てを楽しいと感じる方におうかがいします。
子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

１．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）の充実
２．子育て支援のネットワークづくり
３．地域における子どもの活動拠点の充実
４．子どもの教育環境
５．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
６．仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
７．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
８．援護を要する子どもに対する支援（障がいや精神疾患、児童虐待など）
９．その他（　　）

--------▶【問 31 へ】

問 30－２　問 30 で「２.」「３.」を選ばれた方におうかがいします。
あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

１．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）の充実
２．子育て支援のネットワークづくり
３．地域における子どもの活動拠点の充実
４．子どもの教育環境
５．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
６．仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
７．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
８．援護を要する子どもに対する支援（障がいや精神疾患、児童虐待など）
９．その他（　　）

問 31　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

（１）子どもに関すること

１．病気や発育発達に関すること
２．食事や栄養に関すること
３．子どもとの接し方に自信が持てないこと
４．子どもと過ごす時間が十分取れないこと
５．子どもの教育に関すること
６．子どもの友だちづきあいに関すること
７．子どもの不登校など
８．その他（　　）
９．特にない

（2）ご自身に関すること

1．子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2．配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3．子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4．ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5．子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6．仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7．配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8．子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9．子育てによる身体の疲れが大きいこと
10．子育てにかかる出費がかさむこと
11．住居がせまいこと
12．その他（　　）
13．特にない

問 32　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

1．感じる　　番号を選択（　　）
2．感じない　　番号を選択（　　）

1．近所の人
2．同じ子どもを持つ保護者
3．民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人
4．地域活動を行っている子育て支援団体などの人
5．市役所の職員
6．その他（　　）

11．封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方におうかがいします。

問 33　どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われますか。もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。

1．塾など習い事への経済的支援
2．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）利用料への支援
3．衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援
4．住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）
5．自然体験などの活動費（学校行事を除く）への支援
6．同じ境遇にある母親や父親との交流
7．多子・多胎育児経験者による相談支援
8．その他（　　）

問 33－１　２番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。

１．塾など習い事への経済的支援
２．なわてふれあい教室（放課後児童クラブ）利用料への支援
３．衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援
４．住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）
５．自然体験などの活動費（学校行事を除く）への支援
６．同じ境遇にある母親や父親との交流
７．多子・多胎育児経験者による相談支援
８．その他（　　）

12．その他についておうかがいします。

問 34　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

＿＿

＿＿

＿＿

＿＿

＿＿

＿＿

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
調査票を三ツ折のうえ、同封の返信用封筒に入れ、切手は貼らずにご投函ください。

第3期四條畷市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査報告書

令和6年3月

四條畷市子ども未来部子ども政策課